

取付作業者用

ドライブレコーダー（連動1カメラ）取付説明書 ドライブレコーダー（連動2カメラ）取付説明書

このたびは、スズキ純正用品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。本書はドライブレコーダー（連動1カメラ）の取付方法およびドライブレコーダー（連動2カメラ）の一部の取付方法について記載しています。

取り付け前には本書を必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

取り付け後は、「取扱説明書」および「保証説明書」を必ずお客様にお渡しください。

なお、取付ミスを避けるためにも、取付けは、スズキ代理店またはスズキ代理店が指定した販売店でお願いします。

安全に関する表示

この取付説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

！警告、**！注意**、**注記**、**→アドバイス** のところは、とくにしっかりお読みください。

！警告	取付、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。
！注意	取付、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。
注記	取付、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。
→アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

使用されている~~○~~の記号は、してはいけない内容を示しています。

●の記号は、実行しなければならない内容を示しています。

品番および適用車種

👉 アドバイス

キャリイ、スーパーキャリイに取り付ける場合は、別途コードレールが必要です。

品番	適用車種	適用開始時期
9909B-69T93-P01 9909B-69T73-P02	アルト 型式 HA37S、HA97S	2025年 6月～
	エブリイ 型式 DA17W、DA17V	2024年 2月～
	ハスラー 型式 MR52S、MR92S	2023年 11月～
	ジムニー 型式 JB64W	2025年 11月～
	ラパン 型式 HE93S	2025年 8月～
	スペーシア 型式 MK54S、MK94S	2023年 11月～
	スペーシアベース 型式 MK33V	
	ワゴンR 型式 MH85S、MH95S	2025年 12月～
	ワゴンRスマイル 型式 MX81S、MX91S	2023年 11月～
	フロンクス 型式 WDB3S、WEB3S	2024年 10月～
	ジムニーシエラ 型式 JB74W	2025年 11月～
	ジムニーノマド 型式 JC74W	2025年 3月～
	ランディ 型式 MZRA90C、MZRA95C、ZWR90C、ZWR95C	2023年 11月～
	ソリオ 型式 MAD7S	2024年 12月～
9909B-69T73-P02	スイフト 型式 ZCDDS、ZCEDS、ZDDDS、ZDEDS	2023年 12月～
	スイフトスポーツ 型式 ZC33S	2023年 11月～
	クロスビー 型式 MND1S	2025年 10月～
	eビターラ 型式 PA2AS、PB3AS	2026年 1月～
9909B-69T93-P01	キャリイ 型式 DA16T	
	スーパーキャリイ 型式 DA16T	

本書の見方

- ドライブレコーダー（連動1カメラ）9909B-69T93-P01と、ドライブレコーダー（連動2カメラ）9909B-69T73-P02は、後方を録画するリヤカメラ関連部品（リヤカメラ、リヤカメラケーブル）の有／無を除いては共通の部品構成です。このため、本書は、ドライブレコーダー（連動1カメラ）と、ドライブレコーダー（連動2カメラ）との共通項目であるフロントカメラおよびドライブレコーダー本体部分に関する記載をしています。
- ドライブレコーダー（連動2カメラ）を取り付ける場合は、リヤカメラ関連の記載がされている別冊の追補版を併せて読み、作業を行ってください。
- インストルメントパネル部分には、リヤカメラケーブルなどドライブレコーダー（連動2カメラ）の部品も配索されます。このため、本書内の「取付概要」などインストルメントパネル部分の記載には、リヤカメラケーブルなどのリヤカメラ関連部品も図や本文中に記載がされますが、ドライブレコーダー（連動1カメラ）を取り付ける場合は関係ありませんので読み飛ばしてください。

加工について

車両により加工内容が異なりますので、間違えがないように作業を行ってください。

	インパネ付近の加工			
	④車両側ブラケット ：不要		④車両側ブラケット ：必要	
	穴加工：必要		穴加工： 不要	配線を通す穴 加工
①ドライブレコーダー 本体を通す穴加工	配線を通す穴 加工			
アルト		●		
キャリイ／ スーパーキャリイ			●	
エブリイ			●	
ハスラー	●			
ジムニー			●	
ラパン				●
スペーシア				●
スペーシアベース	●			
ワゴンR	●			
ワゴンRスマイル	●			
eピターラ		●		
フロンクス			●	
ジムニーシエラ／ ジムニーノマド			●	
ランディ			●	
ソリオ	●			
スイフト			●	
スイフトスポーツ			●	
クロスビー		●		

もくじ

👉 アドバイス

- 「・リヤカメラの取付条件について.....追」や「・リヤカメラ取付前の準備.....追」のように、もくじのページ数の所が「追」となっている項目は、ドライブレコーダー（連動2カメラ）のリヤカメラ専用の記載です。別冊の追補版を参照して作業を行ってください。
- 「車両部品の取り外し方法」および「取付概要」のリヤカメラに関する内容については、追補版を参照して作業を行ってください。

安全に関する表示.....	1
品番および適用車種.....	2
本書の見方	2
加工について	3
もくじ	4
構成部品	7
構成部品（別売品）.....	8
取り付けに必要な工具類	9
取付上の留意点.....	10
取付準備作業	12
取付要領、取付作業	
全車共通	
・車両部品の取り外し方法.....	13
・フロントカメラの取付条件について	14
・フロントカメラ取付前の準備.....	15
・フロントカメラの取付方法.....	16
・配線のしかた	20
・圧着式コネクターの取り付け方 (eビターラに取り付ける場合のみ).....	21
・リヤカメラの取付条件について	追
・リヤカメラ取付前の準備.....	追
・リヤカメラの取付方法	追
・リヤカメラケーブル配線（バックドア内）.....	追
・各ケーブルの配線方法	23
・ドライブレコーダー本体の取付条件について	25
・車両部品の加工方法	26
・ドライブレコーダー本体の取付方法	30
車両部品の復元.....	33
既設部品の点検.....	33
接続のしかた	34
取付・配線の確認.....	37
作動確認・取付調整・カードの初期化.....	40
・リヤカメラ録画の選択	41
・ドライブレコーダーの作動確認.....	43
・取付調整	44
・取付調整の確認	46
・感度調整	46
・映像ファイルの削除	48

取付要領、取付作業

アルトの場合

- ・車両部品の取り外し方法.....
- ・取付概要.....
- ・フロントカメラ取付前の準備.....
- ・フロントカメラの取付方法.....
- ・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）....
- ・リヤカメラ取付前の準備.....
- ・リヤカメラの取付方法
- ・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....
- ・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....
- ・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、
電源ケーブルの配線
- ・ドライブレコーダー本体の取付方法.....

キャリイ／スーパーキャリイの場合

- ・車両部品の取り外し方法.....
- ・取付概要.....
- ・フロントカメラ取付前の準備.....
- ・フロントカメラの取付方法.....
- ・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）....
- ・フロントカメラケーブル、電源ケーブルの配線.....
- ・ドライブレコーダー本体の取付方法.....

エブリイの場合

- ・車両部品の取り外し方法.....
- ・取付概要.....
- ・フロントカメラ取付前の準備.....
- ・フロントカメラの取付方法.....
- ・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）....
- ・リヤカメラ取付前の準備.....
- ・リヤカメラの取付方法
- ・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....
- ・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....
- ・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、
電源ケーブルの配線
- ・ドライブレコーダー本体の取付方法.....

ハスラーの場合

・車両部品の取り外し方法.....	82
・取付概要.....	83
・フロントカメラ取付前の準備.....	84
・フロントカメラの取付方法.....	84
・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）.....	85
・リヤカメラ取付前の準備.....	追
・リヤカメラの取付方法.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	追
・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、 電源ケーブルの配線.....	86
・ドライブレコーダー本体の取付方法.....	87

ジムニー／ジムニーシエラ／ジムニーノマドの場合

・車両部品の取り外し方法.....	91
・取付概要.....	92
・フロントカメラ取付前の準備.....	93
・フロントカメラの取付方法.....	93
・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）.....	94
・リヤカメラ取付前の準備.....	追
・リヤカメラの取付方法.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	追
・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、 電源ケーブルの配線.....	95
・ドライブレコーダー本体の取付方法.....	97

ラパンの場合

・車両部品の取り外し方法.....	100
・取付概要.....	101
・フロントカメラ取付前の準備.....	101
・フロントカメラの取付方法.....	102
・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）.....	102
・リヤカメラ取付前の準備.....	追
・リヤカメラの取付方法.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	追
・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、 電源ケーブルの配線.....	103
・ドライブレコーダー本体の取付方法.....	104

スペーシアの場合

・車両部品の取り外し方法.....	108
・取付概要.....	109
・フロントカメラ取付前の準備.....	110
・フロントカメラの取付方法.....	110
・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）.....	111
・リヤカメラ取付前の準備.....	追
・リヤカメラの取付方法.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	追
・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、 電源ケーブルの配線.....	113
・ドライブレコーダー本体の取付方法.....	114

スペーシアベースの場合

・車両部品の取り外し方法.....	121
・取付概要.....	122
・フロントカメラ取付前の準備.....	123
・フロントカメラの取付方法.....	123
・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）.....	123
・リヤカメラ取付前の準備.....	追
・リヤカメラの取付方法.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	追
・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、 電源ケーブルの配線.....	125
・ドライブレコーダー本体の取付方法.....	127

ワゴンRの場合

・車両部品の取り外し方法.....	131
・取付概要.....	132
・フロントカメラ取付前の準備.....	133
・フロントカメラの取付方法.....	133
・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）.....	134
・リヤカメラ取付前の準備.....	追
・リヤカメラの取付方法.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	追
・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、 電源ケーブルの配線.....	135
・ドライブレコーダー本体の取付方法.....	136

ワゴンRスマイルの場合

・車両部品の取り外し方法.....	140
・取付概要.....	141
・フロントカメラ取付前の準備.....	142
・フロントカメラの取付方法.....	142
・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）.....	142
・リヤカメラ取付前の準備.....	追
・リヤカメラの取付方法.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	追
・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、 電源ケーブルの配線.....	144
・ドライブレコーダー本体の取付方法.....	146

eビターラの場合

・車両部品の取り外し方法.....	151
・取付概要.....	157
・フロントカメラ取付前の準備.....	158
・フロントカメラの取付方法.....	158
・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）.....	159
・リヤカメラ取付前の準備.....	追
・リヤカメラの取付方法.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	追
・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、 電源ケーブルの配線.....	160
・ドライブレコーダー本体の取付方法.....	163

フロンクスの場合

・車両部品の取り外し方法.....	170
・取付概要.....	174
・フロントカメラ取付前の準備.....	175
・フロントカメラの取付方法.....	175
・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）..	175
・リヤカメラ取付前の準備.....	追
・リヤカメラの取付方法	追
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	追
・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、 電源ケーブルの配線	177
・ドライブレコーダー本体の取付方法	178

ランディの場合

・車両部品の取り外し方法.....	181
・取付概要.....	183
・フロントカメラ取付前の準備.....	184
・フロントカメラの取付方法.....	184
・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）..	186
・リヤカメラ取付前の準備.....	追
・リヤカメラの取付方法	追
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	追
・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、 電源ケーブルの配線	187
・ドライブレコーダー本体の取付方法	188

ソリオの場合

・車両部品の取り外し方法.....	191
・取付概要.....	192
・フロントカメラ取付前の準備.....	193
・フロントカメラの取付方法.....	193
・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）..	193
・リヤカメラ取付前の準備.....	追
・リヤカメラの取付方法	追
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	追
・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、 電源ケーブルの配線	195
・ドライブレコーダー本体の取付方法	197

スイフトの場合

・車両部品の取り外し方法.....	202
・取付概要.....	203
・フロントカメラ取付前の準備.....	204
・フロントカメラの取付方法.....	204
・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）..	204
・リヤカメラ取付前の準備.....	追
・リヤカメラの取付方法	追
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	追
・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、 電源ケーブルの配線	206
・ドライブレコーダー本体の取付方法	208

スイフトスポーツの場合

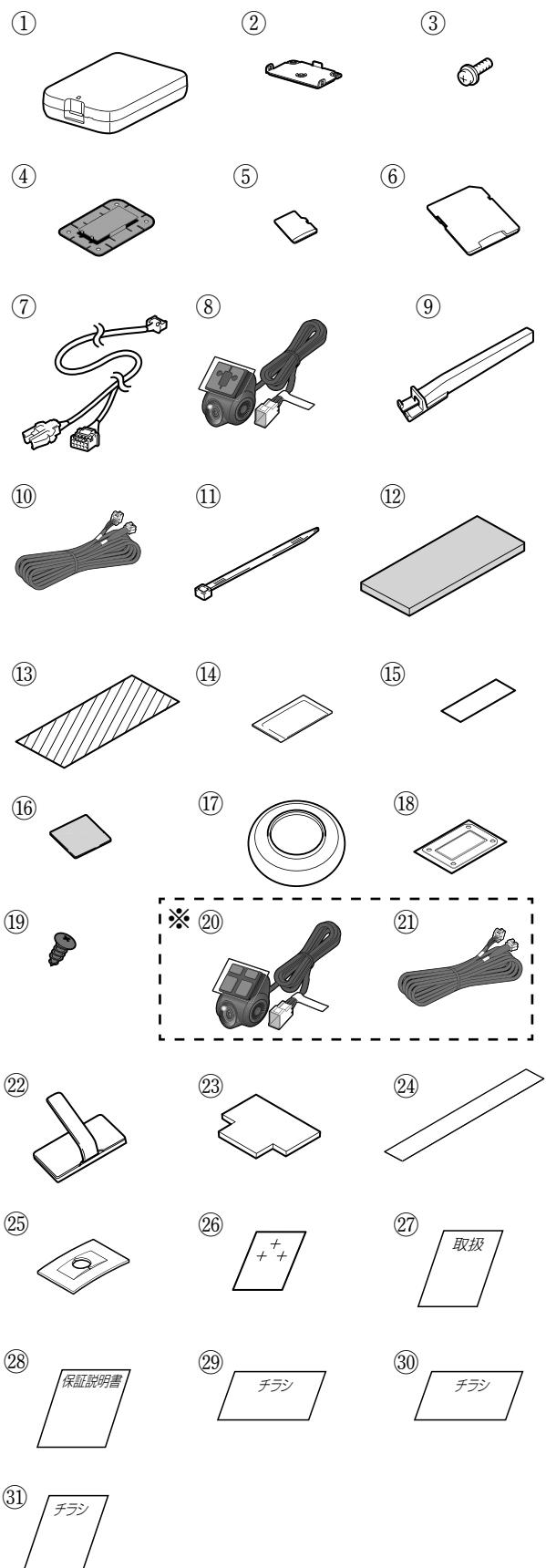
・車両部品の取り外し方法.....	211
・取付概要.....	212
・フロントカメラ取付前の準備.....	213
・フロントカメラの取付方法.....	213
・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）..	214
・リヤカメラ取付前の準備.....	追
・リヤカメラの取付方法	追
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	追
・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、 電源ケーブルの配線	216
・ドライブレコーダー本体の取付方法	217

クロスビーの場合

・車両部品の取り外し方法.....	220
・取付概要.....	221
・フロントカメラ取付前の準備.....	222
・フロントカメラの取付方法.....	222
・フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）..	222
・リヤカメラ取付前の準備.....	追
・リヤカメラの取付方法	追
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	追
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	追
・フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、 電源ケーブルの配線	224
・ドライブレコーダー本体の取付方法	226

改訂内容 232

構成部品



No.	部品名称	数量
①	ドライブレコーダー本体	1
②	本体ブラケット	1
③	スクリュー (M3×8mm)	3
④	車両側ブラケット	1
⑤	microSDHCメモリーカード (32GB)	1
⑥	SDカードアダプター	1
⑦	電源ケーブル	1
⑧	フロントカメラ	1
⑨	コードホルダー (150mm)	1
⑩	フロントカメラケーブル	1
⑪	バンドクランプ	50
⑫	ハーネス固定テープ (200mm×100mm)	5
⑬	保護シート (200mm×100mm)	1
⑭	クリーナー	1
⑮	ステッカー	1
⑯	両面テープ (本体用)	1
⑰	グロメット	2
⑱	両面テープ (車両側ブラケット用)	1
⑲	タッピングねじ (φ4×12)	4
㉐※	リヤカメラ	1
㉑※	リヤカメラケーブル	1
㉒	クランパー	2
㉓	両面テープ	1
㉔	テープ (150mm×25mm)	1
㉕	スピードナット	4
㉖	型紙	1
㉗	取扱説明書	1
㉘	保証説明書	1
㉙	チラシ	1
㉚	チラシ (QRコード)	1
㉛	チラシ (ステッカー貼り付け)	1

■付属の⑥SDカードアダプターは、必ずお客様にお渡しください。

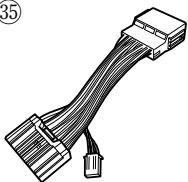
■④車両側ブラケットは、①ドライブレコーダー本体取付部が曲面の場合に使用します。

■※ : ㉐リヤカメラおよび㉑リヤカメラケーブルは、ドライブレコーダー（連動2カメラ）専用の同梱品です。ドライブレコーダー（連動1カメラ）には同梱されていません。

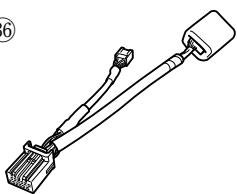
構成部品（別売品）

電源ケーブル（品番：9909J-69TL3-S01）

③⁵



③⁶

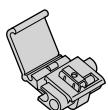


No.	部品名称	数量
③⁵	電源ケーブル	1
③⁶	連動ケーブル	1

■本製品は、メーカーオプションナビが取り付けられた車両にドライブレコーダー（連動1カメラ）や、ドライブレコーダー（連動2カメラ）を取り付けるためのケーブルです。

圧着式コネクター（品番：9909Q-58U00）

③⁷



No.	部品名称	数量
③⁷	圧着式コネクター	3

■本製品は、eビターラにドライブレコーダー（連動2カメラ）を取り付けるために使用します。

取り付けに必要な工具類

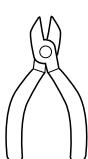
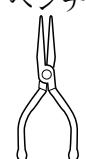
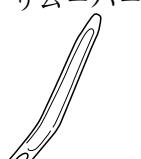
⊕ ドライバー



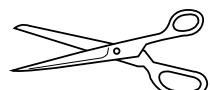
⊖ ドライバー



ニッパー

ラジオ
ペンチハンディ
リムーバー

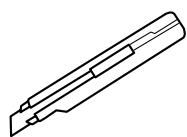
はさみ



マスキングテープ



定規

カッターナイフ、
超音波カッターなど

耐切創手袋



ラチェットレンチ

電動ドリル
(φ 3、φ 4、φ 4.5)

ホールソー (φ 16)



ヤスリ



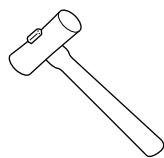
ビニールテープ



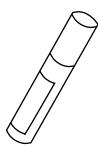
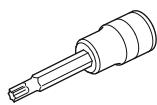
ポンチ



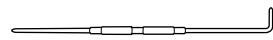
ハンマー



タッチアップペイント

T型ヘックスローブ
ビットソケット (T40)

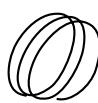
ケガキ針



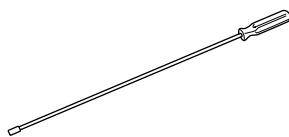
ガムテープ



針金



マグネットハンド



保護メガネ



取付上の留意点



本機はDC12Vのアース車で使用する

DC24V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする

作業は手順どおり正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの端子を外す

外さずに作業すると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す

ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品^{*}の動作確認をする

正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。

※ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

ドライブレコーダーは、保安基準の取付許容範囲に貼り付ける

視界不良による事故の原因となります。

取り付け（取り外し）や配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、スズキ代理店またはスズキ代理店が指定した販売店にご依頼ください。



視界や運転を妨げる場所^{*}、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない

交通事故やけがの原因となります。

※ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。作業に際しては、車両に付属のオーナーズマニュアルやサービスマニュアルに記載された注意事項を確認してから作業を行ってください。

『黄色のハーネス』はSRS（エアバッグ）用のハーネスであるため、絶対に他のコード類などを固定しない

万一の作動時に正常な機能を発揮できなくなり危険です。（※取付位置の安全性を考慮し、販売店にご相談のうえ、取付位置を決めてください。）

取り付けやアース配線に、車の保安部品^{*}を使わない

制動不能や発火、交通事故の原因となります。

※ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

警告**ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届くところに置かない**

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

**分解や改造をしない****分解禁止**

- 交通事故や火災、感電、故障の原因となります。
- コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。
- アースコードの改造や、他の機器とのアース接続は絶対におやめください。

注意**必ず、付属品や指定の部品を使用する**

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

板金エッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する**取付場所の汚れ（ごみ・ほこり・油）などを取り除き、しっかり取り付ける**

走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。

ときどき取付状態（接着やねじのゆるみなど）を点検してください。

**コードを破損しない**

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。

注記**コネクターは、カチッと音がするまで確実にはめ込む**

コネクター外れの原因となります。

コネクターを外す際はリード線を引っ張らず、コネクターを持って外す

リード線の損傷の原因となります。

**車両側のワイヤリングハーネスを、強く引っ張らない**

コネクター外れやワイヤリングハーネスの損傷の原因となります。

注記

- 取り付けの際は車両を傷つけないように十分注意してください。
- 本文中の取付上の【注記】は、必ず取付に反映させて作業を行ってください。
もし、【注記】を無視して取り付けると、ドライブレコーダーの正常な動作を阻害するばかりでなく、車両故障につながるおそれがあります。
- 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
- 誤って取り付けた場合、ドライブレコーダーの正常な動作を阻害するばかりでなく、車両機能を損ない、ひいては車両故障につながるおそれがあります。しかも、保証の対象にはなりませんのでご注意ください。
- 本品は4輪車専用です。2輪車へは取り付けないでください。
- 各作業の際、カメラレンズ部に工具等を当てたり、保護マットがない場所にドライブレコーダーを置いたりしないでください。カメラレンズ部等に傷がつくことがあります。
- 取付作業は、ルーフライニングに無理な力を加えないで行ってください。
- ルーフライニングが折り曲がらないように注意してください。

👉 アドバイス

- 道路運送車両の保安基準の細目を定める告示第195条第5項第二号による、道路および交通状況に係る情報の入手のためのカメラに指定されている要件を満足しております。
 - 取付説明書に記載されているドライブレコーダーの取付位置は、「性能面（ワイヤー挿入範囲）」「法規制（フロントガラスの実直寸法20%以内へのカメラ取付）」等を考慮しています。必ず、取付説明書通りの取付を行ってください。
- ・ 本製品の仕様・外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ・ 本書に記載の寸法は、およその数値です。
- ・ イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

取付準備作業

1. 取付作業は、安全な場所に車を駐車し、パーキングブレーキをかけた状態で行ってください。
2. 取付作業中は、必ず、エンジンを停止して、バッテリーの \ominus 端子を外しておいてください。この際、 \ominus 端子が \oplus 端子と接触しないようにご注意ください。

👉 アドバイス

バッテリーの \ominus 端子を外すと、ラジオやテレビ等のメモリーが全て消えてしまうことがあります。
このような場合は、取り外し前にメモリーを控え、終了後にメモリーを再設定してください。

3. 構成部品が取付説明書通りになっているか、また不良部品の混在等がないかを確認してください。

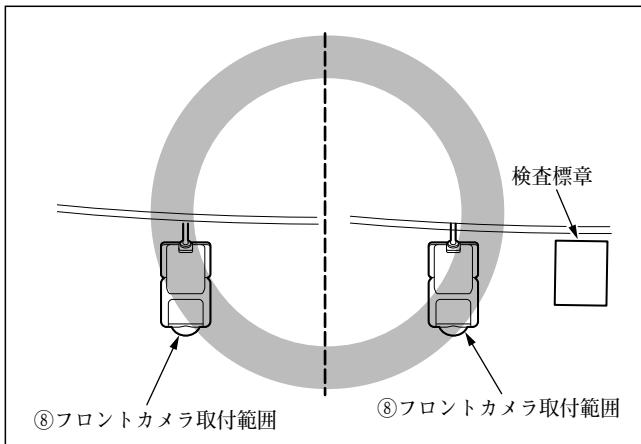
取付要領**取付作業****全車共通****● 車両部品の取り外し方法**

本書では取り外し部品の概略のみを記載しています。取り外し方法の詳細については各車種の「サービスマニュアル」を参照してください。

注記

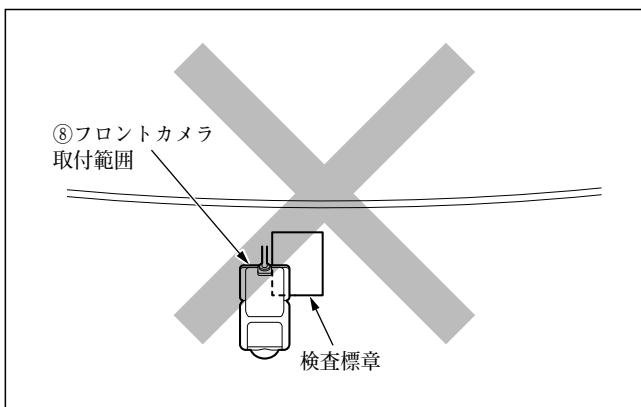
- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は特に指示がある場合を除き再使用します。紛失しないでください。

● フロントカメラの取付条件について



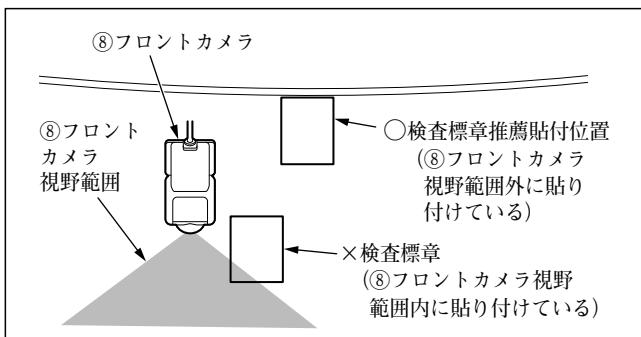
注記

- ⑧フロントカメラは、検査標章（車検証シール）を貼り付けていない場合、または検査標章が⑧フロントカメラ取付範囲外に貼り付けてある場合に取り付けることができます。
- 新車時などに⑧フロントカメラを取り付ける場合、検査標章（車検証シール）を⑧フロントカメラ取付範囲外へ貼り付けてください。



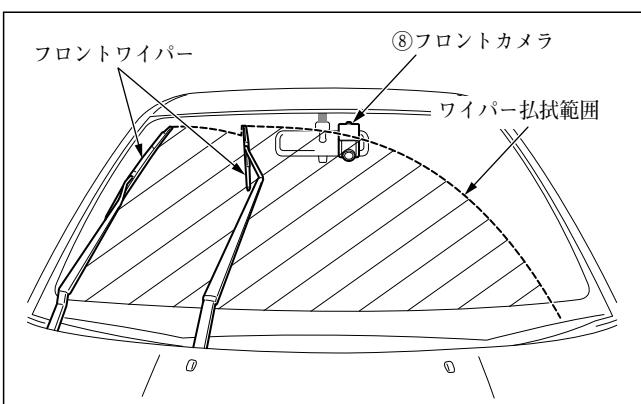
注記

検査標章（車検証シール）が⑧フロントカメラ取付範囲に貼り付けてある場合、⑧フロントカメラを取り付けることができません。



注記

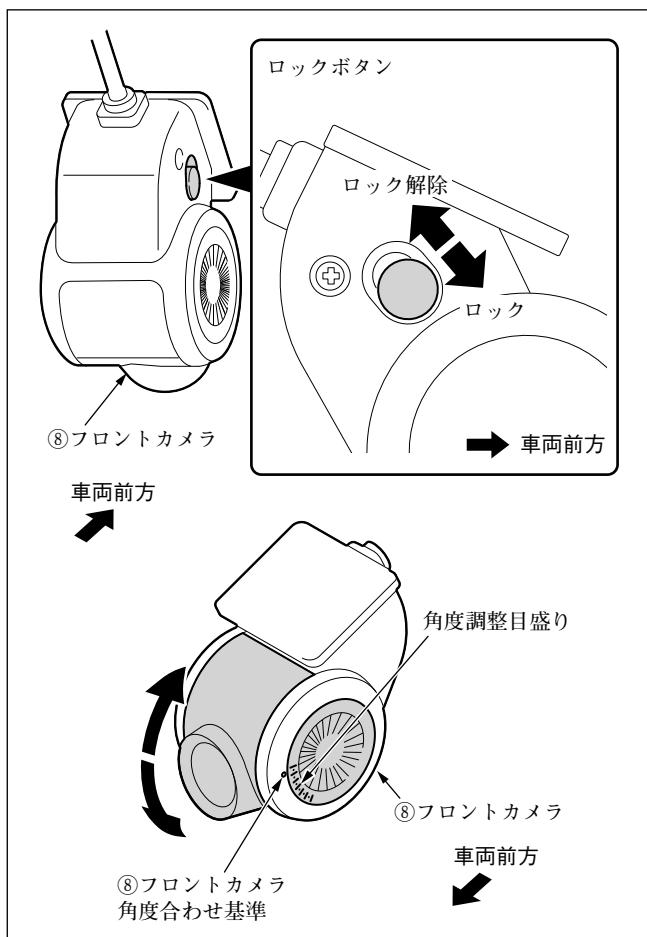
検査標章を貼り付ける際は、⑧フロントカメラ視野範囲外に貼り付けてください。⑧フロントカメラ視野範囲内に貼り付けると⑤microSDHCメモリーカードに記録される映像に検査標章が映り込みます。



注記

⑧フロントカメラの撮影範囲がワイパー払拭範囲内にあることを確認してください。ワイパーの払拭範囲から外れた位置にあると、雨天時など鮮明な映像が記録されないおそれがあります。

● フロントカメラ取付前の準備



■ フロントカメラ取付前の準備

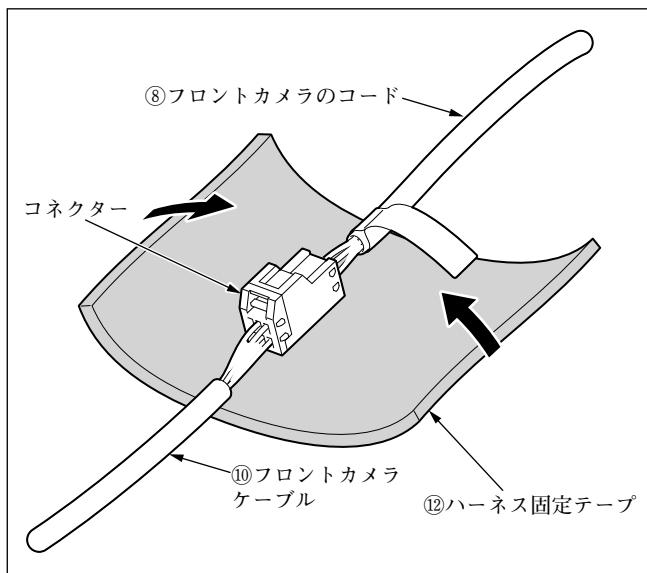
- (1) ⑧フロントカメラ右側のロックボタンをスライドしてロックを解除してください。
- (2) ⑧フロントカメラ左側の角度調整目盛りと⑧フロントカメラ角度合わせ基準を合わせてください。
- (3) ロックボタンをスライドしてロックしてください。

注記

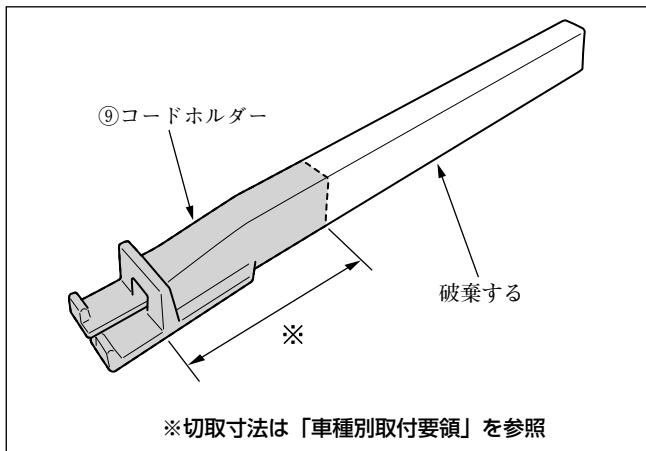
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。
- ⑧フロントカメラ画像に必要な情報が記録されないおそれがあるため、「車種別取付要領」で指定されている位置に確実に調整してください。

👉 アドバイス

調整位置は車種により異なりますので「車種別取付要領」を参照してください。



- (4) ⑧フロントカメラのコネクターと⑩フロントカメラケーブルのコネクターを接続してください。
- (5) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。



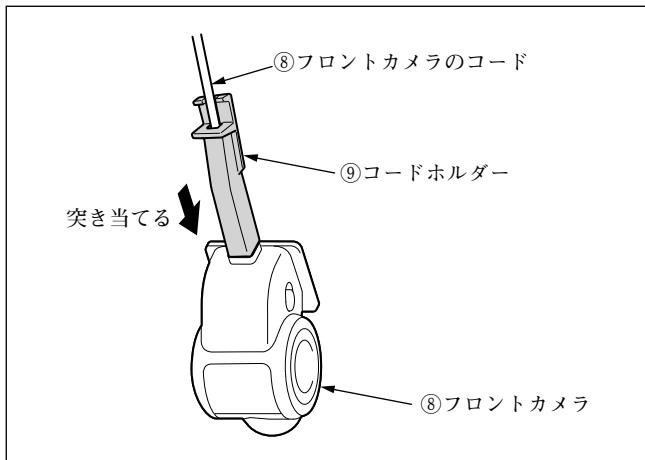
(6) ⑨コードホルダーを寸法通り切り取ってください。

注意

- ⑨コードホルダーは、カッター等で寸法通りに切ってください。
- カッターを使用する際は、耐切創手袋を着用して作業してください。着用しないで作業を行うと、けがをするおそれがあります。

アドバイス

⑨コードホルダー使用の有無や切取寸法は、車種により異なりますので「車種別取付要領」を参照してください。



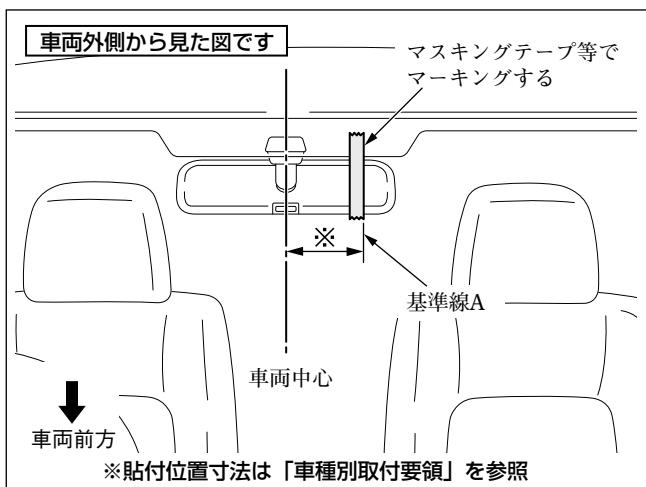
(7) ⑨コードホルダーに⑧フロントカメラのコードを通してください。

(8) ⑨コードホルダーを⑧フロントカメラのコード根元に突き当ててください。

注記

⑨コードホルダーは、⑧フロントカメラに突き当たった位置にセットしてください。

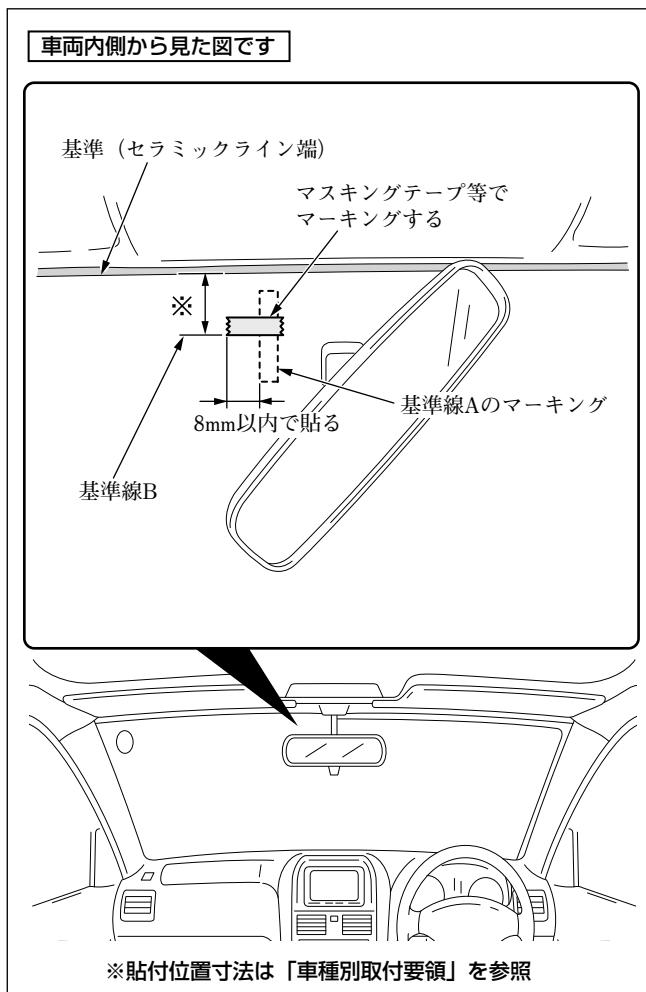
● フロントカメラの取付方法



(1) 車両外側からマスキングテープ等で⑧フロントカメラの貼付用基準線Aをマーキングしてください。

アドバイス

- 図は、車両外側から見た図を示しています。
- 貼付位置寸法については「車種別取付要領」を参照してください。
- マスキングテープ等でマーキングする際、テープ等の外側が基準線Aになるようにしてください。
- 貼付用基準線Aのマーキングを貼り付けるときは、地面に対して垂直に貼られていることを車両外側から確認してください。



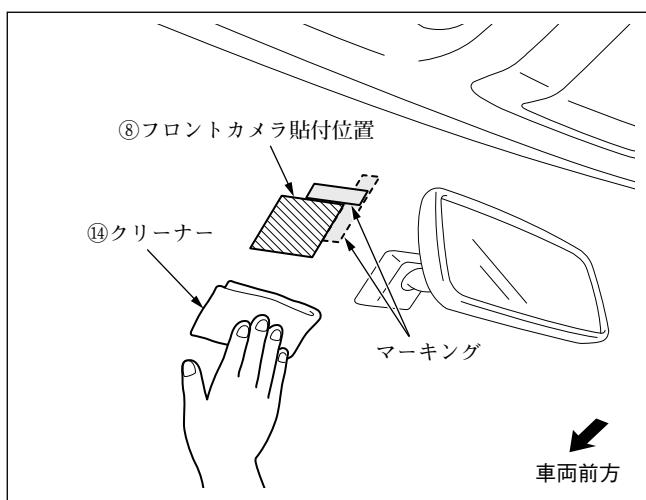
- (2) 車両内側からマスキングテープ等で⑧フロントカメラの貼付用基準線Bをマーキングしてください。

注記

基準線Aのマーキングより8mm以内に基準線Bのマーキングをしてください。8mm以上マーキングを行うと⑧フロントカメラ貼付後、基準線Bのマーキングが外せなくなるおそれがあります。

アドバイス

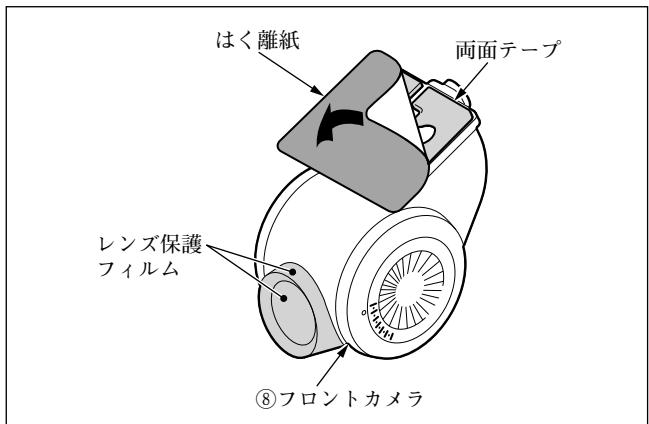
- 図は、車両内側から見た図を示しています。
- 貼付位置寸法については「車種別取付要領」を参照してください。
- マスキングテープ等でマーキングする際、テープ等の下側が基準線Bになるようにしてください。
- 貼付用基準線Bのマーキングを貼り付けるときは、地面に対して水平に貼られていることを車両外側から確認してください。



- (3) ⑧フロントカメラ貼付位置のよごれ、油分を同梱の⑯クリーナーで拭き取ってください。

注記

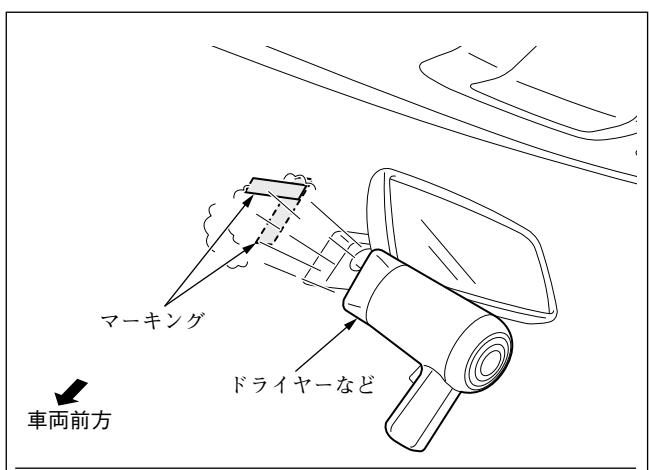
- 必ず同梱の⑯クリーナーを使用してください。同梱の⑯クリーナー以外を使用した場合、含まれる成分によっては⑧フロントカメラが貼り付かなくなるおそれがあります。
- 拭取後は、必ずガラス面が完全に乾いていることを確認してから次の作業を行ってください。



(4) レンズ保護フィルムをはがしてください。

注記

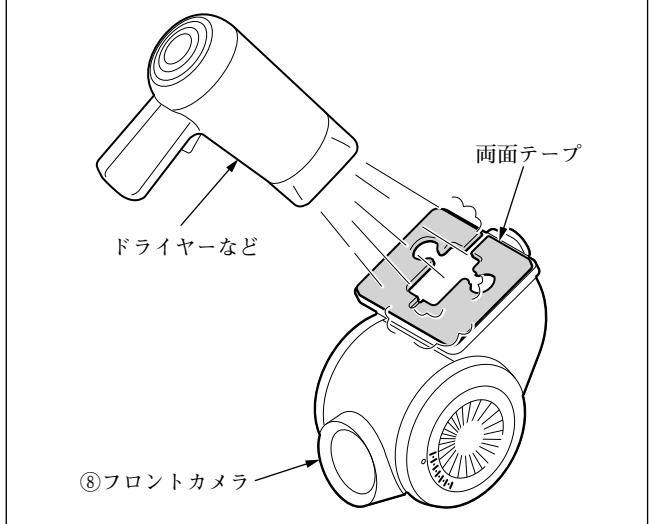
- ⑧フロントカメラのレンズを手で触って汚したり、傷付けたりしないでください。



(5) ⑧フロントカメラの両面テープからはく離紙を剥がしてください。

注記

粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、両面テープの粘着面に手で触れたりしないでください。



注記

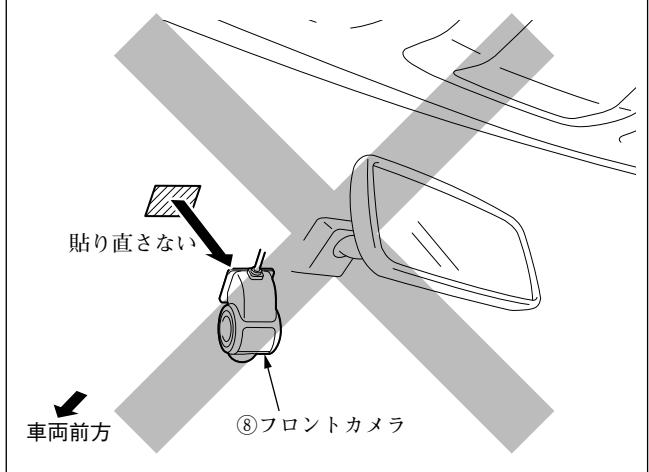
- 作業環境（温度・湿気）に注意してください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼付作業を行ってください。

● 温度について

貼付作業時の環境温度は、15°C以上が推奨です。気温が低い時期（気温15°C未満の作業環境など）は、両面テープの柔軟性が低下して、ガラス面と十分な粘着力が得られない場合があります。

● 湿気について

貼付部のガラス表面を乾燥させてください。室温に比べてガラス表面温度が低い場合は、結露によって水滴や湿気が付着しやすくなり、両面テープの粘着力が著しく低下します。

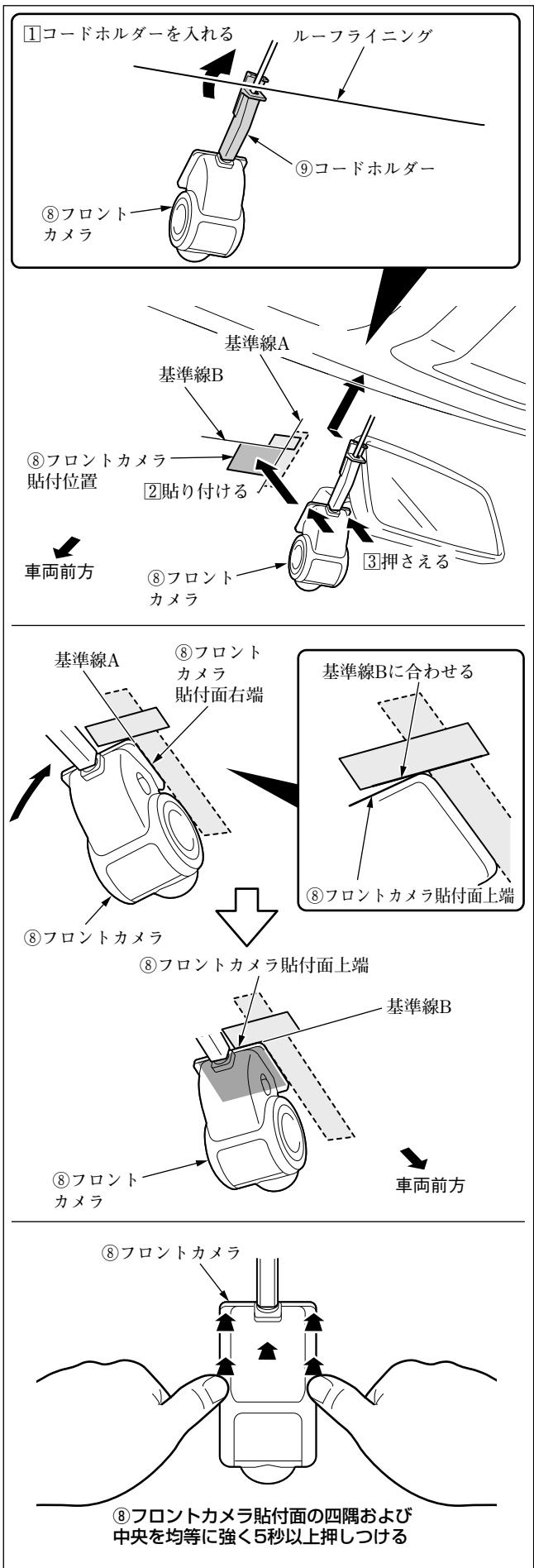


- ⑧フロントカメラを温めすぎると、破損する可能性がありますので、両面テープを温める際は、数秒だけドライヤーなどで温めてください。

- 粘着力が弱まり、落下するおそれがありますので、⑧フロントカメラを貼り直したりしないでください。

- 貼付後、ガラスクリーナー等を用いて付近を清掃する場合は、必ず20分以上放置後に行ってください。十分な時間が経たずにガラスクリーナー等のスプレー や水分が付着すると、粘着力が低下し落下する可能性があります。

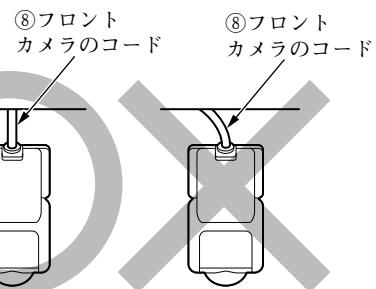
- 本機を車体から取り外す場合は、貼付面の四隅を持ってください。本体部や可動部を持って剥がそうとすると、本機が破損するおそれがあります。



- (6) ⑨コードホルダーをルーフライニングに収めてください。
- (7) 基準線Aに⑧フロントカメラ貼付面の右端を合わせ、同時に基準線Bに⑧フロントカメラ貼付面の上端を合わせてフロントガラスに貼り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラ貼付用両面テープ部に水分が付着しないようにしてください。水分が付着した場合は、ドライヤーなどで乾燥させてください。
- 貼り付ける際、貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 貼付時、フロントガラスと両面テープの間の空気（気泡）を抜くように、貼付面右端から左端へ徐々に貼り付けてください。
- 両面テープをしっかりと定着させるため、5秒以上⑧フロントカメラをフロントガラスに押しつけてください。
- 押しつける際、貼付面の四隅を押しつけるようにしてください。
- ⑧フロントカメラ貼付後、車両外側から見て両面テープの部分に気泡がないことを確認してください。
- ⑧フロントカメラ貼付時、⑧フロントカメラのコードをルーフライニングにまっすぐ引き込んでください。曲がっていると脱落の原因となります。



アドバイス

- ⑧フロントカメラ貼付後、貼付基準用のマーキングを剥がしてください。
- 運転席側に貼り付ける際は、基準線Aに⑧フロントカメラ貼付面の左端を合わせて貼り付けてください。

●配線のしかた

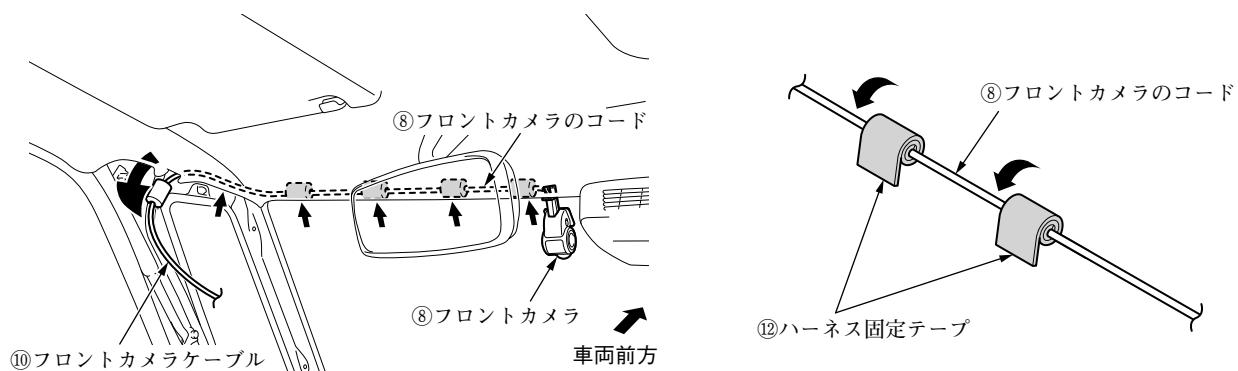
カットした⑫ハーネス固定テープや⑪バンドクランプを使用して、⑧フロントカメラのコード、⑩フロントカメラケーブルおよび⑦電源ケーブルを固定しながらナビゲーションユニットまで配線してください。

!**警告**

- コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと交通事故の原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない
エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグでナビゲーションや部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。作業に際しては、車両に付属のオーナーズマニュアルやサービスマニュアルに記載された注意事項を確認してから作業を行ってください。

注記

- ルーフライニングを変形させないように注意しながら、⑫ハーネス固定テープを巻いた⑧フロントカメラのコードをルーフライニングの隙間に押し込んでください。



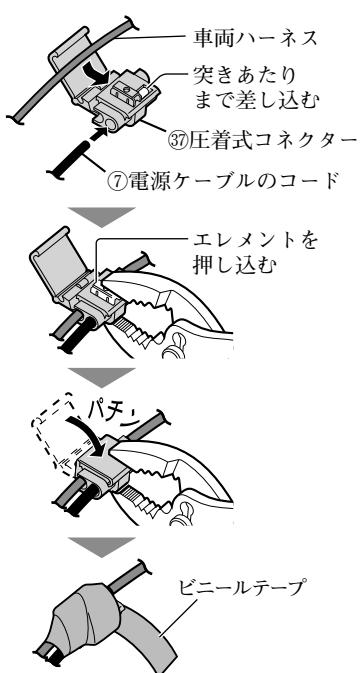
- コードをドライバーなどの先のとがったもので押したりしないでください。コードが傷つき故障の原因となります。
- フロントピラーインナートリムを取り付けた際に⑧フロントカメラのコードおよび⑩フロントカメラケーブルをかみ込まない位置に配線してください。

👉 アドバイス

- ⑫ハーネス固定テープは、はさみ等で切って使用してください。
- ルーフライニングが下げるときに、リムーバー等を使用すると作業が容易に行えます。
- ⑬保護シートは、はさみ等で寸法通り切って使用してください。
- ⑯保護シートの寸法については、「車種別取付要領」を必ず参照してください。
- ⑪バンドクランプの余長部分は3~5mm残し、ニッパー等で切り取ってください。
以降の作業も同様に行ってください。
- ⑦電源ケーブルの3Pコネクター（オス）は、ナビゲーションの電源ハーネスの3Pコネクター（メス）に接続します。
- パナソニック製ETC2.0車載器と同時に装着する場合は、ETCを接続した後に、ETC2.0車載器の電源コードの3Pコネクター（メス）に⑦電源ケーブルの3Pコネクター（オス）を接続します。
- メーカーオプションナビの場合、⑦電源ケーブルの3Pコネクター（オス）は、電源ケーブル（別売）の3Pコネクター（メス）に接続します。なお、eビターラに取り付ける場合は⑯圧着式コネクターを使用した専用の接続方法になります。
- 3Pコネクター（オス）及び20Pコネクター（メス）の接続方法については、全車共通の「接続のしかた」を必ず参照してください。



● 圧着式コネクターの取り付け方（eビターラに取り付ける場合のみ）



- ⑦電源ケーブルの各コードを⑯圧着式コネクターで接続先車両ハーネスの+Bコード、ACCコード、GNDコードに接続してください。
- ⑯圧着式コネクターの接続部にビニールテープを貼り付けてください。

注記

- ⑯圧着式コネクターは、他の用品が装着されている場合は、他の用品ハーネスに接続してください。
- 同一コネクターに複数の⑯圧着式コネクターを接続するため、接続位置をずらしてください。
- 一度使用した⑯圧着式コネクターは再使用しないでください。誤って接続した場合、⑯圧着式コネクターを接続先に付けたまま分岐コードを切断し、ビニールテープで絶縁処理してください。

以下の項目は、ドライブレコーダー（連動2カメラ）のリヤカメラ専用の記載です。

別冊の追補版を参照して作業を行ってください。

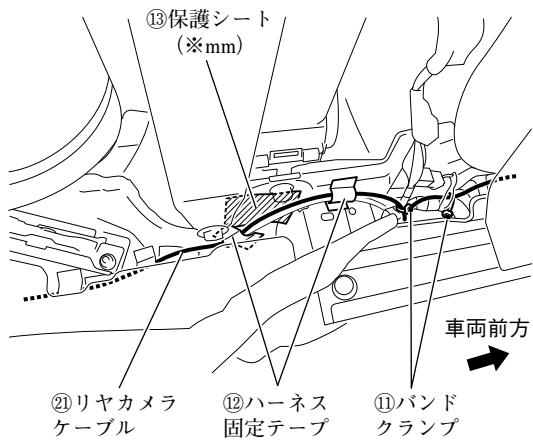
- **リヤカメラの取付条件について**
- **リヤカメラ取付前の準備**
- **リヤカメラの取付方法**
- **リヤカメラケーブル配線（バックドア内）**

● 各ケーブルの配線方法

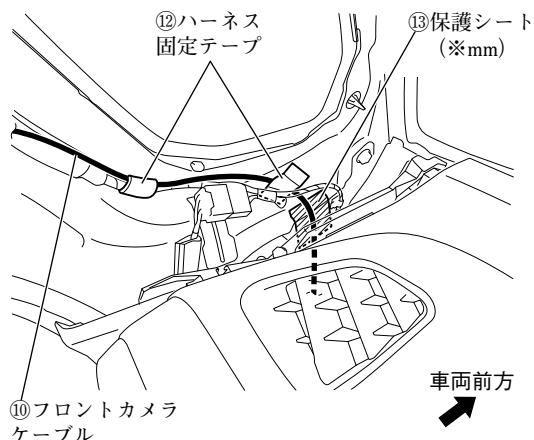
注記

他の用品の配線や、コントローラー等と干渉したり、悪影響を与えるないように注意して配線をしてください。

左Bピラー下部



左フロントピラー部



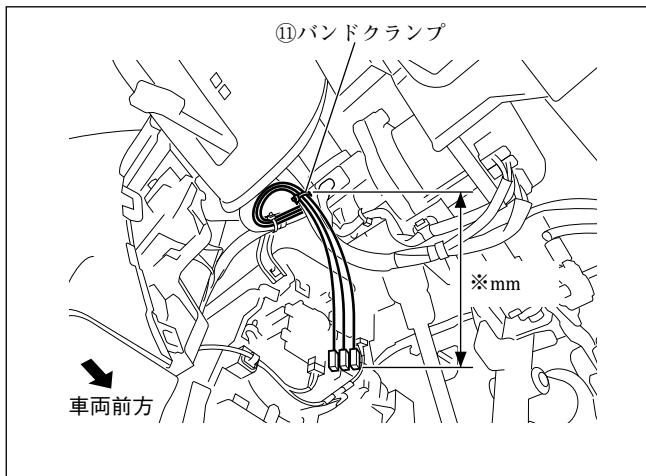
- (1) 各ケーブルを⑪バンドクランプおよび⑫ハーネス固定テープで固定しながら①ドライブレコーダー本体取付部付近まで配線してください。

注記

- 経路上に車両エッジがある場合は、⑬保護シートを貼ってください。
- 貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- ①ドライブレコーダー本体取付部については、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。

アドバイス

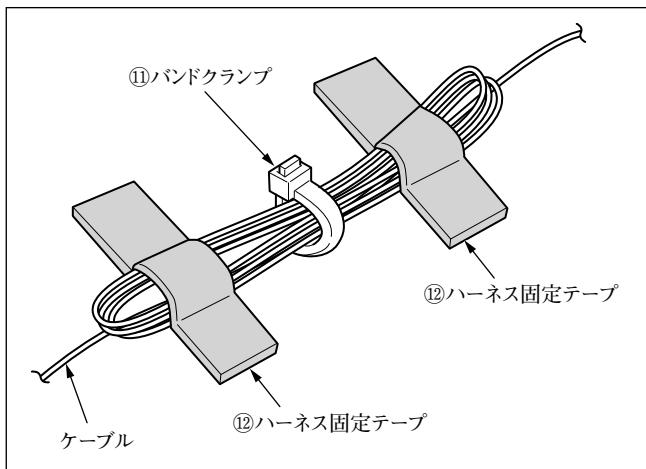
- ケーブルの配線については、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。
- ⑫ハーネス固定テープおよび⑬保護シートは、はさみ等で切って使用してください。
- ⑬保護シートの寸法については、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。
- ⑪バンドクランプの余長部分は切り取ってください。
- 以降の作業も同様に行ってください。



- (2) 図に従い、各ケーブルを車両クランプから※mm確保し、⑪バンドクランプで車両ハーネスに固定してください。
- (3) 各ケーブルを⑪バンドクランプで車両ハーネスに固定してください。

👉 アドバイス

①ドライブレコーダー本体取付部については、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。



- (4) 各ケーブルの余長は、「車種別取付要領」の指示に従い、⑪バンドクランプおよび⑫ハーネス固定テープで束ねて固定してください。

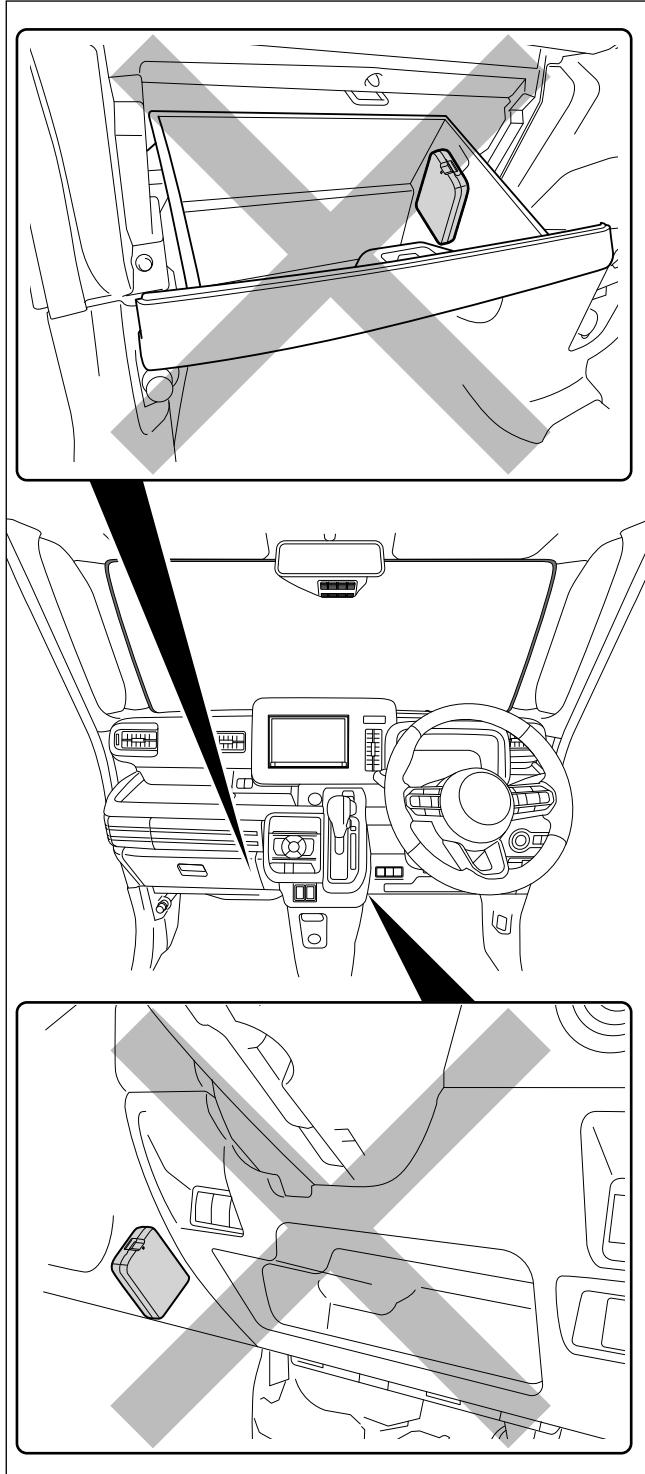
👉 アドバイス

余長固定位置および固定方法については、「車種別取付要領」を必ず参照してください。

● ドライブレコーダー本体の取付条件について

注記

① ドライブレコーダー本体と他の取付位置が重なる場合は、① ドライブレコーダー本体の取付位置を優先してください。



注記

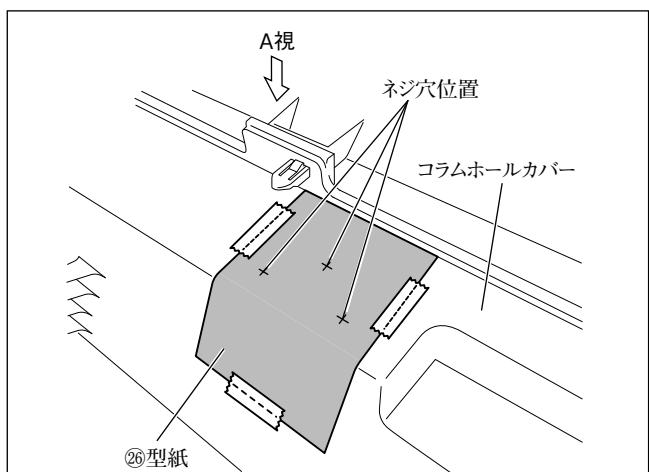
グローブボックス等の可動するような場所に① ドライブレコーダー本体を取り付けしないでください。衝撃を正しく検知できず、誤って作動したり衝撃があっても作動しないことがあります。

注記

運転席の足元付近など、搭乗者が容易に触れてしまうような場所に① ドライブレコーダー本体を取り付しないでください。長時間、身体に触れていると低温やけどをおこすおそれがあります。

● 車両部品の加工方法

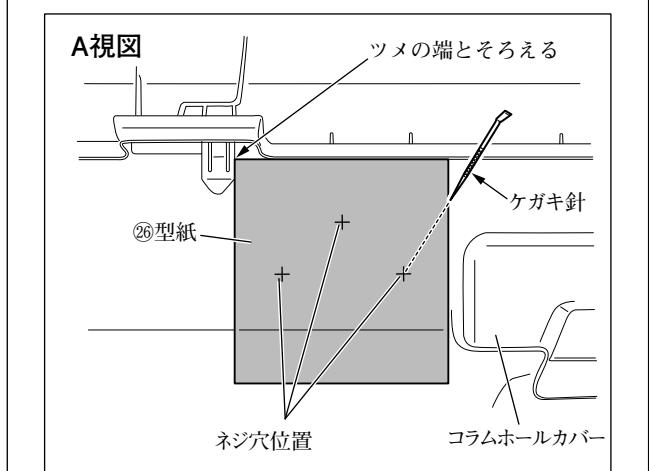
■ 同梱部品の車両側ブラケットを使用しない場合



- (1) ②6型紙を当て、ケガキ針を使用してマーキング（3箇所）してください。

アドバイス

マーキングについては、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。



- (2) ②6型紙を外し、車両部品傷付き防止のため、電動ドリル（ $\phi 4\text{mm}$ ）先端から約10mmの位置にストッパーとなるようにガムテープを巻き付けてください。

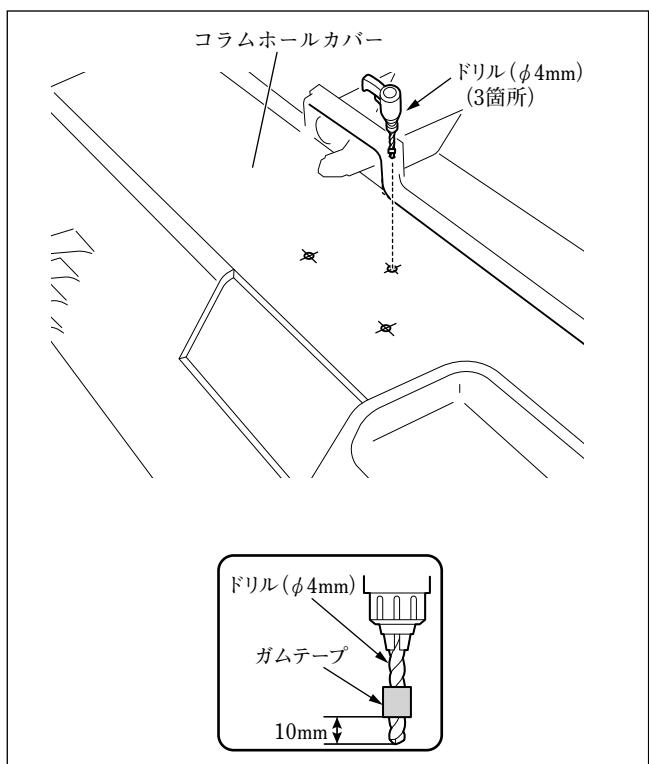
- (3) マーキング（3箇所）に電動ドリルで $\phi 4\text{mm}$ の穴を開けてください。

注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

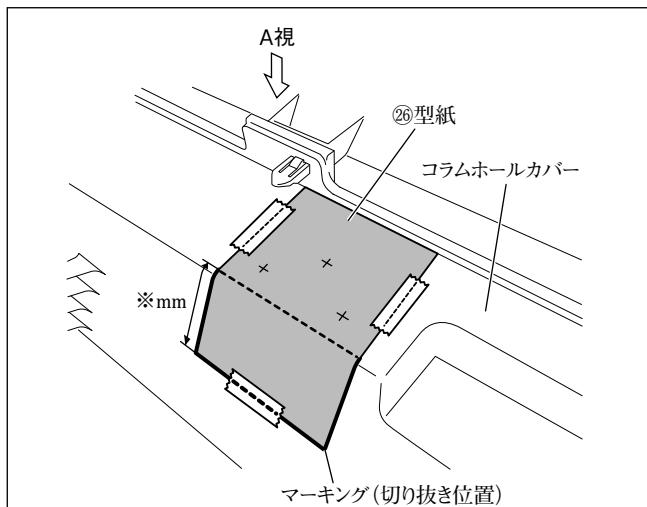
注記

ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。



- (4) 取付穴のバリ・エッジをヤスリで取り除いてください。

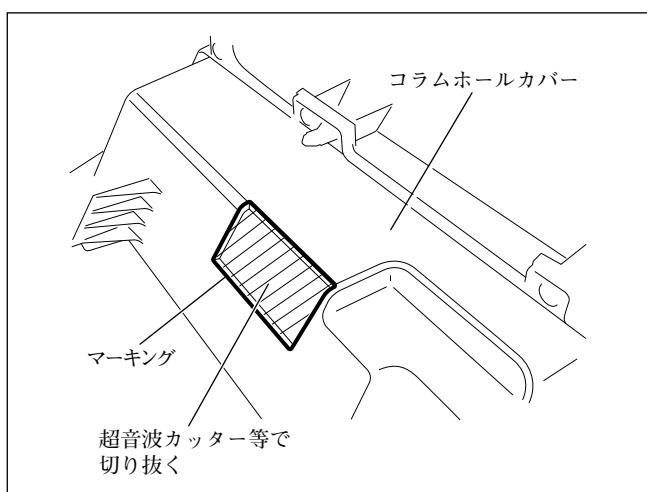
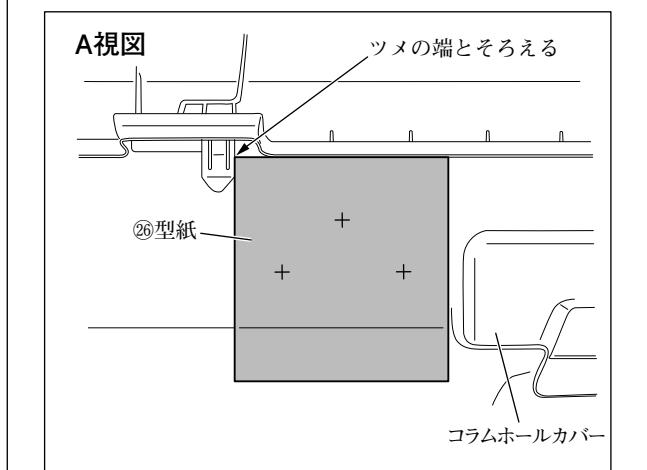
■ドライブレコーダー本体を通す穴を加工する場合



- (1) 図に従い、油性ペン等を使用してマーキングしてください。

➔ アドバイス

- ②6型紙を使用する場合は、ネジ穴のマーキングと一緒に①ドライブレコーダー本体を通す穴のマーキングをしてください。(一度②6型紙を当てたら両方のマーキングが終わるまで②6型紙を外さないでください。)
- マーキングについては、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。



- (2) マーキング位置の内側に沿って超音波カッター等で穴を開けてください。

⚠ 注意

切り取る際は、耐切創手袋を使用してください。

- (3) 取付穴のバリ・エッジを取り除いてください。

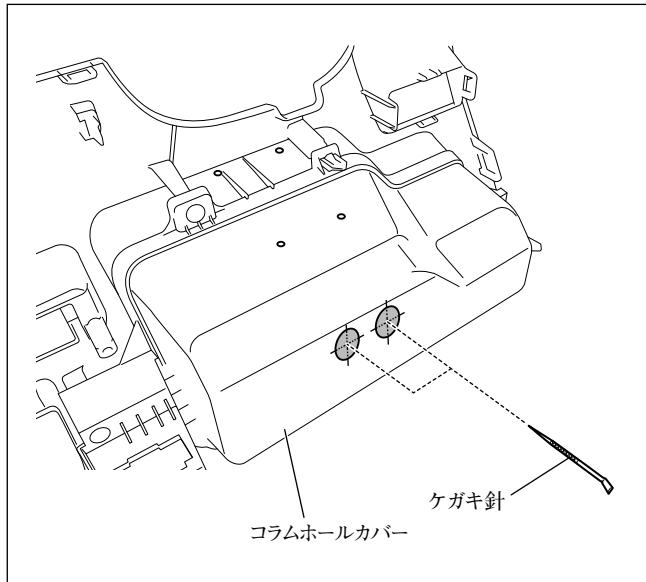
注記

穴を開けたら①ドライブレコーダー本体を仮組みし、コラムホールカバーと干渉していないことを確認してください。干渉している場合は、コラムホールカバーを削り過ぎに注意しながら削り、調整してください。

➔ アドバイス

最初は粗目のヤスリでバリを取り除き、仕上げを細目のヤスリで毛羽立ちが無くなるようにしてください。(切断部が「ザラザラ」しないようにしてください。)

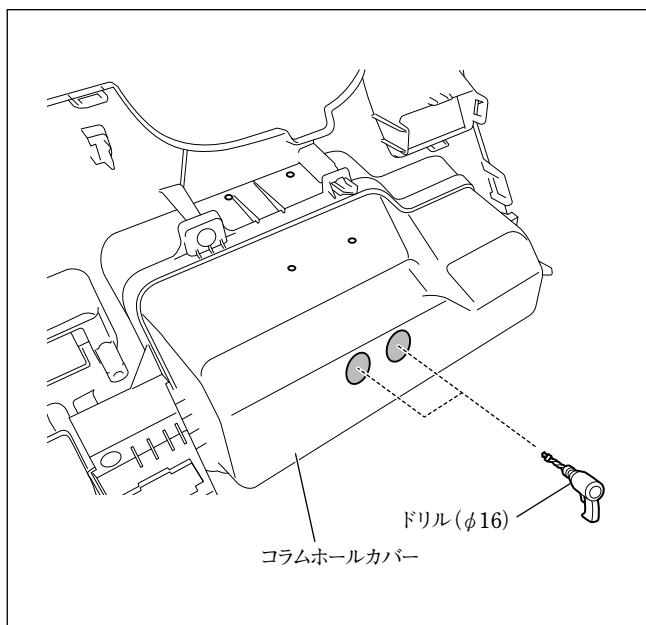
■配線を通す穴を加工する場合



- (1) 図に従い、ケガキ針を使用してマーキングしてください。

アドバイス

マーキングについては、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。



- (2) マーキングにホールソーで ϕ 16mmの穴を開けてください。

注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

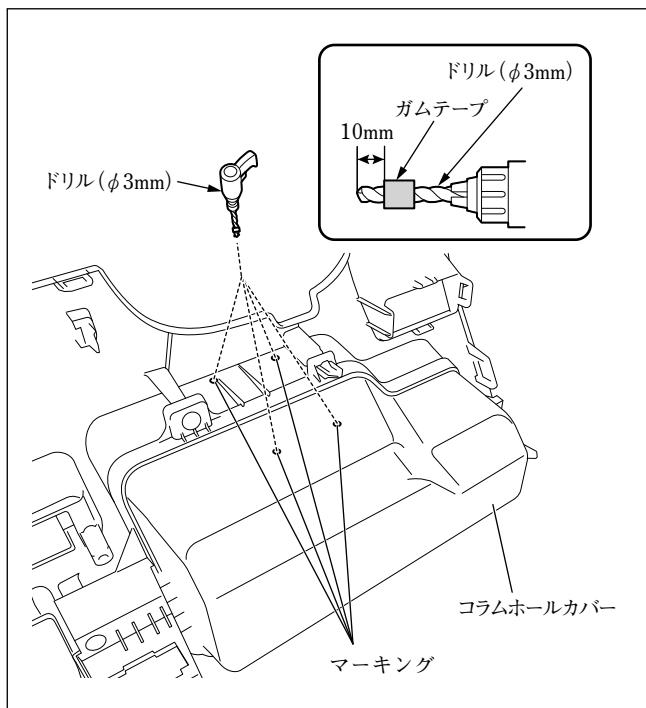
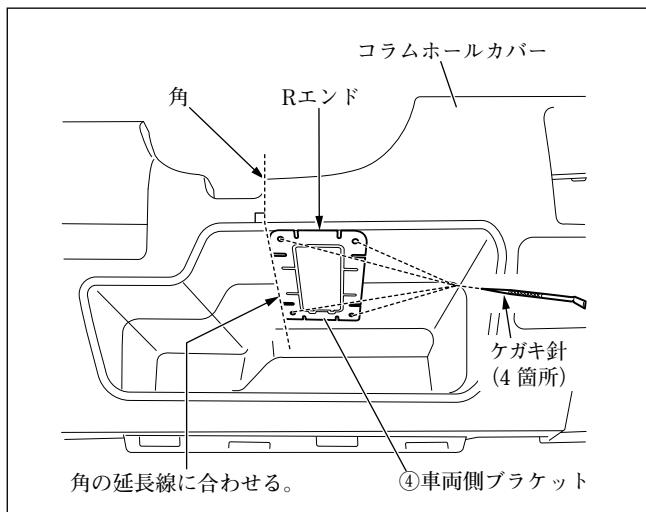
ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。

- (3) 取付穴のバリ・エッジをヤスリで取り除いてください。

■同梱部品の車両側ブラケットを使用する場合

👉 アドバイス

- ④車両側ブラケットは、①ドライブレコーダー本体取付部が曲面の場合に、車両部品と②本体ブラケット間に取り付けます。



- (1) 図に従い、④車両側ブラケットを当て、ケガキ針を使用してマークイング（4箇所）してください。

👉 アドバイス

マークイングについては、車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。

- (2) 図に従い、車両部品傷付き防止のため、電動ドリル（ $\phi 3\text{mm}$ ）先端から約10mmの位置にストッパーとなるようにガムテープを巻き付けてください。
 (3) マークイング（4箇所）に電動ドリルで $\phi 3\text{mm}$ の穴を開けてください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

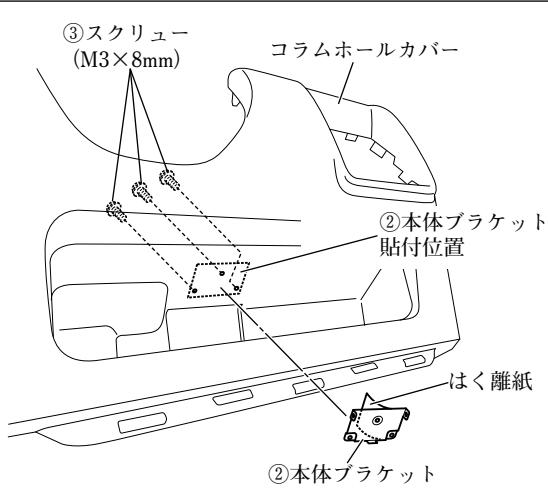
注記

ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

- (4) 取付穴のバリ・エッジをヤスリで取り除いてください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

■ 同梱部品の車両側ブラケットを使用しない場合



👉 アドバイス

貼付位置が平面の場合は、④車両側ブラケットを使用しません。

- (1) ②本体ブラケットのはく離紙をはがし、穴の位置が合うように貼り付けてください。

注記

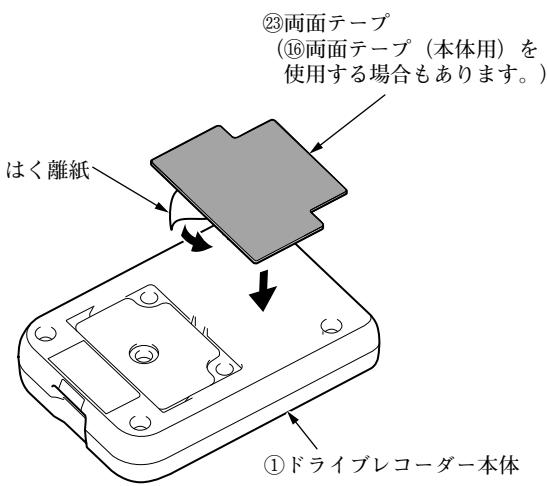
貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分に拭き取ってください。

- (2) ③スクリュー (M3×8mm) で②本体ブラケットを固定してください。

- (3) ②③両面テープや⑯両面テープ（本体用）を①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

👉 アドバイス

②③両面テープや⑯両面テープ（本体用）を加工する場合があります。車種別に必要な要領が記載されている「車種別取付要領」を必ず参照してください。



- (4) ①ドライブレコーダー本体と②両面テープおよび⑯両面テープ（本体用）のはく離紙をはがしてください。

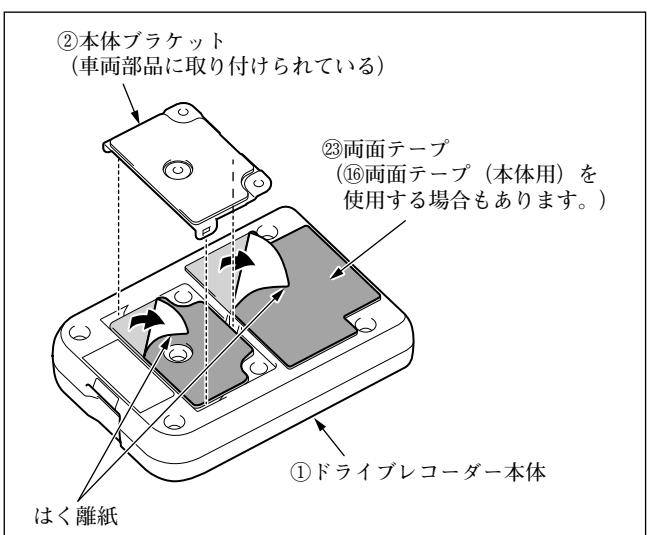
- (5) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付けてください。

注記

- 貼付位置（車両部品）表面のよごれ、水分、油分を十分に拭き取ってください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

👉 アドバイス

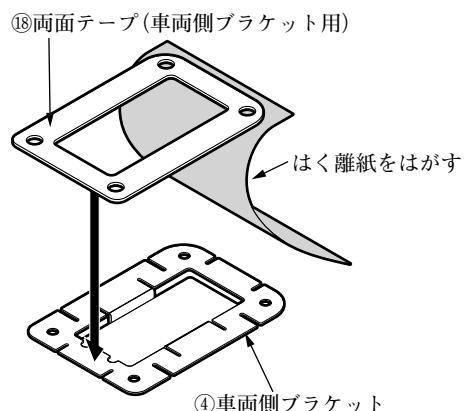
車種によっては、②両面テープや⑯両面テープ（本体用）の形状が図と異なりますが、同様にはく離紙をはがしてください。



■同梱部品の車両側ブラケットを使用する場合

👉 アドバイス

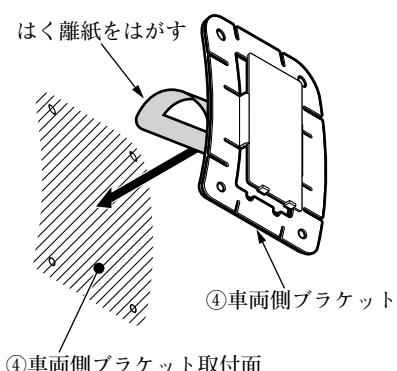
④車両側ブラケットは、①ドライブレコーダー本体取付部が曲面の場合に、車両部品と②本体ブラケット間に取り付けます。



👉 アドバイス

④車両側ブラケットは、貼付位置が平面でない場合に使用します。

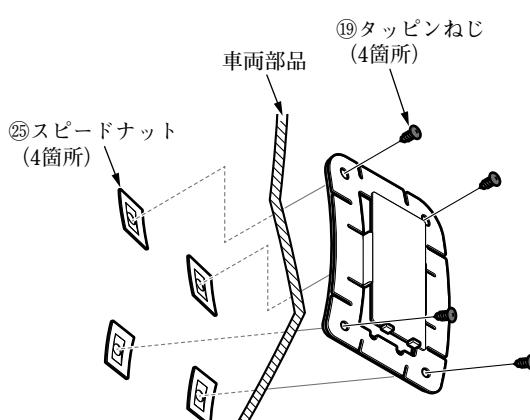
(1) ⑧両面テープ（車両側ブラケット用）を④車両側ブラケットに貼り付けてください。



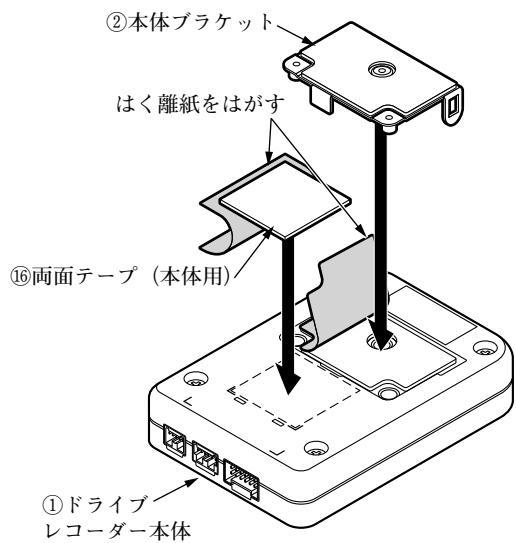
(2) ④車両側ブラケットのはく離紙をはがし、穴の位置が合うように貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 取付穴位置がずれないように貼り付けてください。
- 取り付ける位置が平面でない場合は、形状に合わせて④車両側ブラケットを変形させてください。
- ④車両側ブラケットの向きを間違えないよう注意してください。



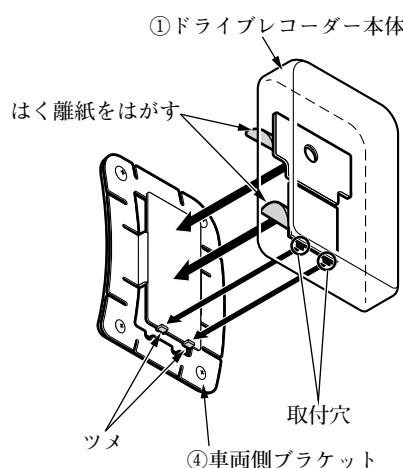
(3) ⑯スピードナットおよび⑰タッピングねじで、④車両側ブラケットを固定してください。



- (4) ①ドライブレコーダー本体と⑯両面テープ (本体用) のはく離紙をはがしてください。
- (5) ②本体ブラケットと⑯両面テープ (本体用) を①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。



- (6) ①ドライブレコーダー本体に貼り付けた②本体ブラケットと⑯両面テープ (本体用) のはく離紙をはがしてください。
- (7) ①ドライブレコーダー本体の取付穴を④車両側ブラケットのツメにはめ込んでください。

注記

- 貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。

車両部品の復元

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- (1) 車両部品は取り外しと逆の手順にて確実に取り付けてください。ボルト等の締め付けは、サービスマニュアルを参照して規定の締付トルクで行ってください。
- (2) バッテリーの \ominus 側端子を取り付けてください。
- (3) バッテリーを外すことにより初期設定に戻るもの、また、データの消えるものは再度、設定してください。

既設部品の点検

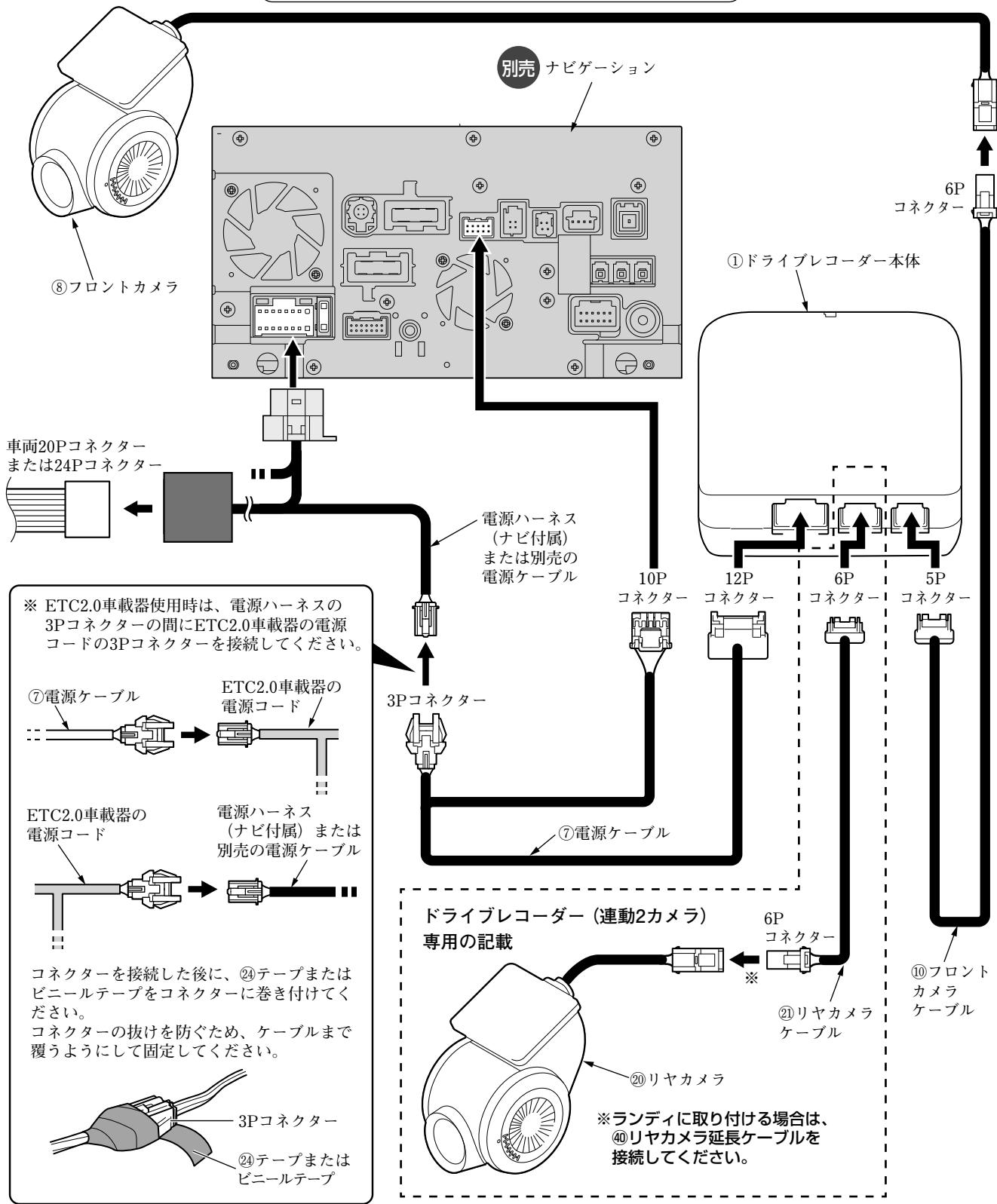
注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

ホーン、ワイパー等の電装品が正しく動作するか確認してください。

接続のしかた

パナソニック製ディーラーオプションナビと接続する場合



アドバイス

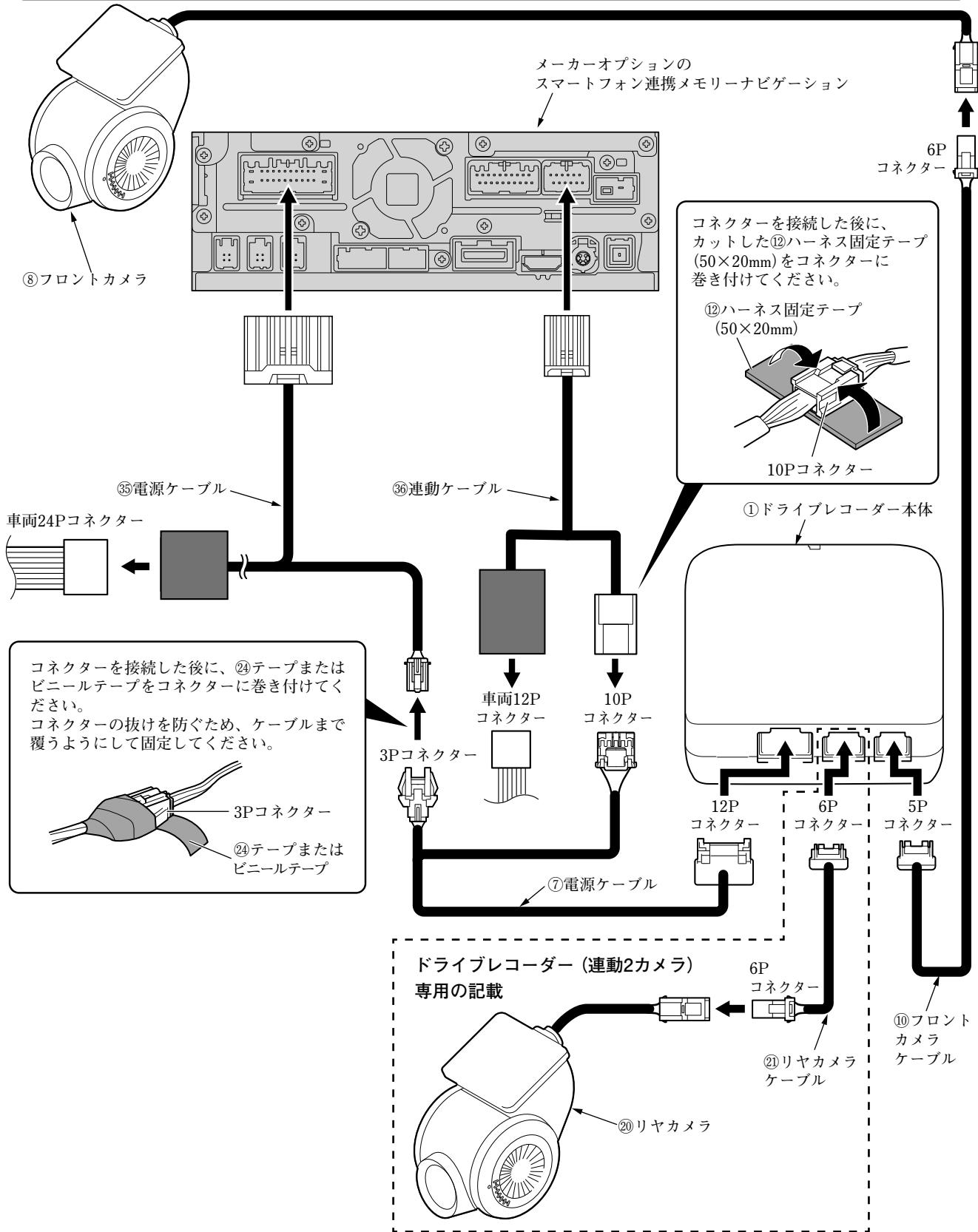
最新の接続対応機種については、下記サイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

👉アドバイス

⑯～⑰は、別売品ドライブレコーダー用電源ケーブルの同梱品です。

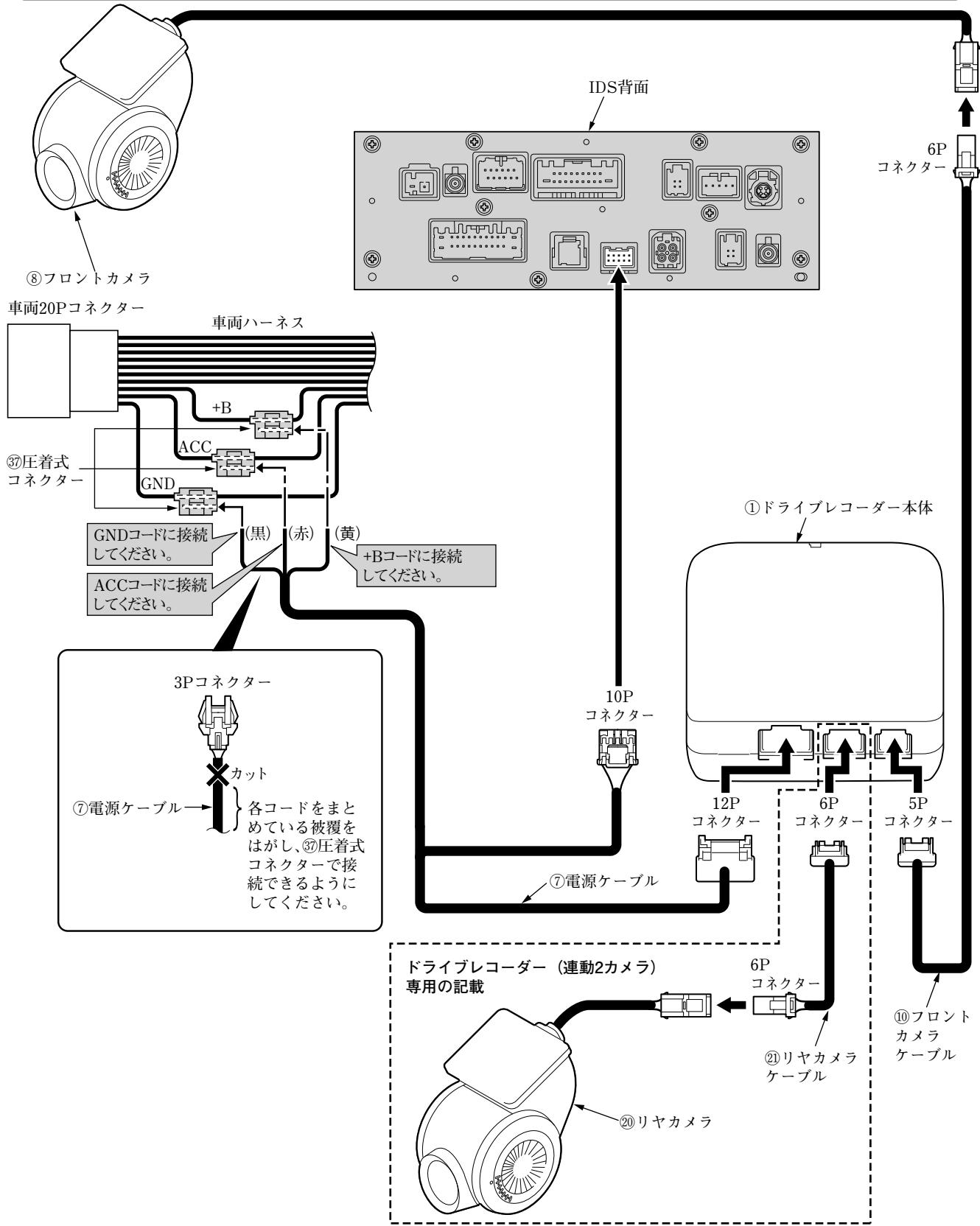
メーカーオプションナビとドライブレコーダーを接続する場合



👉アドバイス

⑦は、別売品圧着式コネクターの同梱品です。

eビターラのメーカーオプションナビとドライブレコーダーを接続する場合



取付・配線の確認

👉 アドバイス

ここではパナソニック製ディーラーオプションナビについて記載しています。メーカーオプションナビについてはメーカーオプションナビの説明書を参照してください。

注記

- 配線が正しく接続されたか、目で確認してから以降の作業を行ってください。
- 取付後の作動確認時、「初期画面」では、絶対に電源（キースイッチ）を切ったり、その他のボタン操作をしないでください。
- 電源（キースイッチ）を切ったり、ボタン操作をすると正常に作動しない場合があります。

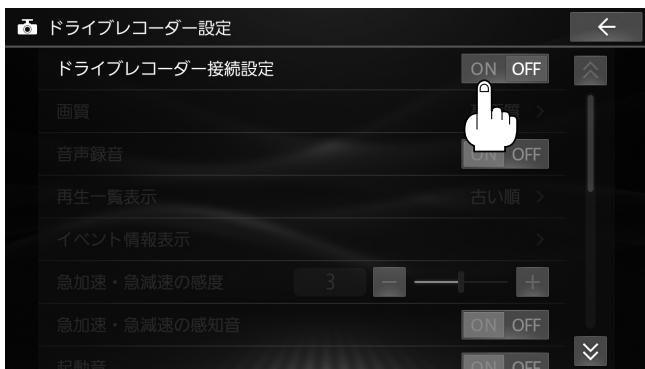
- (1) バッテリーの \ominus 端子を接続し、電源（キースイッチ）を入れます。
 - ナビゲーションの電源が入ります。
 - 安全上のご注意が表示されます。
 - 安全上のご注意表示後に現在地画面（自車位置）が表示されます。
 - 現在地画面が表示されるまで車を発進させないでください。（システムの起動準備中のため）
- (2) ナビゲーションの**MENU**ボタンを押します。
 - メニュー画面が表示されます。
- (3) 画面の \blacktriangleright をタッチします。



- (4) 画面の**ドライブレコーダー**をタッチします。
 - ドライブレコーダー画面が表示されます。



(5) 画面の**「ドライブレコーダー設定」**をタッチします。

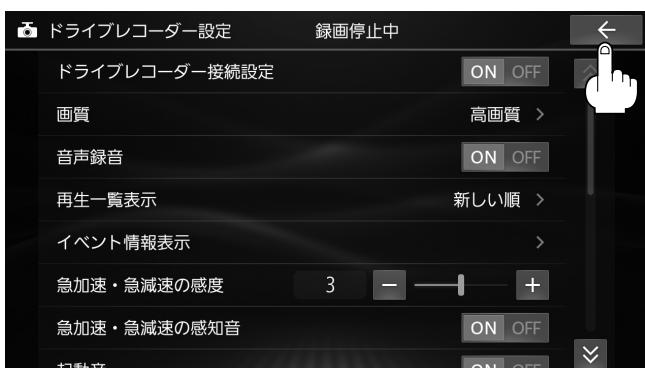
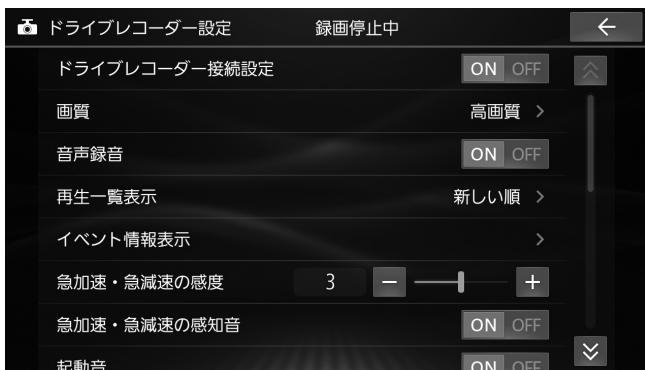


(6) ドライブレコーダー設定画面が表示されます。

(7) 画面の**ON**をタッチし、ドライブレコーダーと接続させます。

注記

ナビの初期設定では**OFF**に設定されています。



(8) 画面の**←**をタッチします。



(9) ナビゲーションの**MENU**ボタンを押します。

- メニュー画面が表示されます。

(10) 画面の**情報・設定**をタッチします。

- 情報・設定画面が表示されます。

(11) 画面の**システム情報・設定**をタッチします。

- システム情報・設定画面が表示されます。

(12) 画面をスクロールさせて**拡張ユニット情報**を表示させ、画面の**拡張ユニット情報**をタッチします。

- 拡張ユニット情報画面が表示されます。

(13) 拡張ユニット情報を確認します。

ドライブレコーダー	接続済み表示になっていますか？
-----------	-----------------

作動確認・取付調整・カードの初期化

👉 アドバイス

ここではパナソニック製ディーラーオプションナビについて記載しています。メーカーオプションナビについてはメーカーオプションナビの説明書を参照してください。



- (1) ナビゲーションの **MENU** ボタンを押します。

● メニュー画面が表示されます。

- (2) 画面の **>** をタッチします。



- (3) 画面の **ドライブレコーダー** をタッチします。

● ドライブレコーダー画面が表示されます。

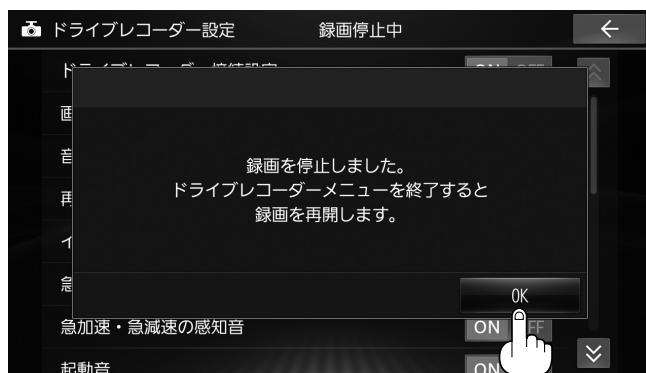
● リヤカメラ録画の選択

👉 アドバイス

「リヤカメラ録画の選択」はドライブレコーダー（連動2カメラ）専用の記載です。



- (1) 画面の **ドライブレコーダー設定** をタッチします。



- (2) 画面の **OK** をタッチします。



- (3) ドライブレコーダー設定画面が表示されます。

- (4) 画面の **▽** または **△** をタッチしてスクロールし、**リヤカメラ録画** を表示させます。



- (5) **リヤカメラ録画** をタッチします。



(6) **する**をタッチします。

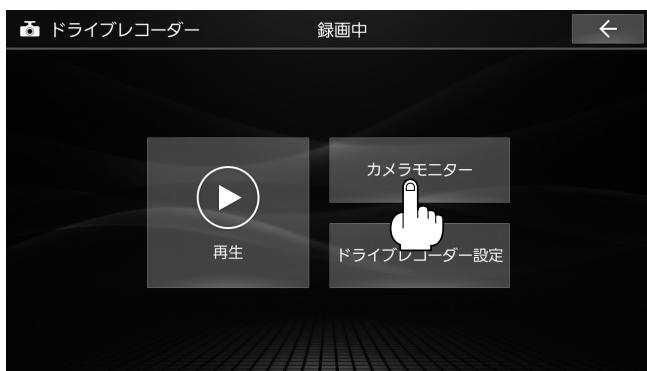
注記

ナビの初期設定では**しない**に設定されています。



(7) **←**をタッチします。

● ドライブレコーダーの作動確認



(1) 画面の **カメラモニター** をタッチします。

- ドライブレコーダーの画像（前方映像）が表示されます。



(2) ドライブレコーダーの画像（前方映像）を確認します。

(3) 画面の **切替** をタッチします。

(リヤカメラ録画する選択時のみ)

- ドライブレコーダーの画像（後方映像）が表示されます。

→ アドバイス

画面の **切替** は、リヤカメラ録画する選択時のみ表示されます。



(4) ドライブレコーダーの画像（後方映像）を確認します。(リヤカメラ録画する選択時のみ)

(5) 画面の **←** をタッチします。

● 取付調整

注記

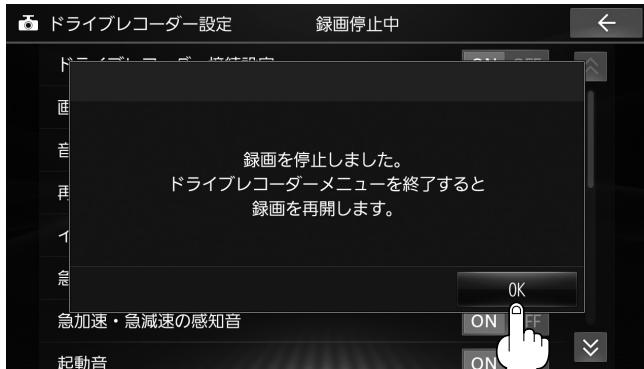
ドライブレコーダーの取り付けを行った後、または再度取り付け角度を変更した場合もこの調整を実施してください。取付調整が正しく行われていない場合は、ブザーが鳴り続ける場合があります。ブザーが鳴り続ける場合には、再度取付調整を実施してください。



注記

取付調整は、平らな場所に停車している状態で実施してください。

(1) 画面の **ドライブレコーダー設定** をタッチします。

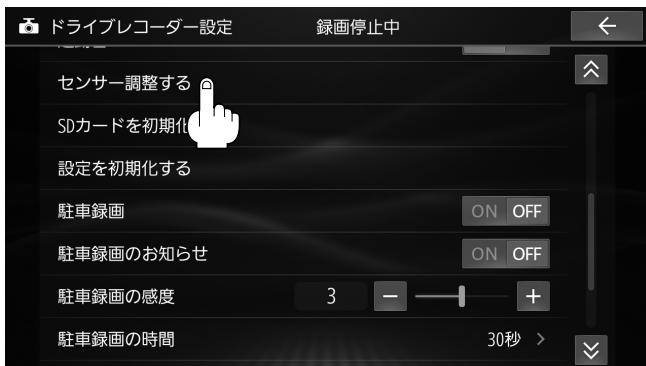


(2) 画面の **OK** をタッチします。



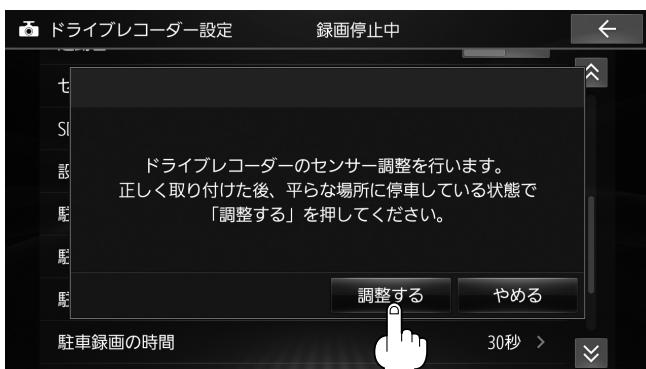
(3) ドライブレコーダー設定画面が表示されます。

(4) 画面の **▽** または **△** をタッチしてスクロールし、**センサー調整する** を表示させます。



(5) **センサー調整する**をタッチします。

- 確認画面が表示されます。

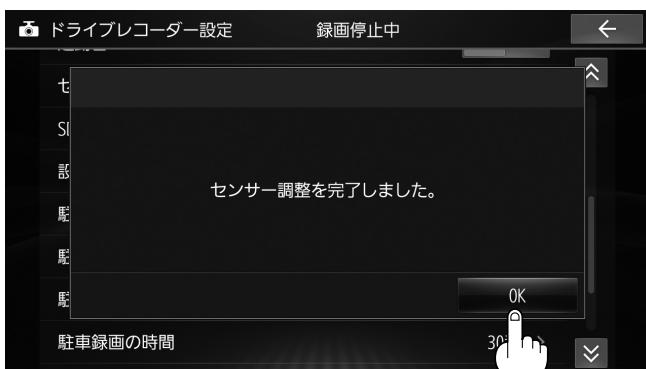


(6) 画面の**調整する**をタッチします。

- 自動的にドライブレコーダーの加速度センサーを最適化します。

注記

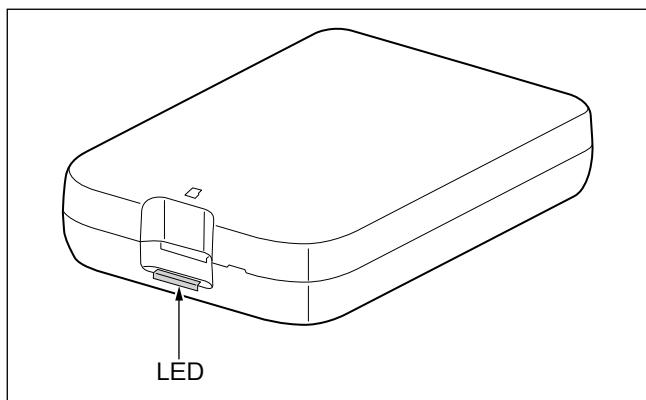
調整中はキースイッチをOFFにしないでください。



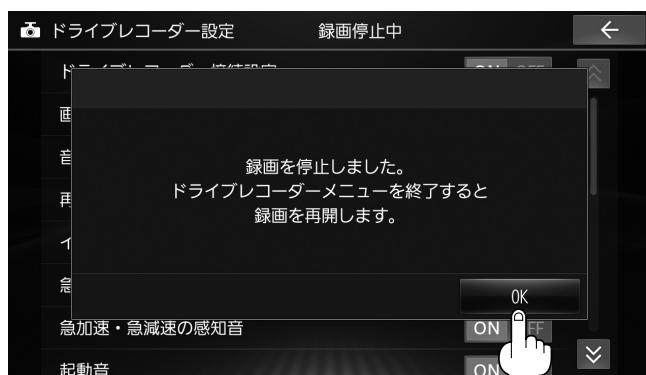
(7) 画面の**OK**をタッチします。

- ドライブレコーダー設定画面に戻ります。

● 取付調整の確認



● 感度調整



注記

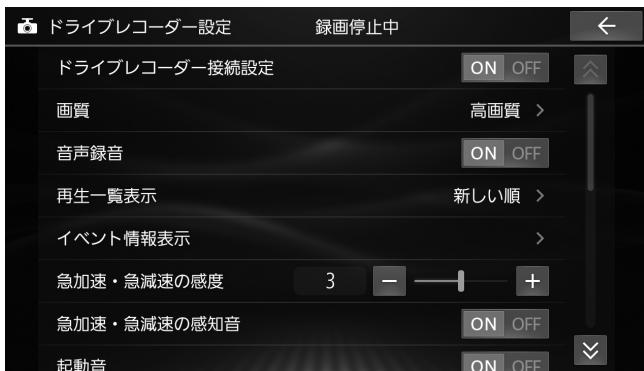
① ドライブレコーダー本体に⑤microSDHCメモリーカードが挿入されていない場合は、挿入してください。

- (1) ナビゲーションの **MAP** ボタンを押します。
 - 地図画面が表示されます。
 - 画面のヘッダーに「常時録画中マーク」が表示されます。
 - 取付調整が正しく行われていない場合や、取付調整の後にドライブレコーダーの角度が変更された場合は、ブザー音（ピーピー… [長く4回]）が鳴り続けます。LEDが橙色に点灯している場合には、再度取付調整を実施してください。

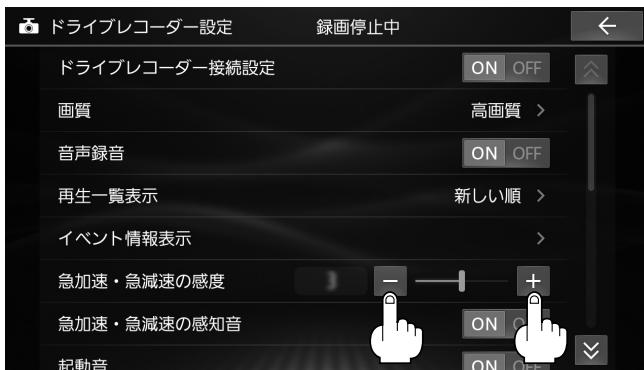
アドバイス

急加速・急減速の感知音がひんぱんに吹鳴する時は、急加速・急減速の感度設定値を下げることにより、頻度を減らすことができます。

- (1) 画面の **ドライブレコーダー設定** をタッチします。
- (2) 画面の **OK** をタッチします。



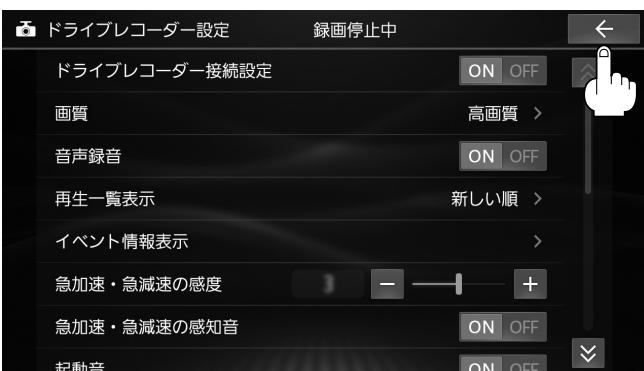
(3) ドライブレコーダー設定画面が表示されます。



(4) 画面の **-**・**+** をタッチし、好みの感度に調整します。

👉 アドバイス

車種によっては、感度の設定値が指定されます。
(「車種別取付要領」参照)



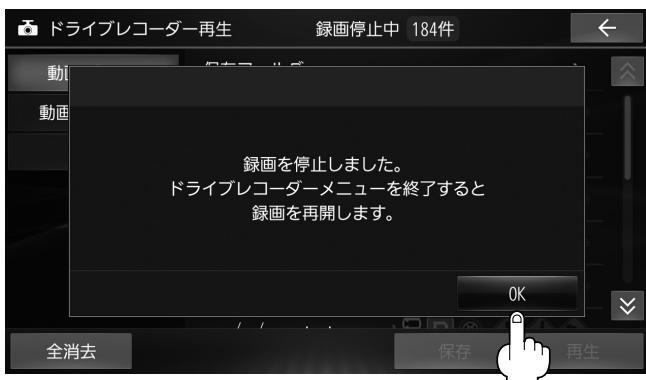
(5) 画面の **←** をタッチします。

● 映像ファイルの削除



(1) 画面の**再生**をタッチします。

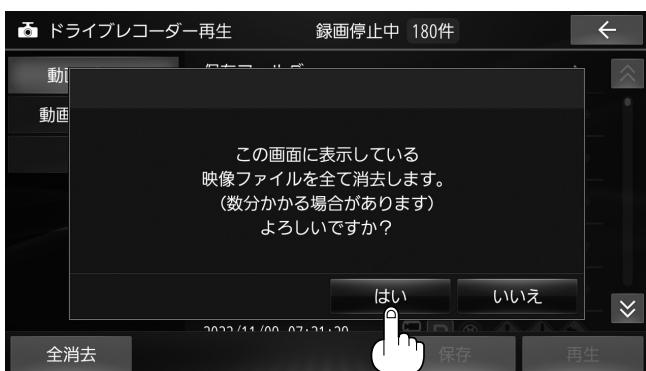
- ⑤microSDHCメモリーカードに録画されたリストが表示されます。



(2) 画面の**OK**をタッチします。

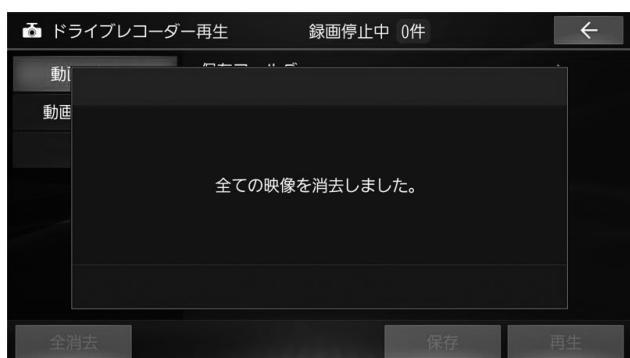


(3) 画面の**全消去**をタッチします。



(4) 画面の**はい**をタッチします。

- ⑤microSDHCメモリーカードに録画されたデータが削除されます。

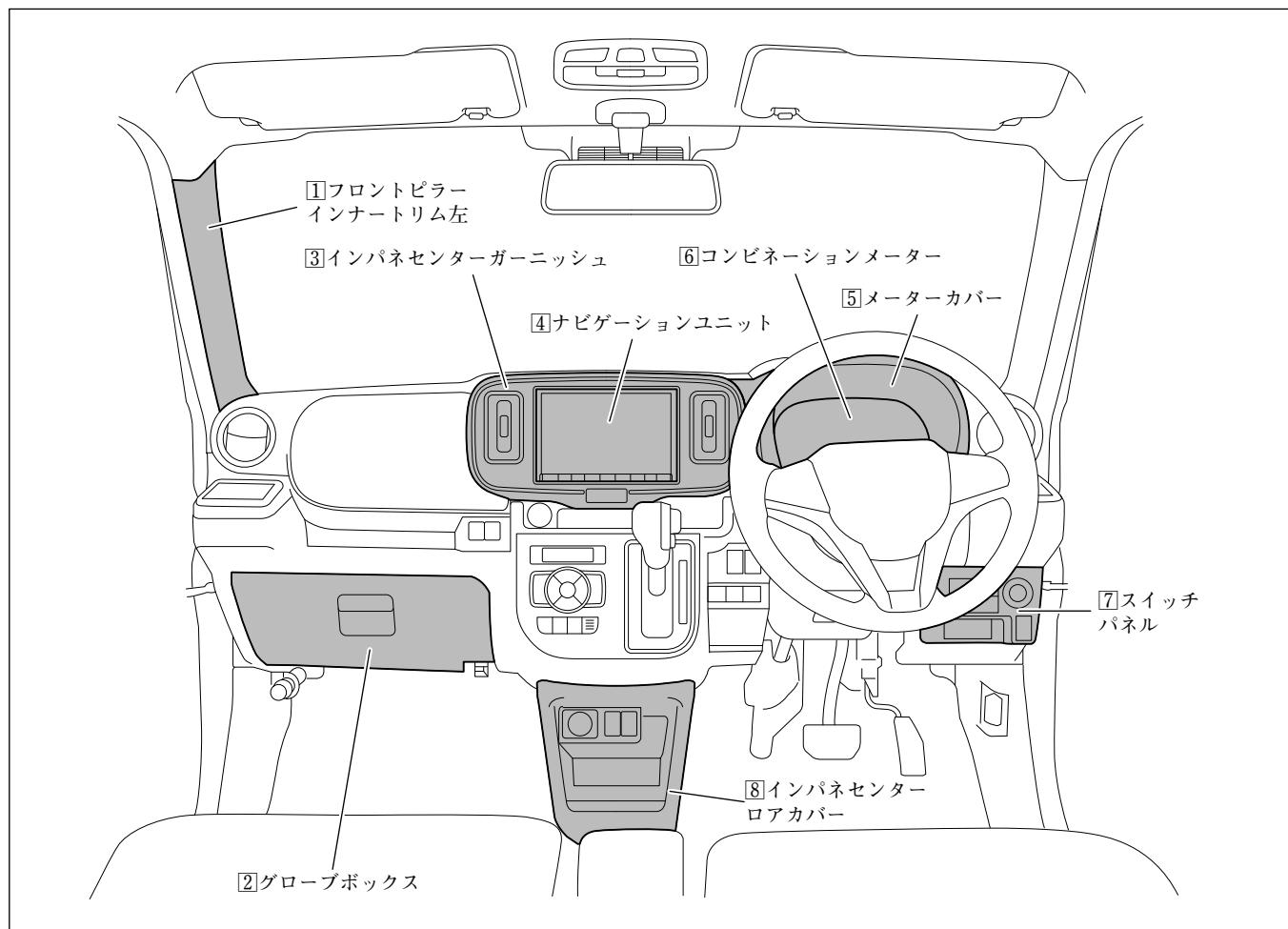


- (5) **全ての映像を消去しました。** メッセージが表示されます。

取付要領**取付作業****アルトの場合****●車両部品の取り外し方法****注記**

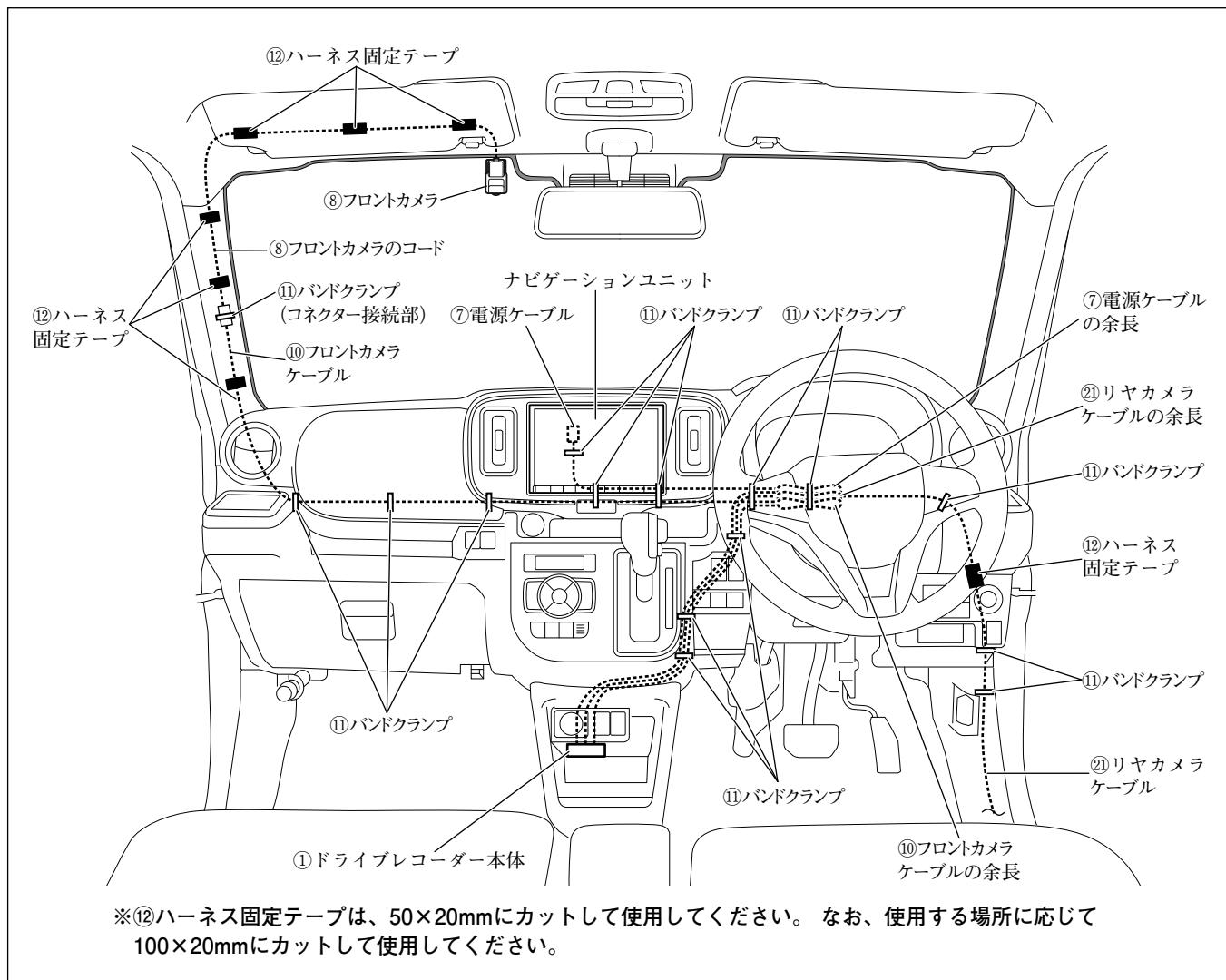
- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

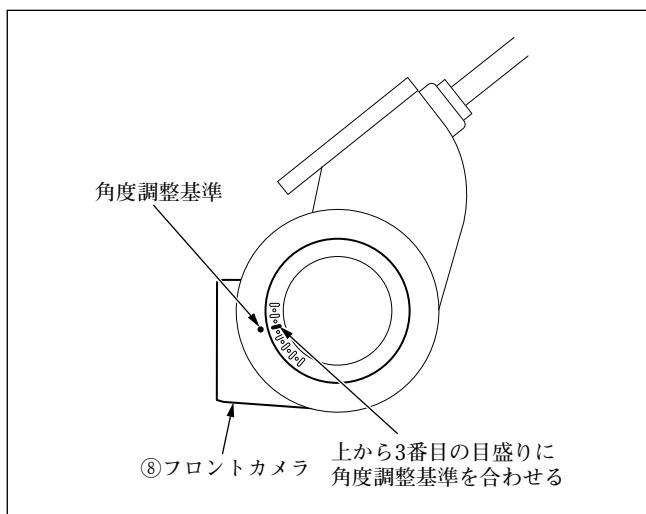
フロントカメラ

● 取付概要

フロントカメラ



● フロントカメラ取付前の準備

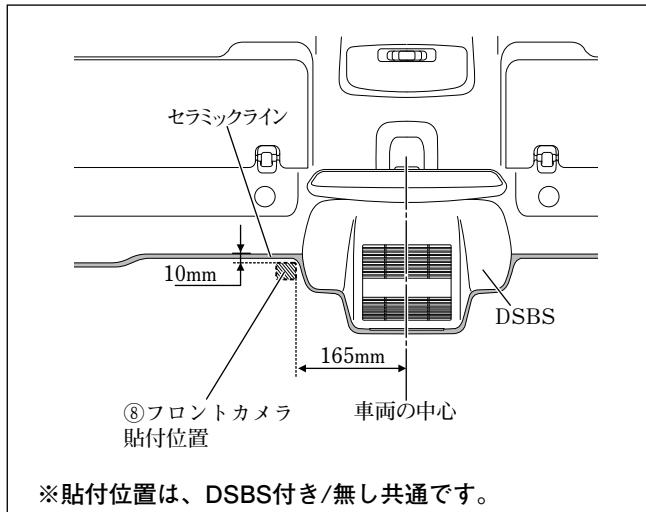


⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

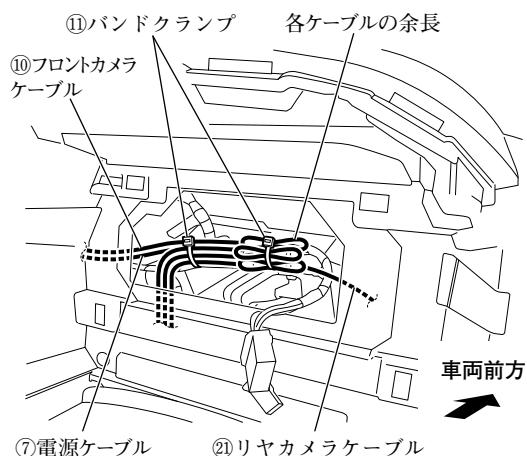
- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

以下の項目は、ドライブレコーダー（連動2カメラ）のリヤカメラ専用の記載です。
別冊の追補版を参照して作業を行ってください。

- **リヤカメラ取付前の準備**
- **リヤカメラの取付方法**
- **リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）**
- **リヤカメラケーブルの配線（車室内）**

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

コンビネーションメーター取付部

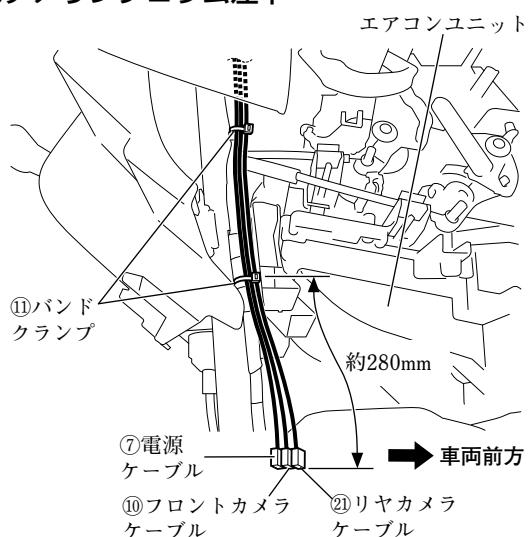


- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

ステアリングコラム左下

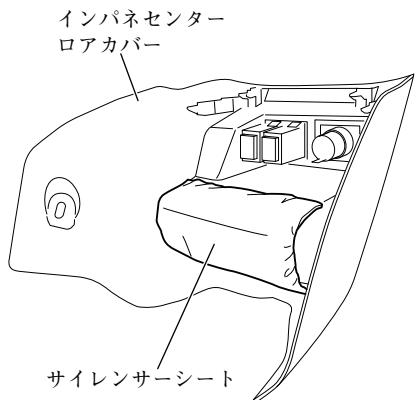


- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。
- (3) ①ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

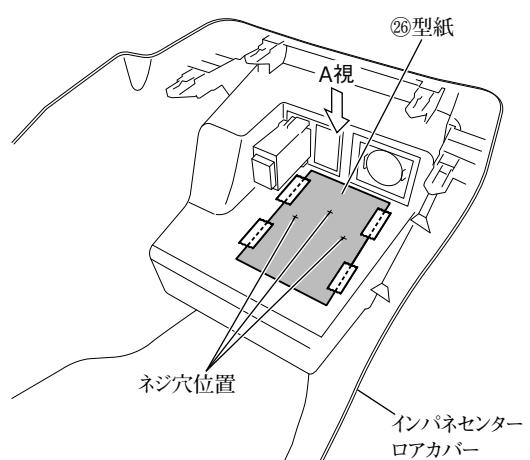
本車両は④車両側ブラケットを使用しません。配線を通す穴を加工します。



- (1) インパネセンターロアカバーからサイレンサーシートをはがしてください。

👉 アドバイス

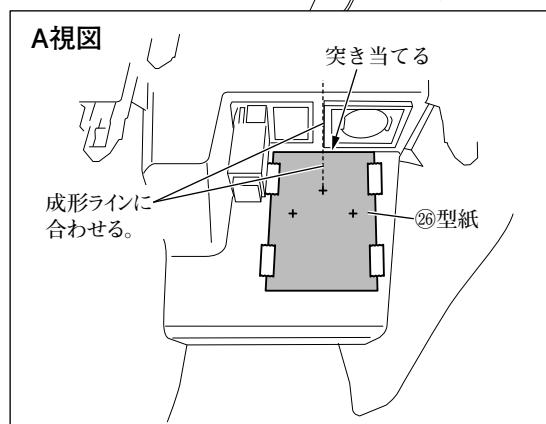
サイレンサーシートは再使用しません。

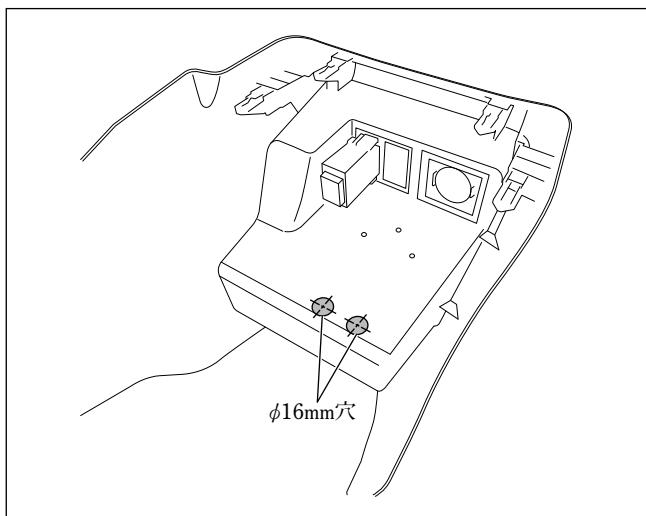
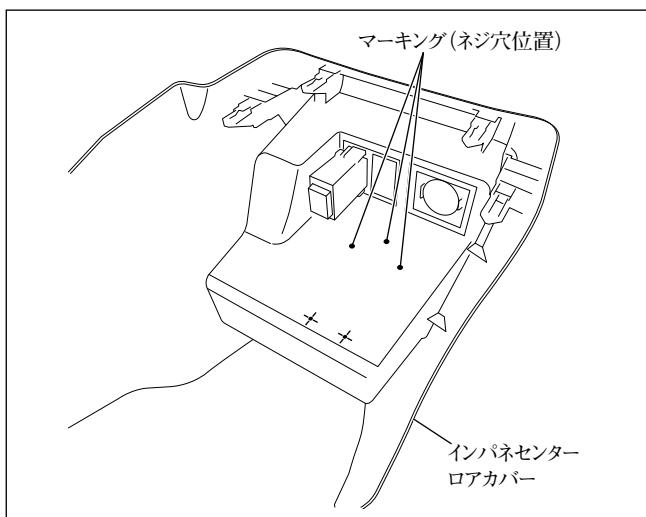
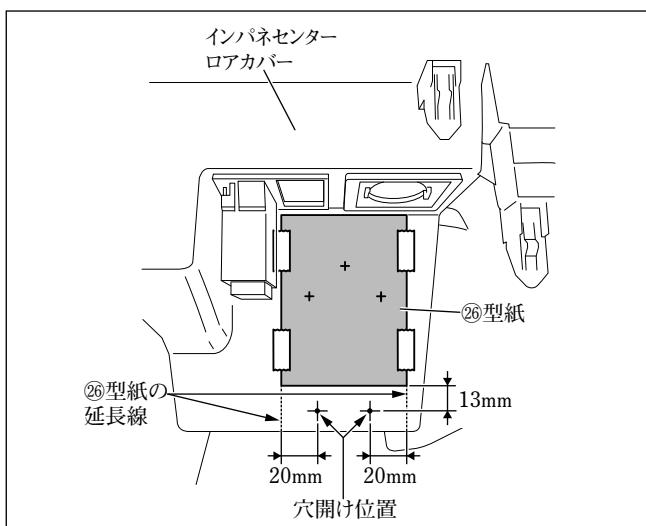


- (2) インパネセンターロアカバーへ②⁶型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。

👉 アドバイス

インパネセンターロアカバーにスイッチ等が取り付けられている場合は、一時的にスイッチ等を取り外してください。





- (3) インパネセンターロアカバーの穴開け位置にマーキングしてください。

注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

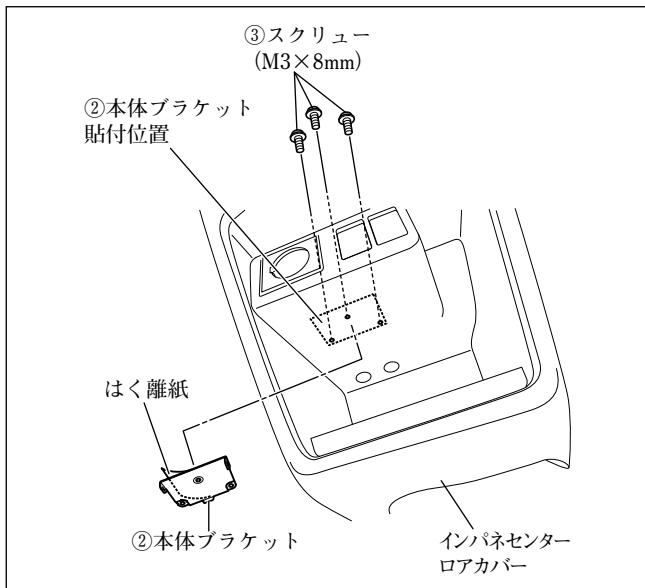
- (5) インパネセンターロアカバーの穴開け位置にホールソーで穴（ $\phi 16mm$ ）を開けてください。

注意

- ホールソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当てるください。

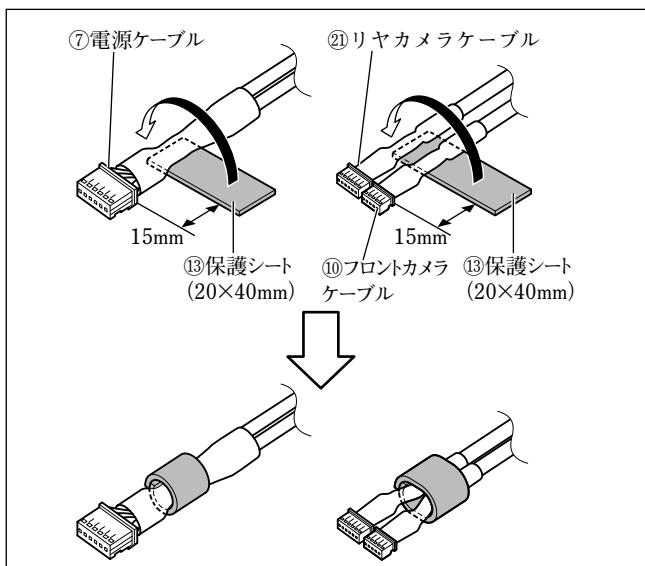


(6) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。

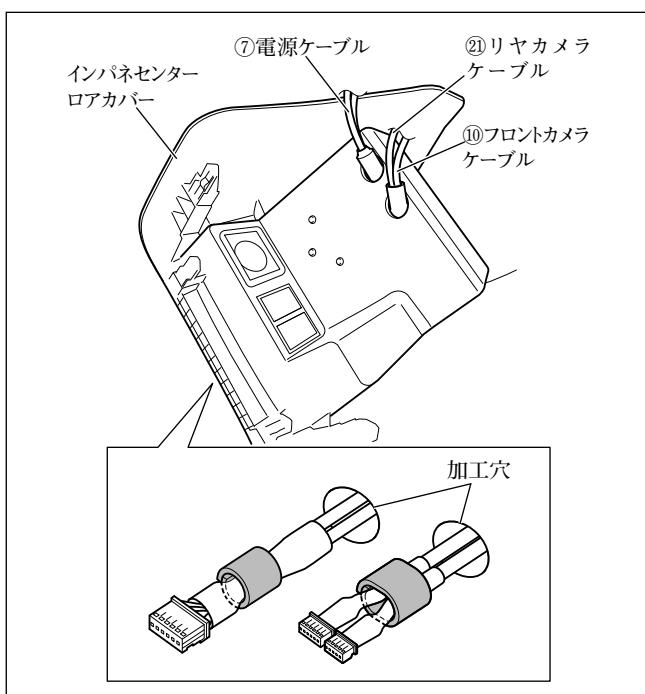
(7) インパネセンターロアカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー (M3×8mm) で固定してください。

注記

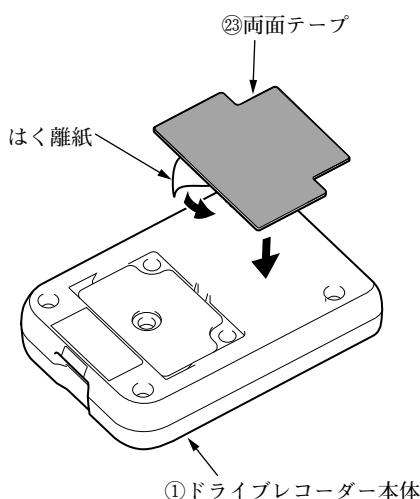
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(8) 配線を保護するため、図示箇所に⑬保護シートを貼り付けてください。



(9) インパネセンターロアカバーの加工穴に本図のようにケーブルを通してください。

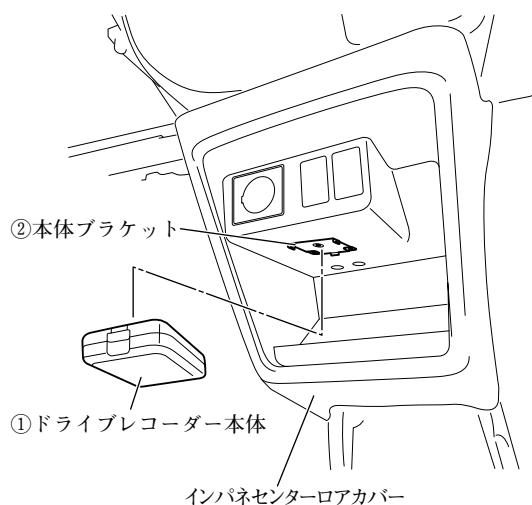


(10) ③両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

(11) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。（全車共通の「接続のしかた」参照）

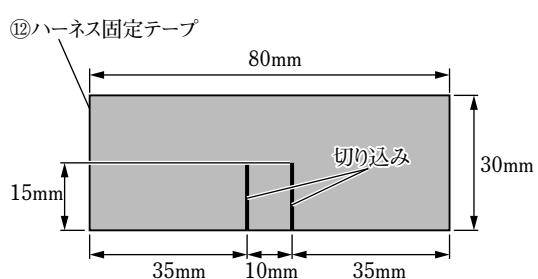


(12) ①ドライブレコーダー本体および③両面テープのはく離紙をはがしてください。（全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照）

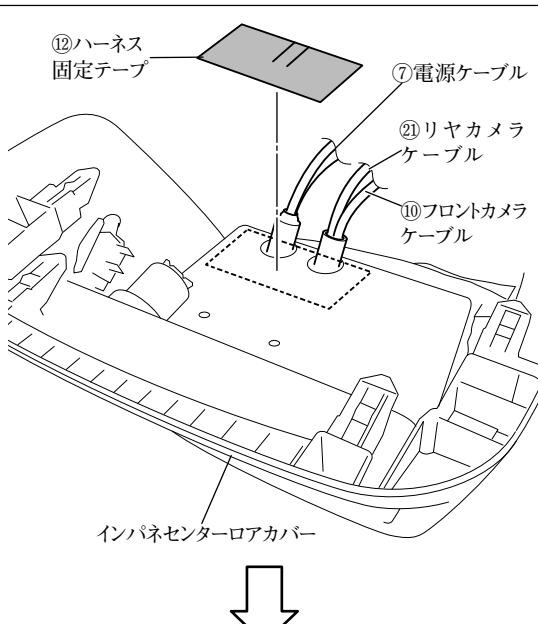
(13) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。



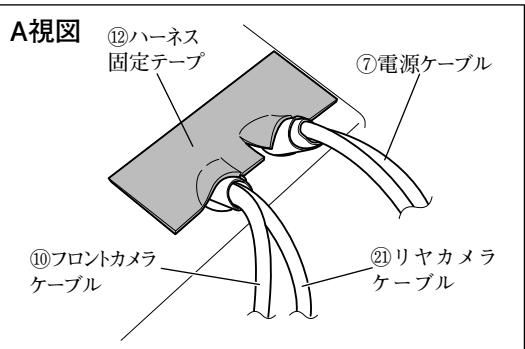
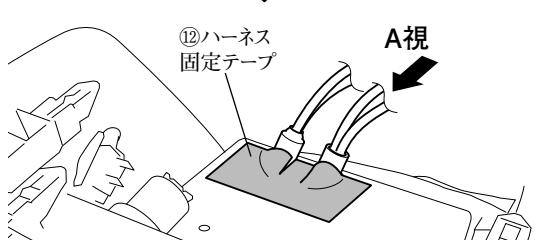
(14) ⑫ハーネス固定テープを図のようにカットしてください。



(15) カットした⑫ハーネス固定テープをインパネセンターロアカバーに貼り付けてください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



- 全車共通の「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締付トルク等）
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- 全車共通の「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 全車共通の「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 全車共通の「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

キャリイ／スーパー・キャリイの場合

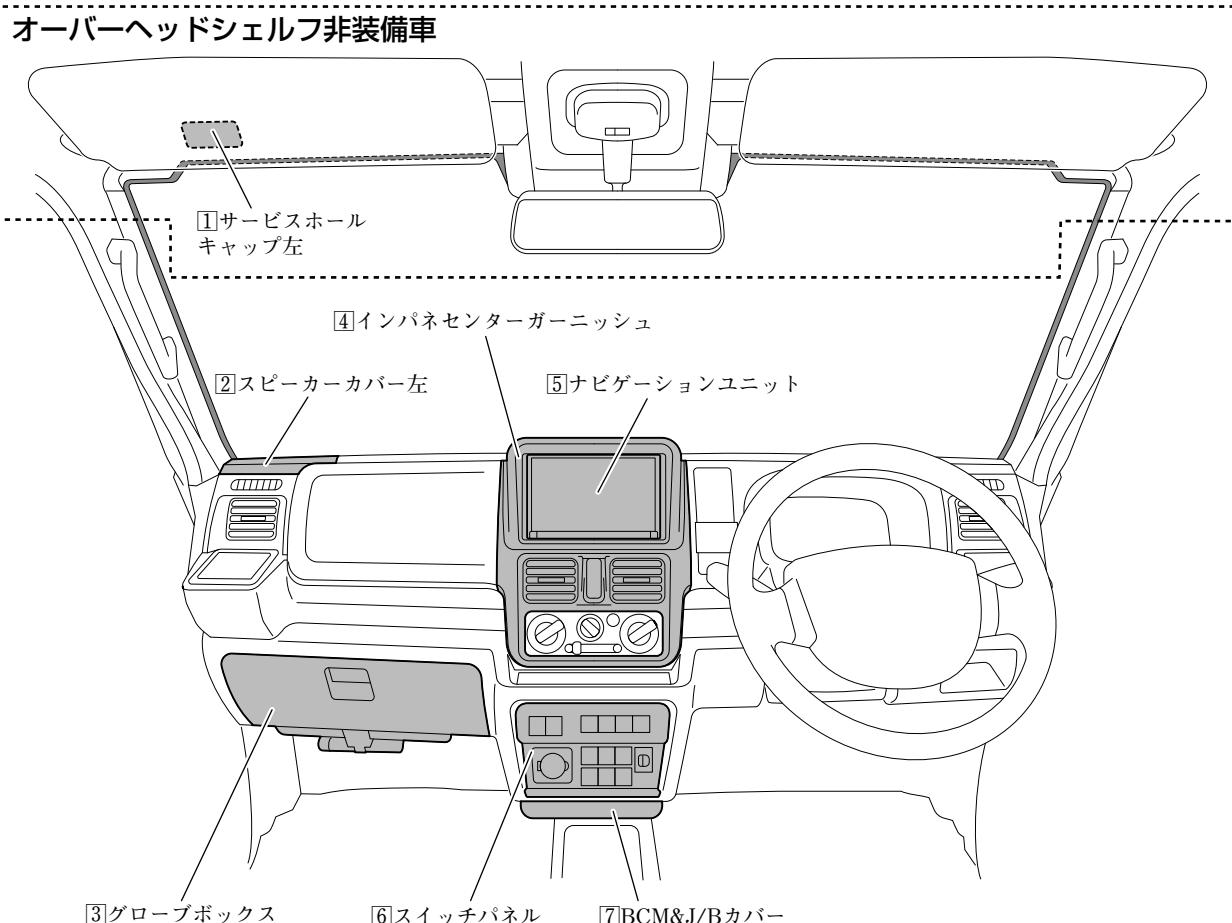
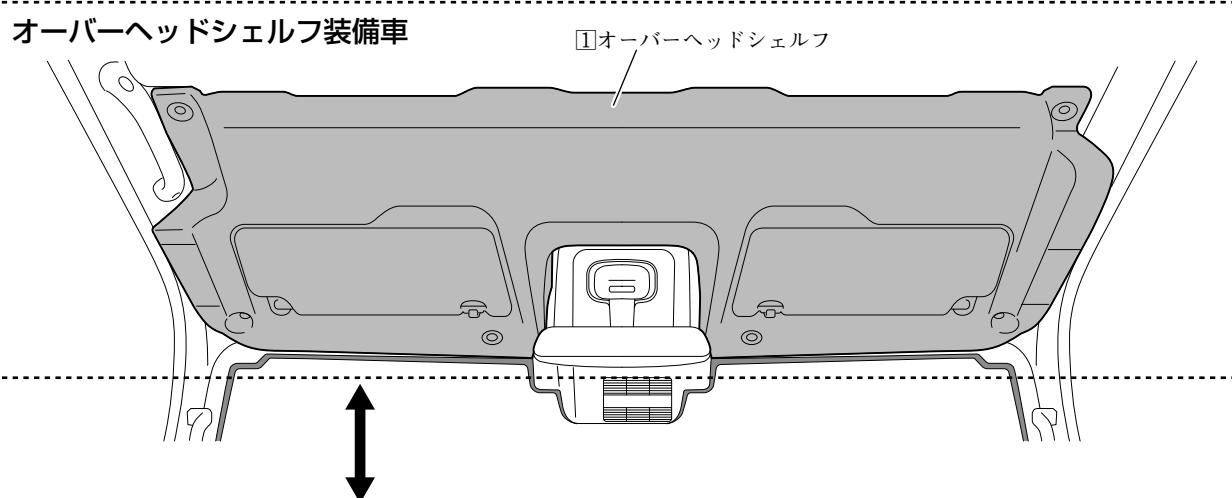
●車両部品の取り外し方法

注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

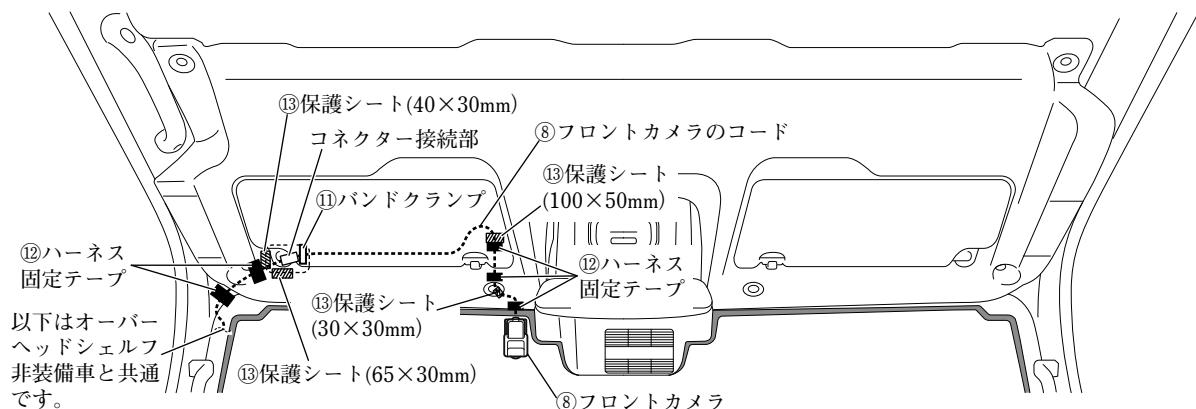
フロントカメラ



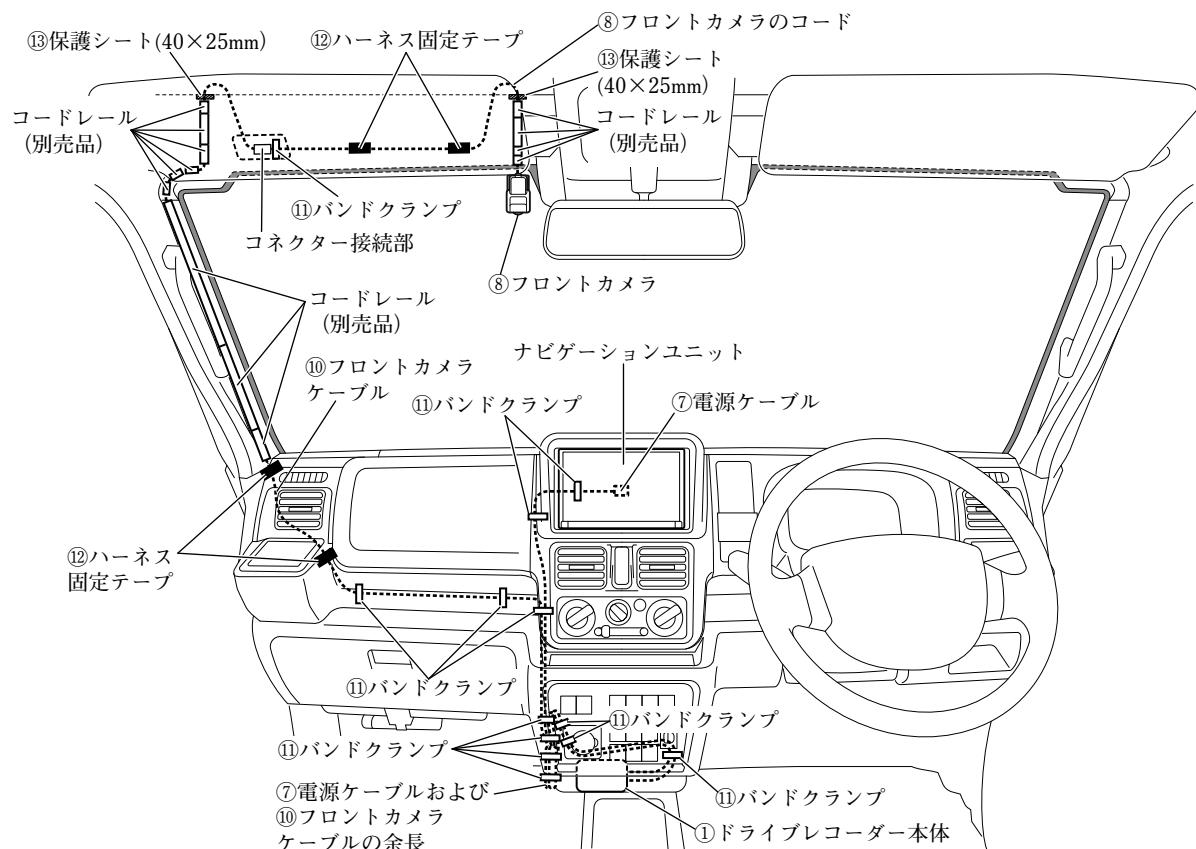
● 取付概要

フロントカメラ

オーバーヘッドシェルフ装備車

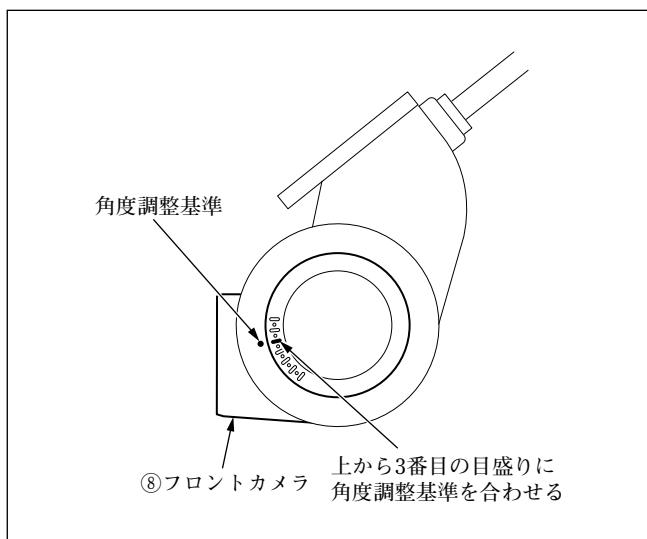


オーバーヘッドシェルフ非装備車



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。

● フロントカメラ取付前の準備

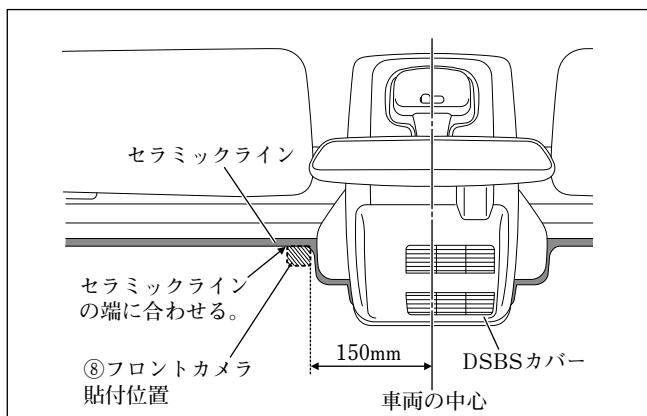


⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

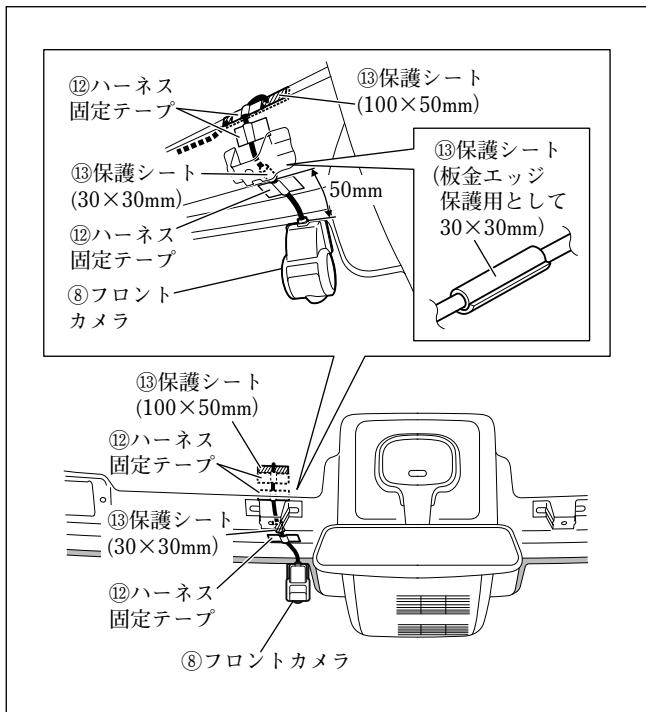
● フロントカメラの取付方法



(1) ⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

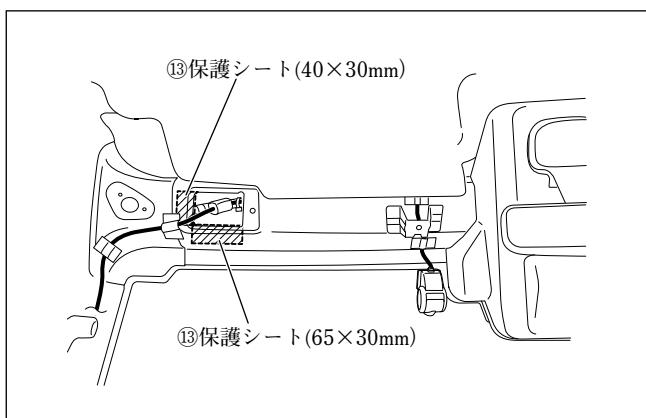


オーバーヘッドシェルフ装備車の場合

- (2) ⑧ フロントカメラのコードを⑬保護シート(100×50mm)で板金エッジから保護し、⑫ハーネス固定テープ(50×20mm)で固定してください。

注記

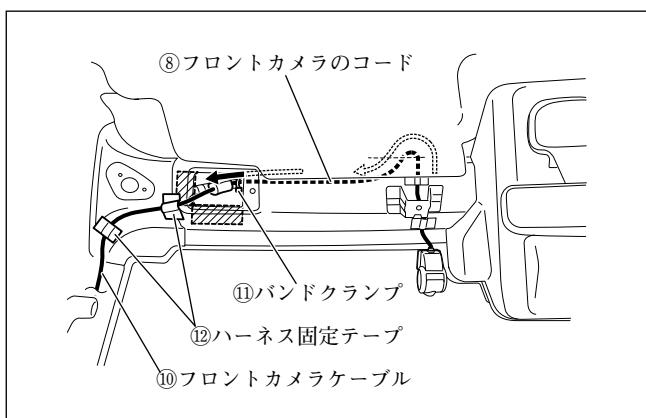
- ⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭きとってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ⑧フロントカメラのコードをブラケットの中へ通し、⑬保護シート(30×30mm)を巻き付けて板金エッジから保護してください。



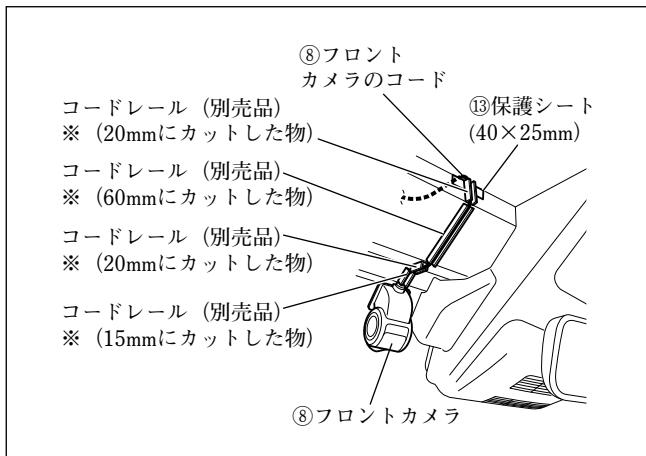
- (3) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



- (4) ⑧ フロントカメラのコードをルーフフロントインナーパネルの上側からルーフフロントインナーパネル内部を経由させ左側のサービスホールまで通してください。
- (5) ⑧ フロントカメラのコードは、図に示す箇所で固定してください。

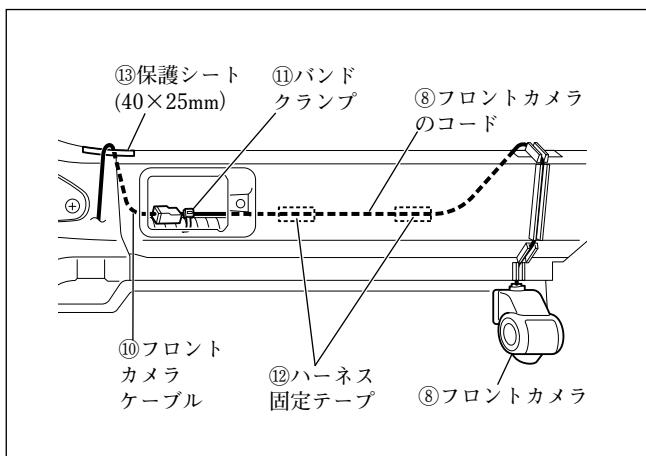


オーバーヘッドシェルフ非装備車の場合

- (6) ⑬保護シート（40×25mm）で板金エッジから保護し、⑧フロントカメラのコードをコードレール（別売品）を使用して、ルーフフロントインナーパネル内へ配線してください。

注記

- ⑬保護シートおよびコードレール（別売品）を貼り付ける面の汚れ等をよく拭きとつてから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- コードレール（別売品）は、図示の寸法にカットして使用してください。
- カットした残りは後の手順で使用します。捨てないでください。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



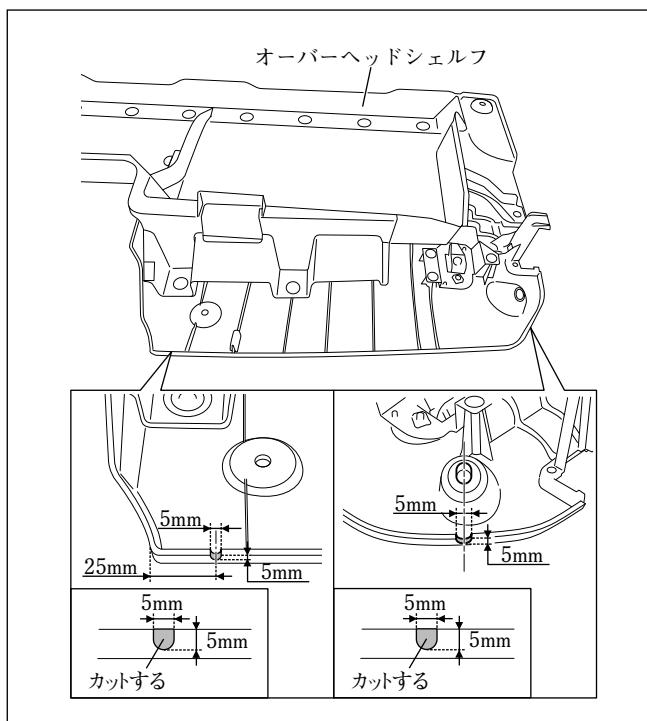
- (7) ⑧フロントカメラのコードを⑬保護シート（40×25mm）で板金エッジから保護してください。

注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭きとつてから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (8) ⑫ハーネス固定テープを巻き付けた⑧フロントカメラのコードをルーフフロントインナーパネル内に配線し、⑪バンドクランプで固定してください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）



オーバーヘッドシェルフ装備車の場合

- (1) オーバーヘッドシェルフ装備車は、オーバーヘッドシェルフ左の図に示す箇所をカットしてください。

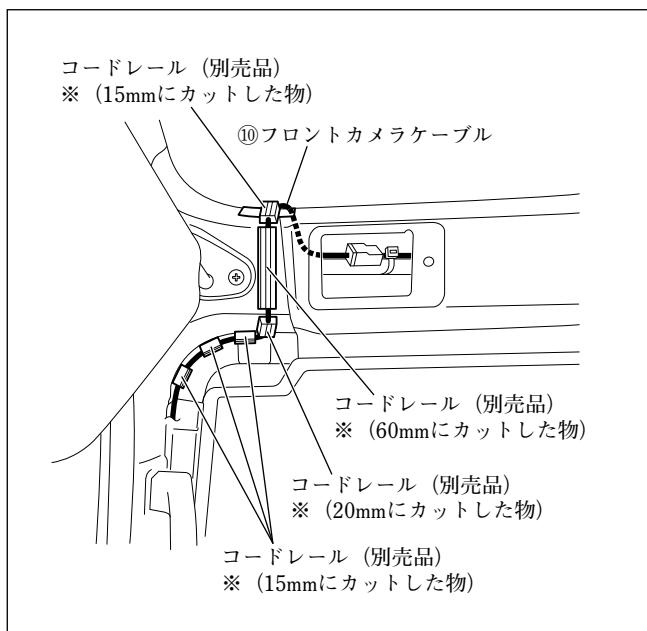
注記

カットする際は、指定の寸法を守って行ってください。

- (2) 加工部の端をヤスリで整えてください。

注記

オーバーヘッドシェルフ装備車は、オーバーヘッドシェルフを取り付ける際、切り欠きを⑩フロントカメラケーブルに合わせてください。

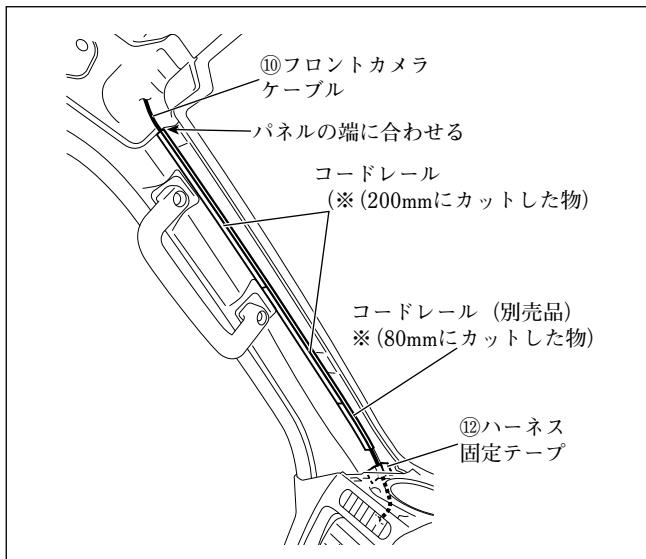


オーバーヘッドシェルフ非装備車の場合

- (3) ⑩フロントカメラケーブルをコードレール（別売品）を使用して、左フロントピラー部まで配線してください。

注記

- コードレール（別売品）を貼り付ける面の汚れ等をよく拭きとつから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- コードレール（別売品）は、図示の寸法にカットして使用してください。
- カットした残りは後の手順で使用します。捨てないでください。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



共通

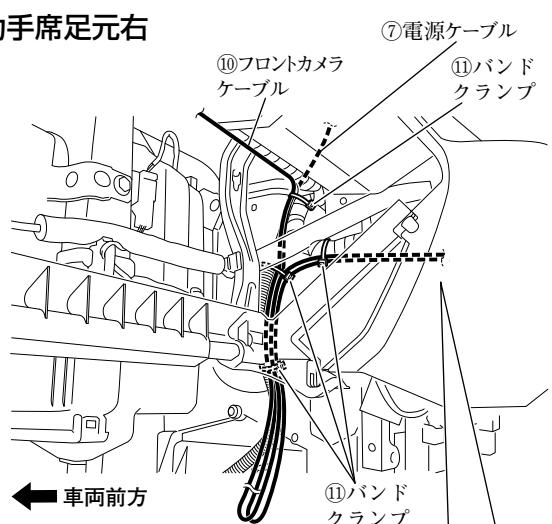
- (4) ⑩フロントカメラケーブルをコードレール（別売品）を使用してインパネ内まで配線してください。

注記

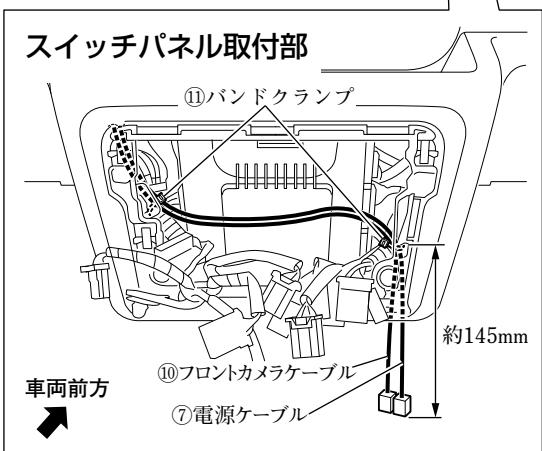
- コードレール（別売品）を貼り付ける面の汚れ等をよく拭きとつから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● フロントカメラケーブル、電源ケーブルの配線

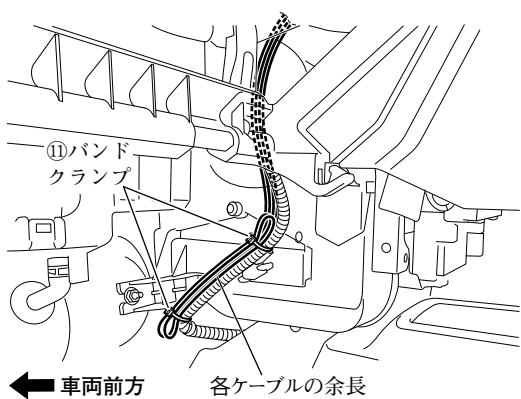
助手席足元右



スイッチパネル取付部



助手席足元右



- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

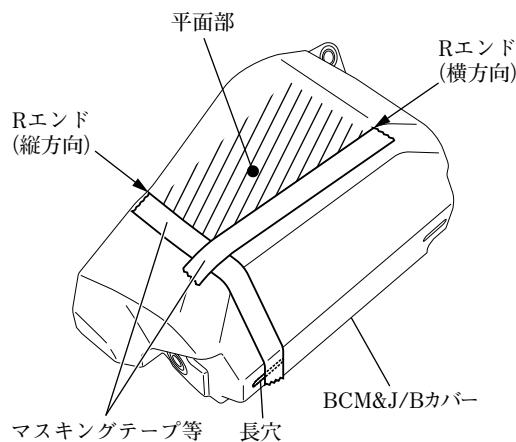
- (2) ①ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

- (3) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

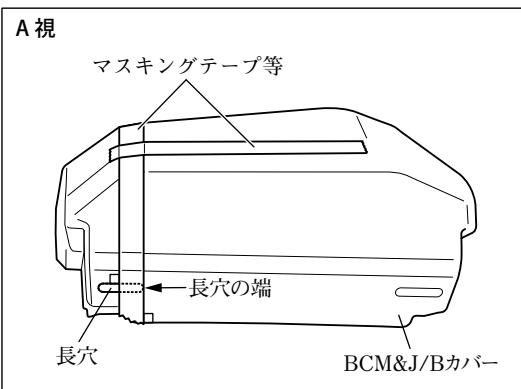
本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体および配線を通す穴を加工しません。

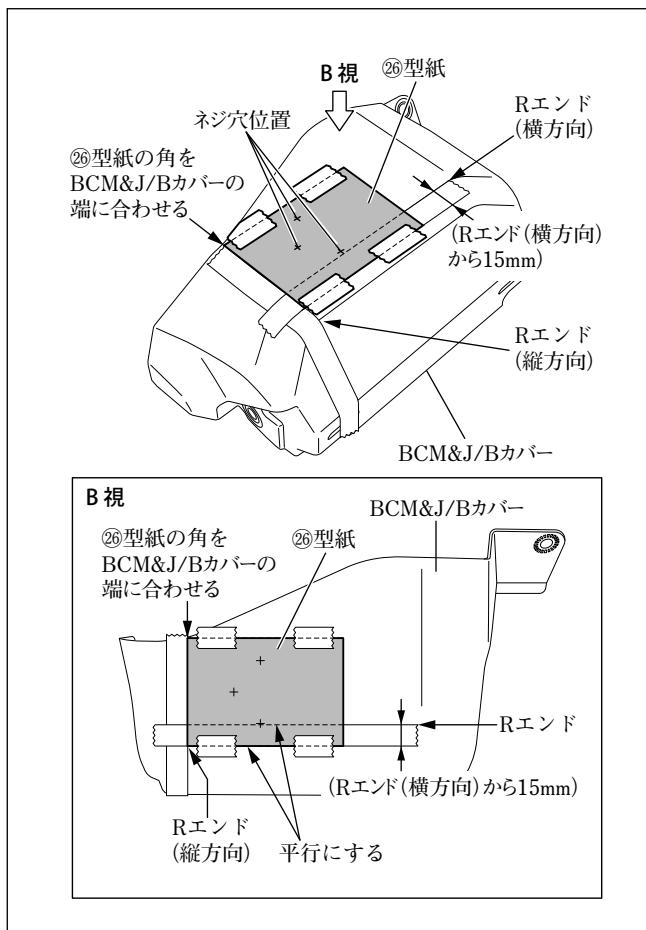


- (1) BCM&J/BカバーのRエンド（平面部側）に沿ってマスキングテープ等を貼ってください。

👉 アドバイス

長穴の端から垂直に延長したラインをRエンド(縦方向)として使用することができます。





- (2) BCM & J/Bカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。

注記

⑥型紙を貼り付ける際は、Rエンド（縦方向）に沿わせながら以下2点が合うようにしてください。

- ⑥型紙の辺がRエンド（横方向）と平行
- ⑥型紙の角がBCM&J/Bカバーの端と合っている

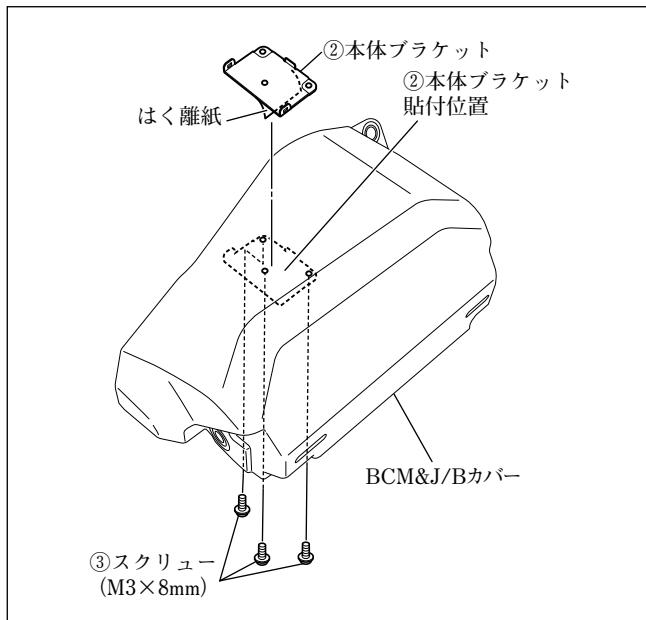
- (3) ⑥型紙およびマスキングテープ等を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（ $\phi 4\text{mm}$ ）を開けてください。

注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

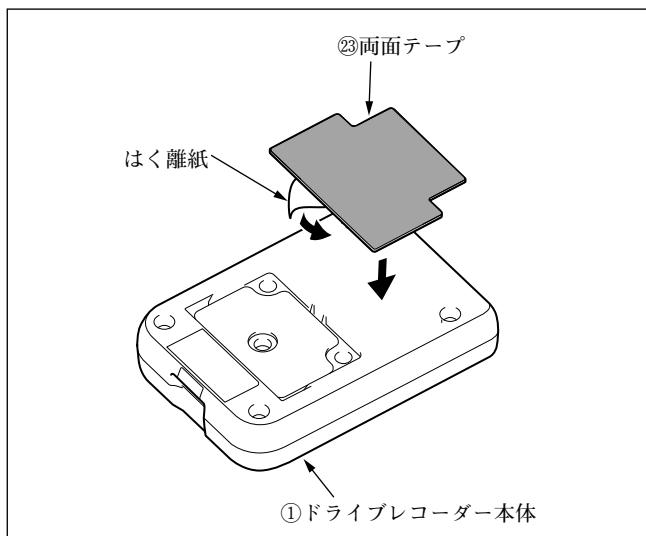


(4) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。

(5) BCM & J/Bカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー (M3×8mm) で固定してください。

注記

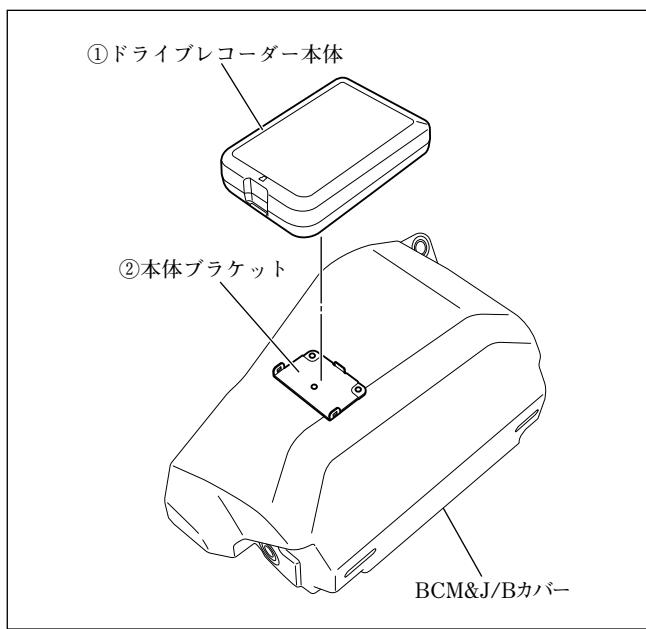
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(6) ②両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

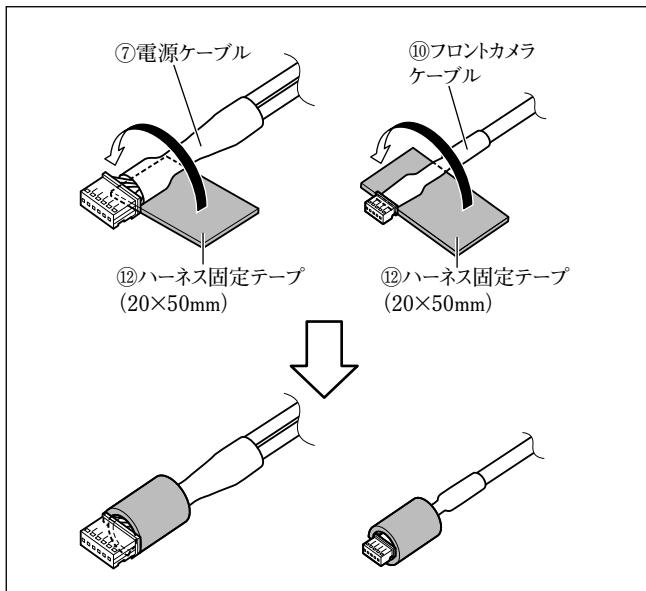


(7) ①ドライブレコーダー本体および②両面テープのはく離紙をはがしてください。（全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照）

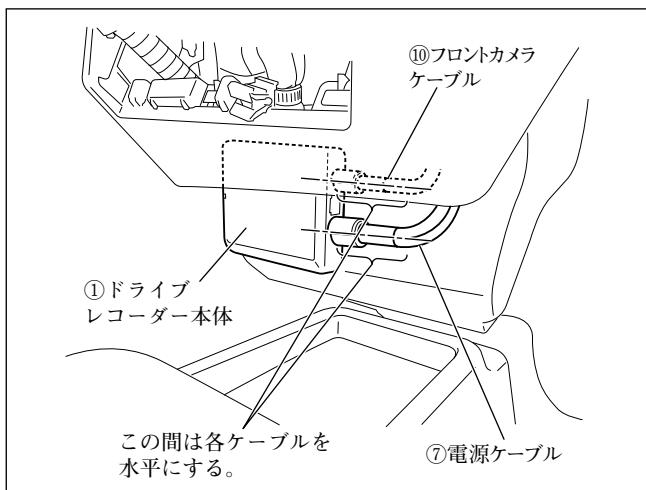
(8) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。



- (9) 水分の浸入を予防するため、図示箇所に⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
- (10) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。(全車共通の「接続のしかた」参照)



注記

⑦電源ケーブルおよび⑩フロントカメラケーブルは、①ドライブレコーダー本体から一旦水平にケーブルが出た後で上側へ向かうように形を整えてください。

- 全車共通の「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- 全車共通の「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 全車共通の「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 全車共通の「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

エブリイの場合

●車両部品の取り外し方法

注記

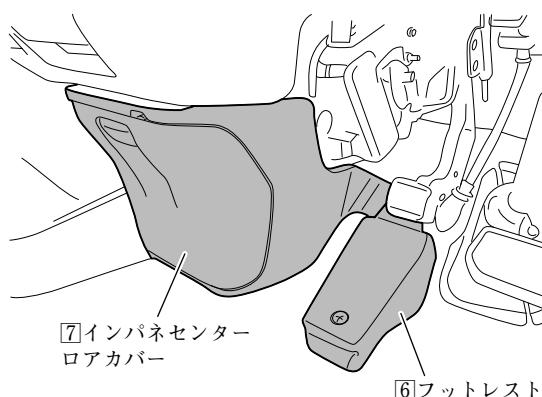
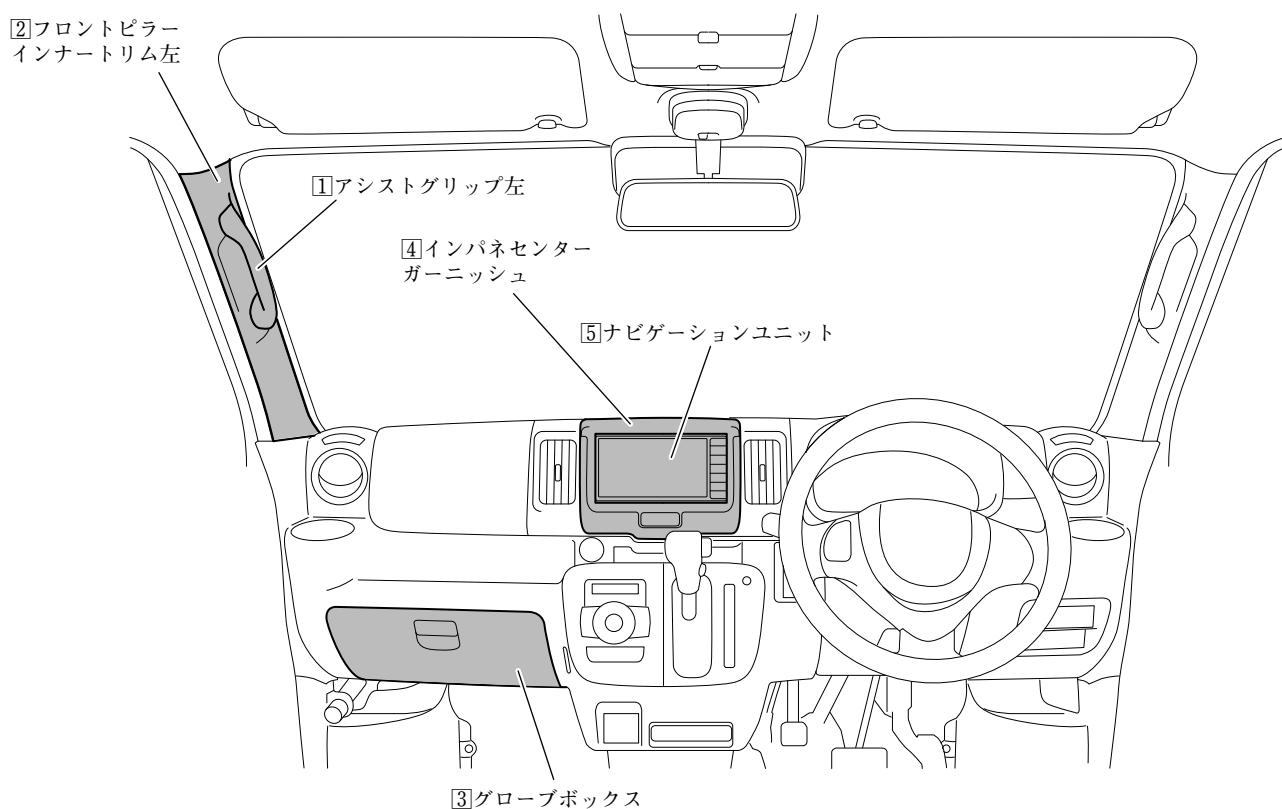
- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

👉 アドバイス

車両部品の取り外し方法についてはワゴンタイプの車両を代表として記載しています。バンタイプの車両も同様に取り外してください。

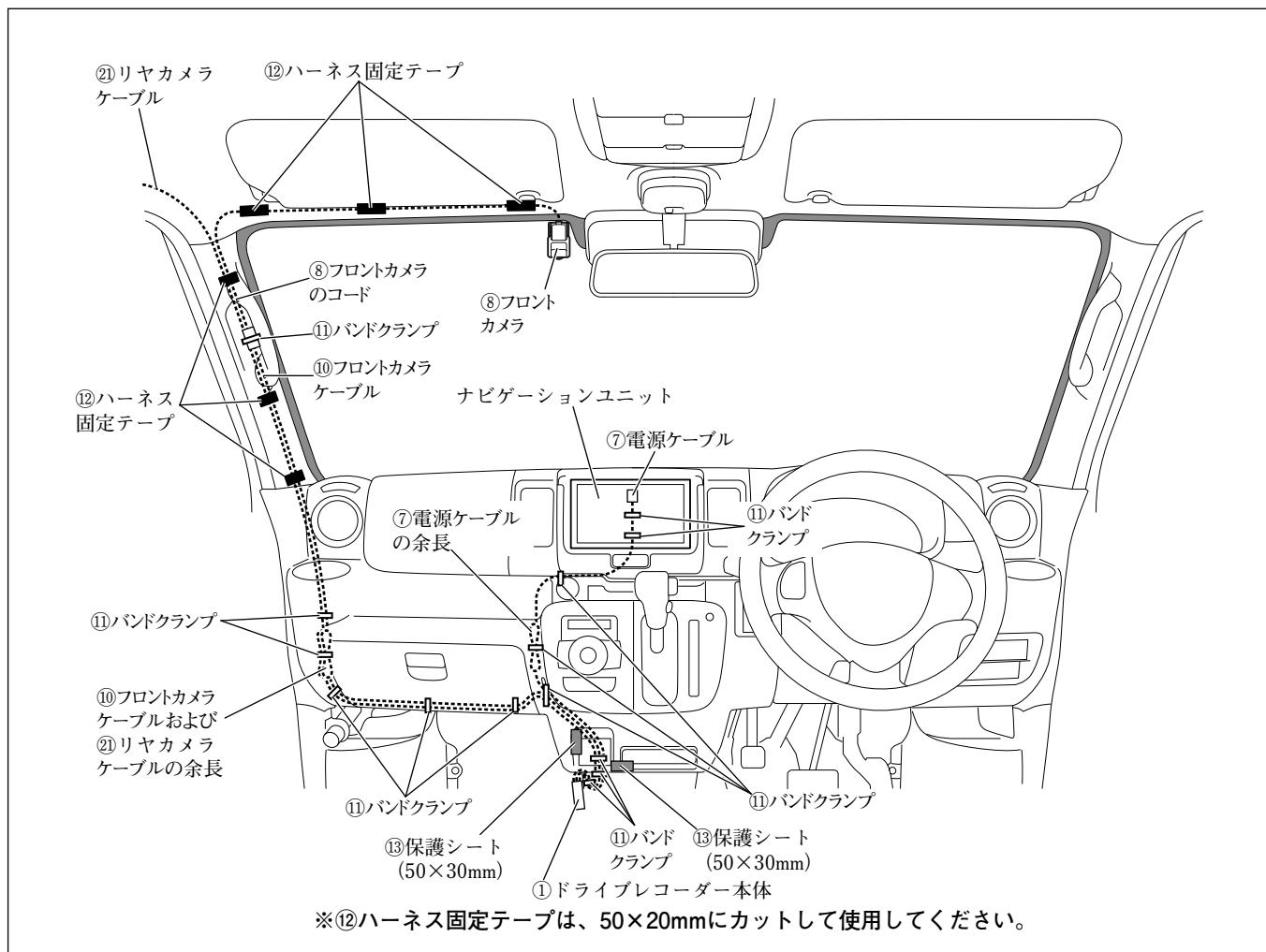
図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ

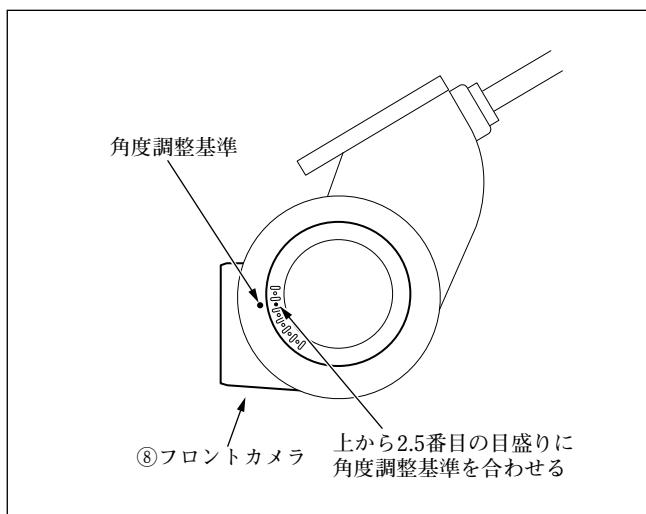


● 取付概要

フロントカメラ



● フロントカメラ取付前の準備

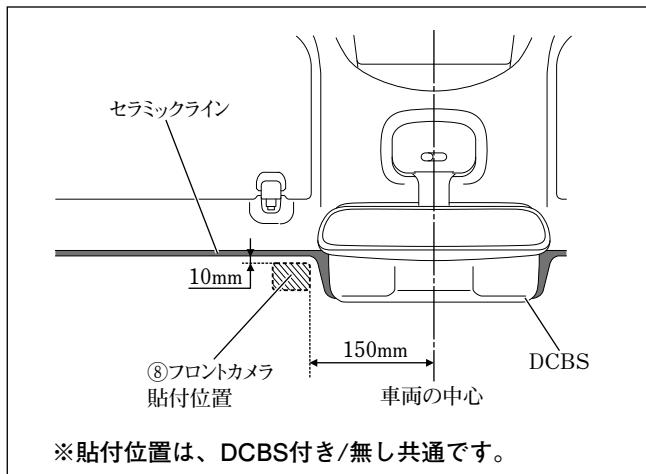


⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法



※貼付位置は、DCBS付き/無し共通です。

⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15℃以下の場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

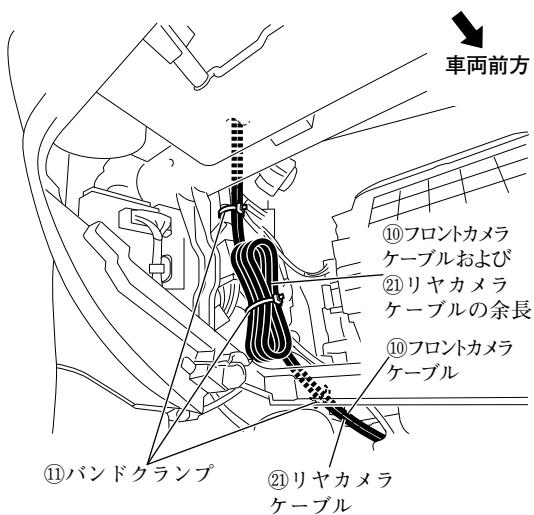
- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

以下の項目は、ドライブレコーダー（連動2カメラ）のリヤカメラ専用の記載です。
別冊の追補版を参照して作業を行ってください。

- **リヤカメラ取付前の準備**
- **リヤカメラの取付方法**
- **リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）**
- **リヤカメラケーブルの配線（車室内）**

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

グローブボックス取付部左



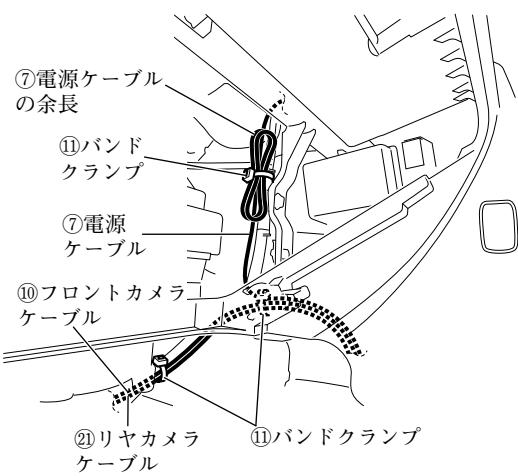
- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

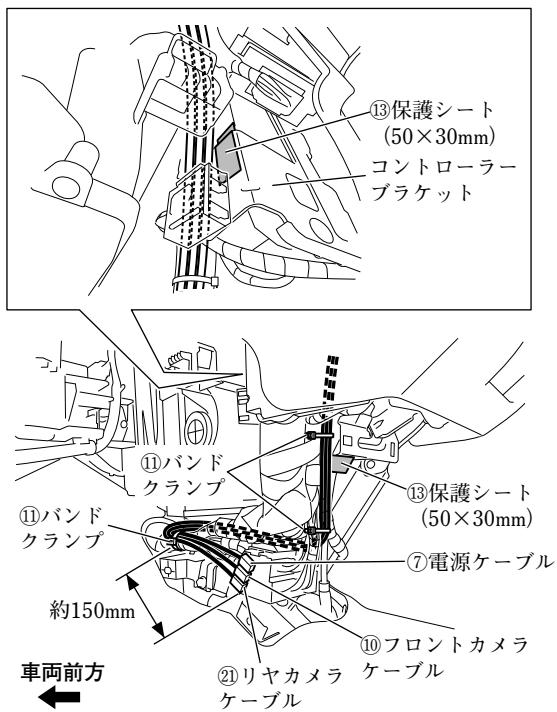
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

グローブボックス取付部右



インパネセンターロアカバー取付部



(3) コントローラーブラケットがある車両は、配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

(4) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

(5) ①ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

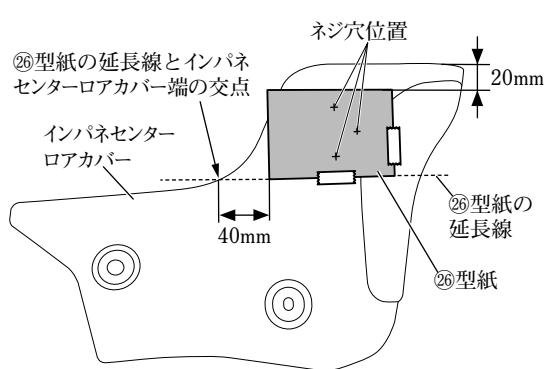
👉 アドバイス

⑪バンドクランプは、車両ハーネスのクランプ部で固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体および配線を通す穴を加工しません。



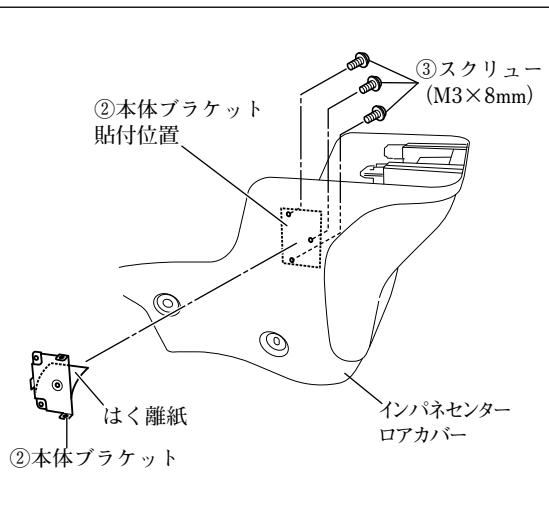
- (1) インパネセンターロアカバーへ②6型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。
- (2) ②6型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（Φ4mm）を開けてください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

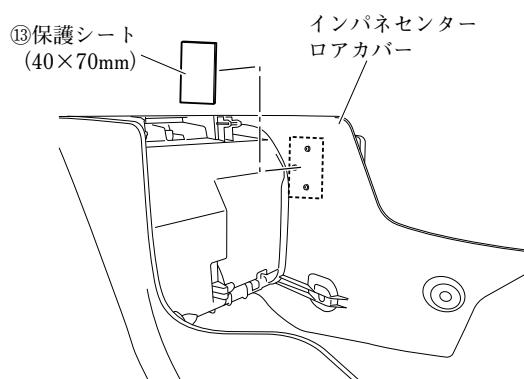
- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- 穴開け前にマーキングした位置（ネジ穴位置）がずれていないか確認をしてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。



- (3) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。
- (4) インパネセンターロアカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー (M3×8mm) で固定してください。

注記

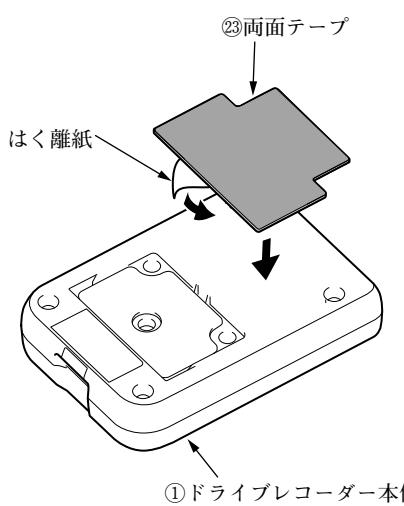
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(5) 図示箇所に⑬保護シートを貼り付けてください。

注記

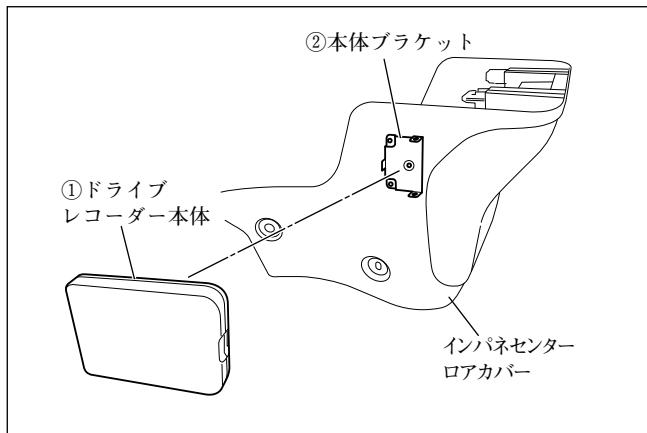
- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(6) ⑬両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



- (7) ①ドライブレコーダー本体および②両面テープのはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)
- (8) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

👉 アドバイス

別売のワイヤレスエンジンスターターと共に着する場合は、別売品に同梱のメインスイッチラベル貼付位置を調整してください。

- (9) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。(全車共通の「接続のしかた」参照)

- 全車共通の「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- 全車共通の「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 全車共通の「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 全車共通の「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

注記

全車共通の「感度調整」を参照して急加速・急減速の感度の設定値を2にしてください。

ハスラーの場合

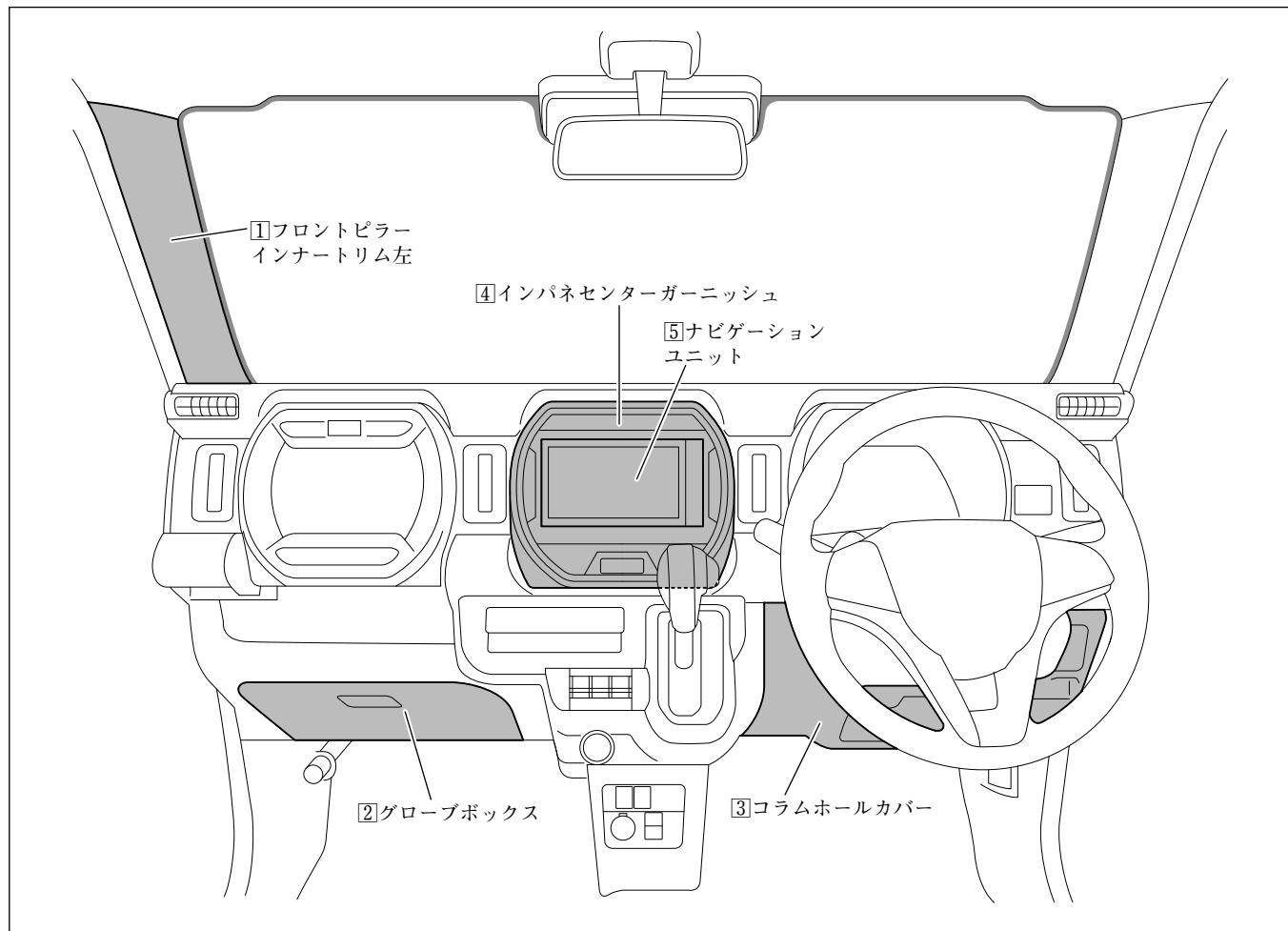
●車両部品の取り外し方法

注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

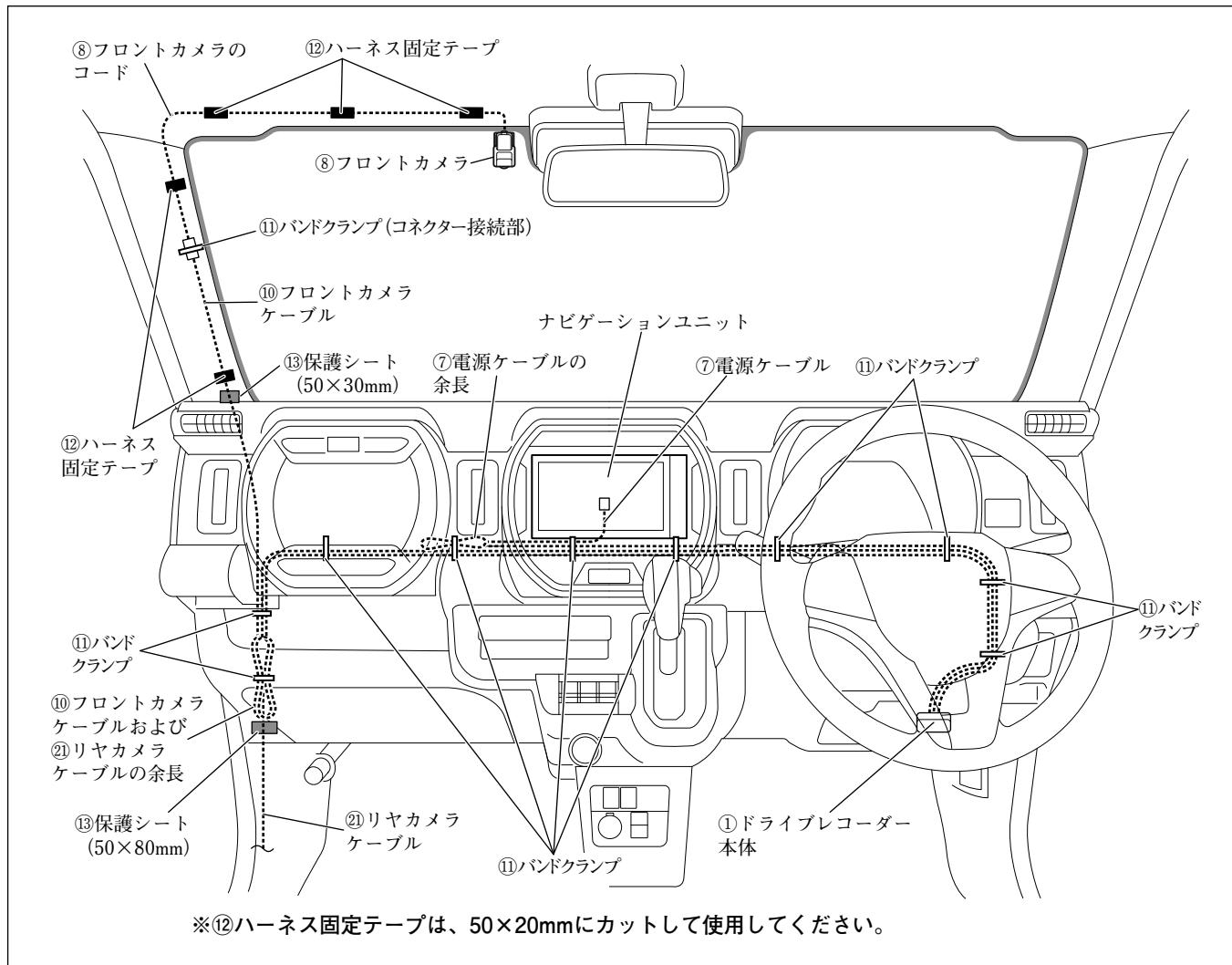
図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ

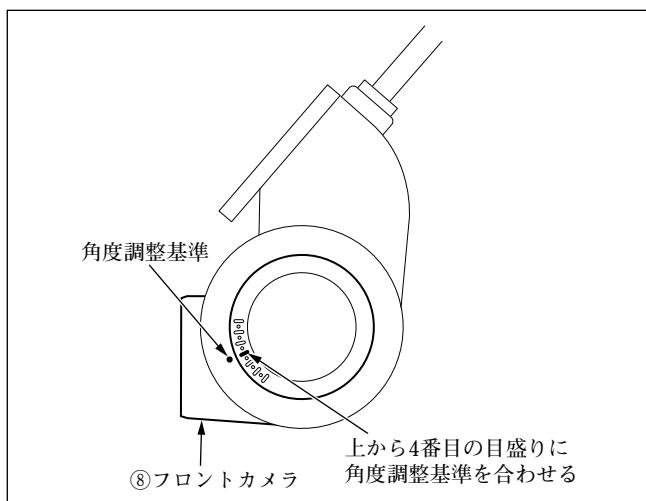


● 取付概要

フロントカメラ



● フロントカメラ取付前の準備

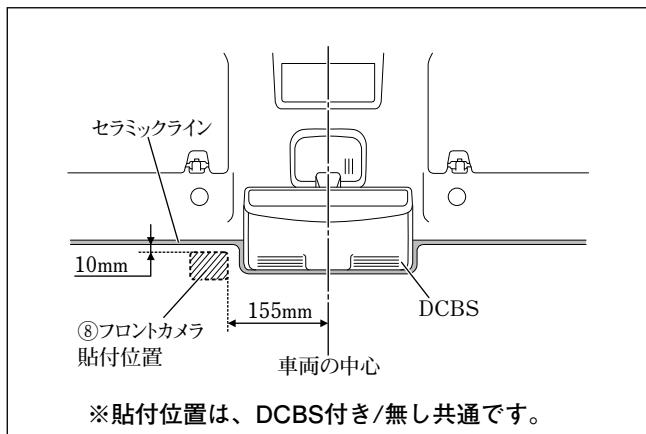


⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

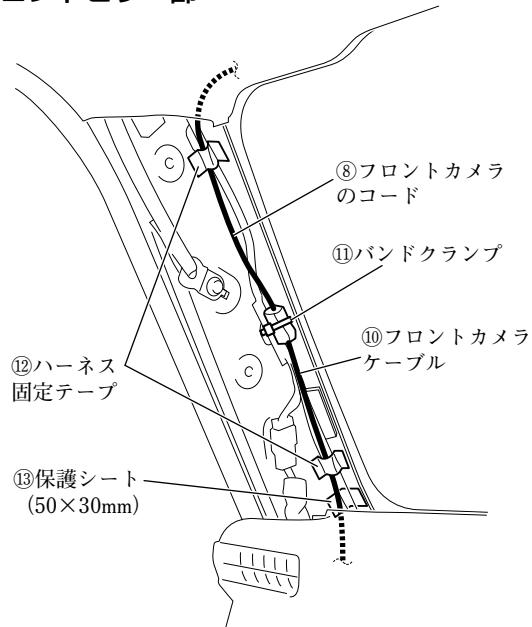
● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ・フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ・配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

フロントピラー部



配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ・⑯保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- ・気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

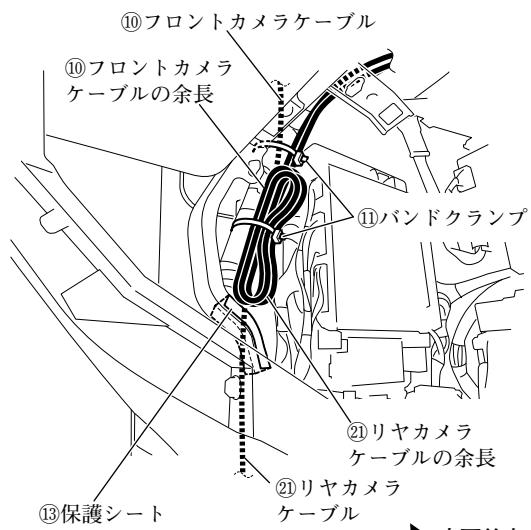
以下の項目は、ドライブレコーダー（連動2カメラ）のリヤカメラ専用の記載です。

別冊の追補版を参照して作業を行ってください。

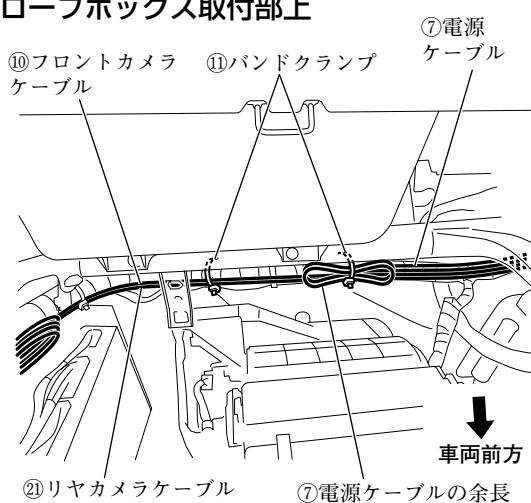
- リヤカメラ取付前の準備
- リヤカメラの取付方法
- リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）
- リヤカメラケーブルの配線（車室内）

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

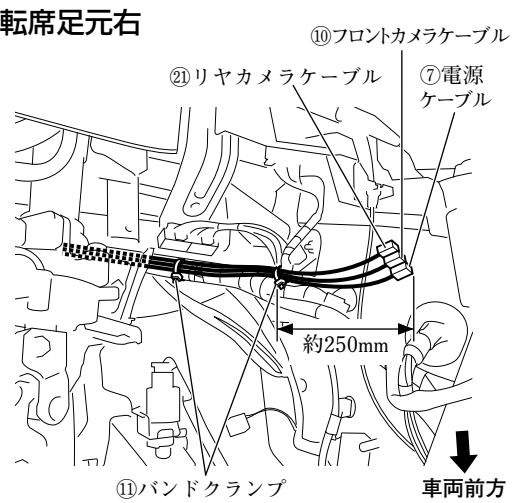
グローブボックス取付部左



グローブボックス取付部上



運転席足元右



- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑫リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑯保護シートおよび⑰ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

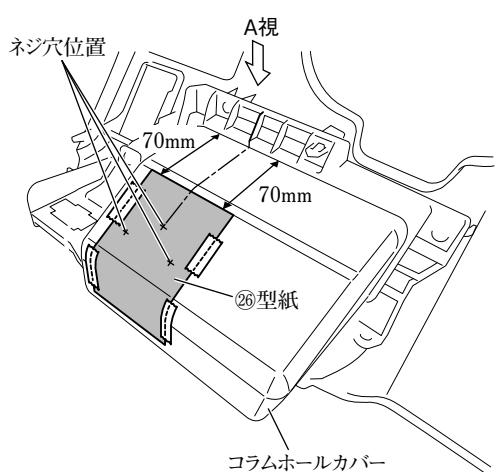
- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑫リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

- (3) ①ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

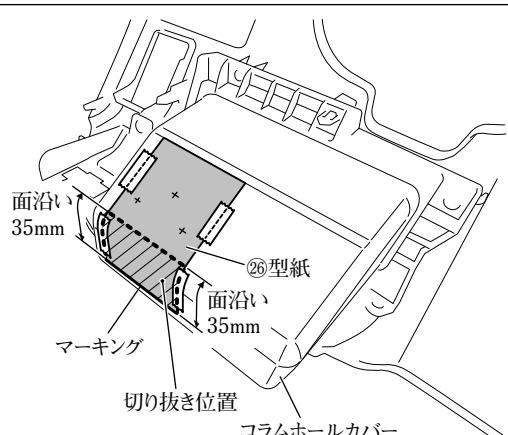
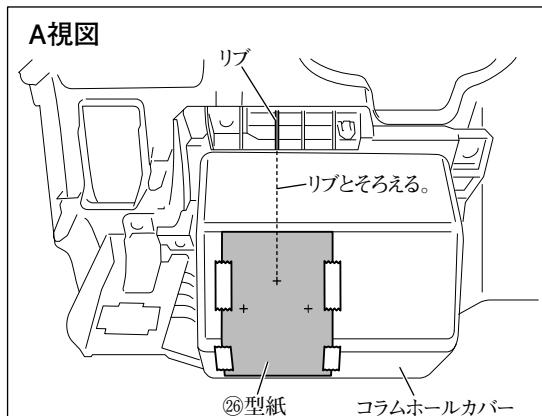
● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体を通す穴を加工します。



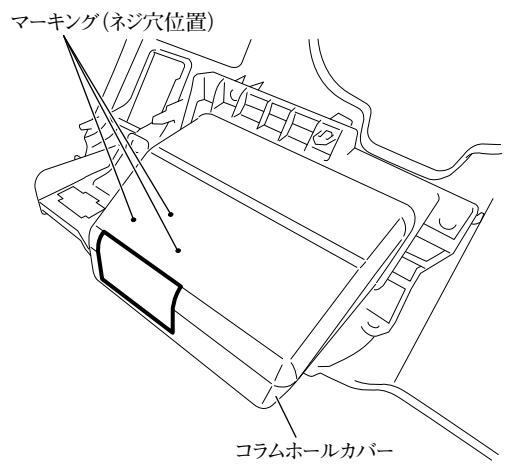
- (1) コラムホールカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。



- (2) コラムホールカバーの切り抜き位置にマーキングをしてください。

👉 アドバイス

指定の寸法および⑥型紙の端に沿ってマーキングをしてください。



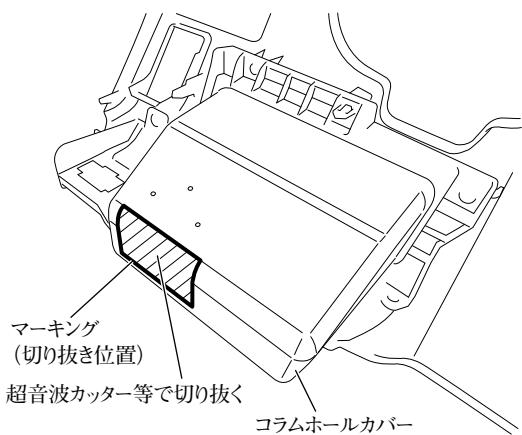
- (3) ②⑥型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（ $\phi 4\text{mm}$ ）を開けてください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。



- (4) コラムホールカバーのマーキング位置（切り抜き位置）内側に沿って超音波カッター等で穴を開けてください。

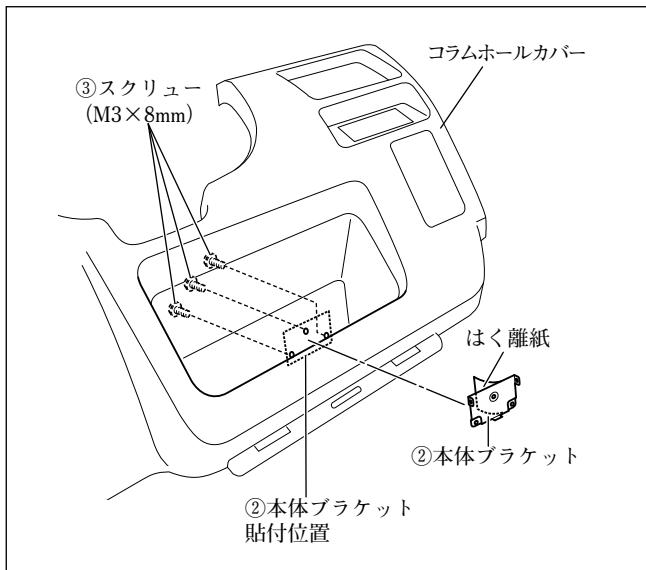
⚠ 注意

穴を開ける際は、耐切創手袋を使用してください。

- (5) 切り抜き後、コラムホールカバーの切り抜き部のバリをヤスリで取り除いてください。

👉 アドバイス

最初は粗目のヤスリでバリを取り除き、仕上げを細目のヤスリで毛羽立ちが無くなるようにしてください。

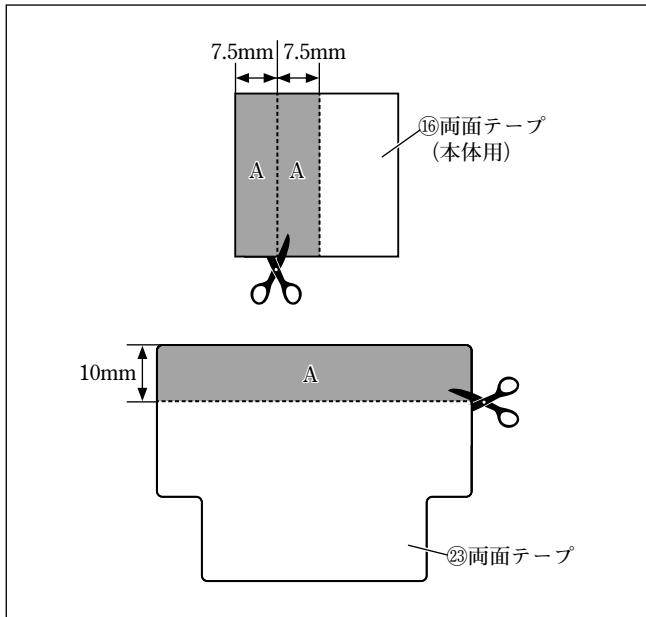


(6) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。

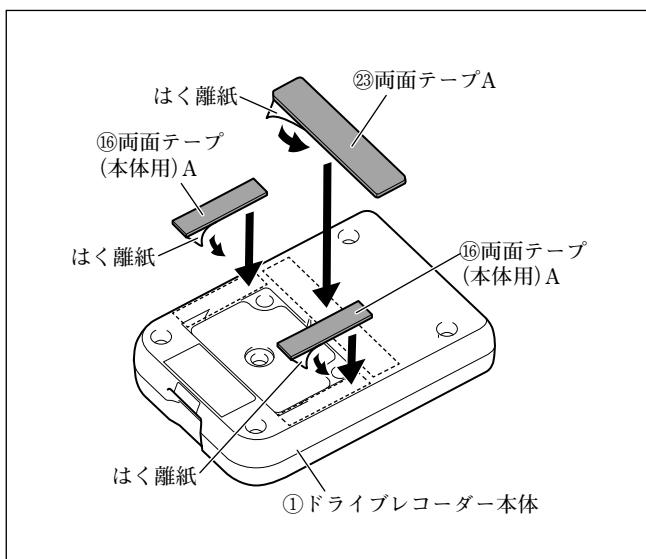
(7) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー (M3×8mm) で固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



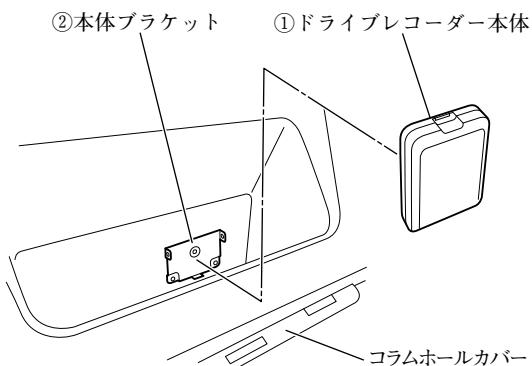
(8) ⑯両面テープ（本体用）と㉓両面テープを図のようにカットしてください。



(9) カットした⑯両面テープ（本体用）Aと㉓両面テープAを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



- (10) ① ドライブレコーダー本体を仮組みし、コラムホールカバーと干渉していないことを確認してください。なお、干渉している場合は、コラムホールカバーを削り調整してください。

注記

- ① ドライブレコーダー本体を仮組みする際は、② 本体ブラケットのツメをかん合させないでください。

- (11) ① ドライブレコーダー本体、② 両面テープA および⑯ 両面テープ(本体用) Aのはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)

- (12) ① ドライブレコーダー本体を② 本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ① ドライブレコーダー本体を② 本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

- (13) ① ドライブレコーダー本体にすべてのケーブルのコネクターを接続してください。(全車共通の「接続のしかた」参照)

- 全車共通の「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- 全車共通の「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 全車共通の「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 全車共通の「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

ジムニー／ジムニーシエラ／ジムニーノマドの場合

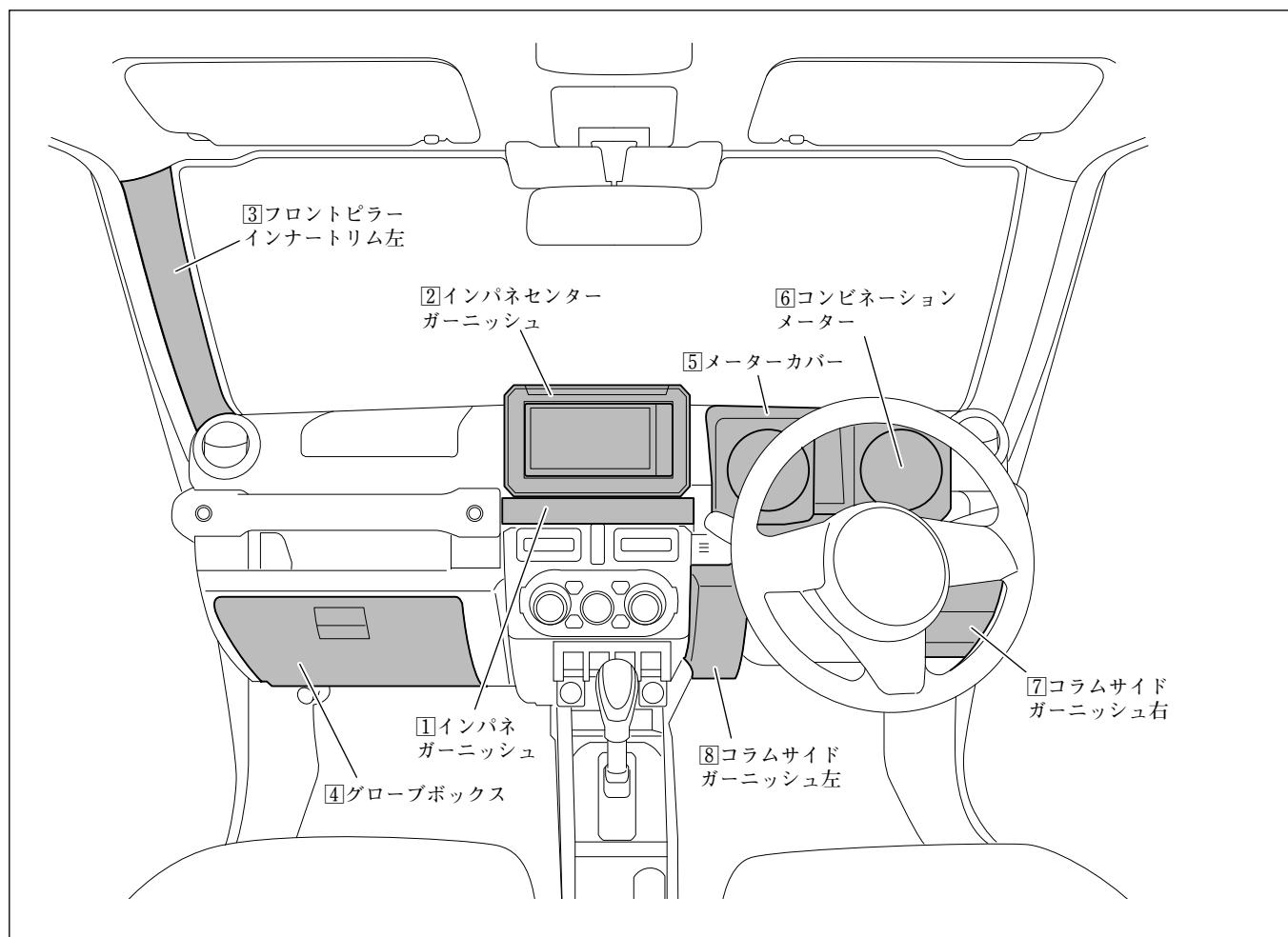
●車両部品の取り外し方法

注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

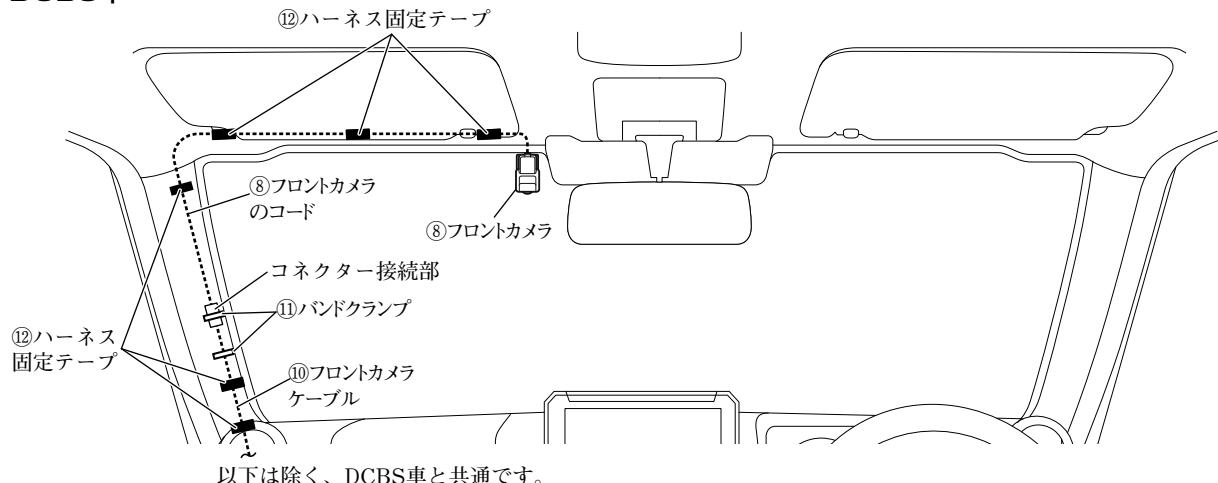
フロントカメラ



● 取付概要

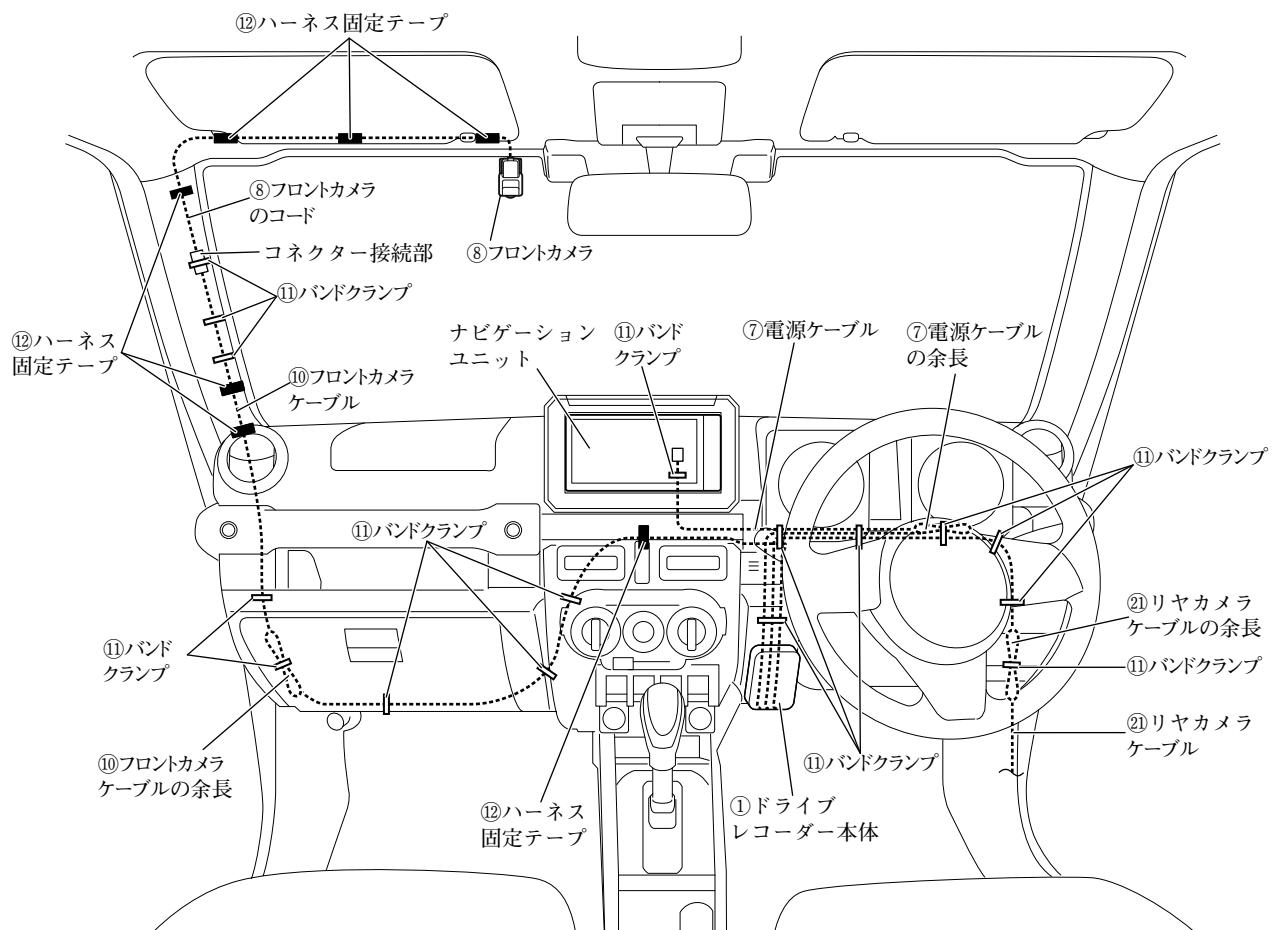
フロントカメラ

DCBS車



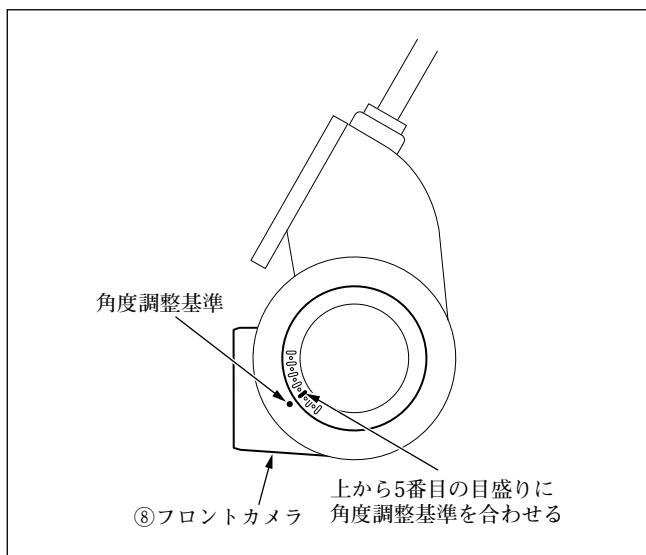
以下は除く、DCBS車と共通です。

除く、DCBS車



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。

● フロントカメラ取付前の準備



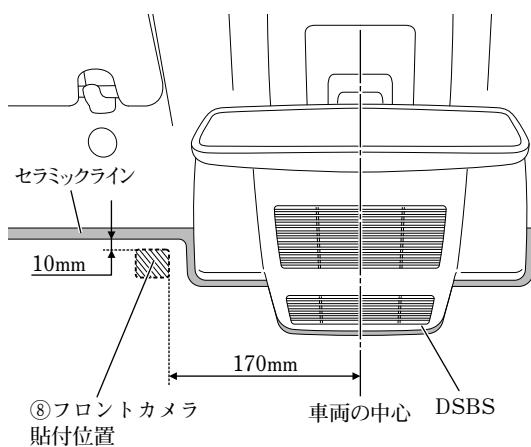
⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法

DSBS 車

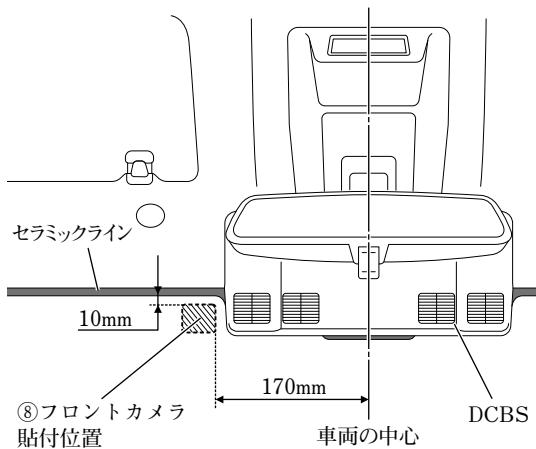


⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

DCBS 車



● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

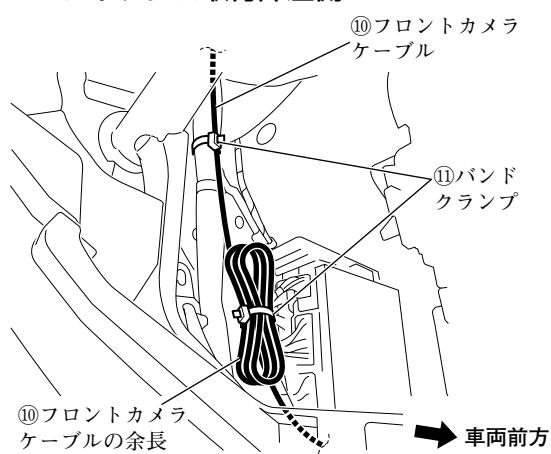
以下の項目は、ドライブレコーダー（連動2カメラ）のリヤカメラ専用の記載です。

別冊の追補版を参照して作業を行ってください。

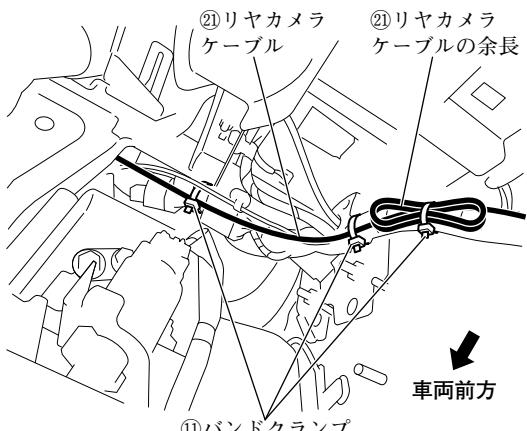
- リヤカメラ取付前の準備
- リヤカメラの取付方法
- リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）
- リヤカメラケーブルの配線（車室内）

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

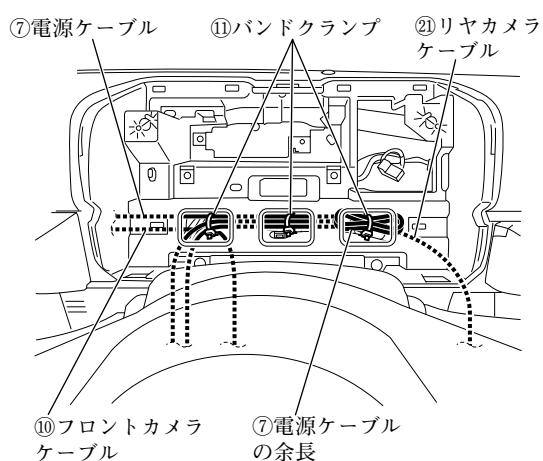
グローブボックス取付部左側



運転席足元右側



コンビネーションメーター取付部



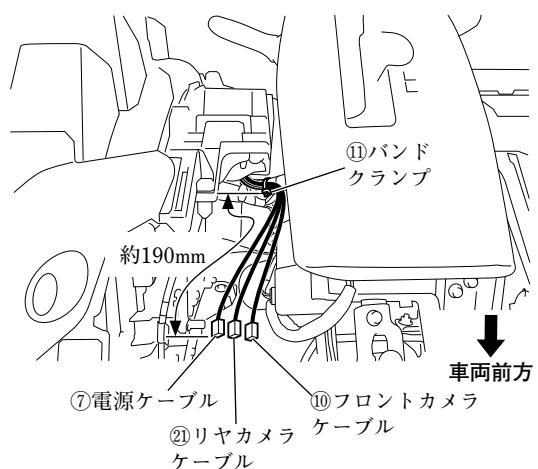
- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

ステアリングコラム左側

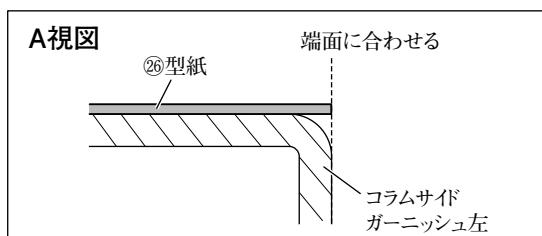
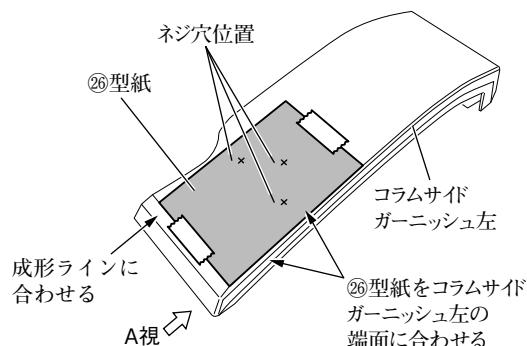


- (3) ① ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪ バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体および配線を通す穴を加工しません。



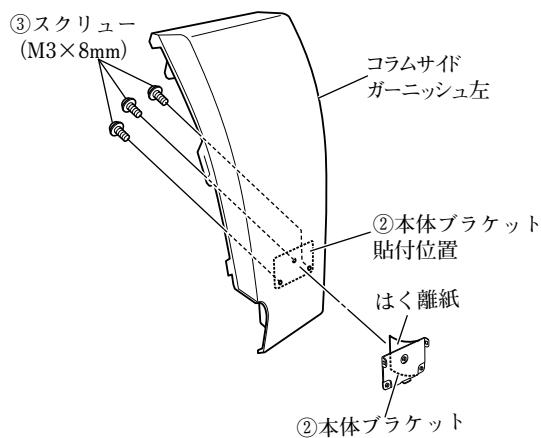
- (1) コラムサイドガーニッシュ左へ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。
- (2) ⑥型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（Φ4mm）を開けてください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

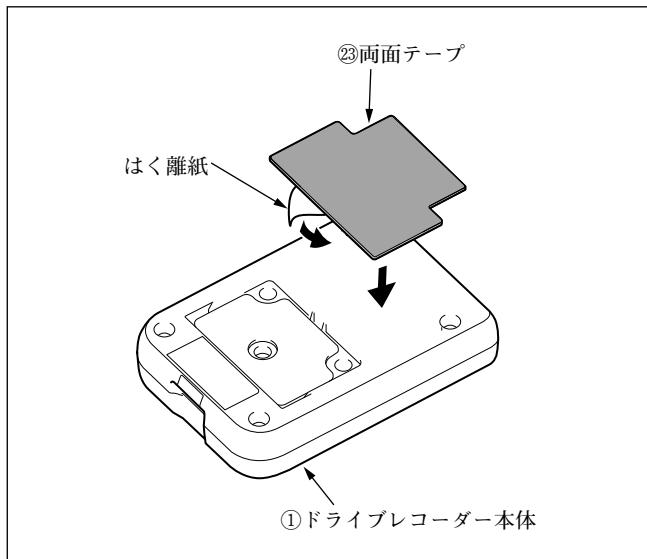
- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。



- (3) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。
- (4) コラムサイドガーニッシュ左の図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー（M3×8mm）で固定してください。

注記

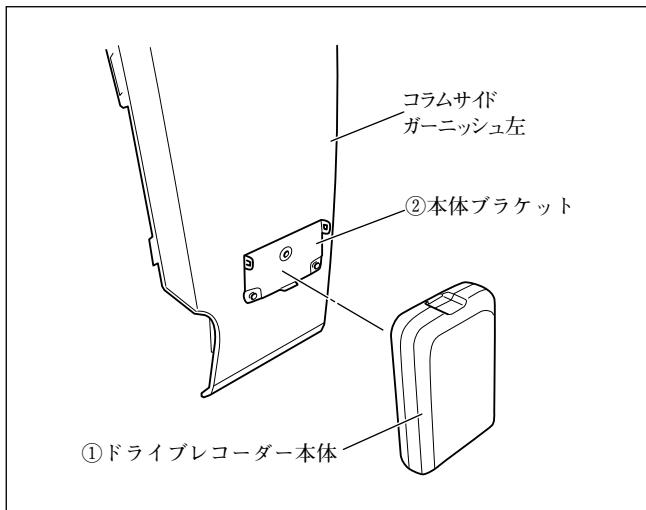
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(5) ③両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(6) ①ドライブレコーダー本体および②両面テープのはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)

(7) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

(8) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。(全車共通の「接続のしかた」参照)

- 全車共通の「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- 全車共通の「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 全車共通の「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 全車共通の「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

ラパンの場合

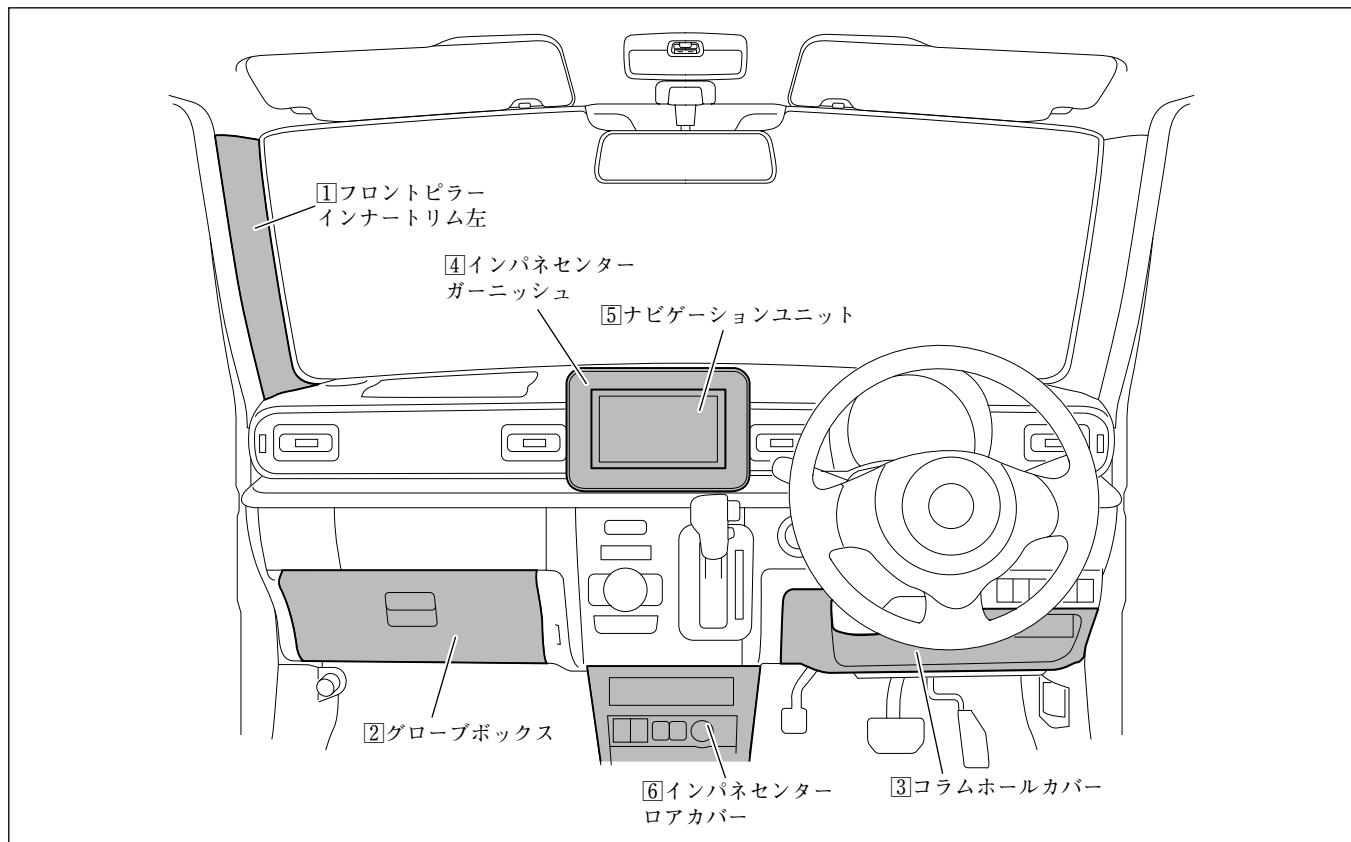
●車両部品の取り外し方法

注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

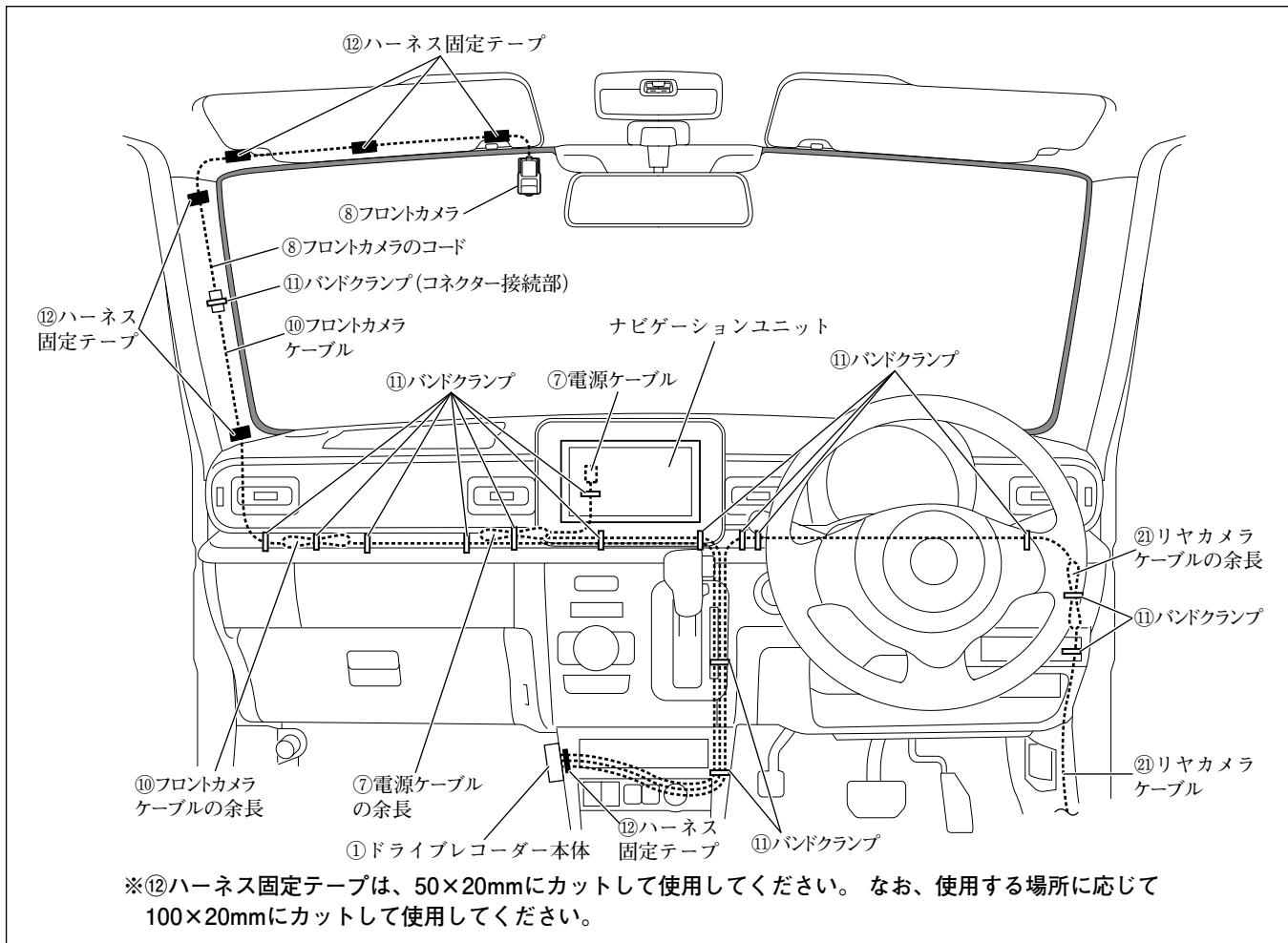
図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ

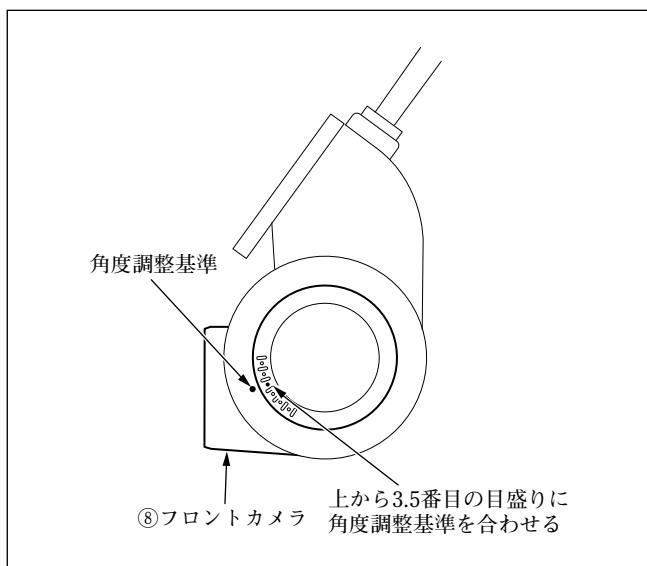


● 取付概要

フロントカメラ



● フロントカメラ取付前の準備

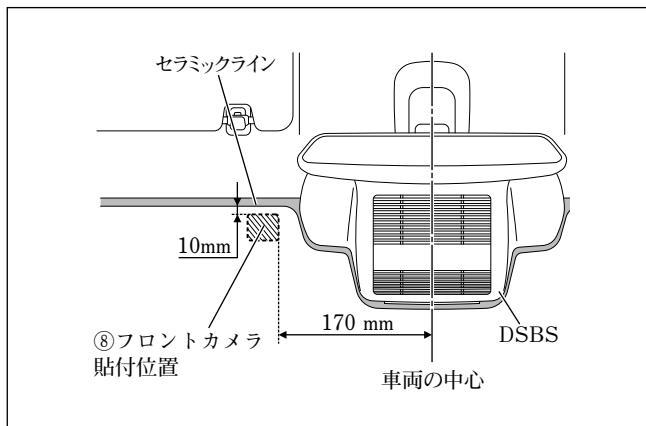


⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15℃以下の場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

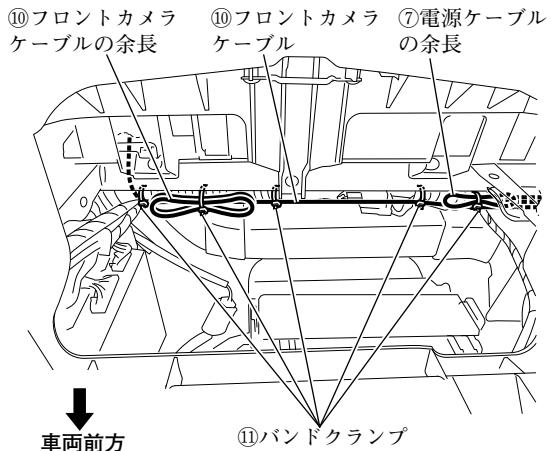
以下の項目は、ドライブレコーダー（連動2カメラ）のリヤカメラ専用の記載です。

別冊の追補版を参照して作業を行ってください。

- リヤカメラ取付前の準備
- リヤカメラの取付方法
- リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）
- リヤカメラケーブルの配線（車室内）

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

グローブボックス取付部上

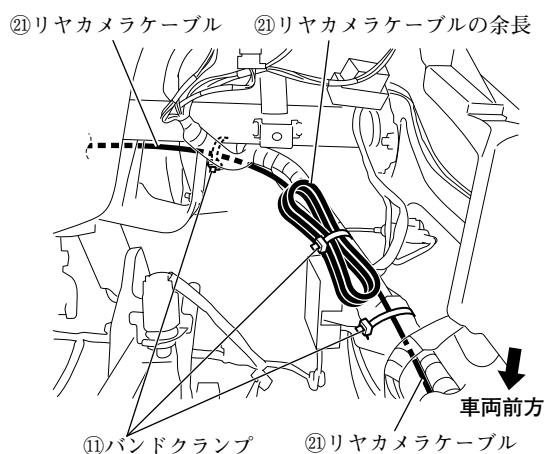


- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

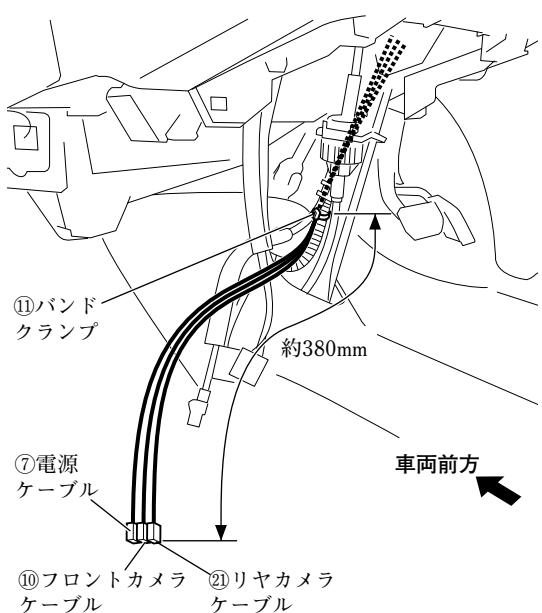
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

運転席足元右上



- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

インパネセンターロアカバー取付部

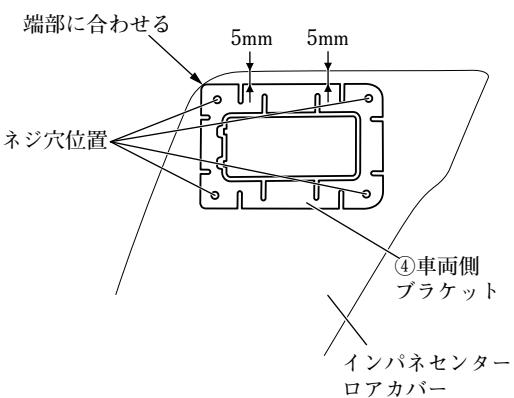


- (3) ①ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉アドバイス

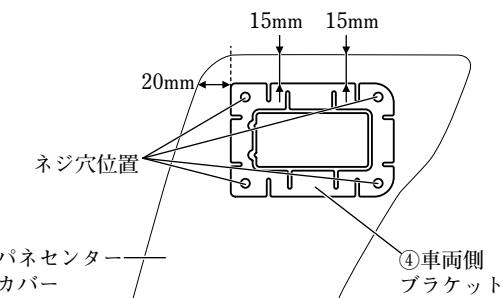
本車両は④車両側ブラケットを使用します。①ドライブレコーダー本体および配線を通す穴は加工しません。



- (1) インパネセンターロアカバーへ④車両側ブラケットを当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。

注記

- ④車両側ブラケットの向きを間違えないでください。
- 本製品と別売のワイヤレスエンジンスターターを共着する場合は、アンテナ（別売品に同梱）取付位置が本製品の穴開け位置と干渉するため、下図の位置へと取付位置を変更してください。



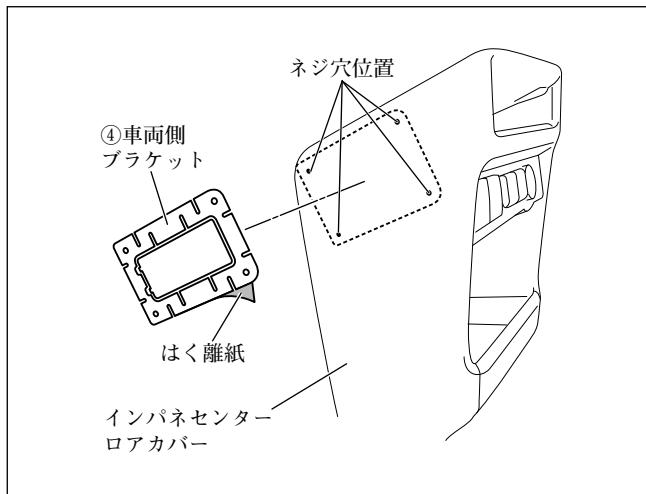
- (2) ④車両側ブラケットを外し、マーキングした位置にドリルで穴（ $\phi 3\text{mm}$ ）を開けてください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

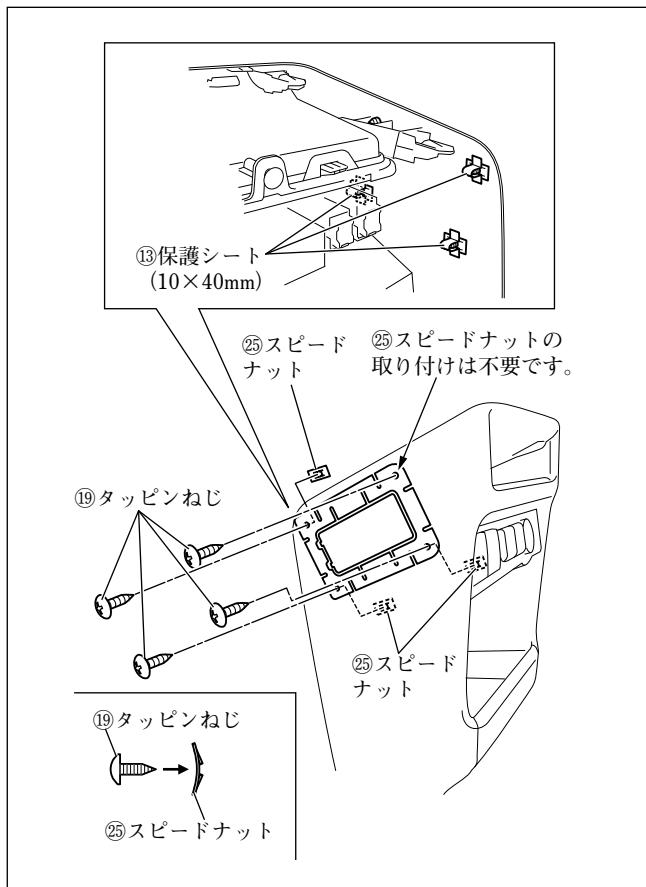
- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。



- (3) ⑯両面テープ（車両側ブラケット用）を④車両側ブラケットに貼り付けてください。（全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照）
- (4) ④車両側ブラケットのはく離紙をはがしてください。
- (5) ネジ穴位置が合うように④車両側ブラケットを貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ④車両側ブラケットの向きを間違えないでください。



- (6) ㉕スピードナット（3個）および⑯タッピンねじ（4本）で④車両側ブラケットを固定してください。

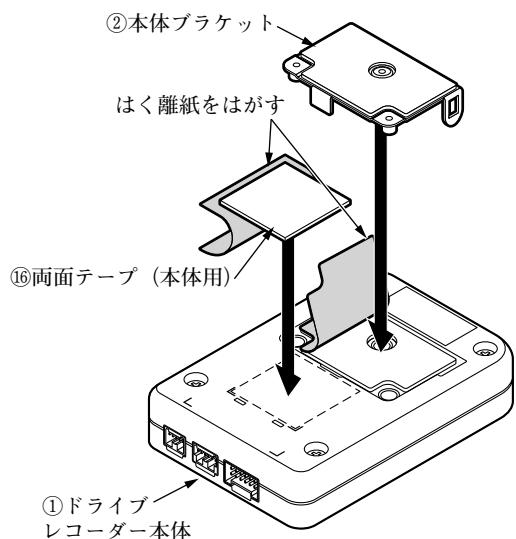
注記

- ㉕スピードナットは、図の向きで取り付けてください。
- 別売のワイヤレスエンジンスターターと共に着する場合は、⑯タッピンねじ（4本）全てへ㉕スピードナットを取り付けてください。

- (7) 図示位置の⑯タッピンねじ先端を⑬保護シートで覆ってください。

注意

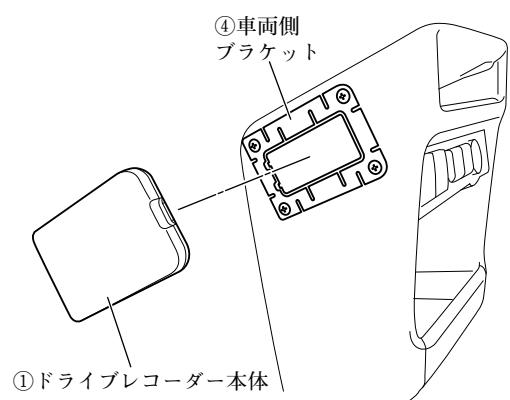
必ず⑯タッピンねじ先端を⑬保護シートで覆ってください。指等が触れるだけがをするおそれがあります。



- (8) ①ドライブレコーダー本体と⑯両面テープ(本体用)のはく離紙をはがしてください。
- (9) ②本体ブラケットと⑯両面テープ(本体用)を①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

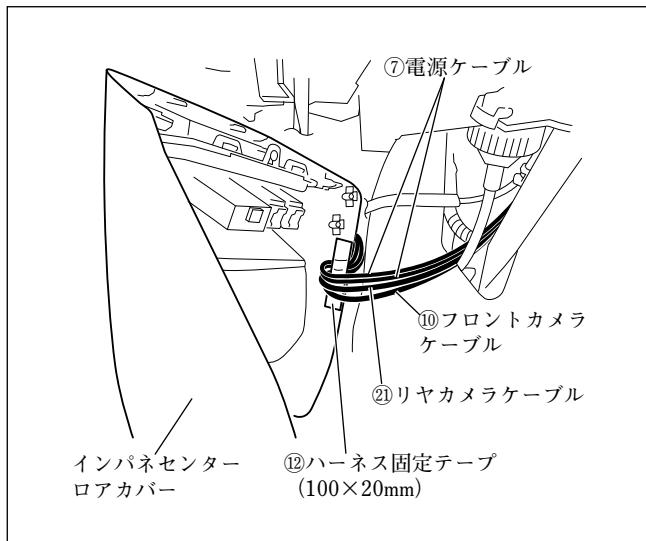
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。



- (10) ①ドライブレコーダー本体に貼り付けた②本体ブラケットおよび⑯両面テープ(本体用)のはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)
- (11) ①ドライブレコーダー本体を④車両側ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を④車両側ブラケットに貼り付ける際、取付穴をツメにはめ込んでください。



(12) ① ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。(全車共通の「接続のしかた」参照)

(13) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを⑫ハーネス固定テープで固定しながらインパネセンターロアカバーを復元してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- インパネセンターロアカバーの復元時、インパネと⑯タッピンねじが干渉しないように位置を調整しながらクリップをしっかりとかん合させてください。

- 全車共通の「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- 全車共通の「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 全車共通の「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 全車共通の「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

スペーシアの場合

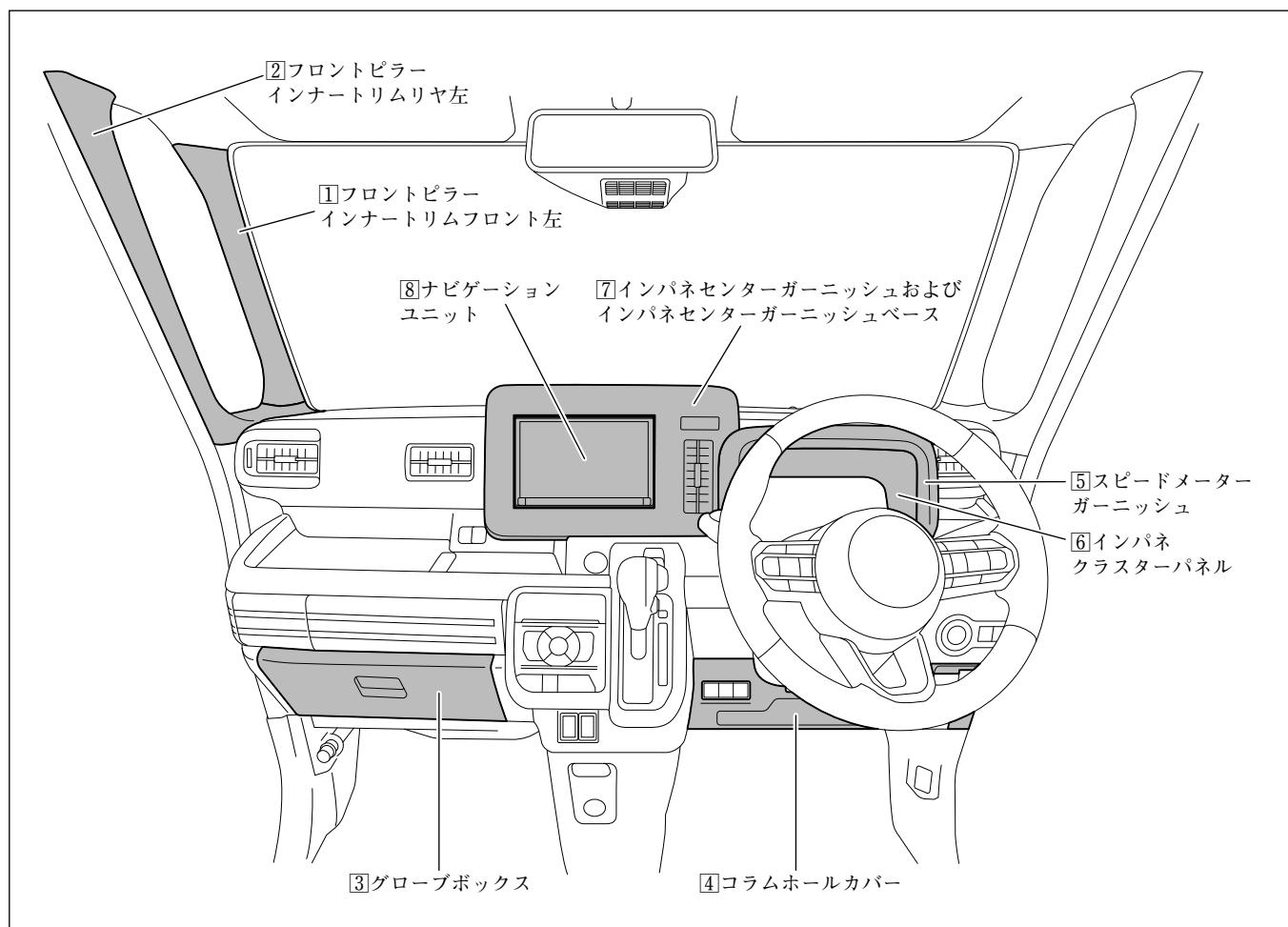
●車両部品の取り外し方法

注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

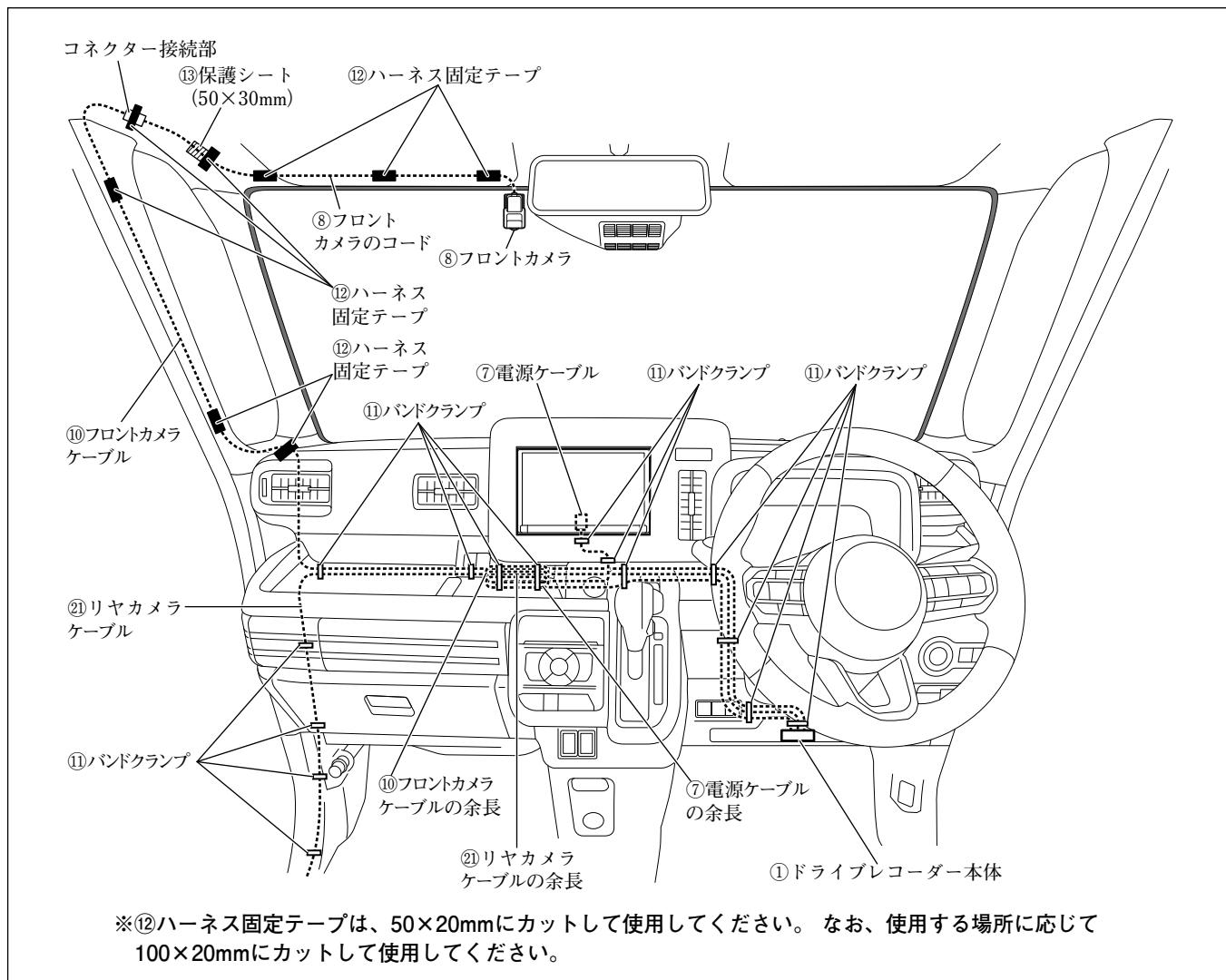
図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ

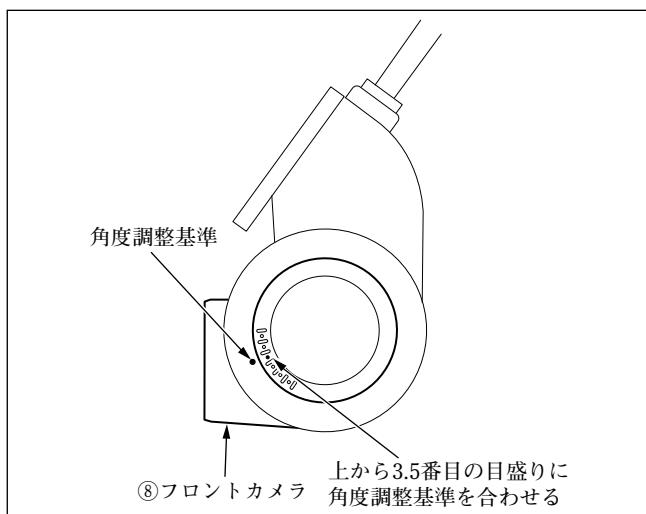


● 取付概要

フロントカメラ



● フロントカメラ取付前の準備

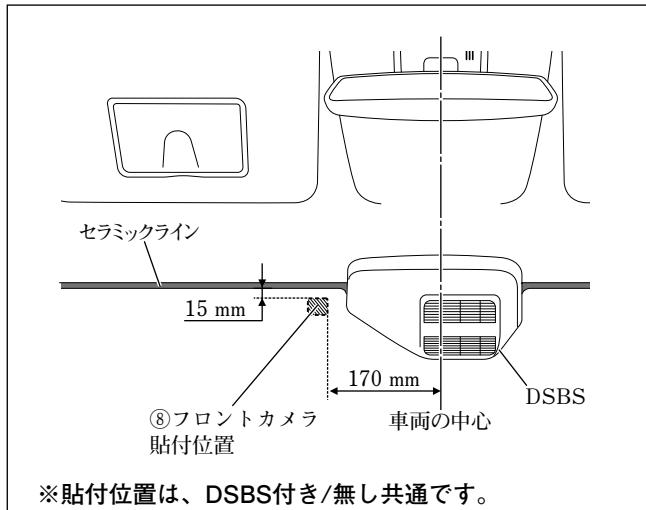


⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

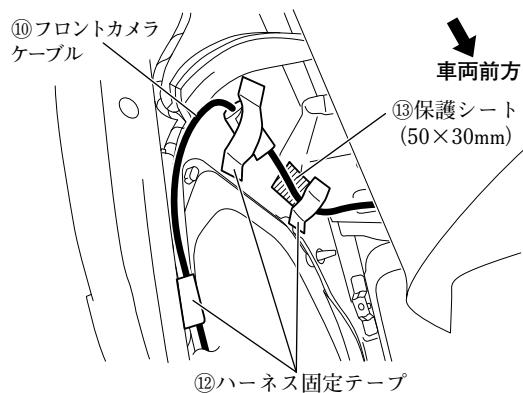
● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ・フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ・配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

左フロントピラー上部



配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

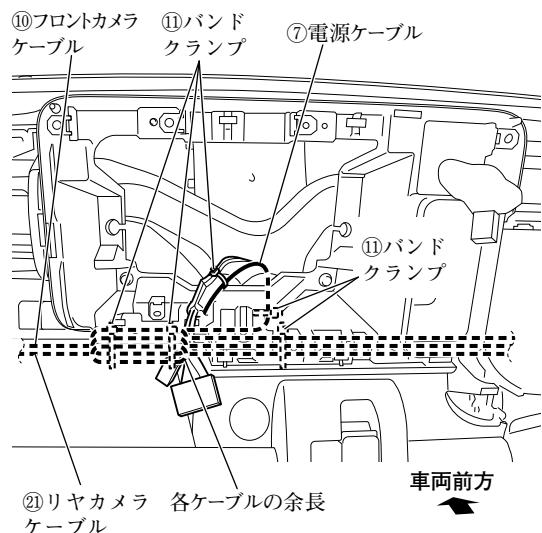
- ・⑯保護シートおよび⑰ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- ・気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

以下の項目は、ドライブレコーダー（連動2カメラ）のリヤカメラ専用の記載です。
別冊の追補版を参照して作業を行ってください。

- **リヤカメラ取付前の準備**
- **リヤカメラの取付方法**
- **リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）**
- **リヤカメラケーブルの配線（車室内）**

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

ナビゲーション取付部

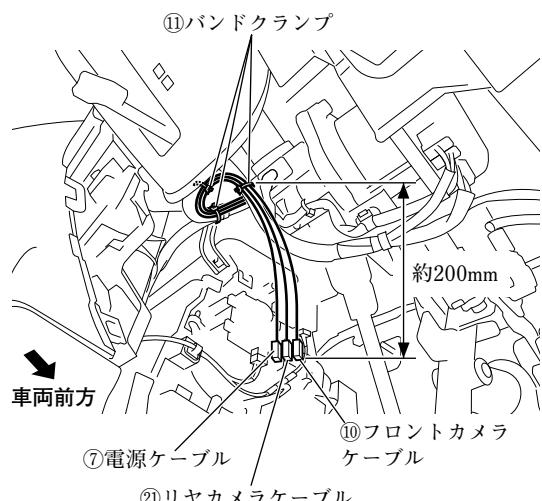


- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

ステアリングコラム下

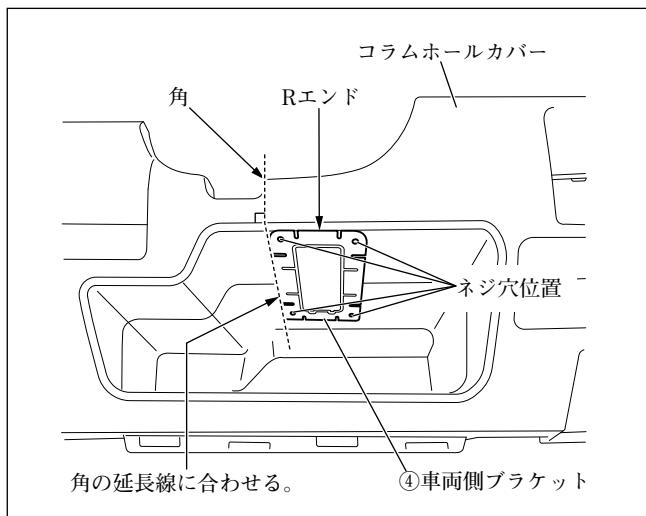


- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。
- (3) ①ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用します。配線を通す穴を加工します。



- (1) コラムホールカバーへ④車両側ブラケットを当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。

注記

④車両側ブラケットの向きを間違えないでください。

- (2) ④車両側ブラケットを外し、マーキングした位置にドリルで穴 ($\phi 3\text{mm}$) を開けてください。

⚠ 注意

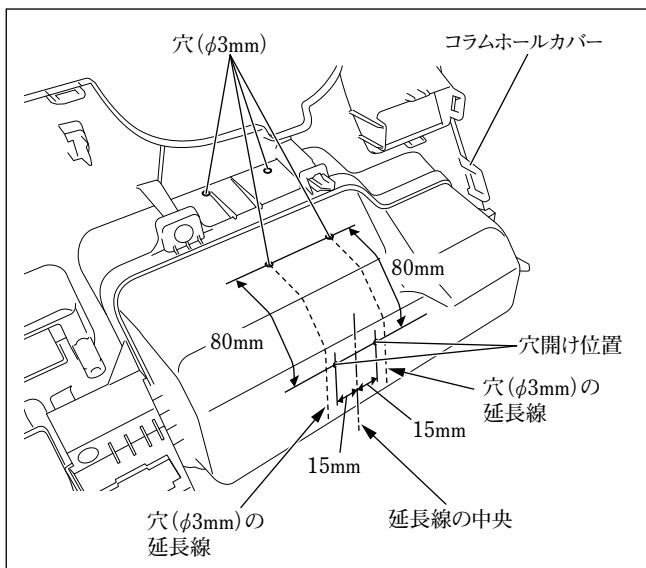
- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

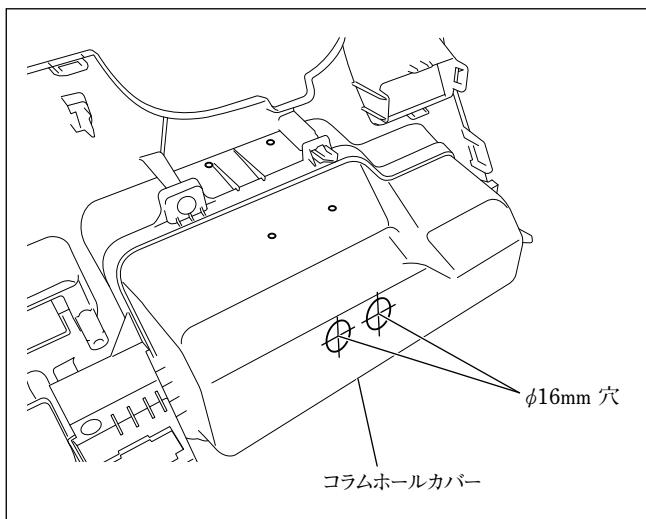
- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

👉 アドバイス

コラムホールカバーの裏面から表面方向へ穴を開けてください。



(3) コラムホールカバーの穴開け位置にマーキングしてください。



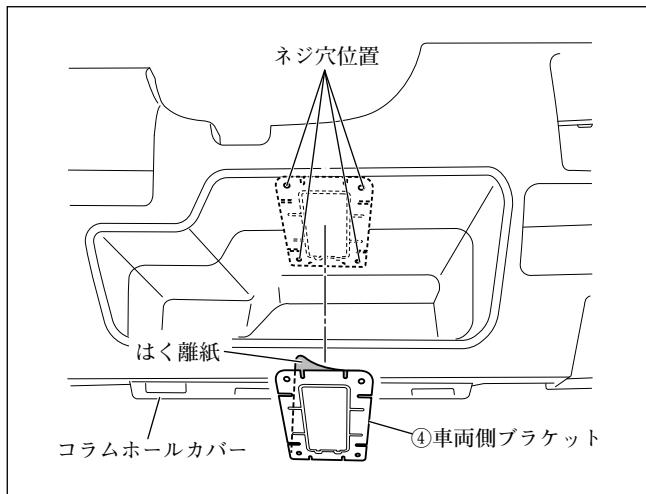
(4) コラムホールカバーの穴開け位置にホールソーで穴（ $\phi 16\text{mm}$ ）を開けてください。

!! 注意

- ホールソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

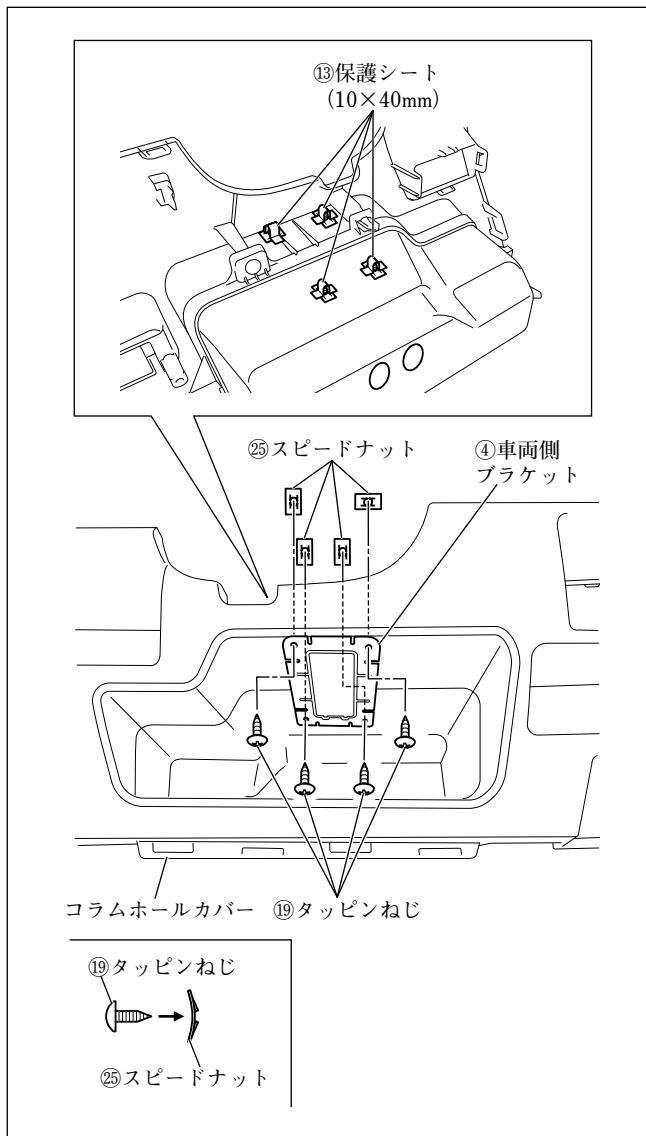
- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。



- (5) ⑯両面テープ（車両側ブラケット用）を④車両側ブラケットに貼り付けてください。（全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照）
- (6) ④車両側ブラケットのはく離紙をはがしてください。
- (7) ネジ穴位置が合うように④車両側ブラケットを貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ④車両側ブラケットの向きを間違えないでください。



- (8) ㉕スピードナット（4個）および⑯タッピンねじ（4本）で④車両側ブラケットを固定してください。

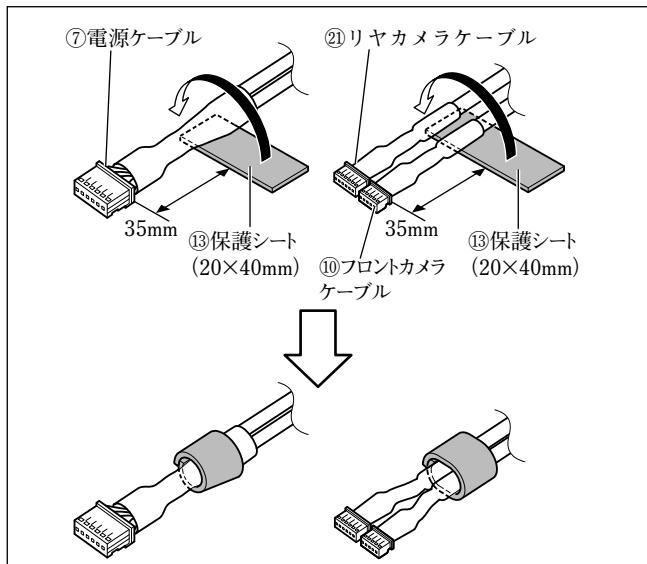
注記

- ㉕スピードナットは、図の向きで取り付けてください。
- ㉕スピードナットがコラムホールカバー裏面のリブに乗り上げる場合は、干渉する部位のリブをカットしてください。

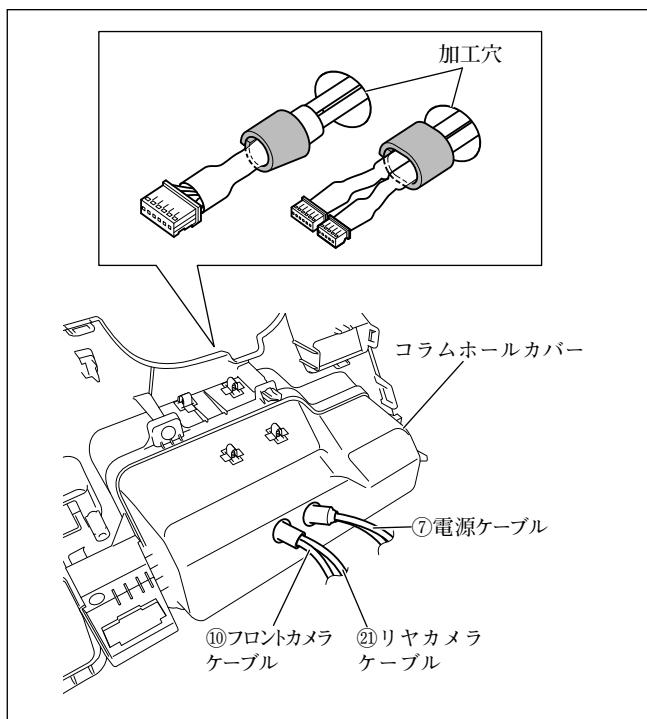
- (9) 図示位置の⑯タッピンねじ先端を⑬保護シートで覆ってください。

注意

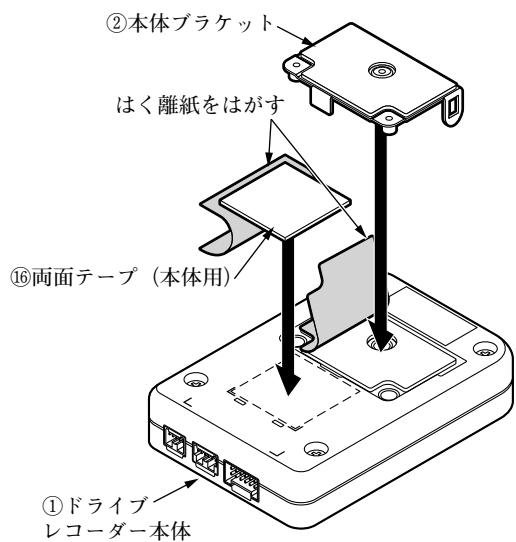
必ず⑯タッピンねじ先端を⑬保護シートで覆ってください。指等が触れるだけがをするおそれがあります。



(10) 配線を保護するため、図示箇所に⑬保護シートを巻き付けてください。



(11) コラムホールカバーの加工穴に本図のようにケーブルを通してください。



(12) ①ドライブレコーダー本体と⑯両面テープ（本体用）のはく離紙をはがしてください。

(13) ②本体ブラケットと⑯両面テープ（本体用）を①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

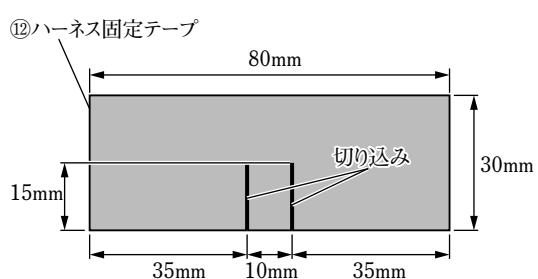
(14) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。（全車共通の「接続のしかた」参照）

(15) ①ドライブレコーダー本体に貼り付けた②本体ブラケットおよび⑯両面テープ（本体用）のはく離紙をはがしてください。（全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照）

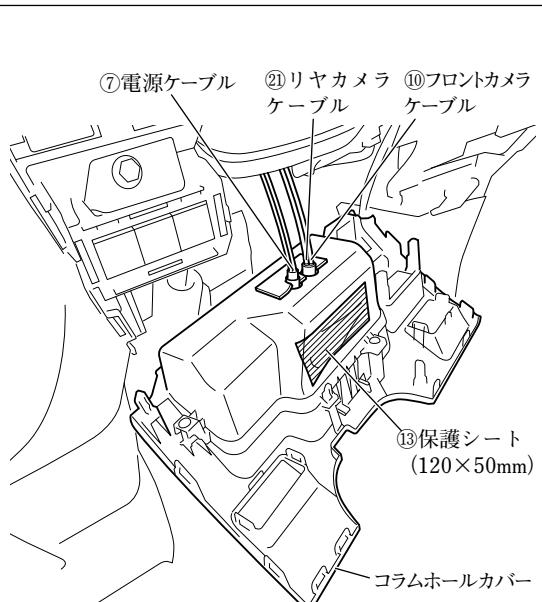
(16) ①ドライブレコーダー本体を④車両側ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を④車両側ブラケットに貼り付ける際、取付穴をツメにはめ込んでください。



(17) ⑫ハーネス固定テープを図のようにカットしてください。



(18) カットした⑫ハーネス固定テープをコラムホールカバーに貼り付けてください。

(19) 図示箇所に⑬保護シートを貼り付けてください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープおよび⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- 全車共通の「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締付トルク等）
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- 全車共通の「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 全車共通の「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 全車共通の「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

スペーシアベースの場合

本書に記載の取付位置は推奨となります。他の用品と取付位置が重なる場合、取付位置の調整をしてください。

注記

別売のETC2.0車載器をビルトイン取付キットを使用せずに取り付ける場合は、ETC2.0車載器本体をグローブボックス内に取り付けてください。

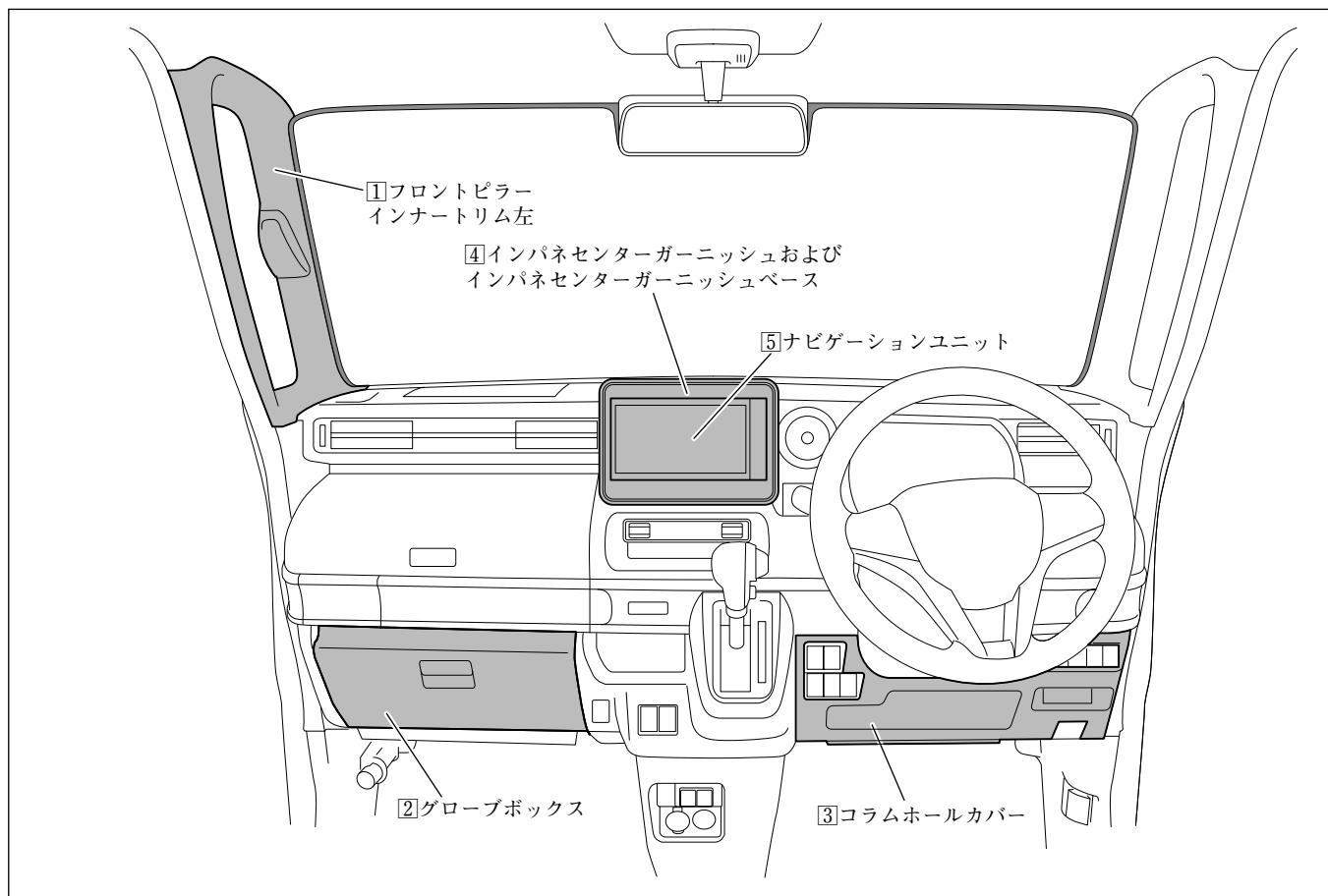
●車両部品の取り外し方法

注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

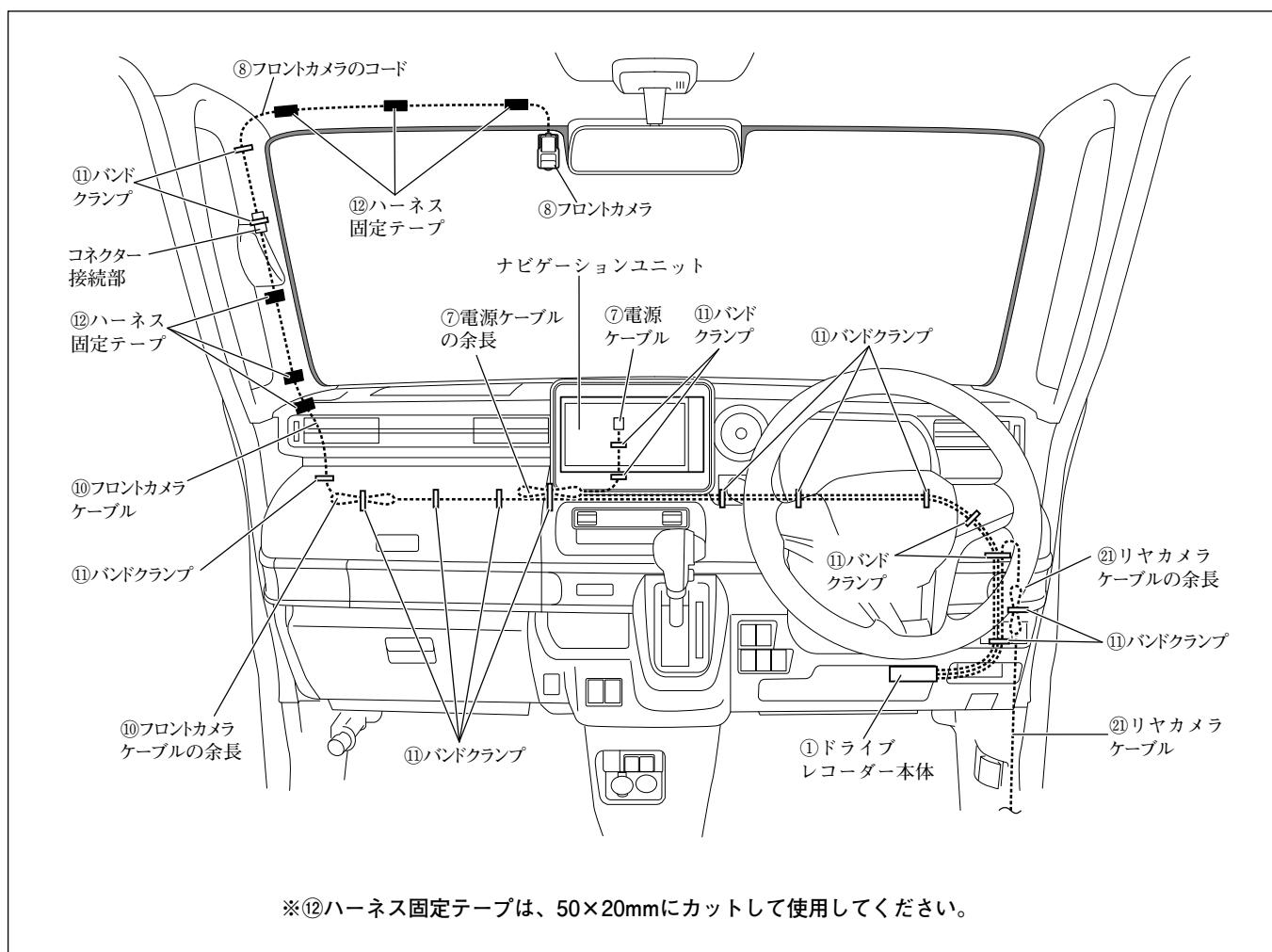
図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ

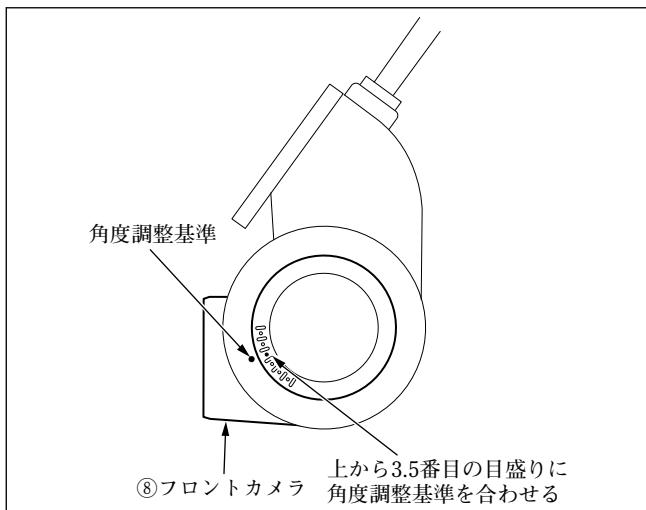


● 取付概要

フロントカメラ



● フロントカメラ取付前の準備

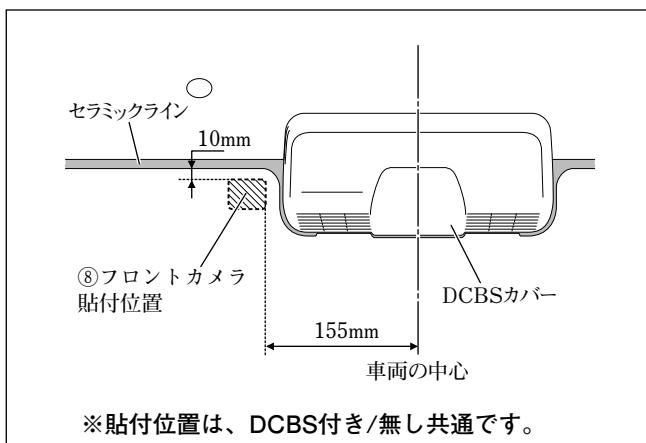


⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15℃以下の場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

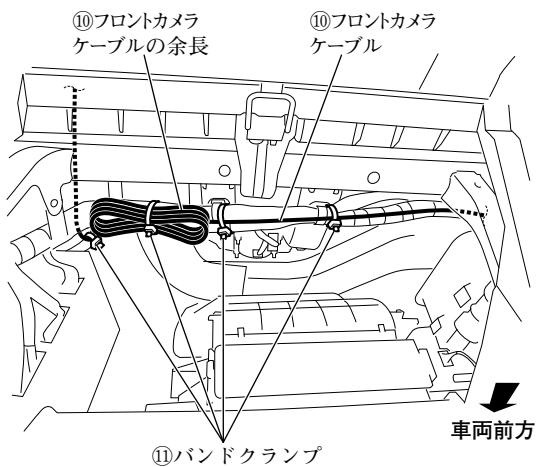
- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

以下の項目は、ドライブレコーダー（連動2カメラ）のリヤカメラ専用の記載です。
別冊の追補版を参照して作業を行ってください。

- **リヤカメラ取付前の準備**
- **リヤカメラの取付方法**
- **リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）**
- **リヤカメラケーブルの配線（車室内）**

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

グローブボックス取付部

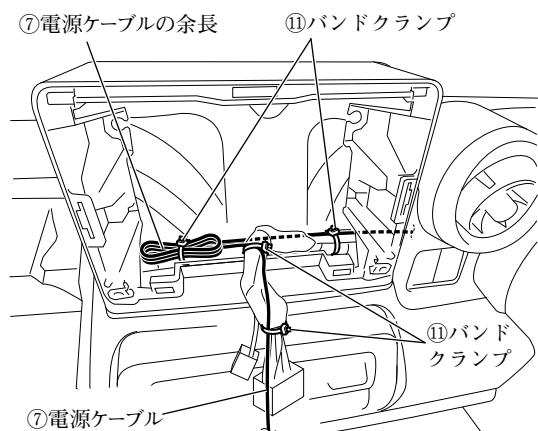


- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

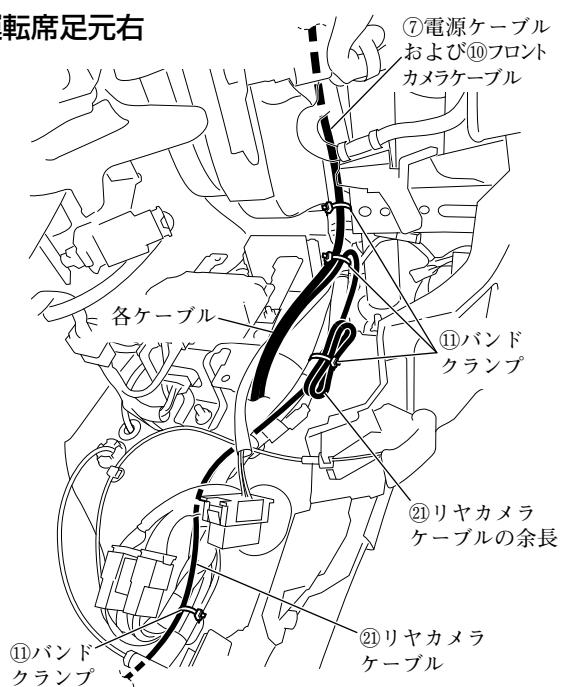
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

ナビゲーション取付部

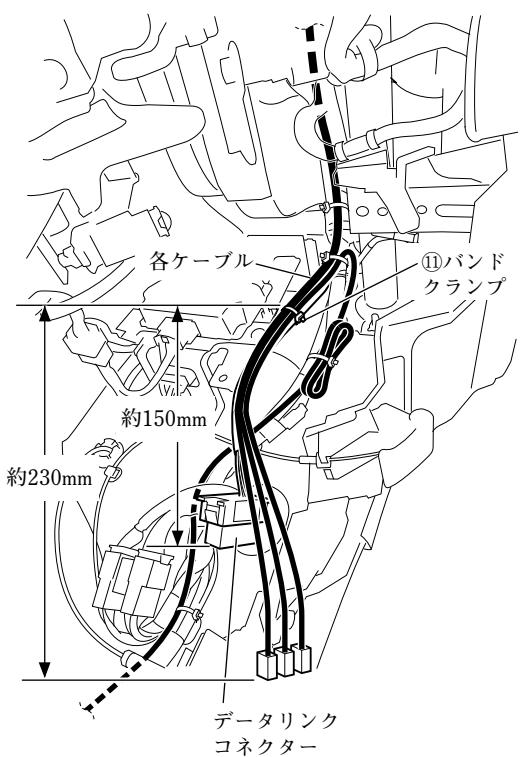


- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

運転席足元右



運転席足元右

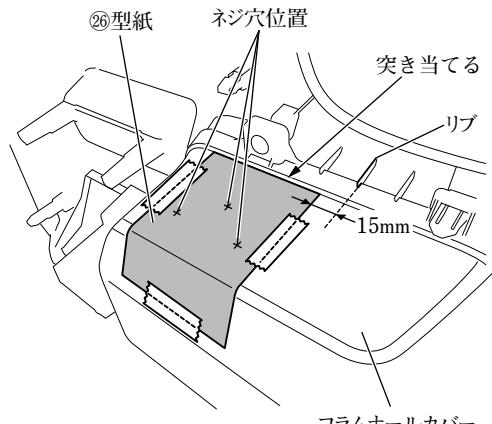


- (3) ① ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

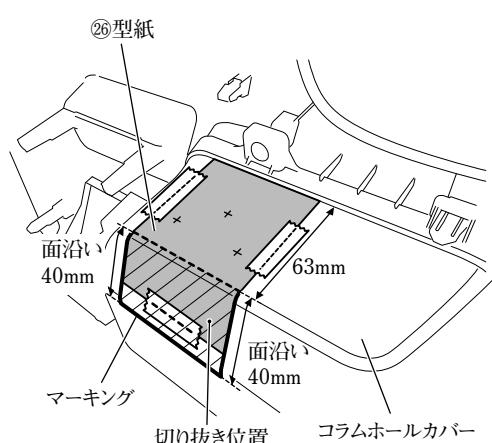
● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体を通す穴を加工します。



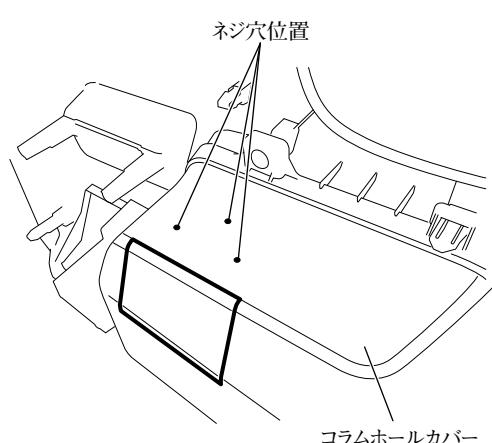
- (1) コラムホールカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。



- (2) コラムホールカバーの切り抜き位置にマーキングをしてください。

👉 アドバイス

指定の寸法および⑥型紙の端に沿ってマーキングをしてください。



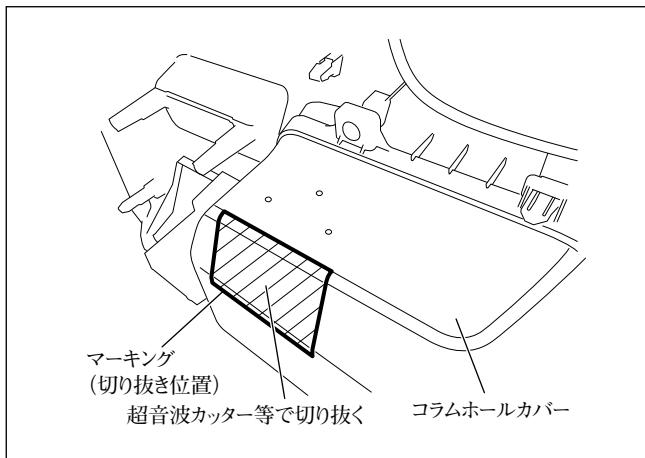
- (3) ⑥型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（Φ4mm）を開けてください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。



- (4) コラムホールカバーのマーキング位置（切り抜き位置）内側に沿って超音波カッター等で穴を開けてください。

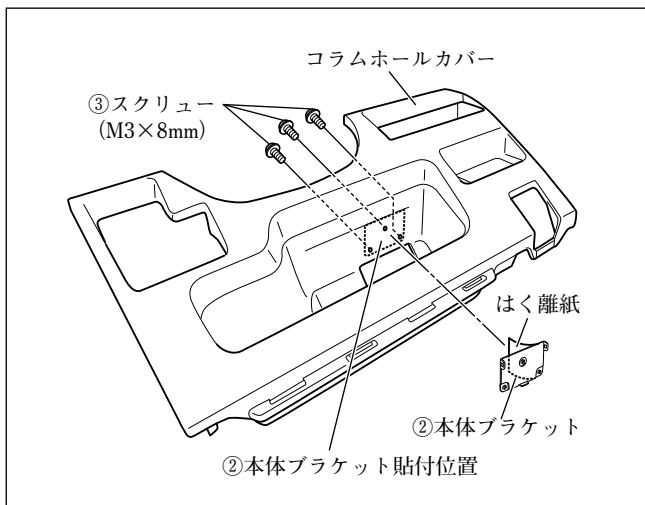
⚠ 注意

穴を開ける際は、耐切創手袋を使用してください。

- (5) 切り抜き後、コラムホールカバーの切り抜き部のバリをヤスリで取り除いてください。

👉 アドバイス

最初は粗目のヤスリでバリを取り除き、仕上げを細目のヤスリで毛羽立ちが無くなるようにしてください。

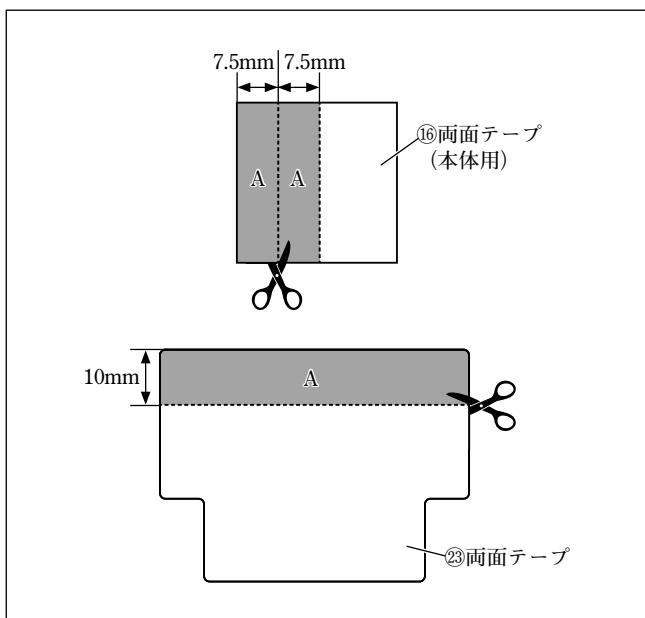


- (6) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。

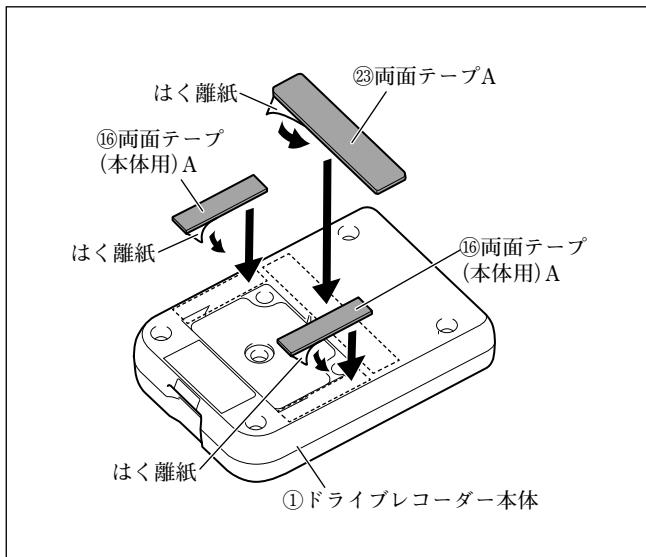
- (7) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー（M3×8mm）で固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



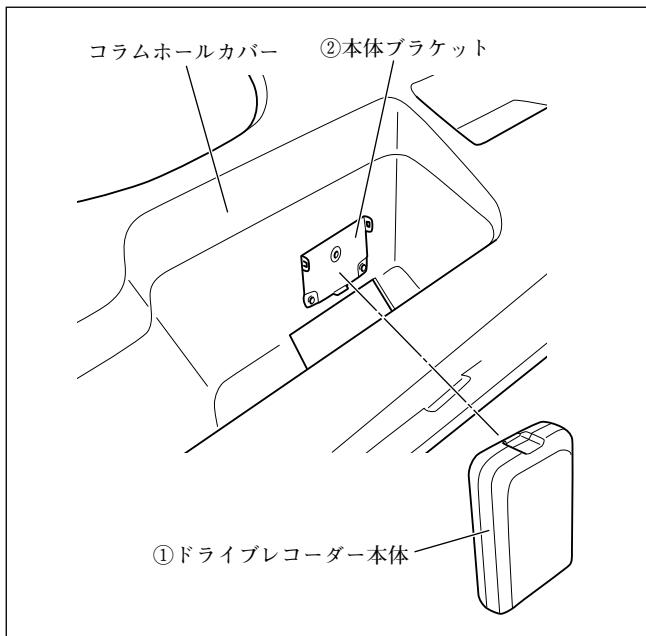
- (8) ⑯両面テープ（本体用）と⑰両面テープを図のようにカットしてください。



- (9) カットした⑯両面テープ(本体用) Aと②両面テープAを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



- (10) ①ドライブレコーダー本体を仮組みし、コラムホールカバーと干渉していないことを確認してください。なお、干渉している場合は、コラムホールカバーを削り調整してください。

注記

- ①ドライブレコーダー本体を仮組みする際は、②本体ブラケットのツメをかん合させないでください。

- (11) ①ドライブレコーダー本体、②両面テープAおよび⑯両面テープ(本体用) Aのはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)
- (12) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

- (13) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。(全車共通の「接続のしかた」参照)

- 全車共通の「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締付トルク等）
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- 全車共通の「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 全車共通の「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 全車共通の「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

注記

全車共通の「感度調整」を参照して急加速・急減速の感度の設定値を2にしてください。

ワゴンRの場合

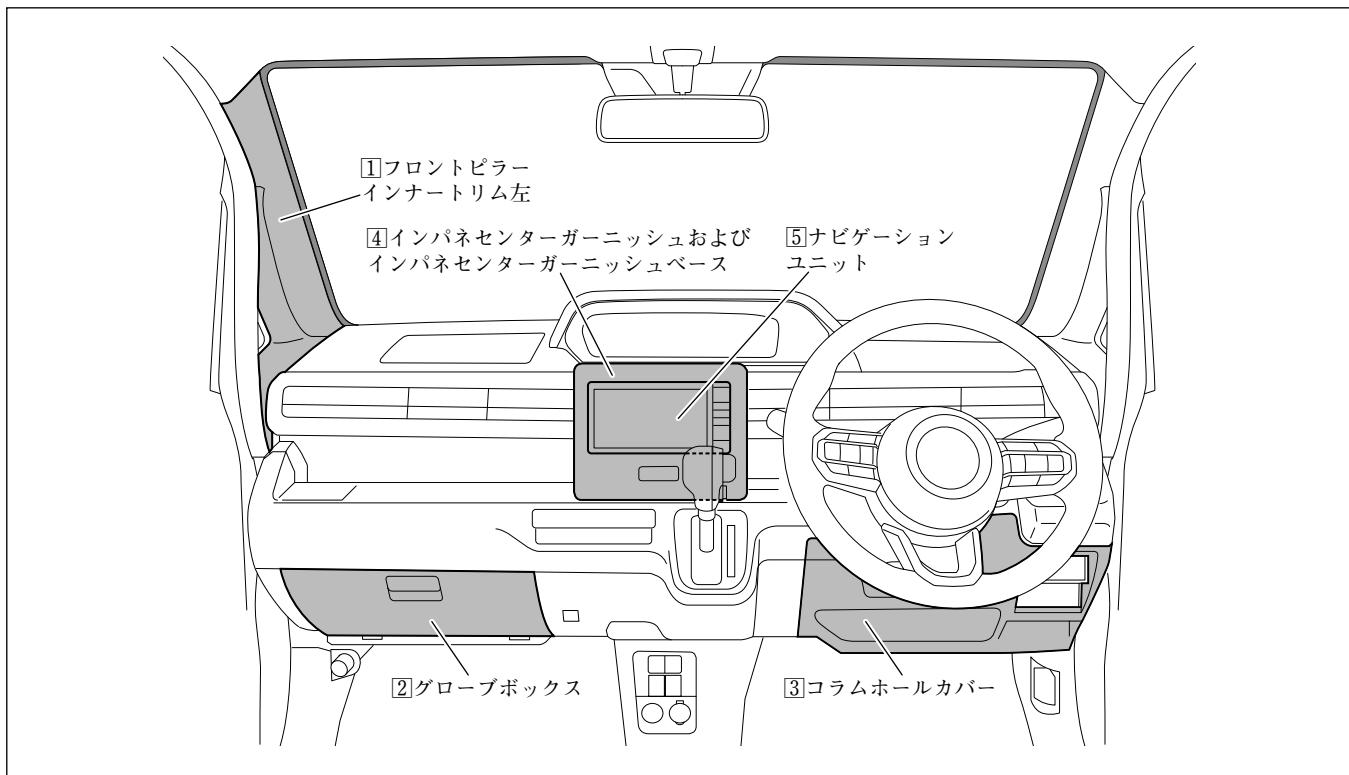
●車両部品の取り外し方法

注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

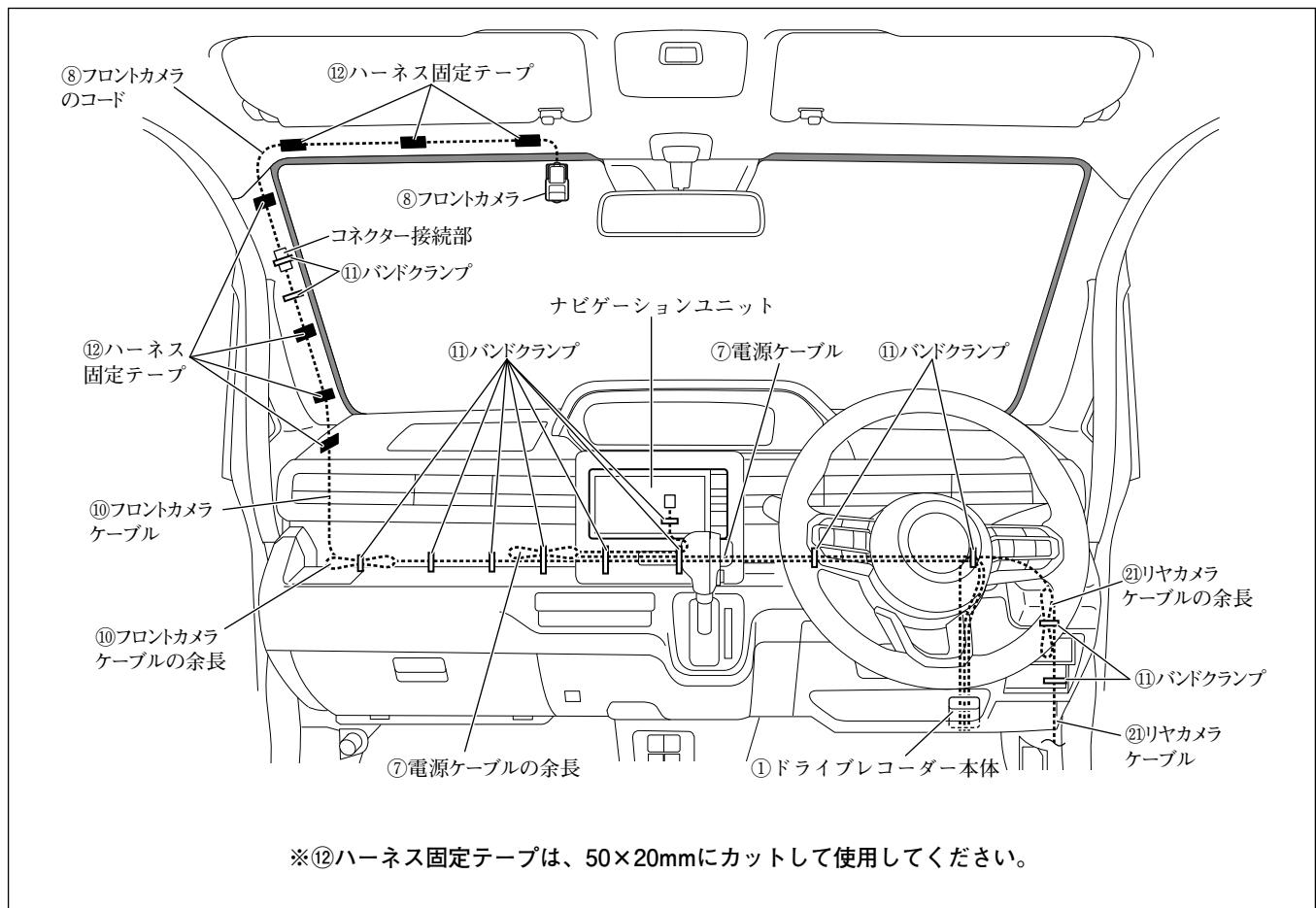
図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ

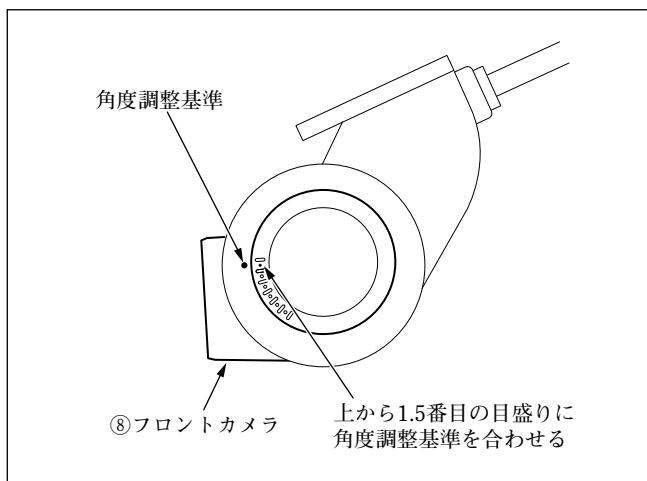


● 取付概要

フロントカメラ



● フロントカメラ取付前の準備

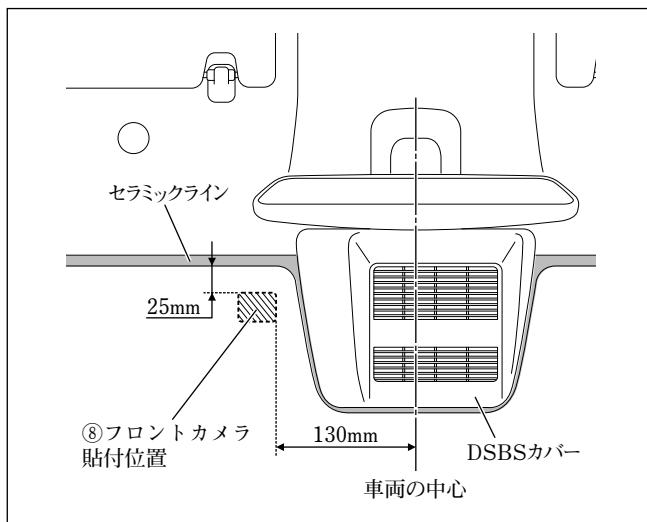


⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

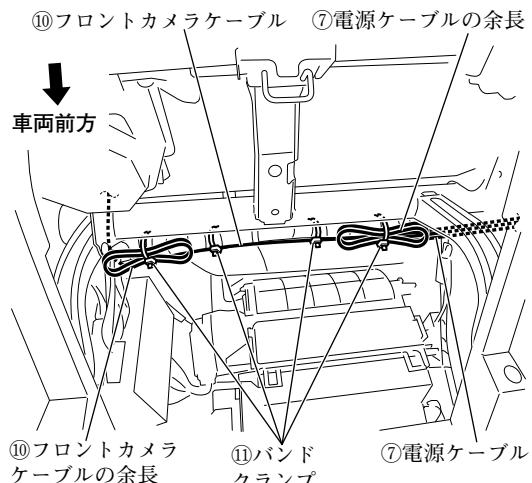
以下の項目は、ドライブレコーダー（連動2カメラ）のリヤカメラ専用の記載です。

別冊の追補版を参照して作業を行ってください。

- リヤカメラ取付前の準備
- リヤカメラの取付方法
- リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）
- リヤカメラケーブルの配線（車室内）

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

グローブボックス取付部上

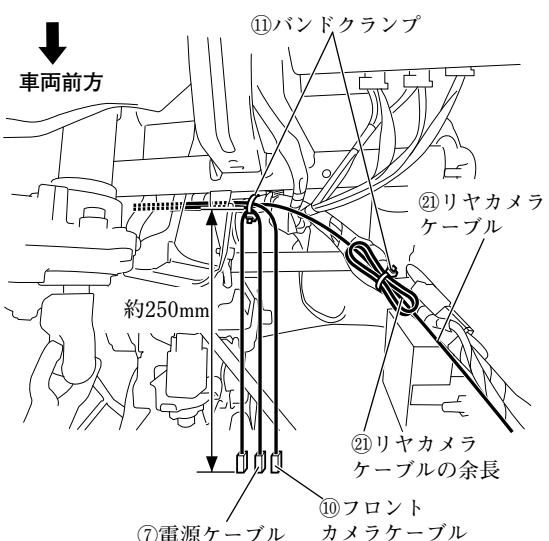


- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

ステアリングコラム右上

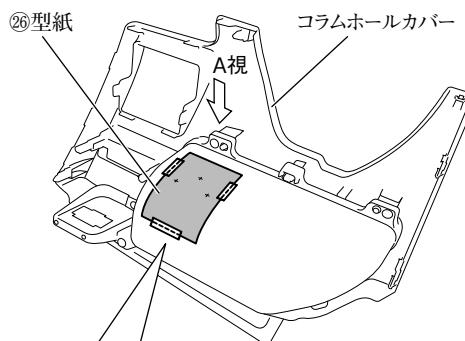


- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。
- (3) ①ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

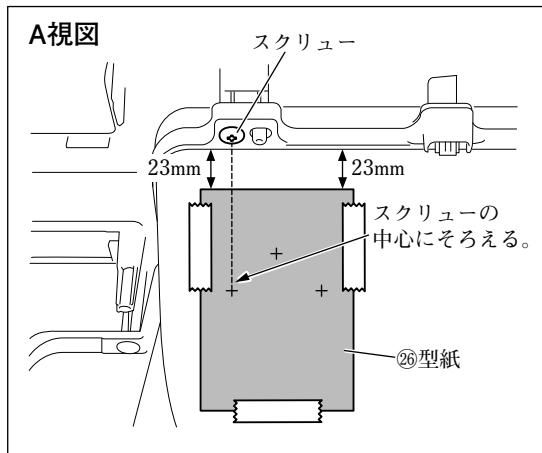
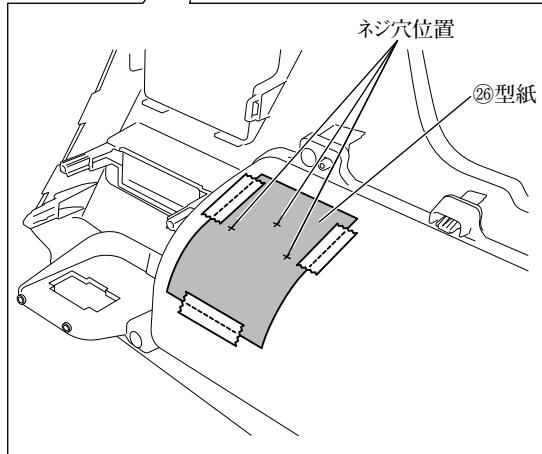
● ドライブレコーダー本体の取付方法

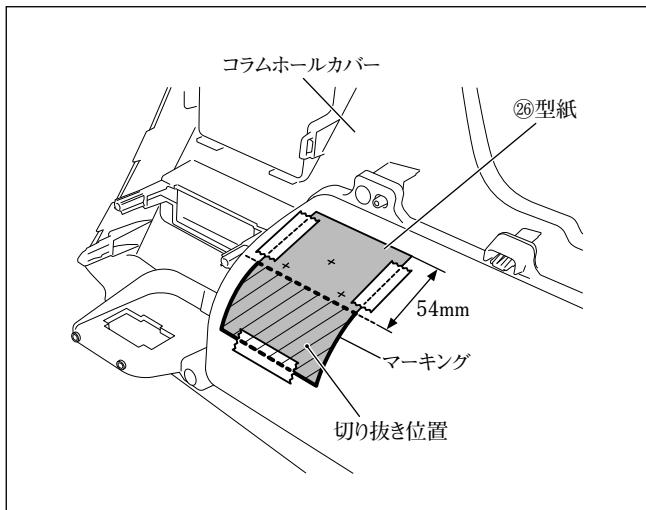
👉アドバイス

本車両は④車両側プラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体を通す穴を加工します。



- (1) コラムホールカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。

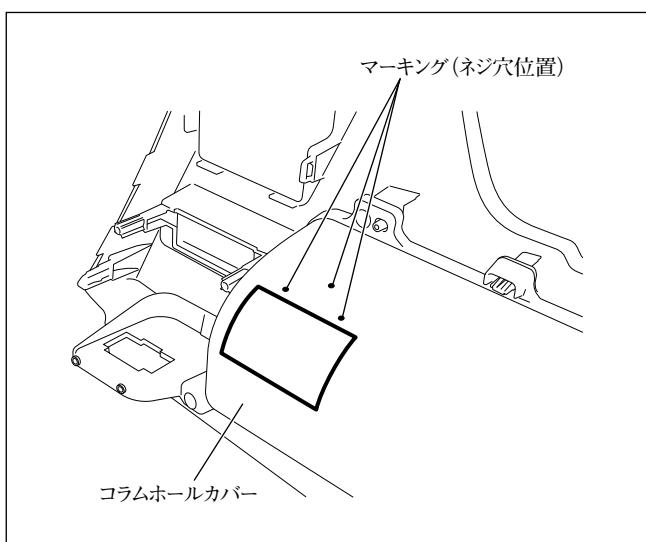




- (2) コラムホールカバーの切り抜き位置にマーキングをしてください。

👉アドバイス

指定の寸法および②型紙の端に沿ってマーキングをしてください。



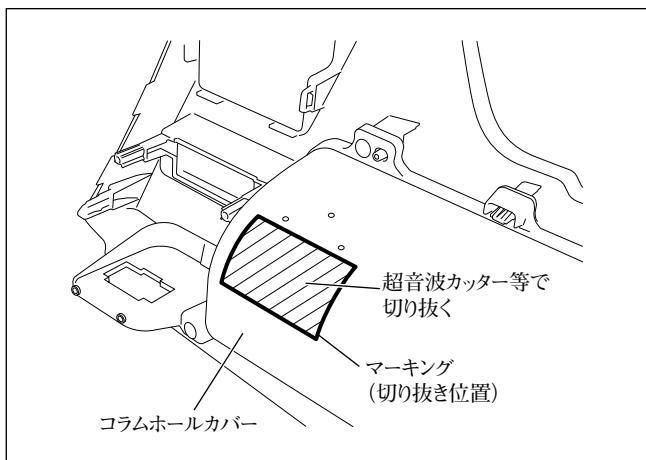
- (3) ②型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（ $\phi 4\text{mm}$ ）を開けてください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。



- (4) コラムホールカバーのマーキング位置（切り抜き位置）内側に超音波カッター等で穴を開けてください。

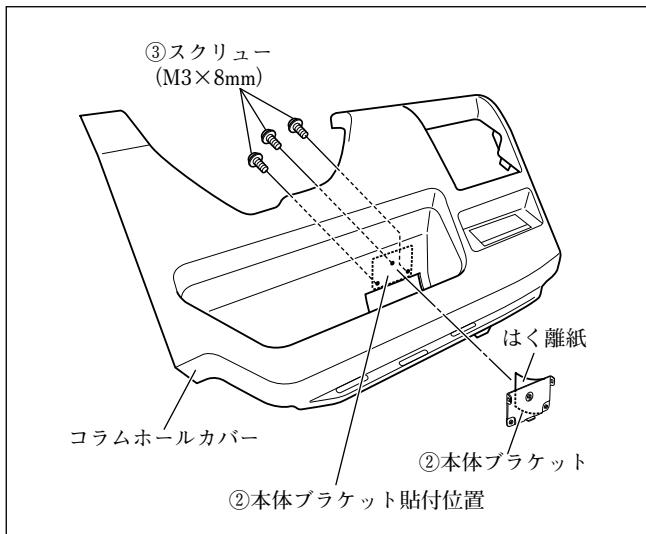
⚠ 注意

穴を開ける際は、耐切創手袋を使用してください。

- (5) 切り抜き後、コラムホールカバーの切り抜き部のバリをヤスリで取り除いてください。

👉アドバイス

最初は粗目のヤスリでバリを取り除き、仕上げを細目のヤスリで毛羽立ちが無くなるようにしてください。



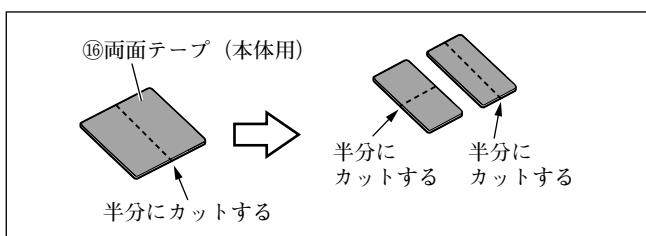
(6) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。

(7) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー (M3×8mm) で固定してください。

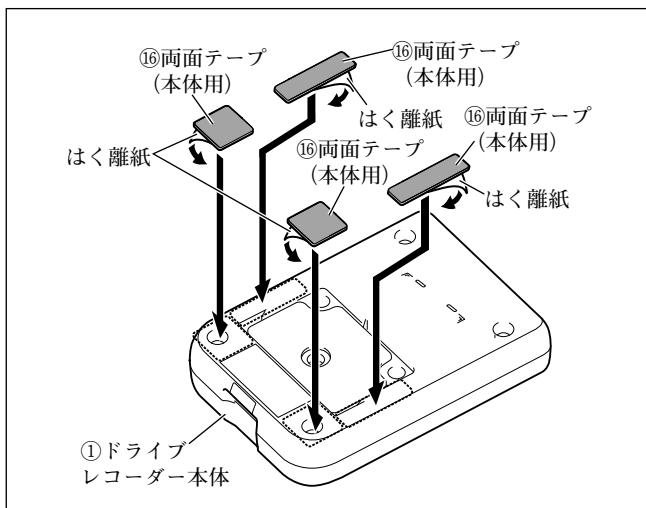
注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。

- 気温が低いとき (15°C以下) は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(8) ⑯両面テープ (本体用) を図のようにカットしてください。

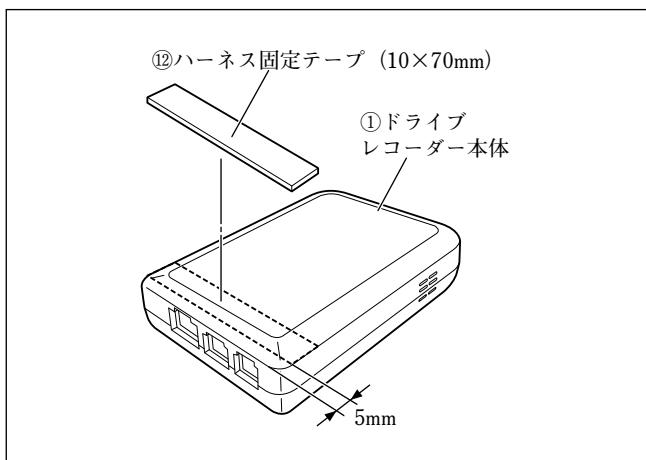


(9) カットした⑯両面テープ (本体用) を①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

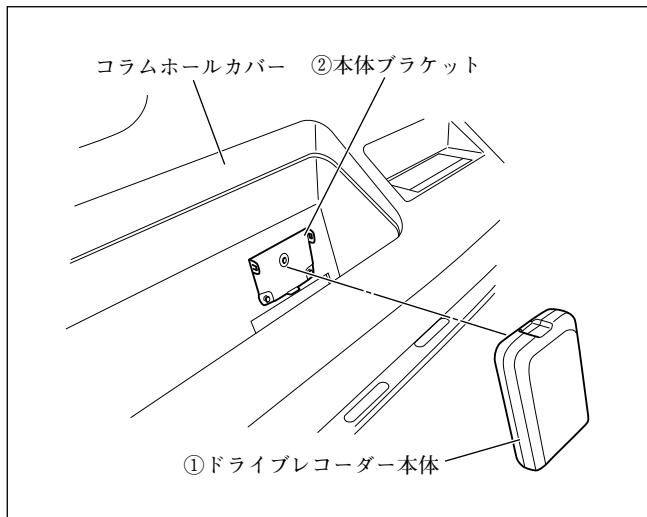
注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。

- 気温が低いとき (15°C以下) は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(10) カットした⑫ハーネス固定テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。



- (11) ①ドライブレコーダー本体を仮組みし、コラムホールカバーと干渉していないことを確認してください。なお、干渉している場合は、コラムホールカバーを削り調整してください。

注記

- ①ドライブレコーダー本体を仮組みする際は、②本体ブラケットのツメをかん合させないでください。

- (12) ①ドライブレコーダー本体および⑯両面テープ(本体用)のはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)

- (13) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

- (14) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。(全車共通の「接続のしかた」参照)

- ・全車共通の「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)
 - センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカーブレートと干渉していないか点検してください。
- ・全車共通の「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 全車共通の「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 全車共通の「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

ワゴンRスマイルの場合

●車両部品の取り外し方法

注記

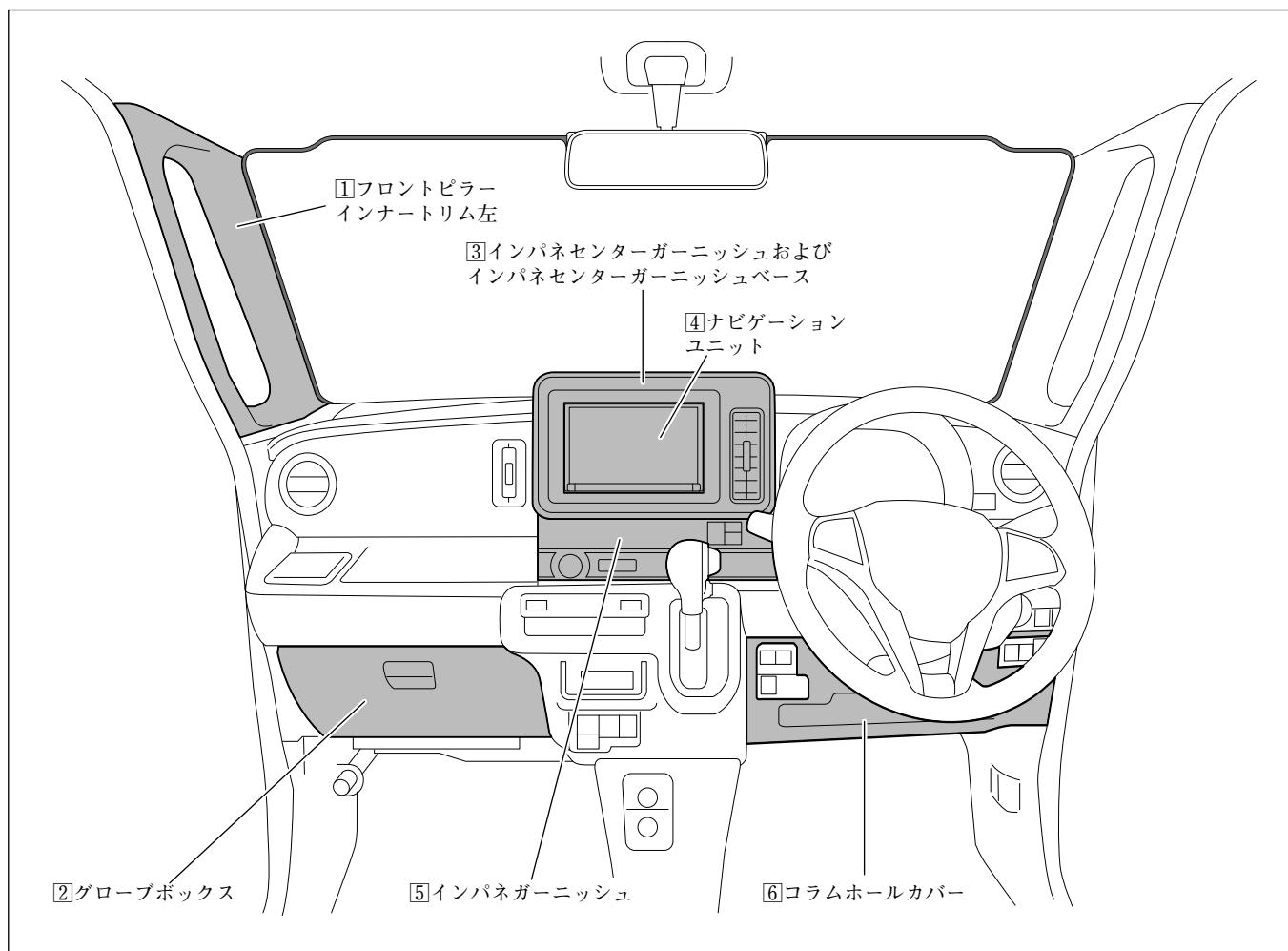
- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

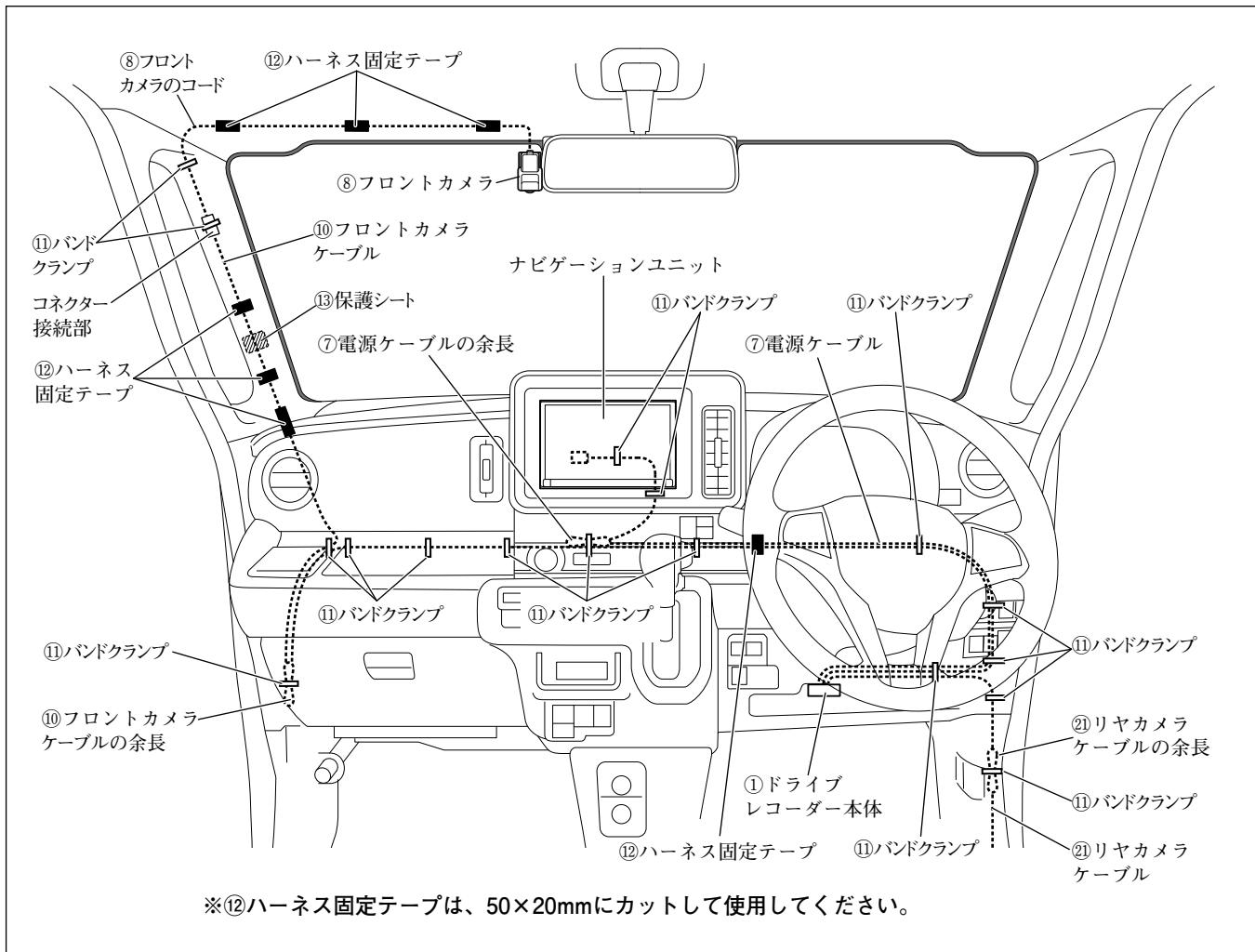
フロントカメラ

👉アドバイス

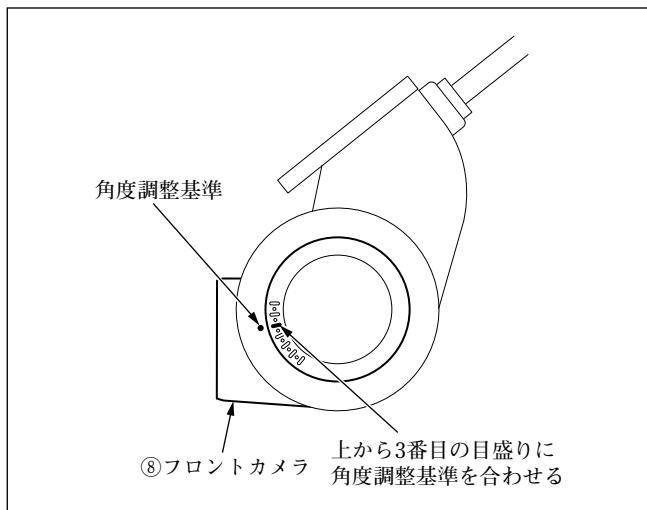
代表例を示しています。電動パーキングブレーキ仕様の車両についてはサービスマニュアルを参照してください。



● 取付概要 フロントカメラ



● フロントカメラ取付前の準備

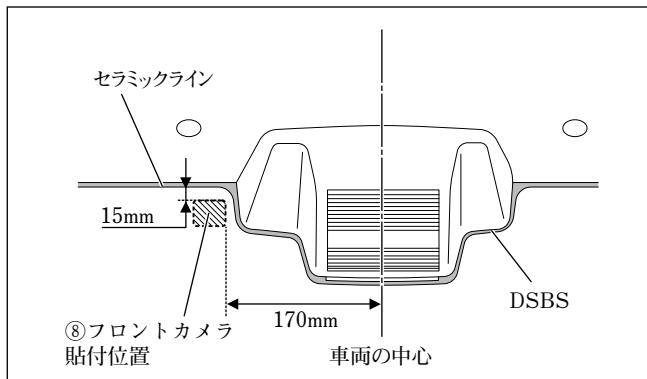


⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

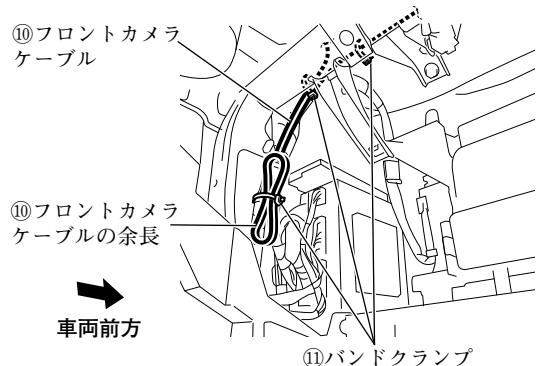
- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

以下の項目は、ドライブレコーダー（連動2カメラ）のリヤカメラ専用の記載です。
別冊の追補版を参照して作業を行ってください。

- **リヤカメラ取付前の準備**
- **リヤカメラの取付方法**
- **リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）**
- **リヤカメラケーブルの配線（車室内）**

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

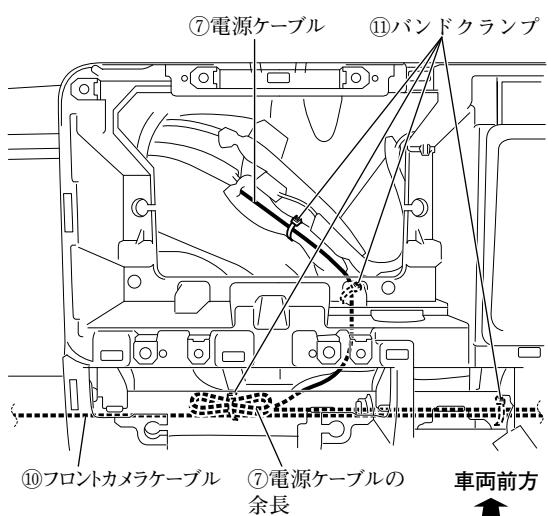
グローブボックス取付部左



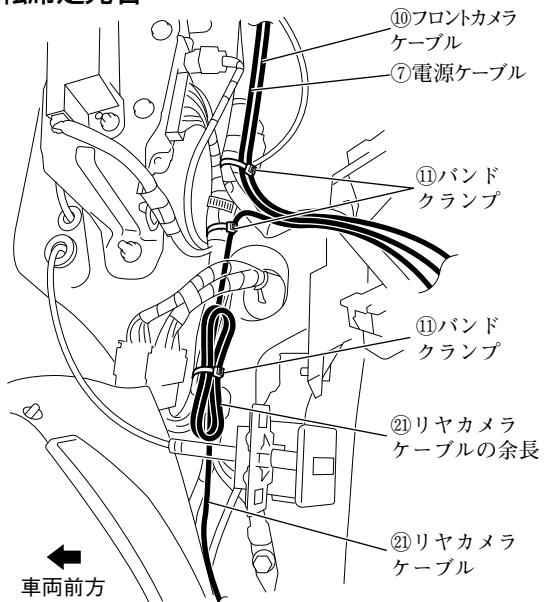
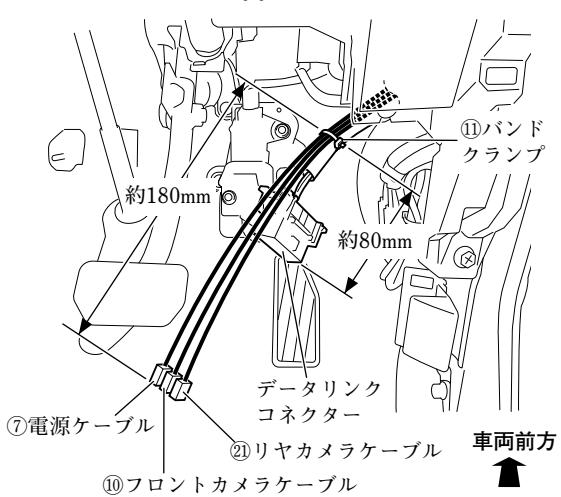
- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑫バンドクランプまたは⑬ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑯保護シートおよび⑭ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

ナビゲーション取付部

- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、
⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図
示位置で⑪バンドクランプで固定してく
ださい。

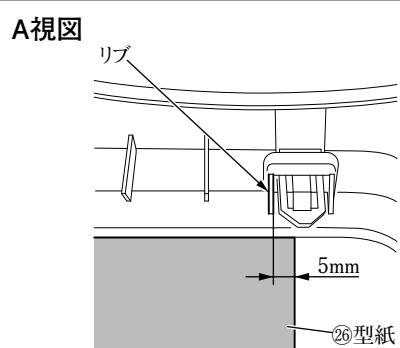
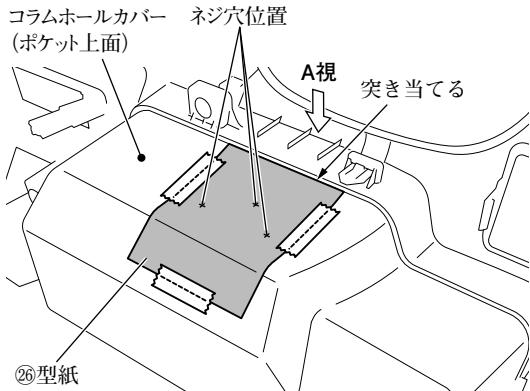
運転席足元右**ステアリングコラム右**

- (3) ①ドライブレコーダー本体に接続する各ケ
ーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプ
でまとめて固定してください。

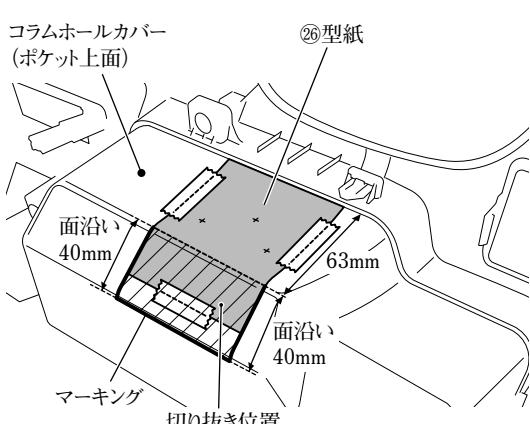
● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体を通す穴を加工します。



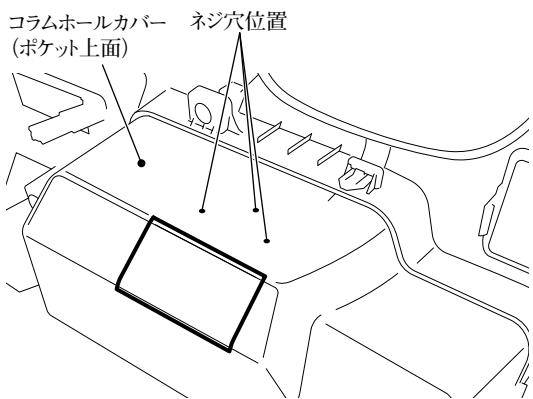
- (1) コラムホールカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。



- (2) コラムホールカバーの切り抜き位置にマーキングをしてください。

👉アドバイス

指定の寸法および⑥型紙の端に沿ってマーキングをしてください。



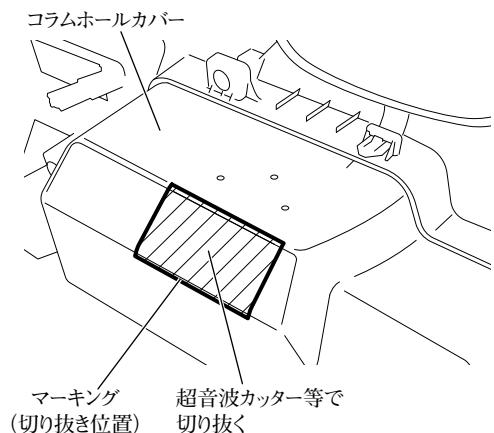
- (3) ②⑥型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（Φ4mm）を開けてください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。



- (4) コラムホールカバーのマーキング位置（切り抜き位置）内側に沿って超音波カッター等で穴を開けてください。

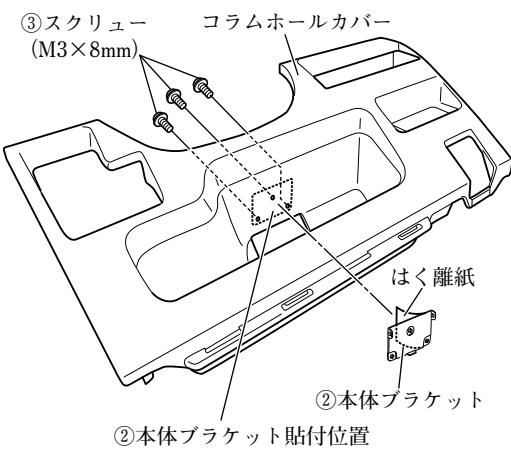
⚠ 注意

穴を開ける際は、耐切創手袋を使用してください。

- (5) 切り抜き後、コラムホールカバーの切り抜き部のバリをヤスリで取り除いてください。

👉 アドバイス

最初は粗目のヤスリでバリを取り除き、仕上げを細目のヤスリで毛羽立ちが無くなるようにしてください。

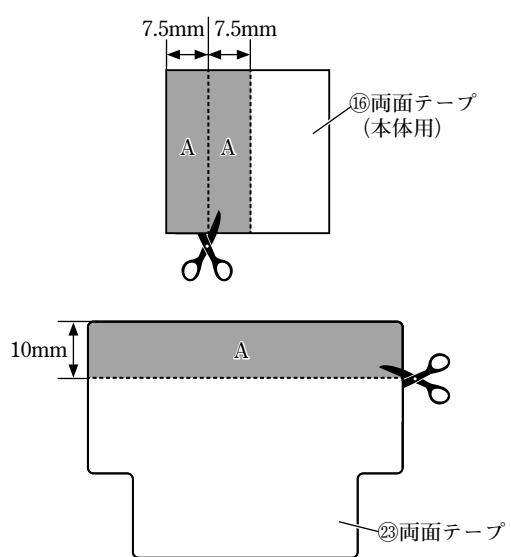


(6) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。

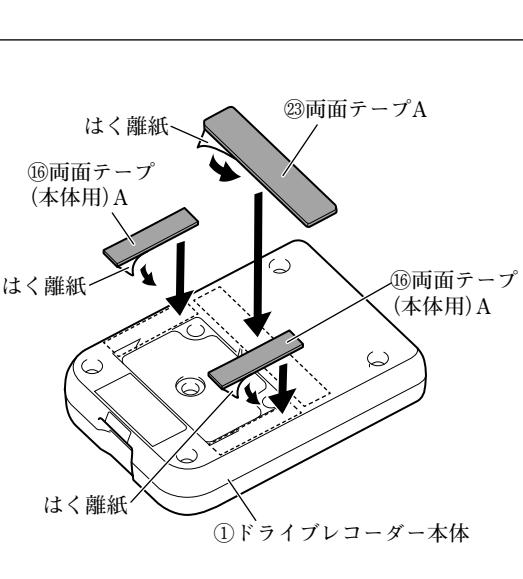
(7) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー (M3×8mm) で固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



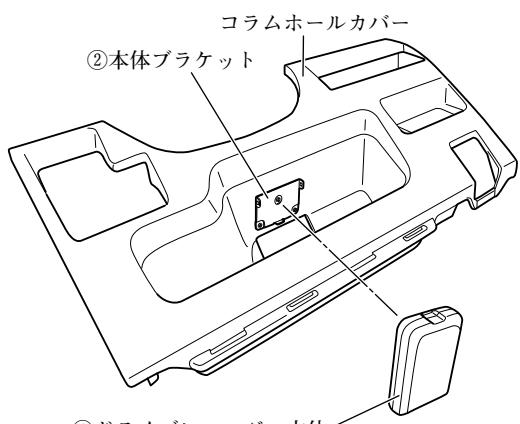
(8) ⑯両面テープ（本体用）と㉓両面テープを図のようにカットしてください。



(9) カットした⑯両面テープ（本体用）Aと㉓両面テープAを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(10) ① ドライブレコーダー本体を仮組みし、コラムホールカバーと干渉していないことを確認してください。なお、干渉している場合は、コラムホールカバーを削り調整してください。

注記

① ドライブレコーダー本体を仮組みする際は、② 本体ブラケットのツメをかん合させないでください。

(11) ① ドライブレコーダー本体、② 両面テープ A および⑯ 両面テープ(本体用) A のはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)

(12) ① ドライブレコーダー本体を② 本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ① ドライブレコーダー本体を② 本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

(13) ① ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。(全車共通の「接続のしかた」参照)

- 全車共通の「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締付トルク等）
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- 全車共通の「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 全車共通の「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 全車共通の「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

注記

全車共通の「感度調整」を参照して急加速・急減速の感度の設定値を2にしてください。

eビターラの場合

●車両部品の取り外し方法

eビターラは、電気自動車ですので作業の途中に高電圧回路が露出することがあります。

このため、有資格者がサービスマニュアルを参照した上で保護具（絶縁手袋や絶縁靴など）を着用し、作業を行わないと感電の原因となります。



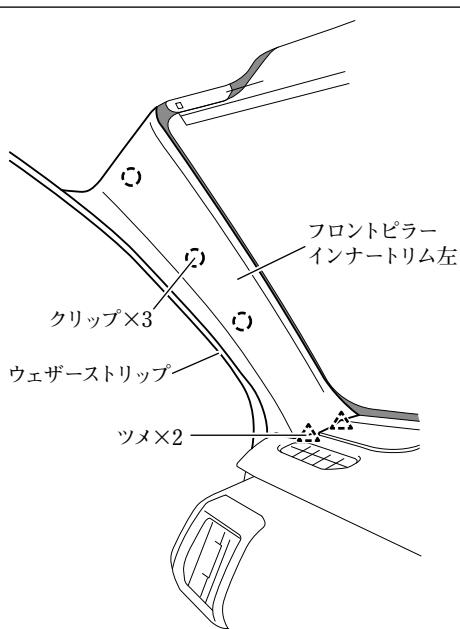
- 作業は低圧電気取扱業務特別教育を修了した作業者がサービスマニュアルの高電圧系統の注意事項などを読み理解したうえで行ってください。
- 「高電圧ケーブル（オレンジのハーネス）」には、絶対に触らないでください。感電や漏電の原因となります。

注記

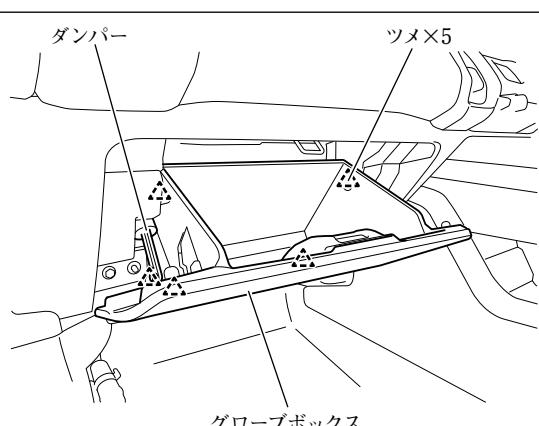
- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

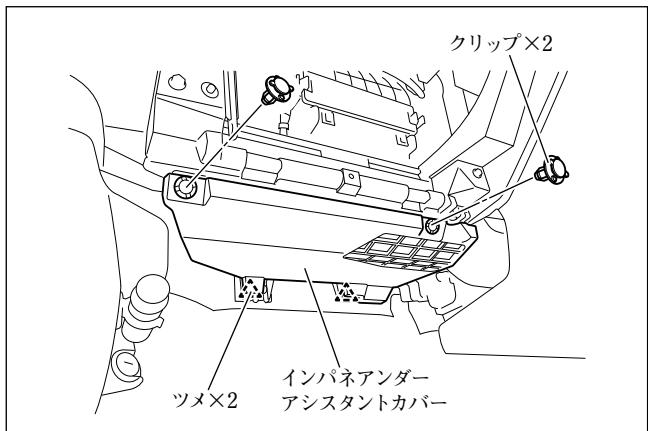
フロントカメラ



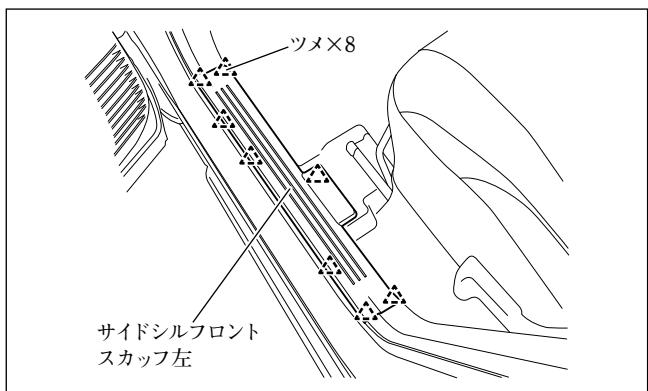
- (1) ウエザーストリップをめくり、フロントピラーインナートリム左を取り外してください。
このとき、スピーカー用コネクターの接続を外してください。



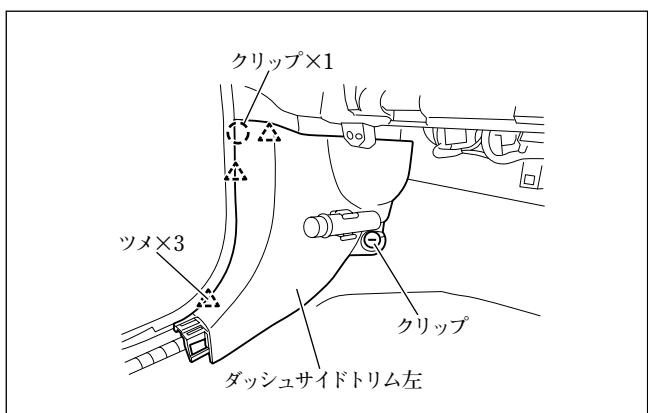
- (2) ダンパーを外し、グローブボックスを取り外してください。



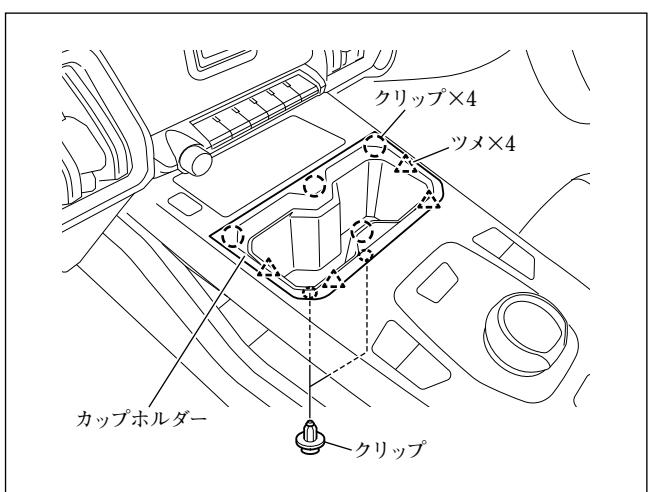
(3) クリップ(2個)を外し、インパネアンダーアシスタントカバーを取り外してください。



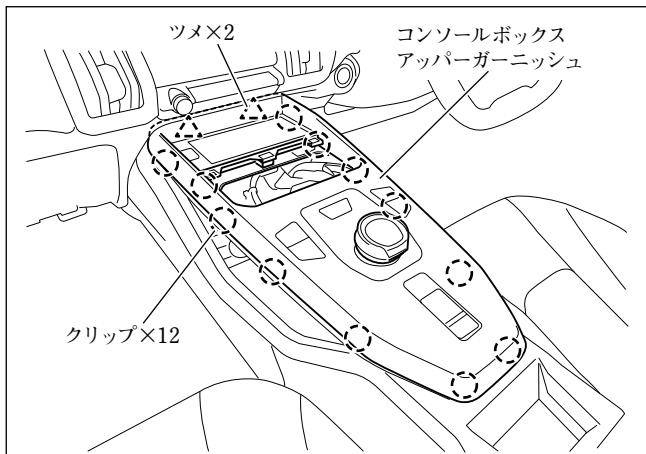
(4) サイドシルフロントスカッフ左を取り外してください。



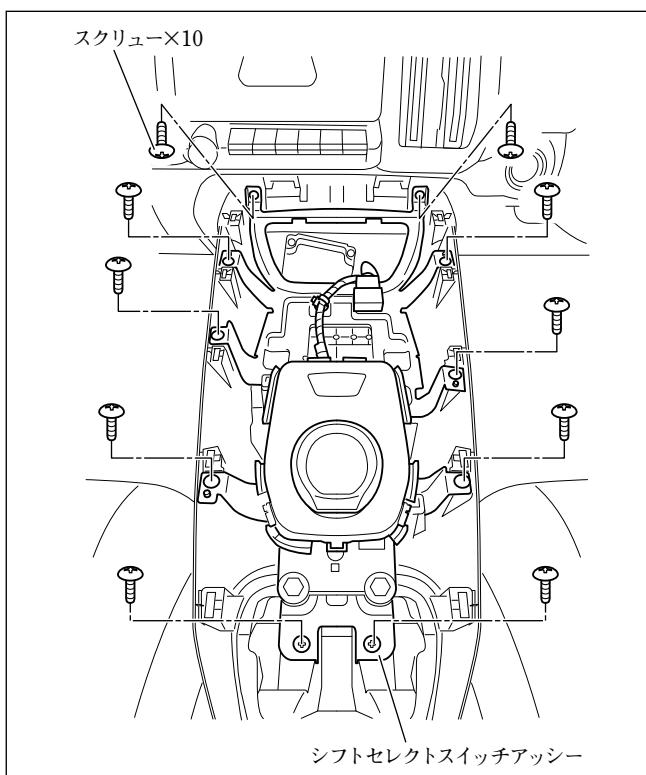
(5) ダッシュサイドトリム左を取り外してください。



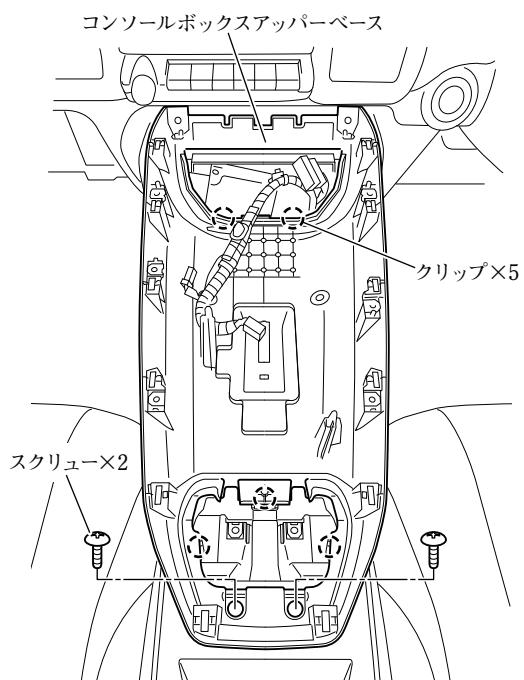
(6) クリップ(2個)を外し、カップホルダーを取り外してください。



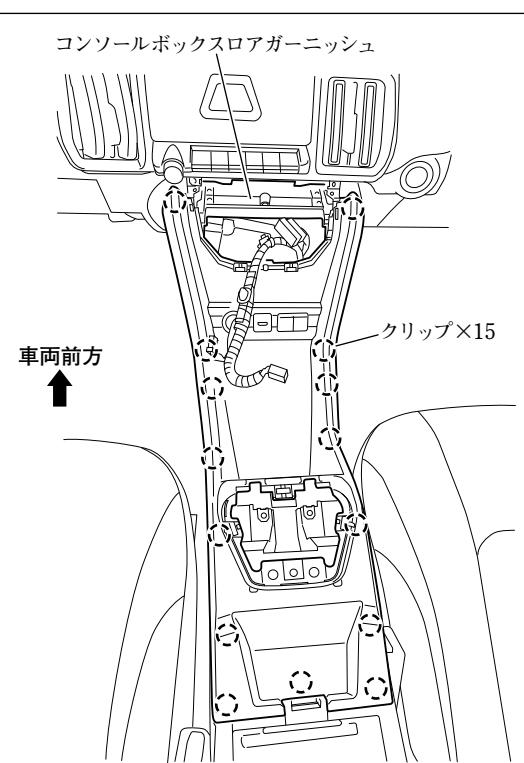
- (7) コンソールボックスアッパーガーニッシュを取り外してください。
このとき、コンソールボックス用コネクターの接続を外してください。



- (8) スクリュー（10本）を外し、シフトセレクトスイッチアッシャーを取り外してください。
このとき、コネクター（2個）の接続を外してください。

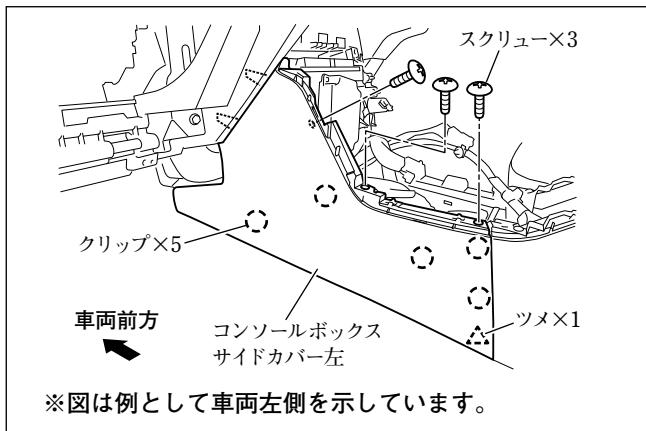


(9) スクリュー (2本) を外し、コンソールボックスアッパーべースを取り外してください。

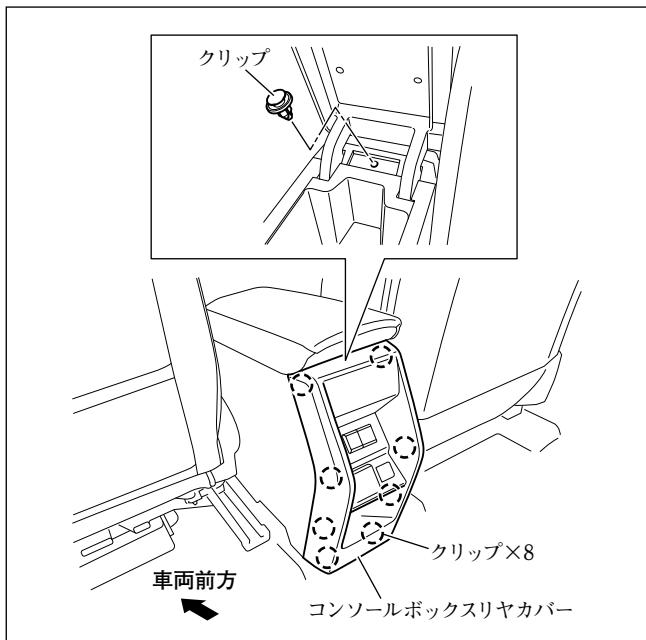


(10) コンソールボックスロアガーニッシュを取り外してください。

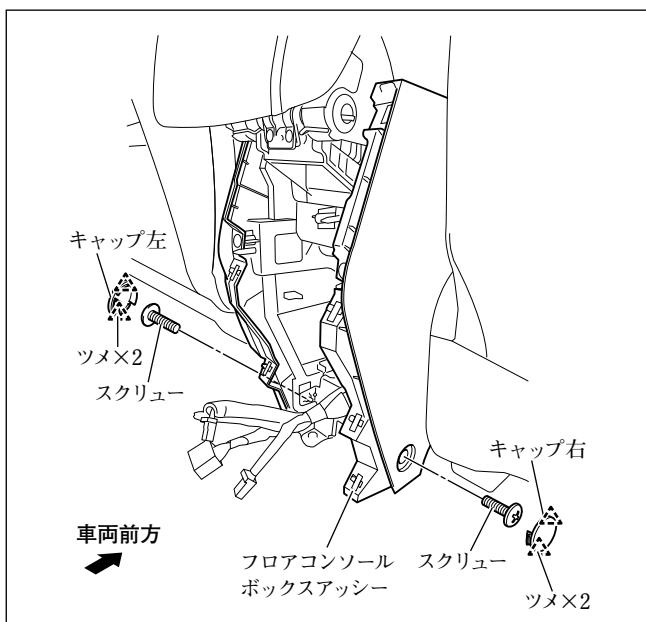
このとき、コネクター (4個) の接続を外してください。



(11) スクリュー（各3本）を外し、コンソールボックスサイドカバー左右を取り外してください。



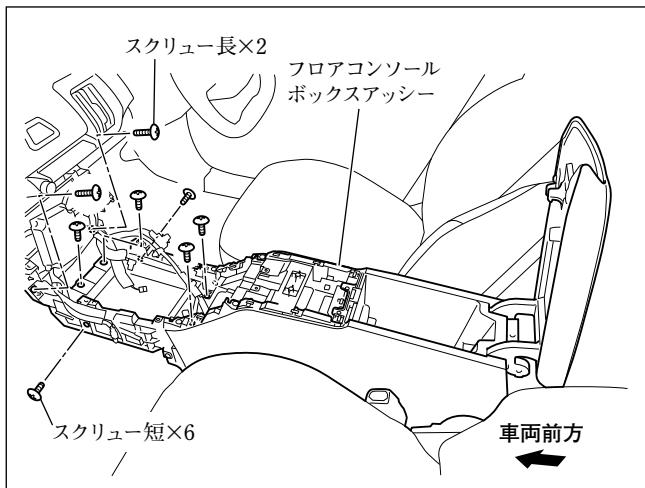
(12) コンソールボックスを開け、クリップ（1個）を取り外し、コンソールボックスリヤカバーを取り外してください。
このとき、コネクター（3個）の接続を外してください。



(13) キャップ左右を取り外し、スクリュー（2本）を取り外してください。

注記

- スクリュー（2本）はネジロック剤が塗布されています。再使用しないでください。
- 再取付時には必ず新品のスクリューを使用してください。



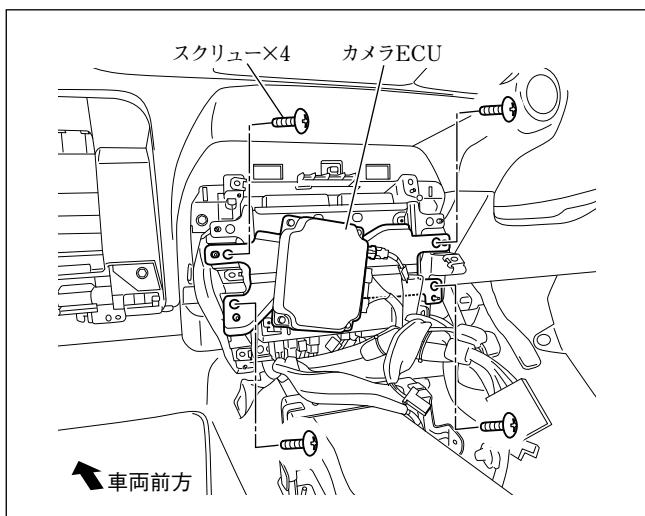
- (14) スクリュー長（2本）およびスクリュー短（6本）を外し、フロアコンソールボックスアッサーを取り外してください。

⚠ 警告

フロアコンソールボックスアッサーを取り外すと、高電圧ケーブル（橙色のハーネス）が露出します。絶対に触れないでください。

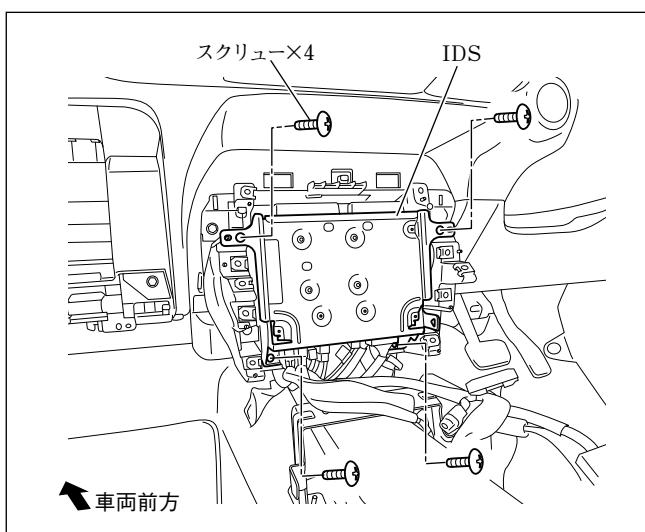
注記

取り外したスクリューは必ず元の位置に戻してください。



- (15) スクリュー（4本）を外し、カメラECUを取り外してください。

このとき、コネクター（2個）の接続を外してください。

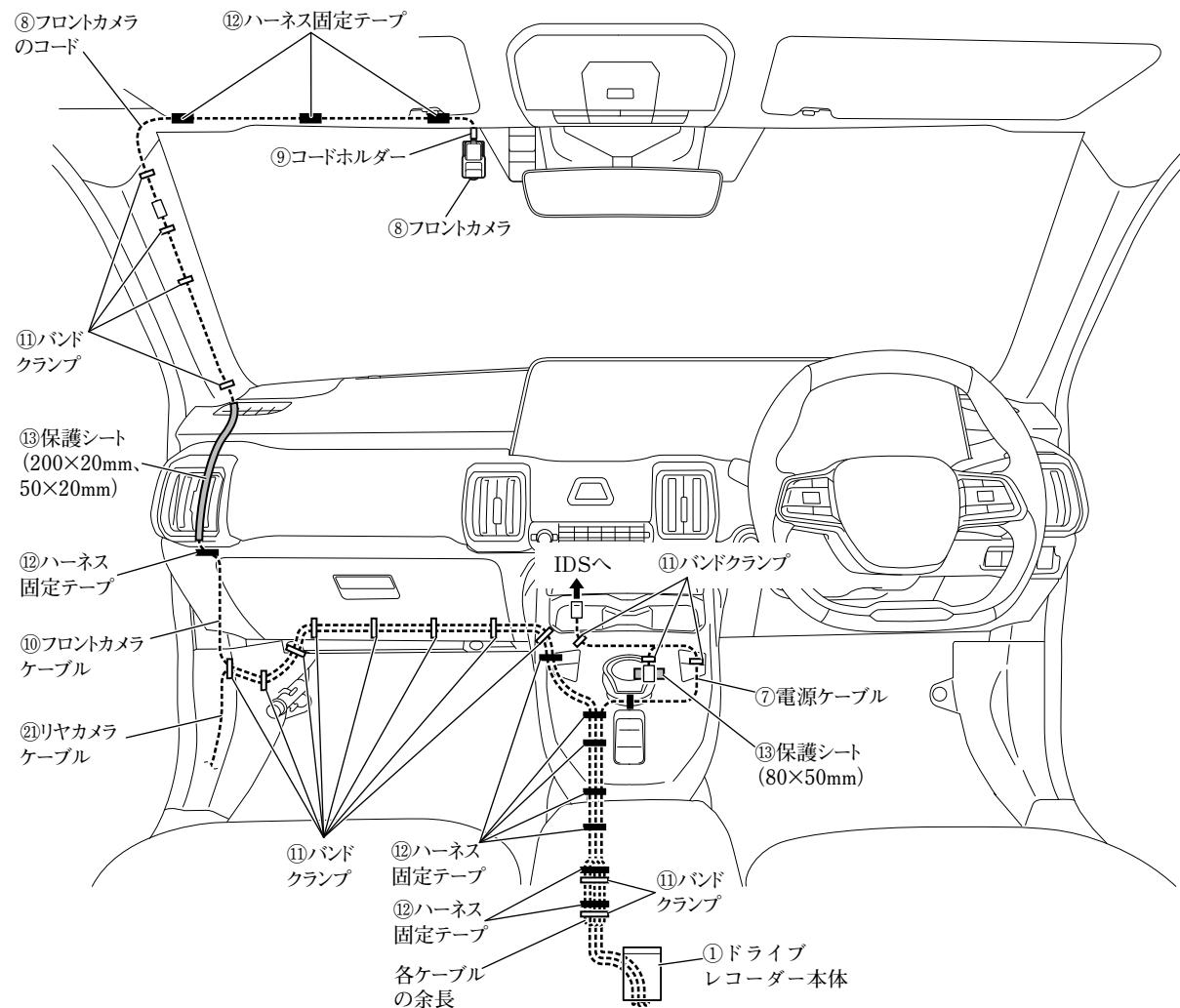


- (16) スクリュー（4本）を外し、IDSを取り外してください。

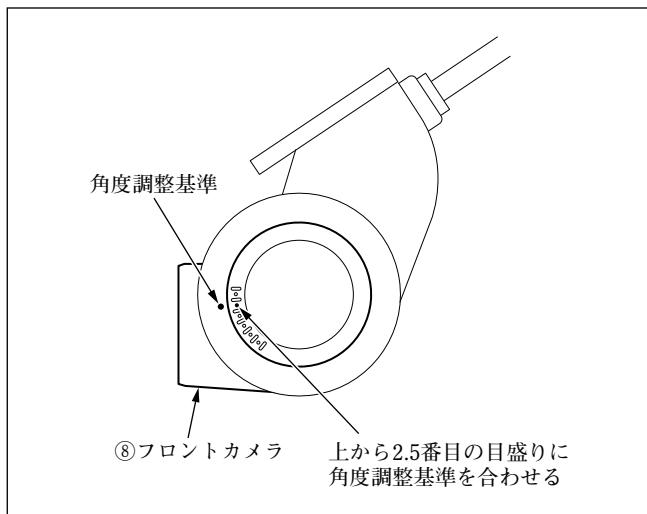
このとき、コネクター（9個）の接続を外してください。

● 取付概要

フロントカメラ



● フロントカメラ取付前の準備

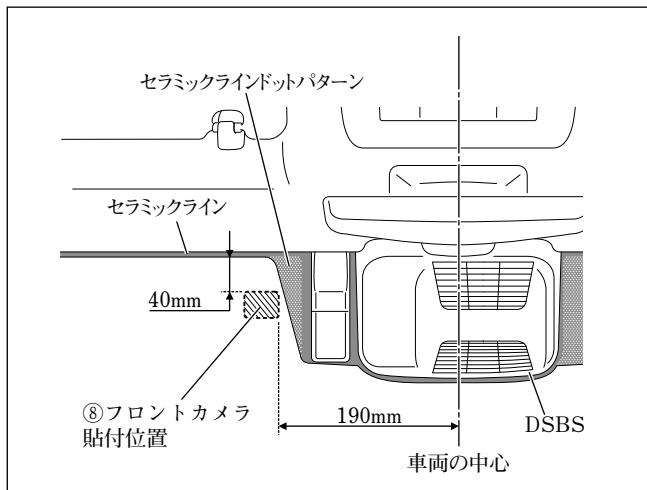


⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

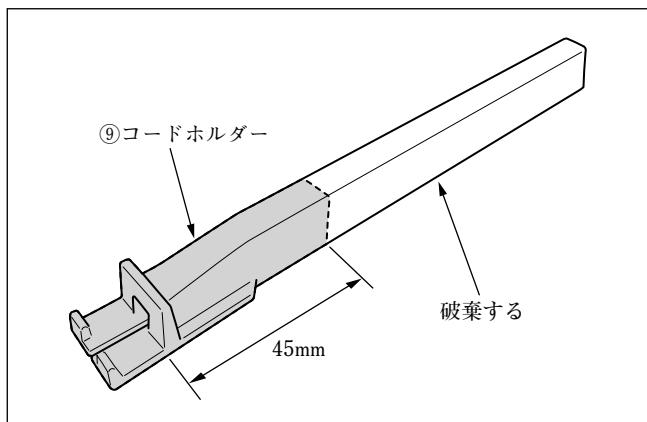
● フロントカメラの取付方法



(1) ⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15℃以下の場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



(2) 指定の寸法にカットした⑨コードホルダーを取り付けてください。(全車共通の「フロントカメラ取付前の準備」参照)

注意

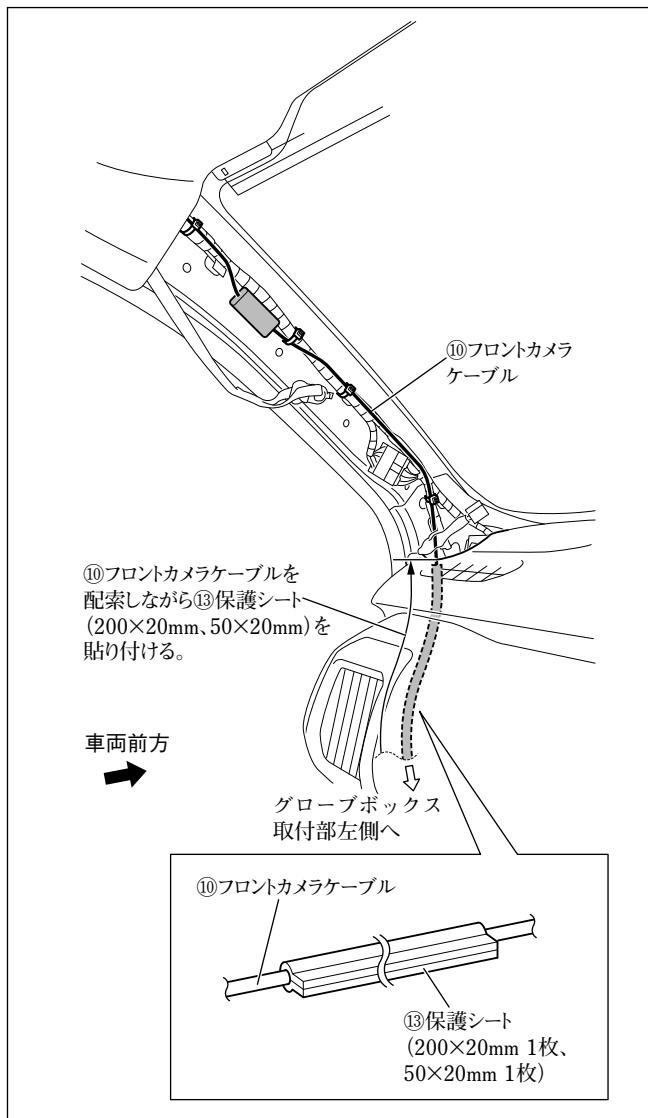
- ⑨コードホルダーは、カッター等で寸法通りに切ってください。
- カッターを使用する際は、耐切創手袋を着用して作業してください。着用しないで作業を行うと、けがをするおそれがあります。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラーパーク）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプで固定してください。

注記

- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- 配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。



- (1) 配線を保護するため、図示箇所の⑩フロントカメラケーブルに⑬保護シート(200×20mm、50×20mm)を貼り付けてください。

注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

以下の項目は、ドライブレコーダー(連動2カメラ)のリヤカメラ専用の記載です。
別冊の追補版を参照して作業を行ってください。

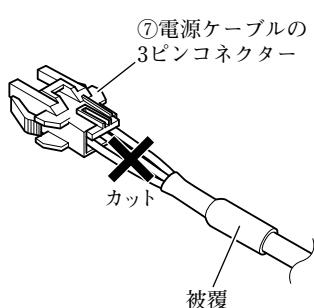
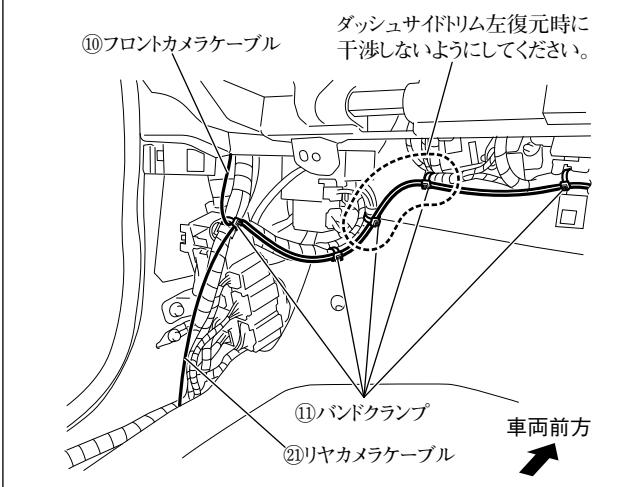
- リヤカメラ取付前の準備
- リヤカメラの取付方法
- リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)
- リヤカメラケーブルの配線(車室内)

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

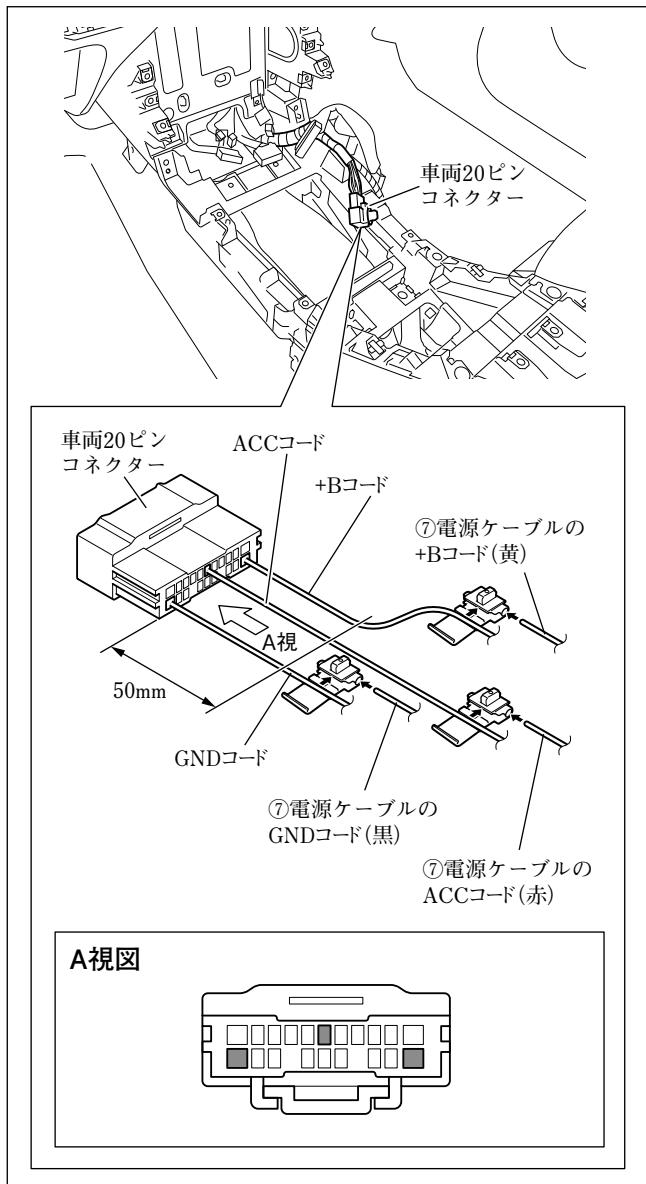
- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- 助手席足元左側は、ダッシュサイドトリム左復元時に⑩フロントカメラケーブルおよび⑪リヤカメラケーブルがトリムと干渉するおそれがあります。ダッシュサイドトリム左を一時的に復元し、干渉しないように配索してください。



- (2) ⑦電源ケーブルの3ピンコネクターをコネクター後端でカットしてください。
- (3) カットしたコネクター部の各コードが⑬圧着式コネクターで接続できるよう、各コードをまとめている被覆をはがしてください。



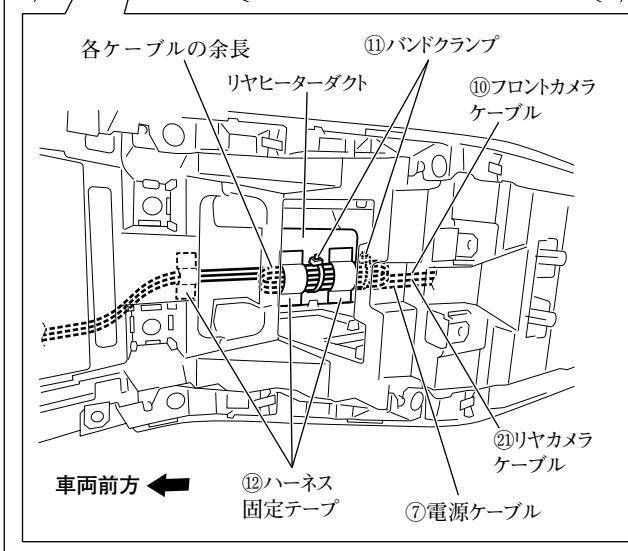
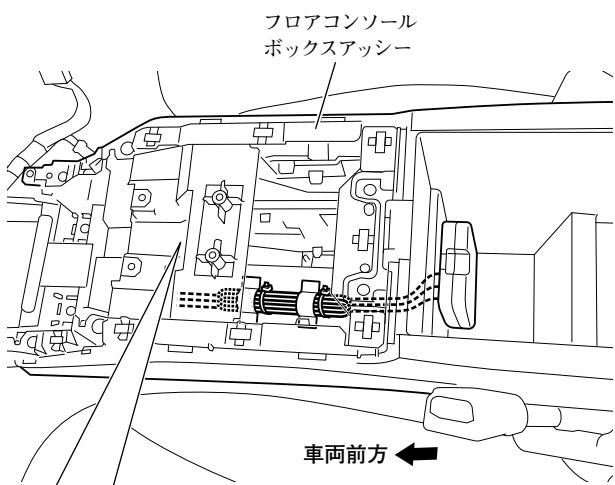
- (4) ⑦圧着式コネクターで、以下のように⑦電源ケーブルの各コードと車両20ピンコネクターのコードを接続してください。(全車共通の「圧着式コネクターの取り付け方」参照)

⑦電源ケーブル	車両20ピンコネクター接続先
+Bコード (黄)	+Bコード
ACCコード (赤)	ACCコード
GNDコード (黒)	GNDコード

注記

- ⑦圧着式コネクターは、車両20ピンコネクターのハーネス側の端から50mm以上離した位置へ接続してください。
- 接続先に他の用品ハーネスが接続されている場合は、車両ハーネスではなく、他の用品ハーネス側へ⑦電源ケーブルを接続してください。

フロアコンソールボックスアッサー下側

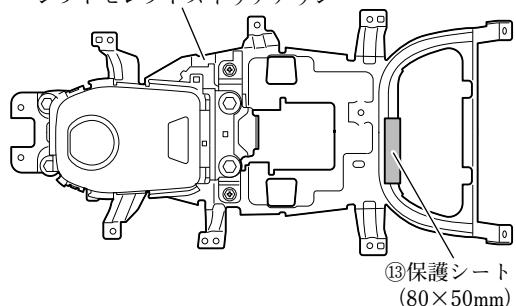


- (5) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、
⑪リヤカメラケーブルの余長は、①ドライブ
レコーダー本体取り付け後に、図示位置で⑪
バンドクランプで束ねてからリヤヒーターダ
クトに⑫ハーネス固定テープで固定してくだ
さい。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等
をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚
れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をド
ライヤーなどで温めてください。

シフトセレクトスイッチアッサー



- (6) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護
をしてください。

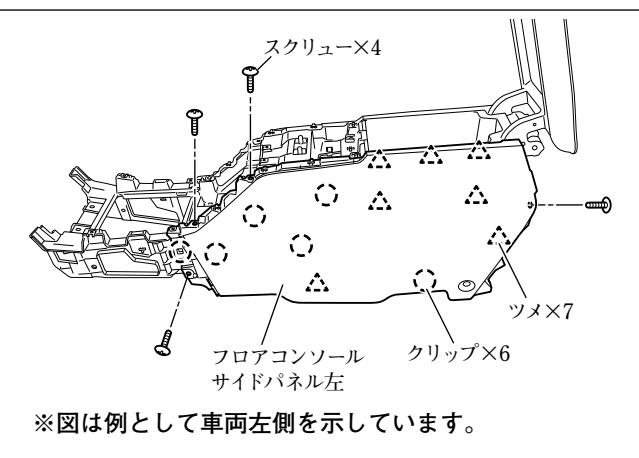
注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく
拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が
残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をド
ライヤーなどで温めてください。

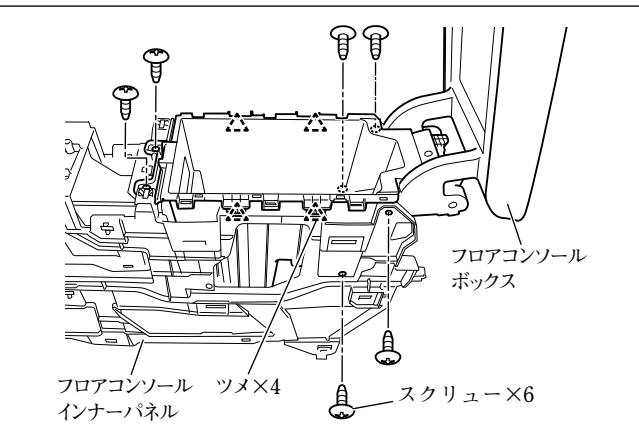
● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

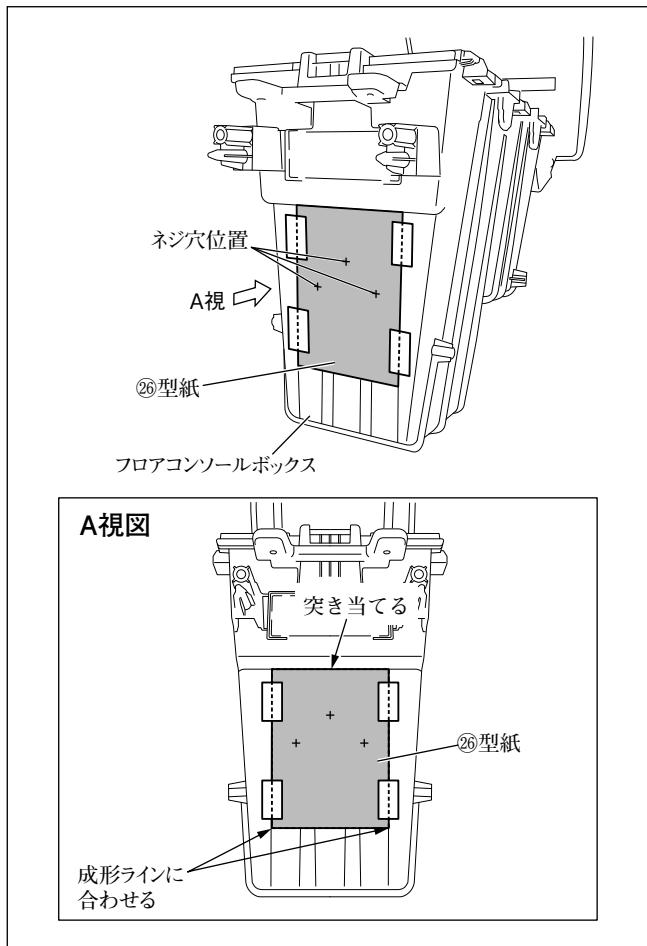
本車両は④車両側ブラケットを使用しません。配線を通す穴を加工します。



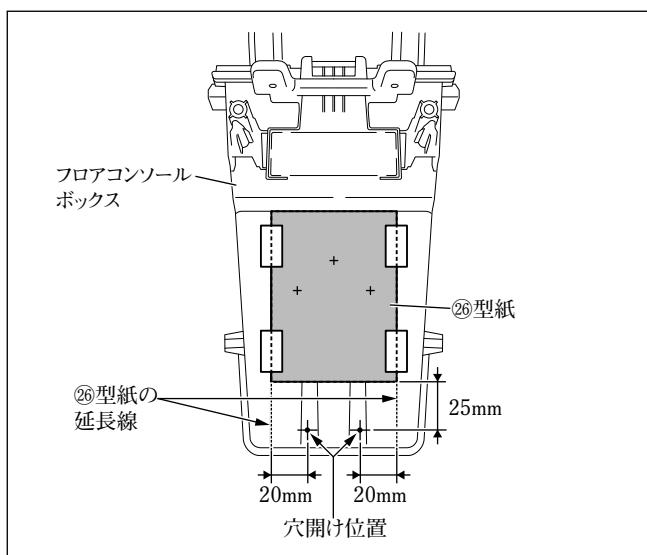
(1) スクリュー（各4本）を外し、フロアコンソールサイドパネル左右を取り外してください。



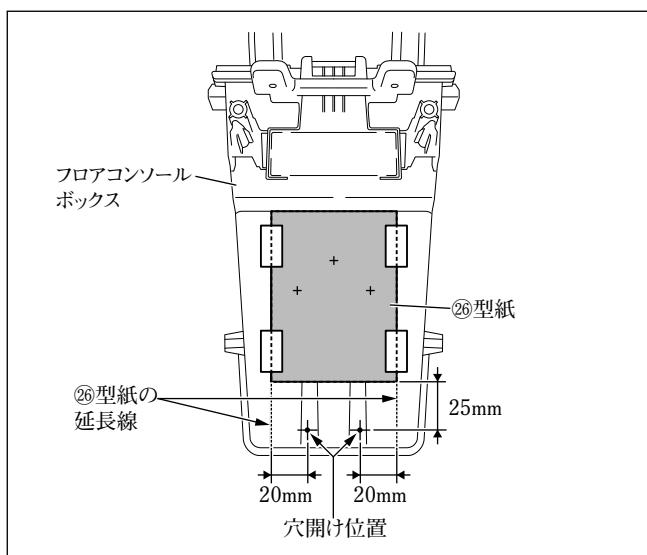
(2) スクリュー（6本）を外し、フロアコンソールインナーパネルからフロアコンソールボックスを取り外してください。

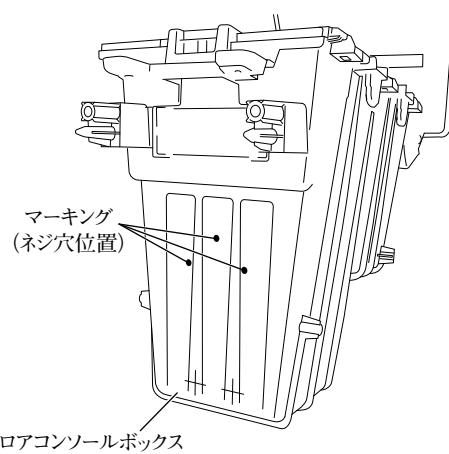


- (3) フロアコンソールボックスへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマークイングをしてください。



- (4) フロアコンソールボックスの穴開け位置にマークイングしてください。





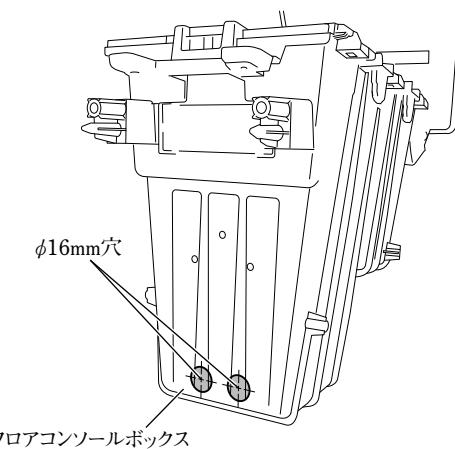
- (5) ②⑥型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（ $\phi 4\text{mm}$ ）を開けてください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。



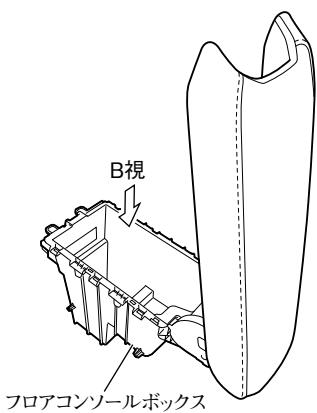
- (6) フロアコンソールボックスの穴開け位置にホールソーで穴（ $\phi 16\text{mm}$ ）を開けてください。

⚠ 注意

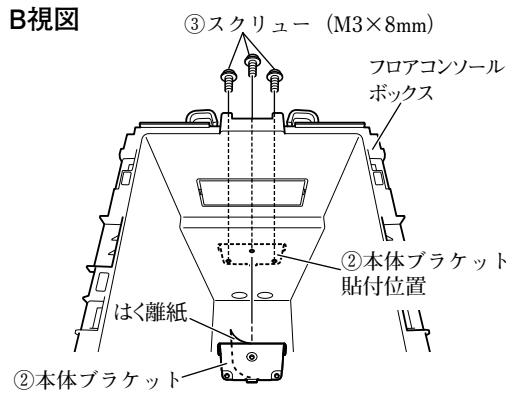
- ホールソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。



B視図

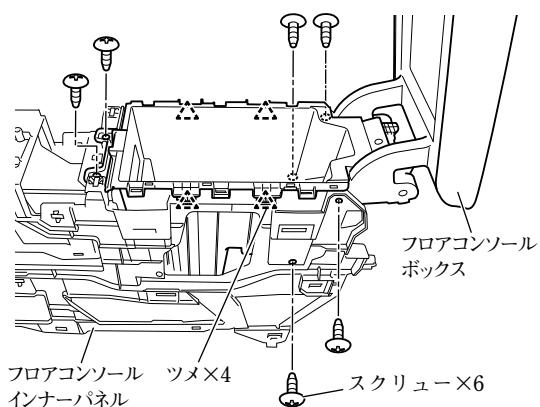


(7) ②本体プラケットのはく離紙をはがしてください。

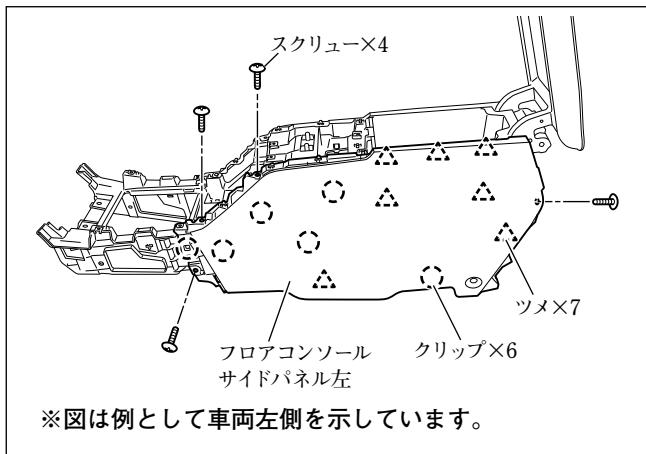
(8) フロアコンソールボックスの図示位置に②本体プラケットを取り付け、③スクリュー (M3 × 8mm) で固定してください。

注記

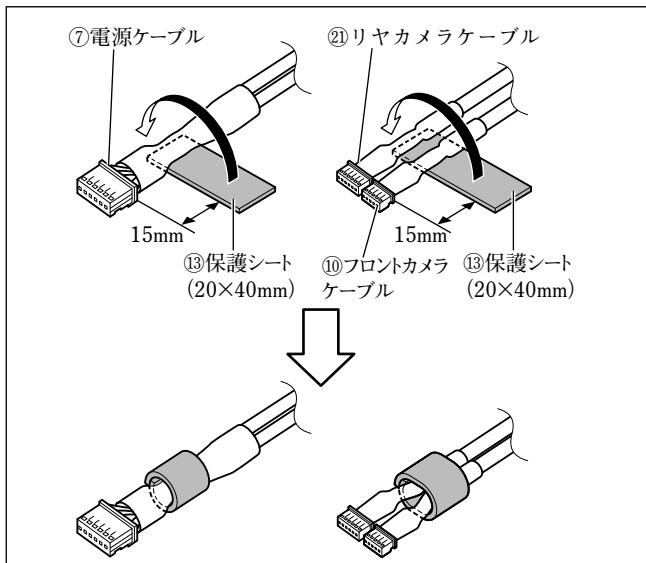
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



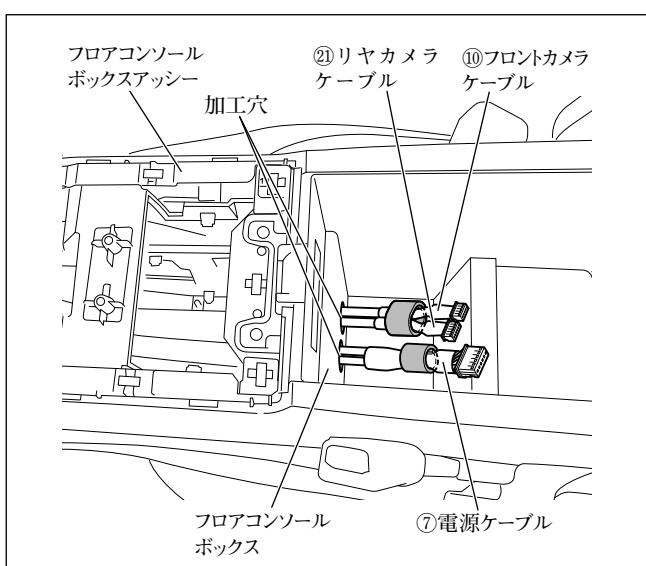
(9) フロアコンソールボックスをフロアコンソールインナーパネルに組み付け、スクリュー (6本) で固定してください。



- (10) フロアコンソールサイドパネル左右を組み付け、スクリュー（各4本）で固定してください。



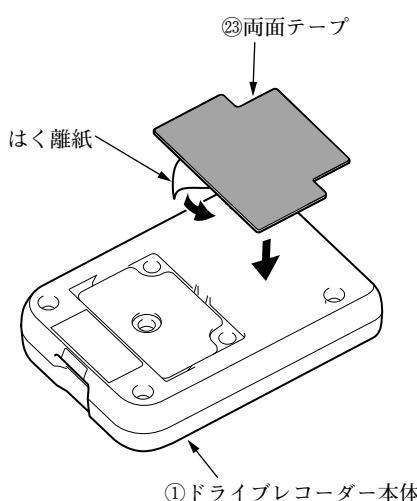
- (11) 配線を保護するため、図示箇所に⑬保護シートを貼り付けてください。



- (12) フロアコンソールボックスアッサーを仮組みしながら、フロアコンソールボックスの加工穴に本図のようにケーブルを通してください。

注記

各ケーブルをかみ込まないように注意しながらフロアコンソールボックスアッサーを仮組みしてください。

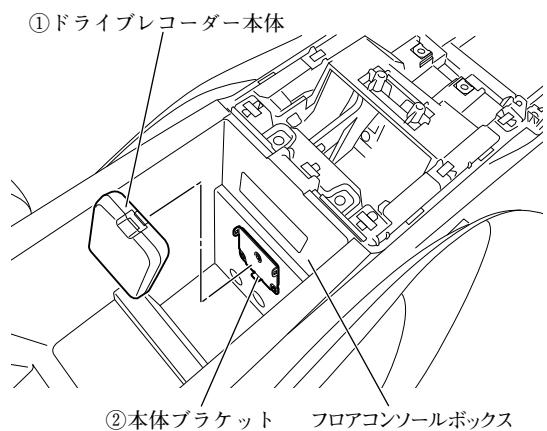


(13) ③両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

(14) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。（全車共通の「接続のしかた」参照）



(15) ①ドライブレコーダー本体および③両面テープのはく離紙をはがしてください。（全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照）

(16) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

- 全車共通の「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締付トルク等）
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- 全車共通の「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 全車共通の「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 全車共通の「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

フロンクスの場合

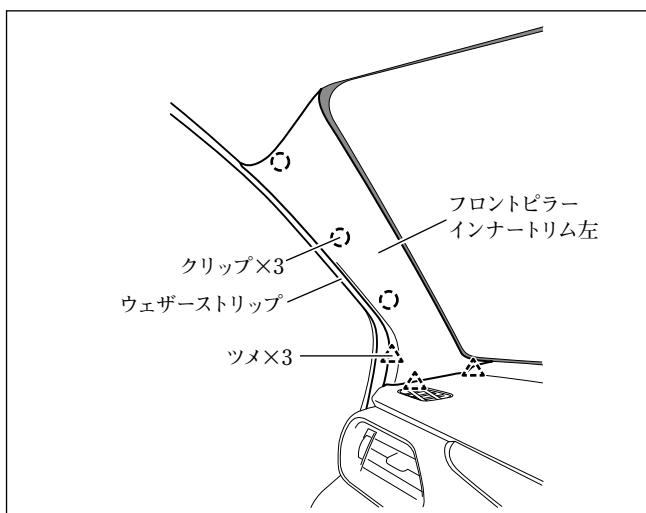
●車両部品の取り外し方法

注記

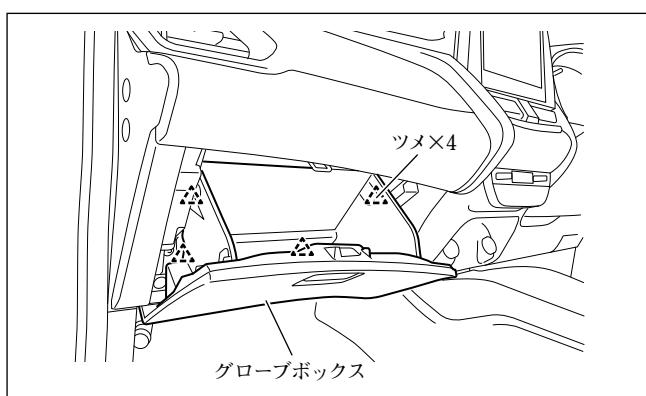
- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

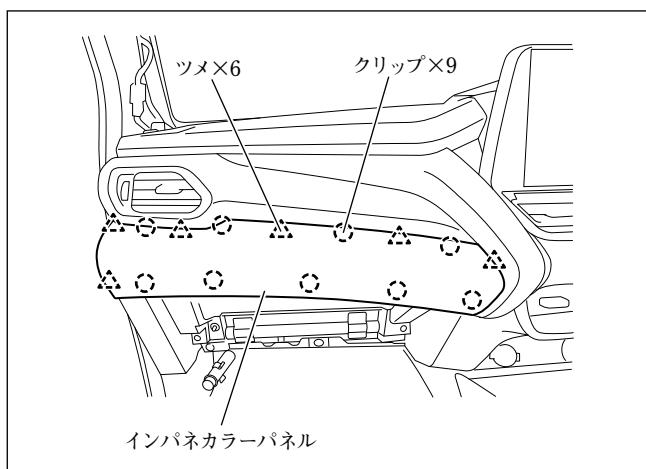
フロントカメラ



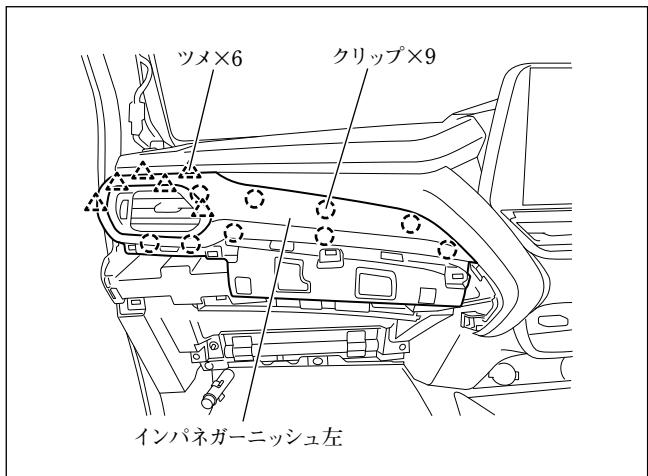
- (1) ウェザーストリップをめくり、フロントピラーインナートリム左を取り外してください。



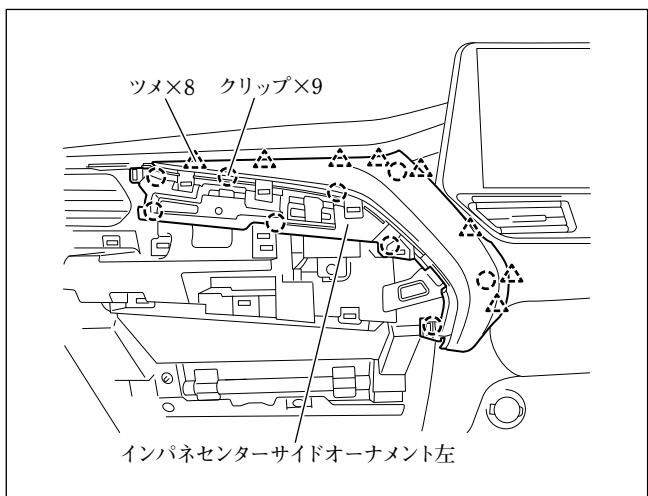
- (2) グローブボックスを取り外してください。



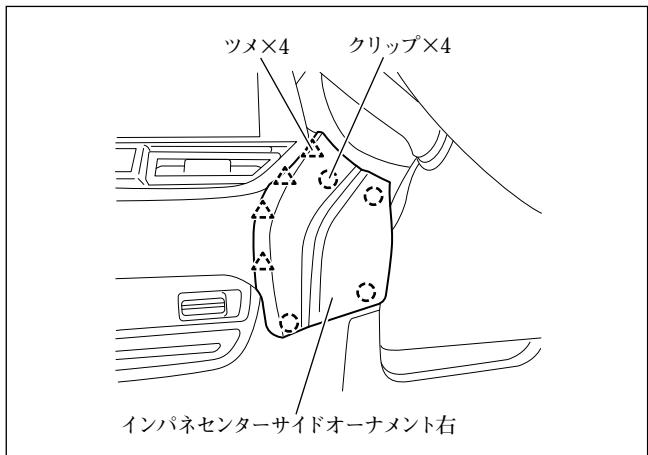
- (3) インパネカラーパネルを取り外してください。



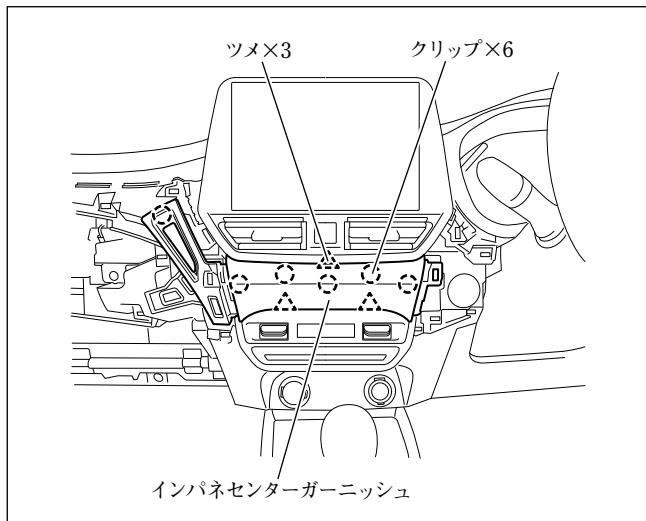
(4) インパネガーニッシュ左を取り外してください。



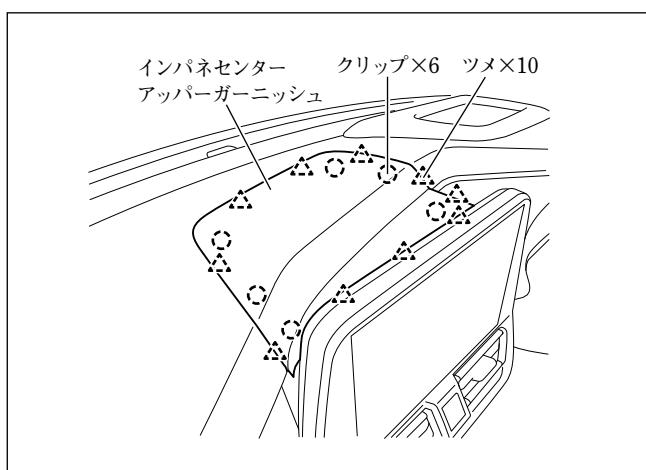
(5) インパネセンターサイドオーナメント左を取り外してください。



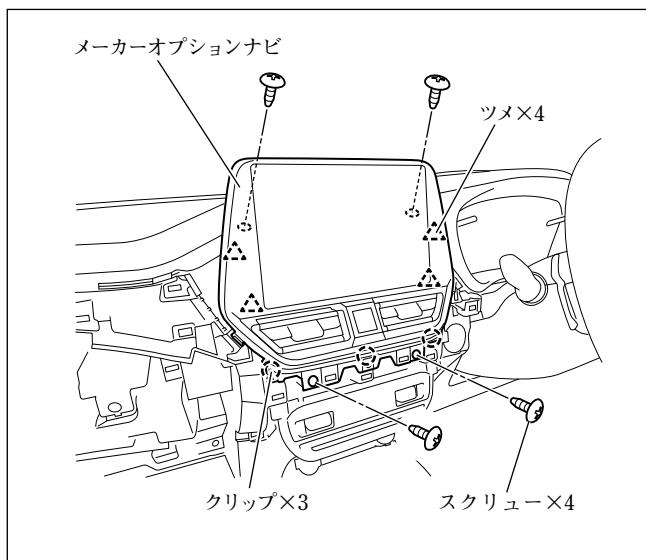
(6) インパネセンターサイドオーナメント右を取り外してください。



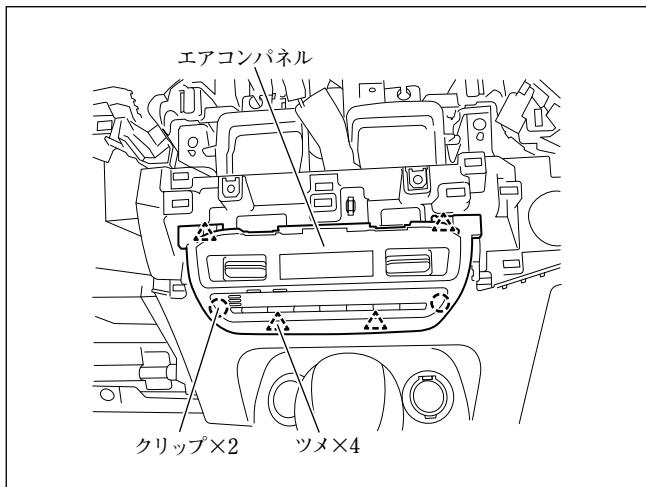
(7) インパネセンターガーニッシュを取り外してください。



(8) インパネセンターアッパーガーニッシュを取り外してください。

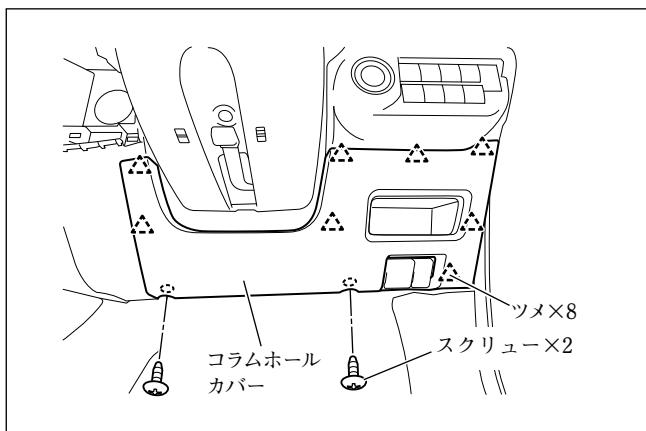


(9) スクリュー（4本）を外し、メーカーoptionナビを取り外してください。
このとき、オーディオ用コネクターおよびアンテナ用コネクター等の接続を外してください。



(10) エアコンパネルを取り外してください。

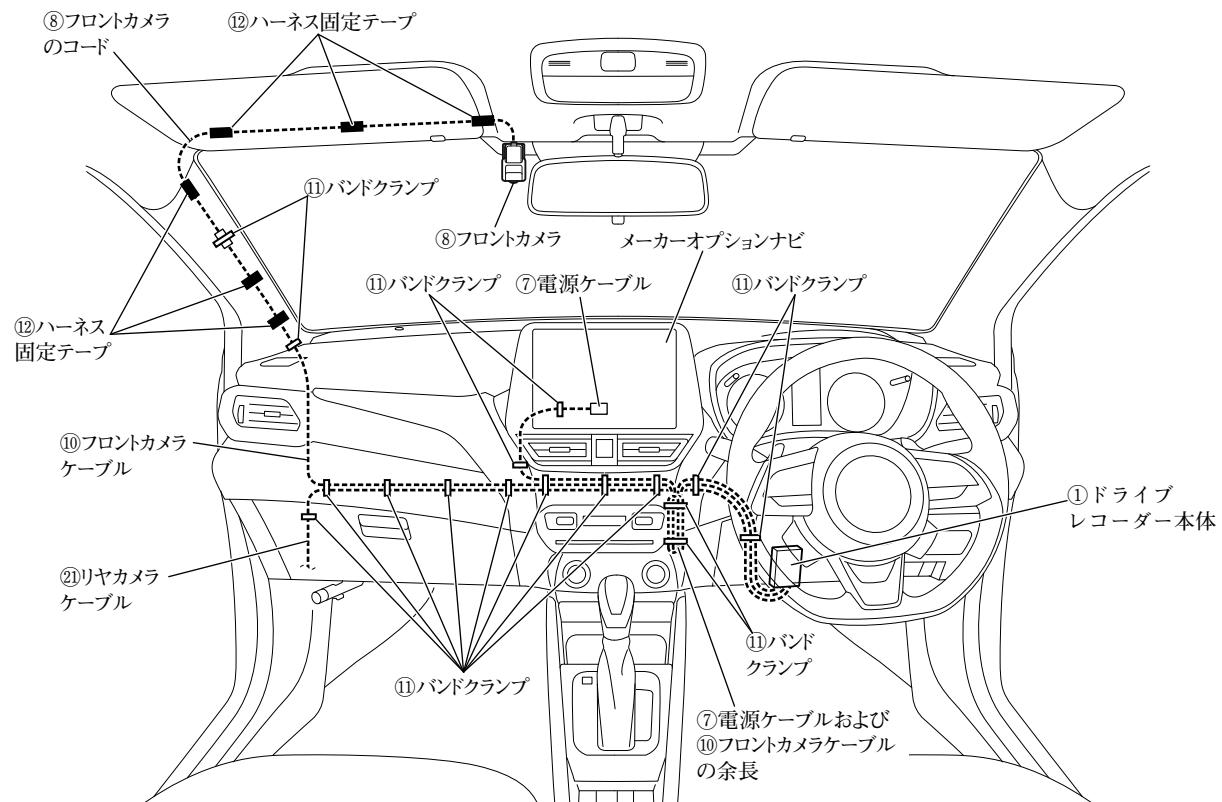
このとき、エアコンパネル用コネクターの接続およびアスピレーターホースを外してください。



(11) スクリュー（2本）を外し、コラムホールカバーを取り外してください。

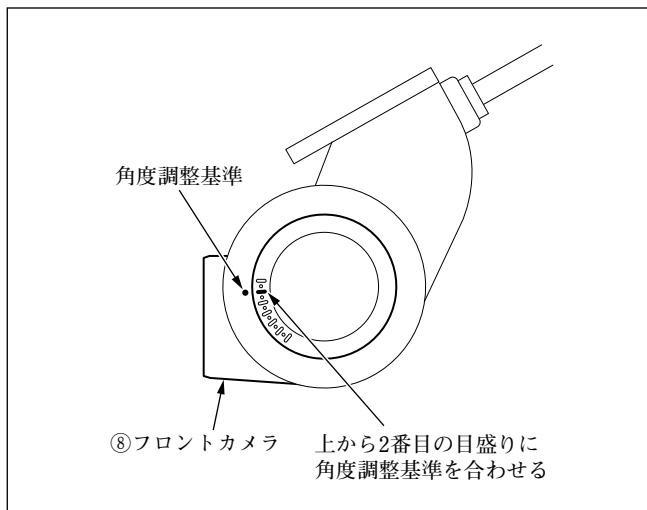
● 取付概要

フロントカメラ



※(12)ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● フロントカメラ取付前の準備

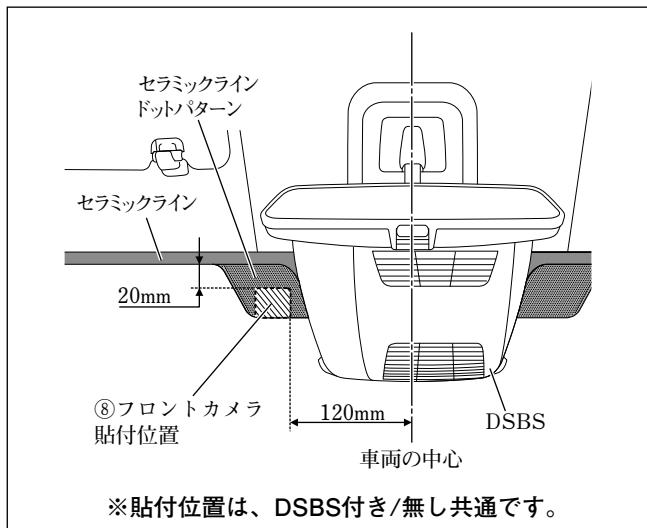


⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

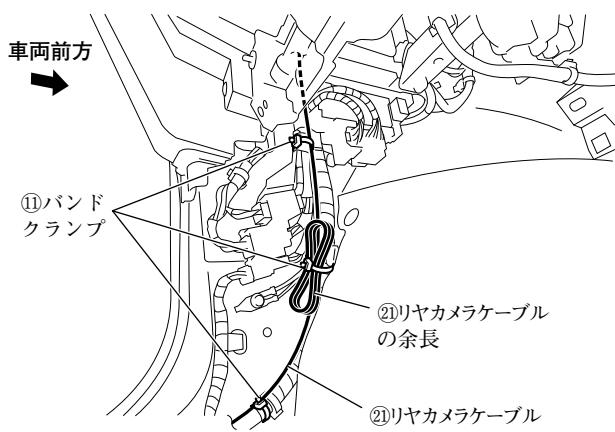
- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

以下の項目は、ドライブレコーダー（連動2カメラ）のリヤカメラ専用の記載です。
別冊の追補版を参照して作業を行ってください。

- **リヤカメラ取付前の準備**
- **リヤカメラの取付方法**
- **リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）**
- **リヤカメラケーブルの配線（車室内）**

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

グローブボックス取付部左下側

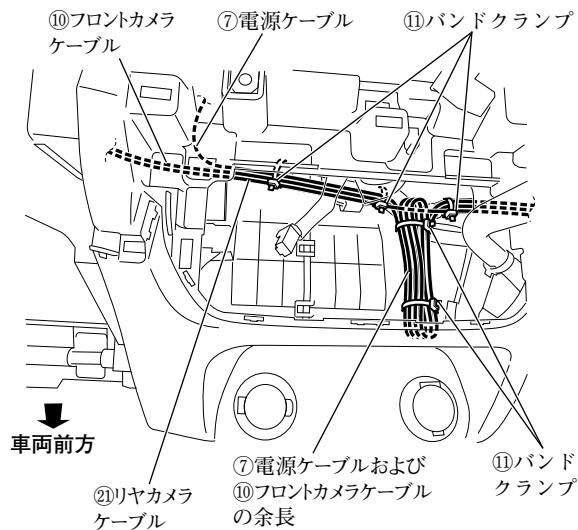


- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

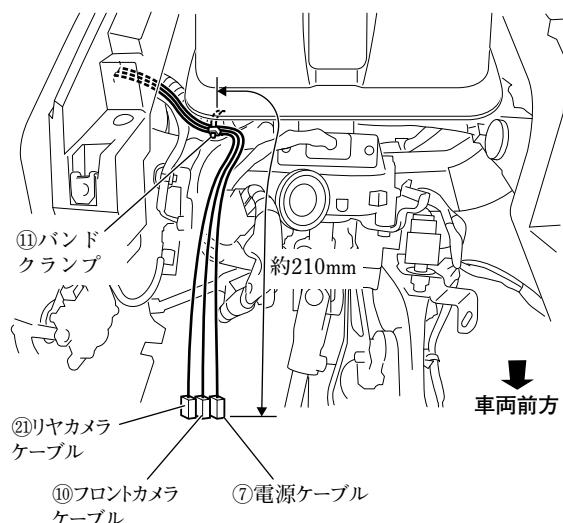
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

エアコンパネル取付部



- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

運転席足元左

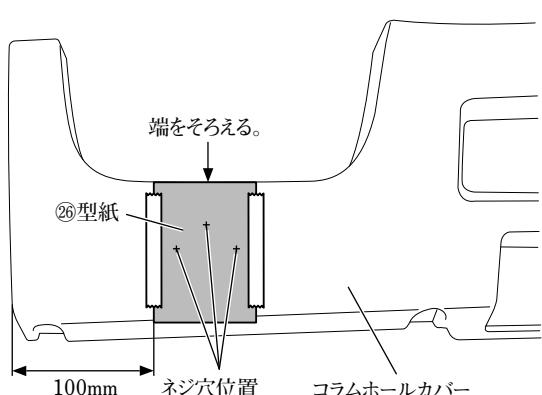


- (3) ①ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体および配線を通す穴を加工しません。



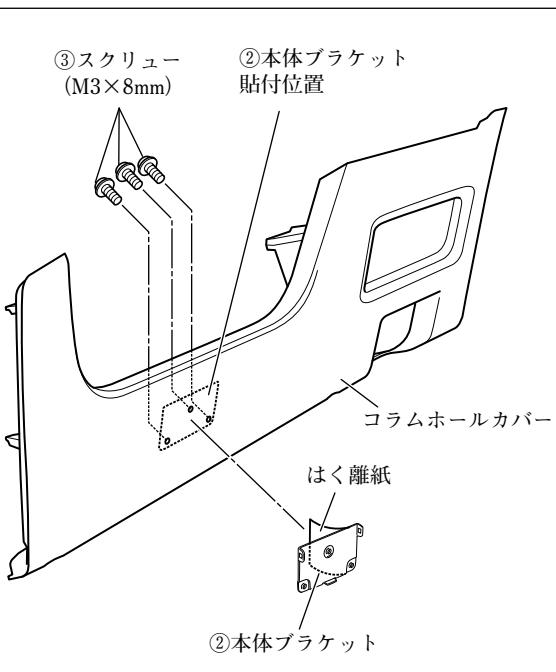
- (1) コラムホールカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマークイングをしてください。
- (2) ⑥型紙を外し、マークイングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（Φ4mm）を開けてください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

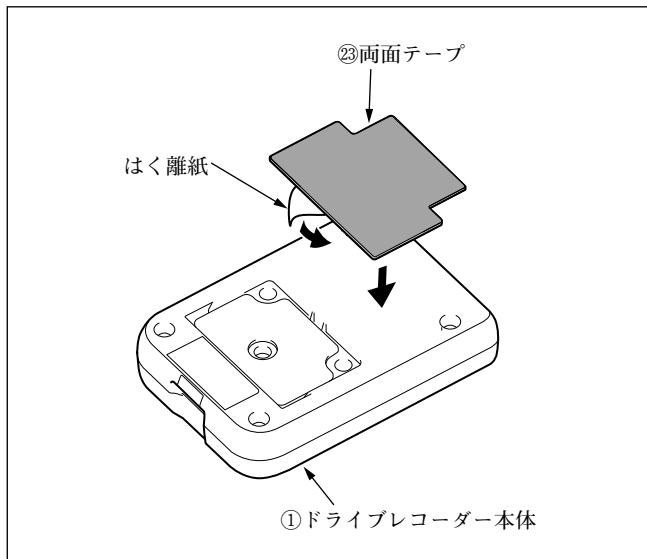
- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。



- (3) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。
- (4) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー（M3×8mm）で固定してください。

注記

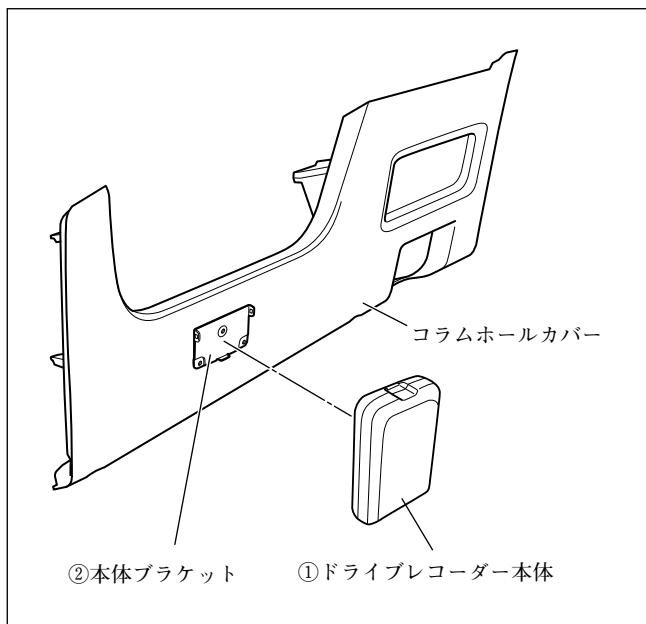
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(5) ②③両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



- (6) ①ドライブレコーダー本体および②両面テープのはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)

- (7) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

- (8) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。(全車共通の「接続のしかた」参照)

- 全車共通の「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- 全車共通の「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 全車共通の「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 全車共通の「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

ランディの場合

●車両部品の取り外し方法

注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

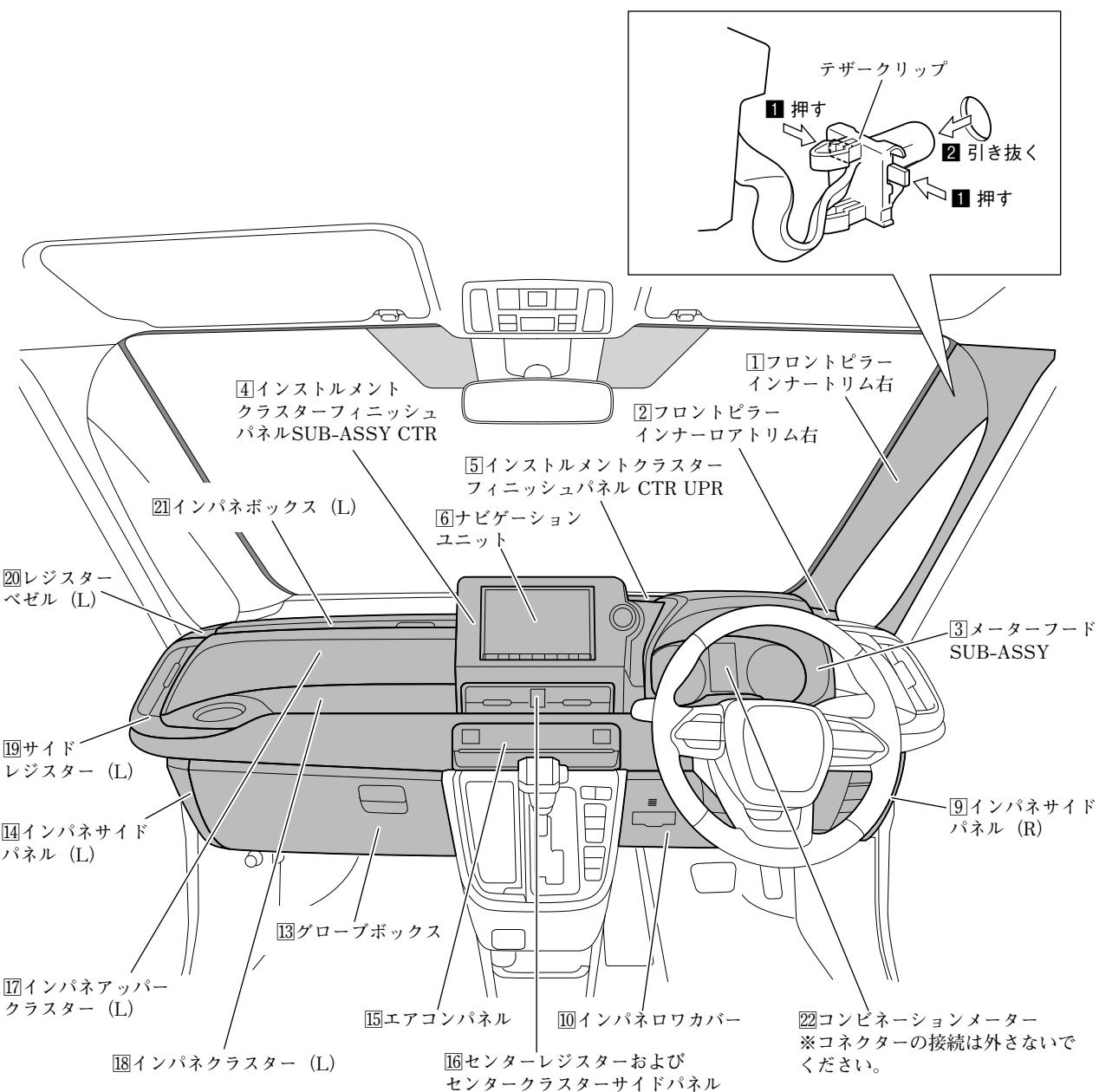
図に示す車両部品を取り外してください。

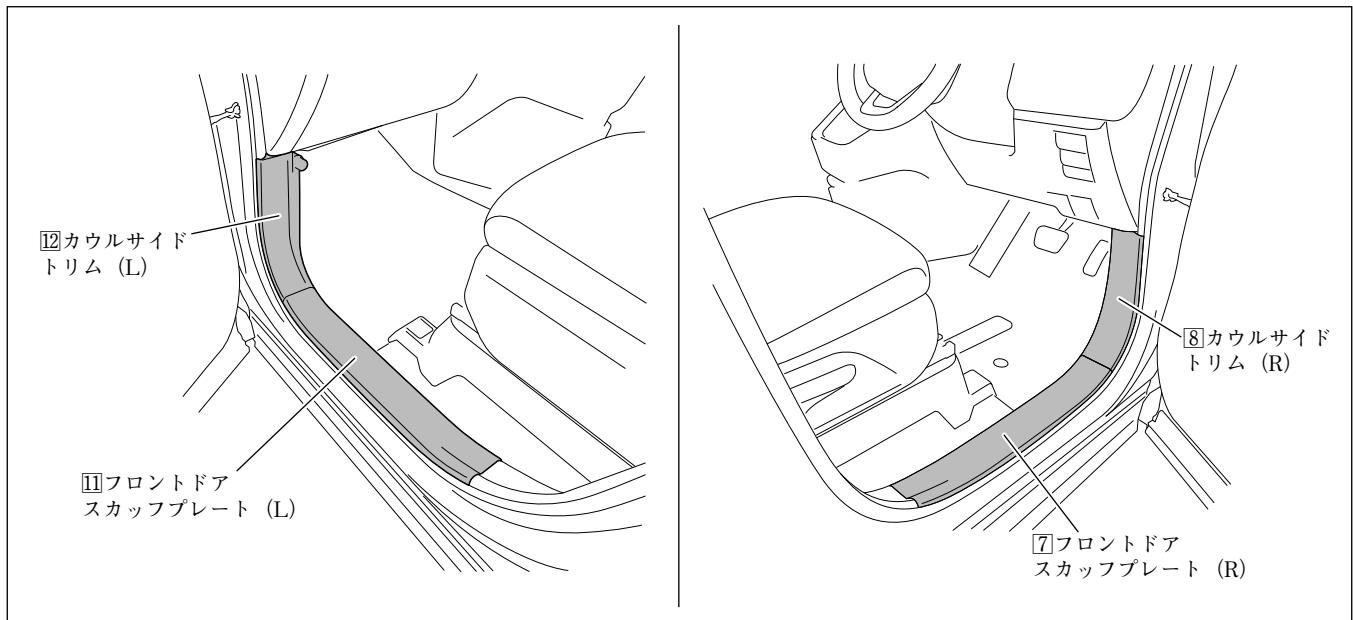
フロントカメラ

注記

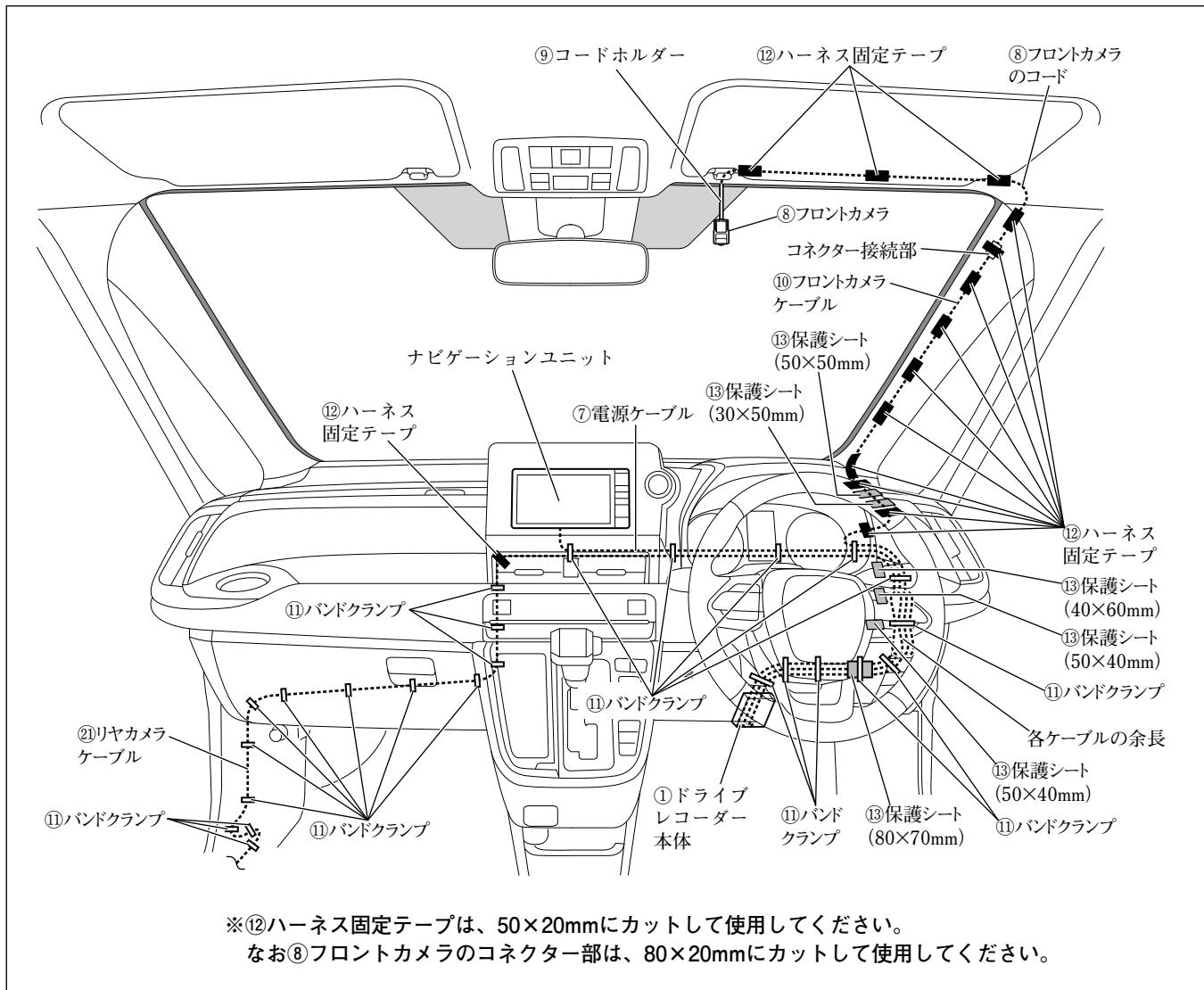
コンビネーションメーターは、コネクターの接続を外さないでください。

なおこの際、インパネやメーターに傷が付かないように養生をしながら作業を行ってください。

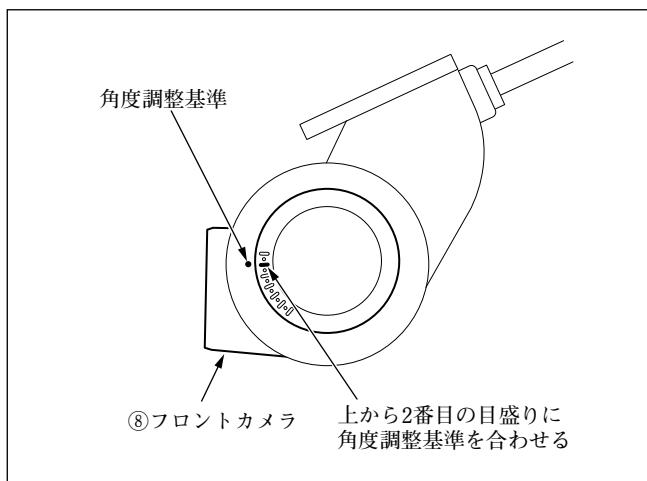




● 取付概要 フロントカメラ



● フロントカメラ取付前の準備

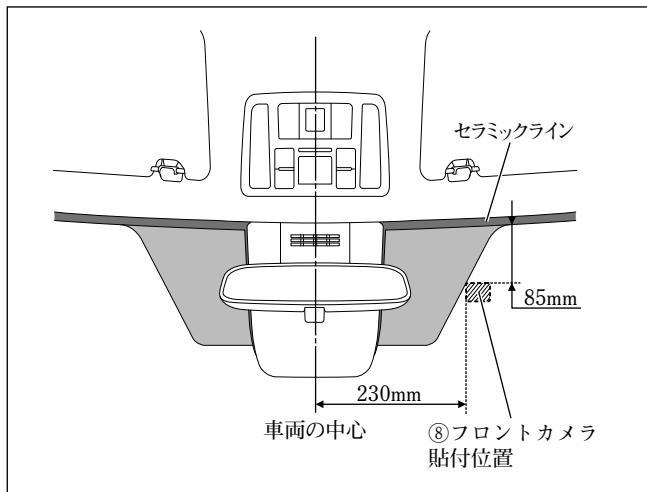


⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

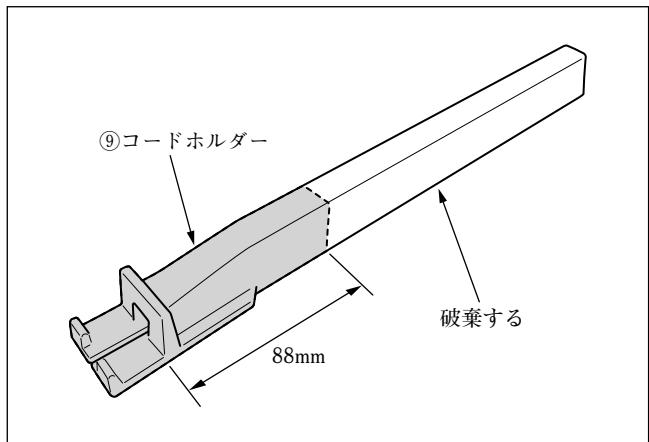
● フロントカメラの取付方法



(1) ⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



- (2) 指定の寸法にカットした⑨コードホルダーを取り付けてください。(全車共通の「フロントカメラ取付前の準備」参照)

⚠ 注意

- ⑨コードホルダーは、カッター等で寸法通りに切ってください。
- カッターを使用する際は、耐切創手袋を着用して作業してください。着用しないで作業を行うと、けがをするおそれがあります。

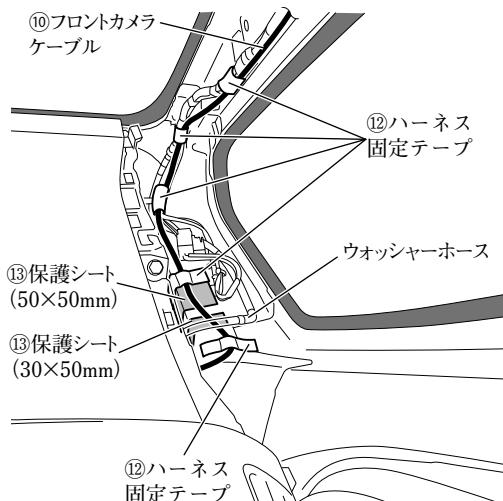
● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ・フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ・配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

右フロントピラーアーム



- (1) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ・⑯保護シートおよび⑭ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- ・気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (2) ⑩フロントカメラケーブルは、ウォッシャーホースの下側を通してください。

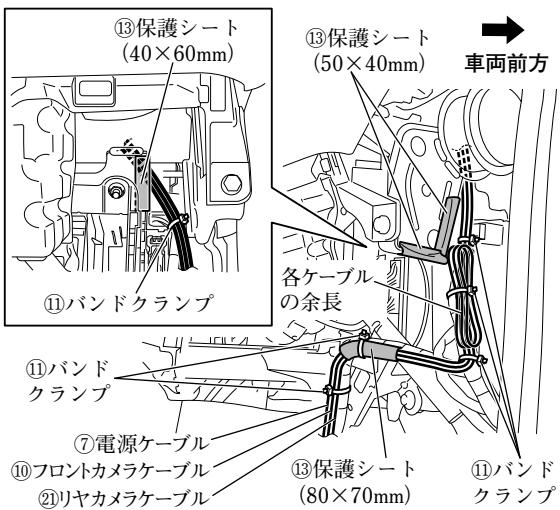
以下の項目は、ドライブレコーダー（連動2カメラ）のリヤカメラ専用の記載です。

別冊の追補版を参照して作業を行ってください。

- リヤカメラ取付前の準備
- リヤカメラの取付方法
- リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）
- リヤカメラケーブルの配線（車室内）

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

インパネ右端



- (1) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (2) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑫リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

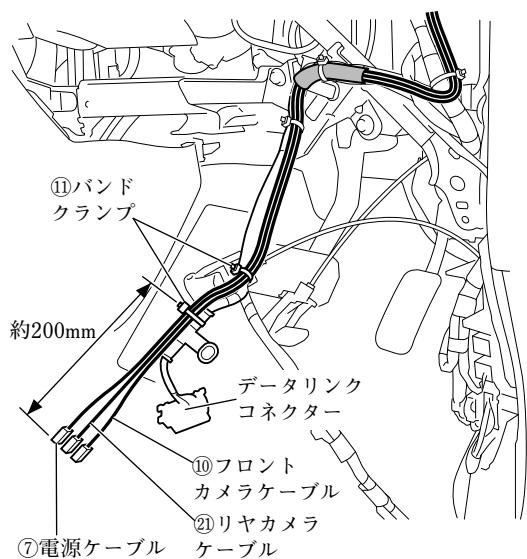
注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (3) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑫リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

- (4) ①ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

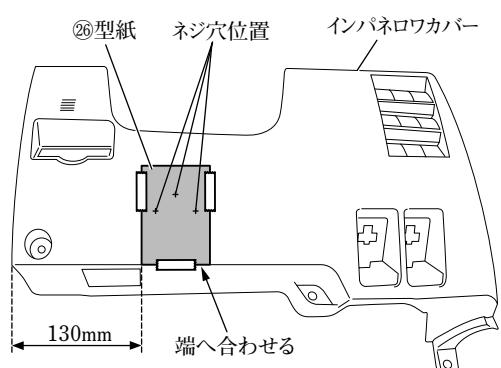
ステアリングコラム右下



● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体および配線を通す穴を加工しません。



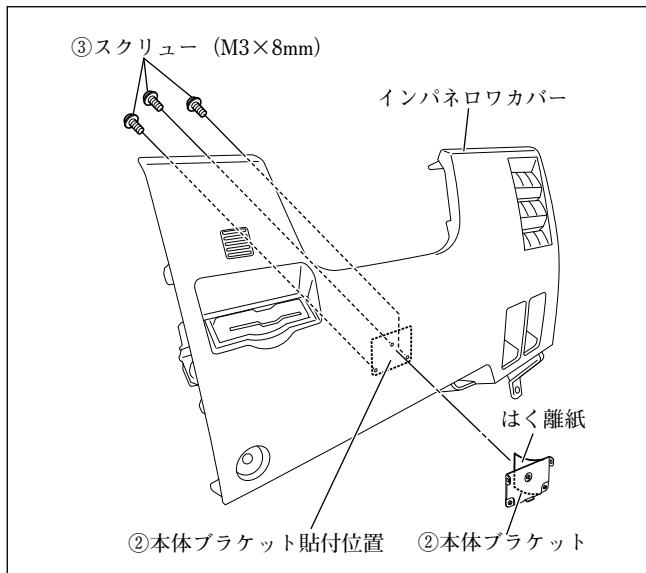
- (1) インパネロワカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。
- (2) ⑥型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（Φ4mm）を開けてください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

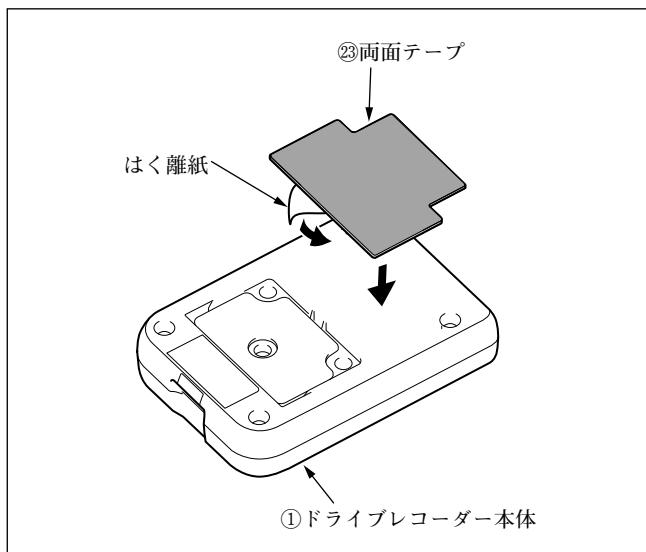


(3) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。

(4) インパネロワカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー (M3×8mm) で固定してください。

注記

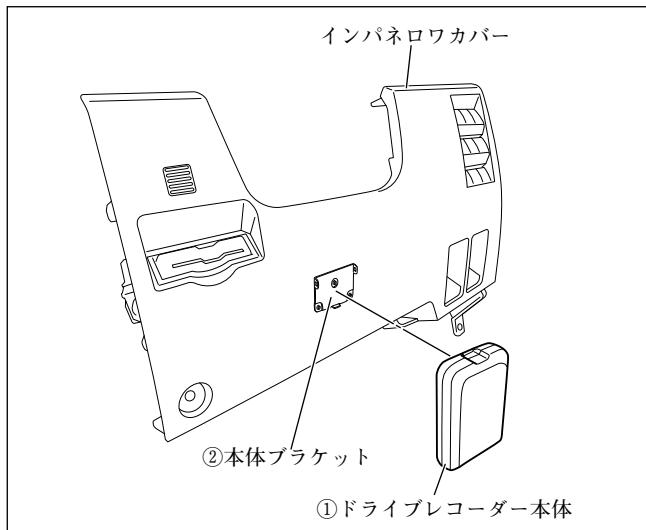
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(5) ③両面テープを① ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(6) ①ドライブレコーダー本体および②両面テープのはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)

(7) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

(8) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。(全車共通の「接続のしかた」参照)

- 全車共通の「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)

- 全車共通の「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 全車共通の「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 全車共通の「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

ソリオの場合

●車両部品の取り外し方法

注記

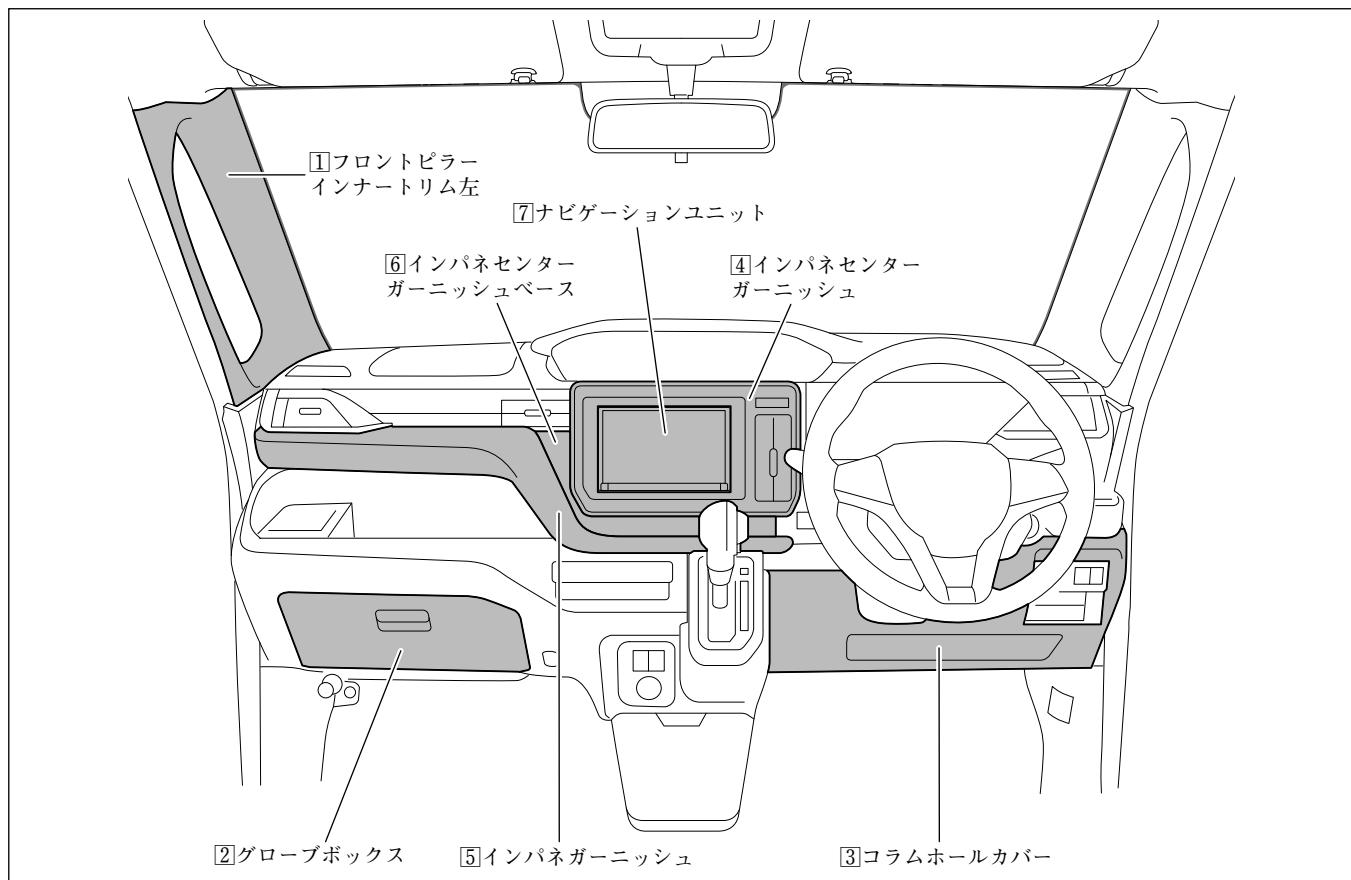
- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ

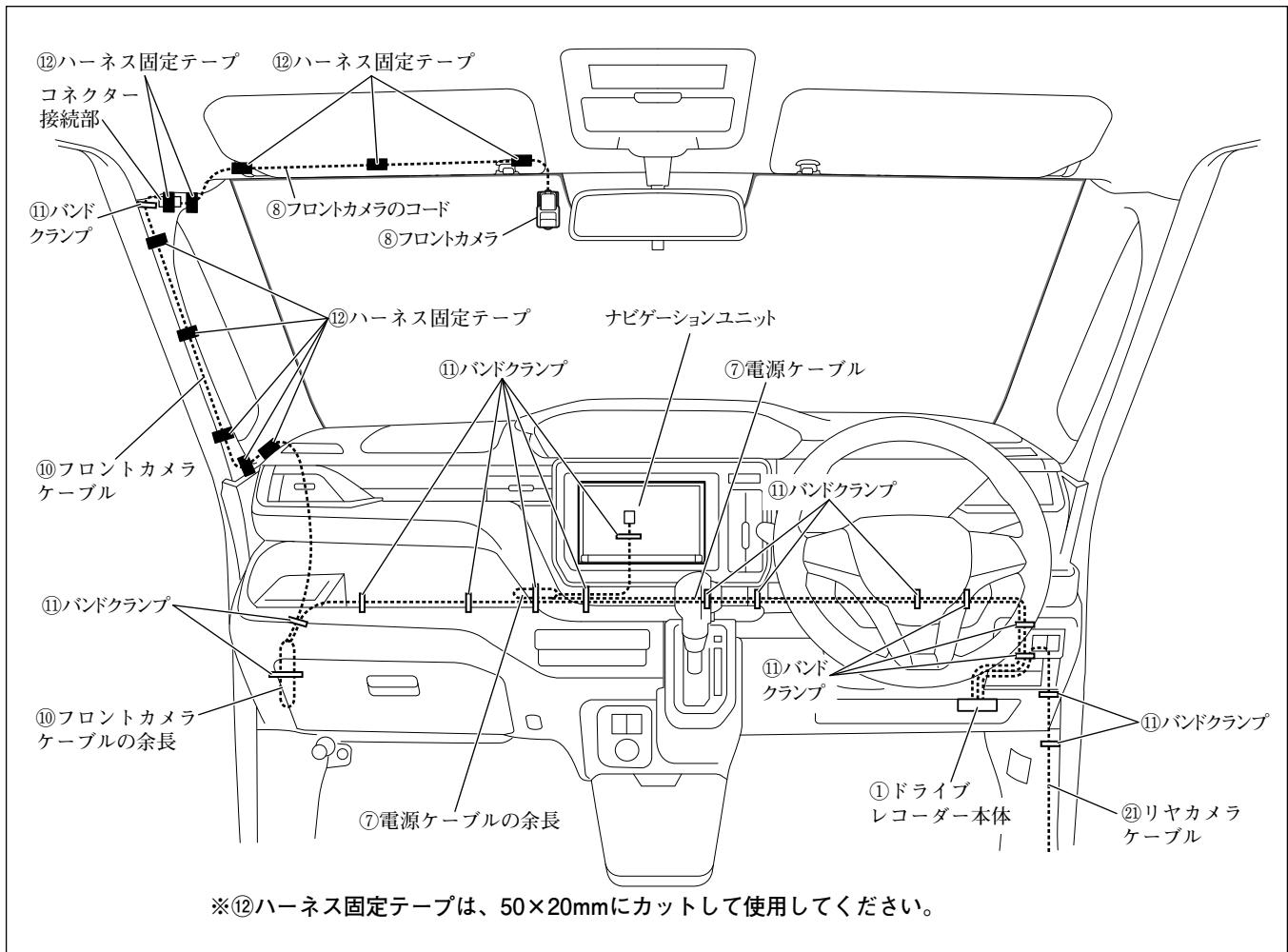
👉アドバイス

代表例を示しています。電動パーキングブレーキ仕様の車両についてはサービスマニュアルを参照してください。

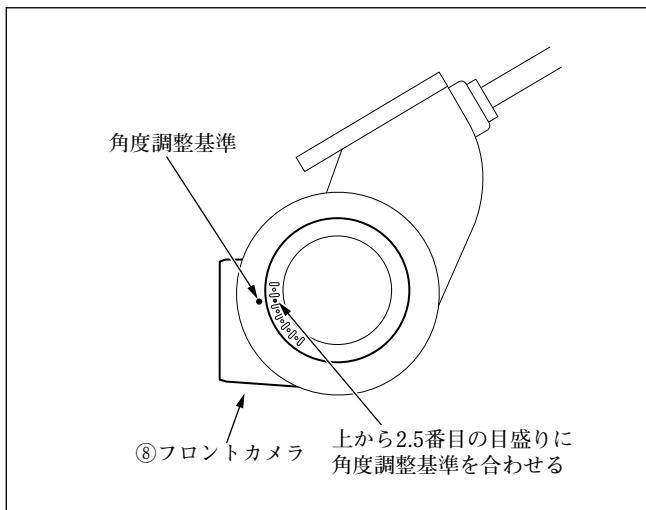


● 取付概要

フロントカメラ



● フロントカメラ取付前の準備

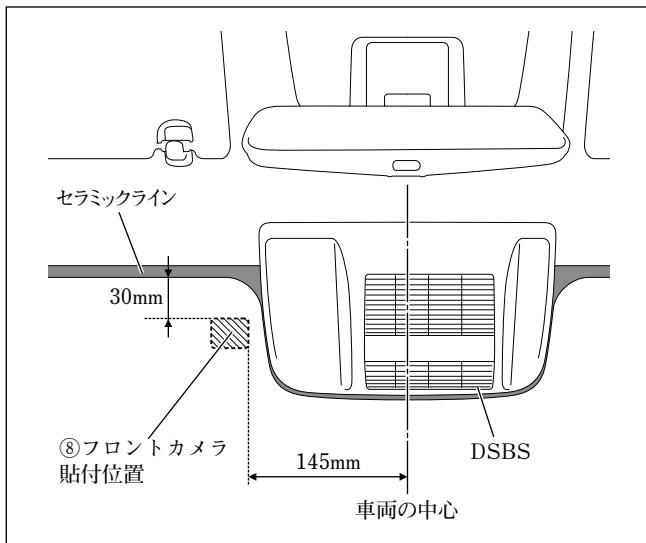


⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15℃以下の場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

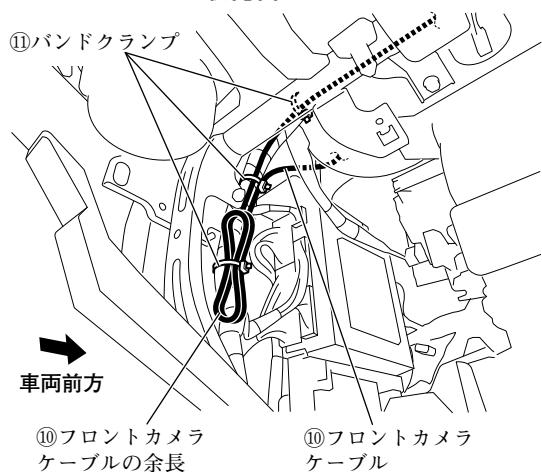
- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

以下の項目は、ドライブレコーダー（連動2カメラ）のリヤカメラ専用の記載です。
別冊の追補版を参照して作業を行ってください。

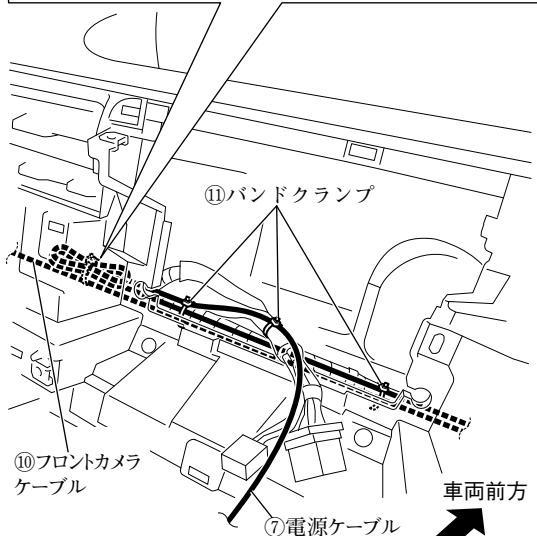
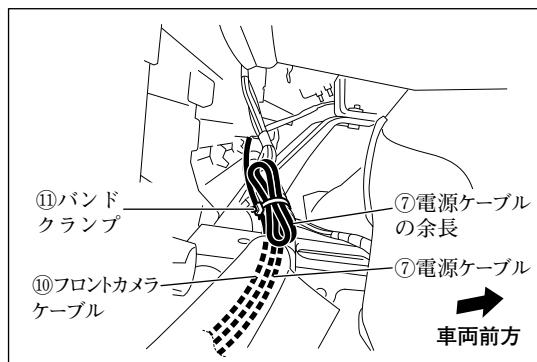
- **リヤカメラ取付前の準備**
- **リヤカメラの取付方法**
- **リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）**
- **リヤカメラケーブルの配線（車室内）**

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

グローブボックス取付部左



ナビゲーション取付部



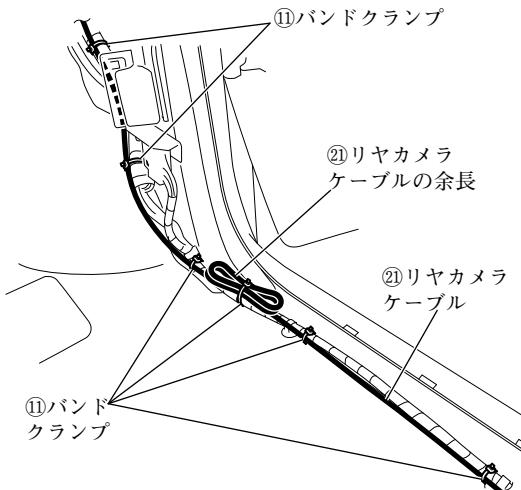
- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

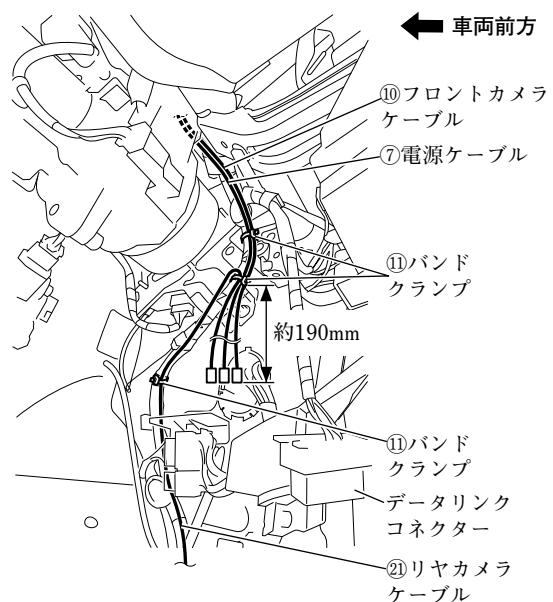
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

運転席右



ステアリングコラム右

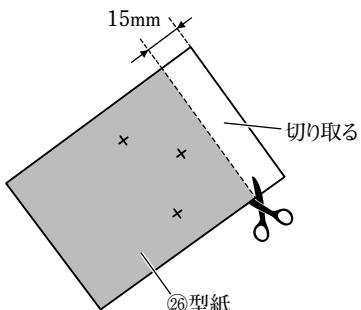


- (3) ①ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

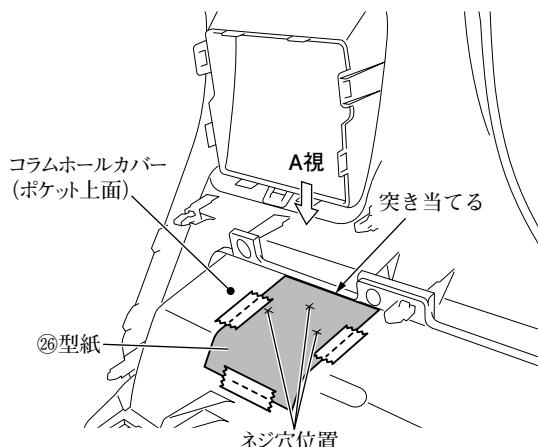
本車両は④車両側プラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体を通す穴を加工します。



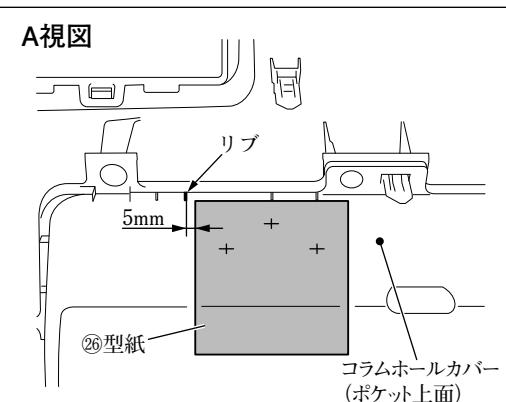
(1) ⑥型紙の図示位置を切り取ってください。

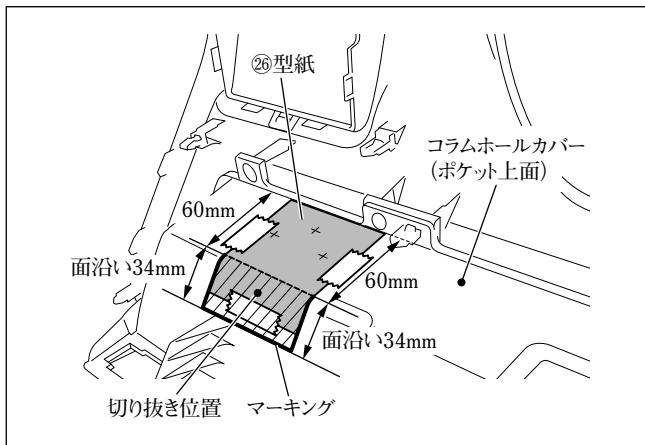
注記

⑥型紙の向きを間違えないでください。



(2) コラムホールカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。

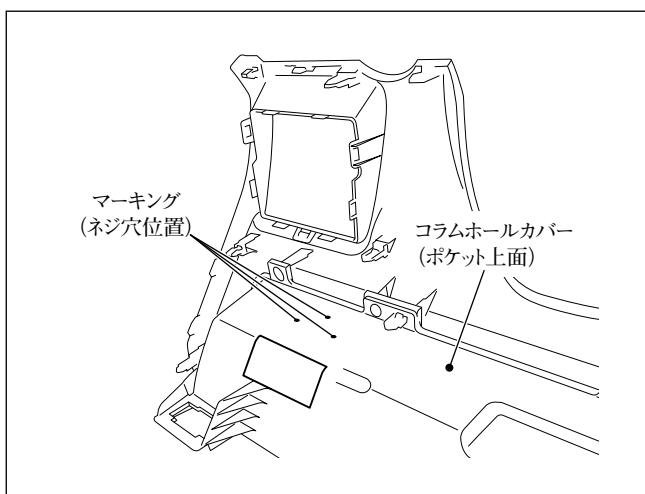




- (3) コラムホールカバーの切り抜き位置にマークイングをしてください。

👉アドバイス

指定の寸法および②⁶型紙の端に沿ってマークイングをしてください。



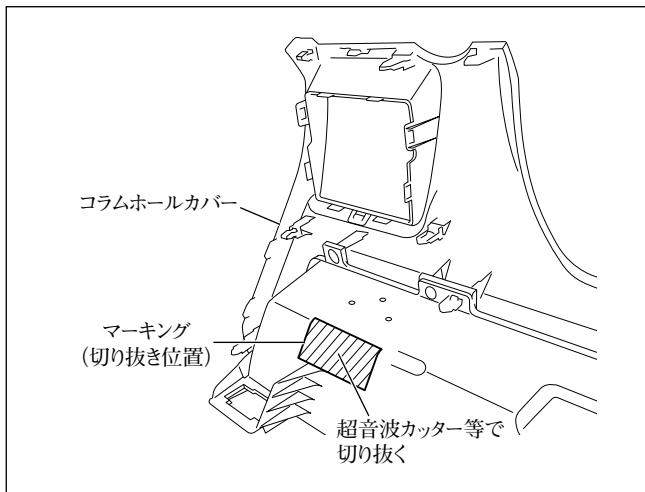
- (4) ②⁶型紙を外し、マークイングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（φ4mm）を開けてください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。



- (5) コラムホールカバーのマーキング位置（切り抜き位置）内側に沿って超音波カッター等で穴を開けてください。

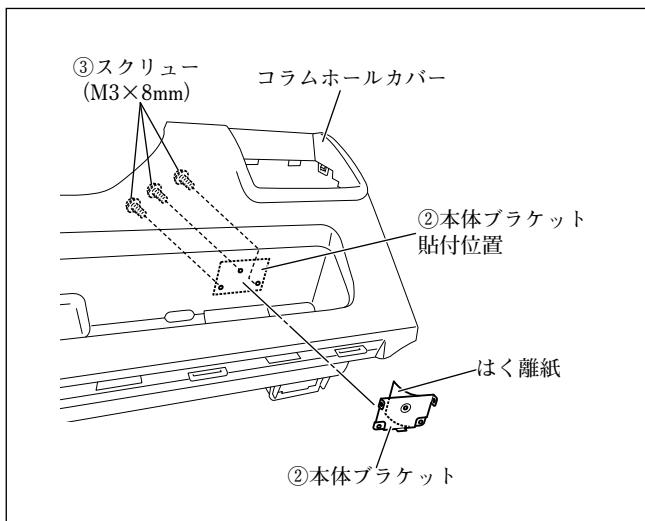
⚠ 注意

穴を開ける際は、耐切創手袋を使用してください。

- (6) 切り抜き後、コラムホールカバーの切り抜き部のバリをヤスリで取り除いてください。

👉 アドバイス

最初は粗目のヤスリでバリを取り除き、仕上げを細目のヤスリで毛羽立ちが無くなるようにしてください。

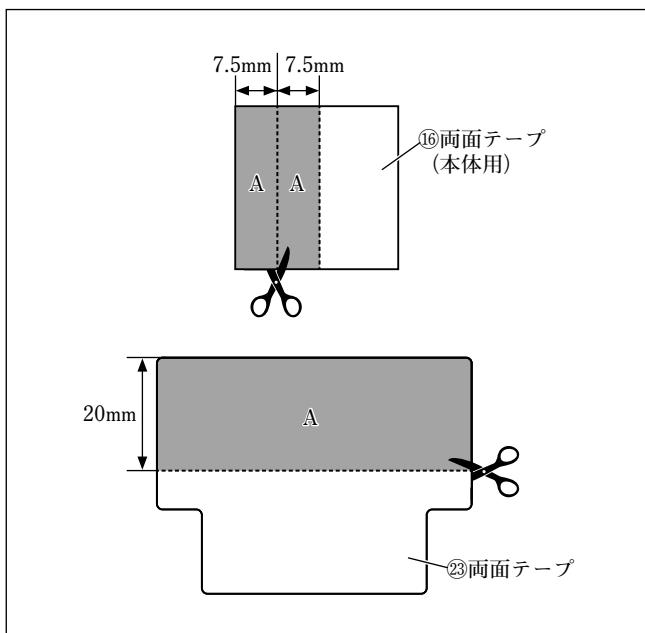


- (7) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。

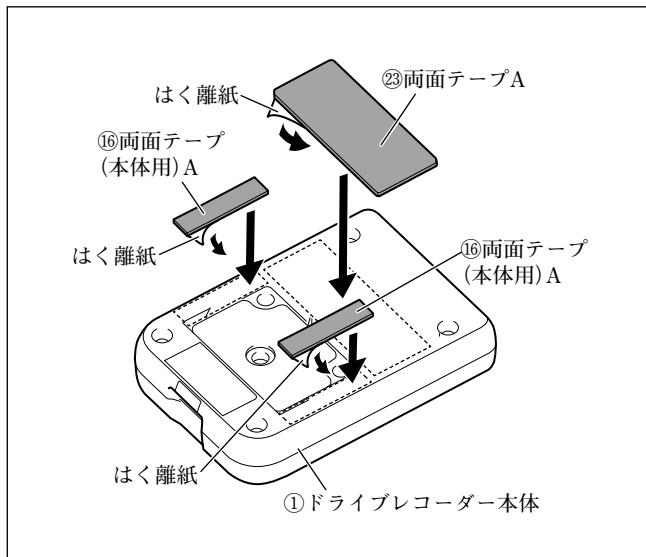
- (8) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー（M3×8mm）で固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



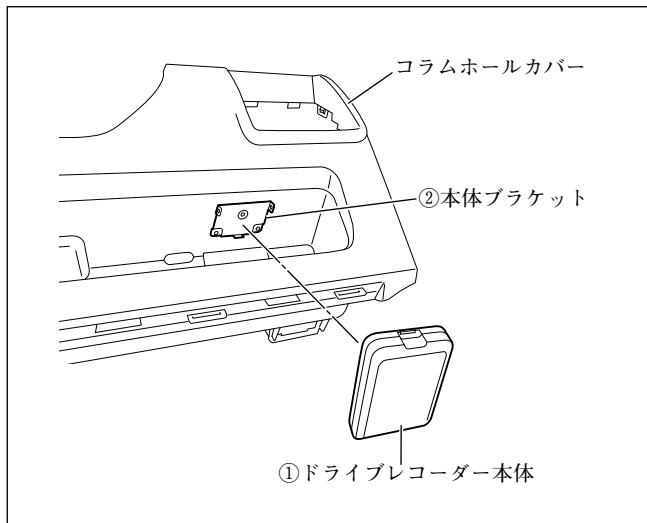
- (9) ⑯両面テープ（本体用）と⑰両面テープを図のようにカットしてください。



(10) カットした⑯両面テープ(本体用)Aと㉓両面テープAを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



- (11) ① ドライブレコーダー本体を仮組みし、コラムホールカバーと干渉していないことを確認してください。なお、干渉している場合は、コラムホールカバーを削り調整してください。

注記

- ① ドライブレコーダー本体を仮組みする際は、② 本体ブラケットのツメをかん合させないでください。

- (12) ① ドライブレコーダー本体、③両面テープA および⑯両面テープ（本体用）Aのはく離紙をはがしてください。（全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照）

- (13) ① ドライブレコーダー本体を② 本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ① ドライブレコーダー本体を② 本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

- (14) ① ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。（全車共通の「接続のしかた」参照）

- ・全車共通の「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締付トルク等）
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカーブレートと干渉していないか点検してください。

- ・全車共通の「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 全車共通の「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 全車共通の「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

スイフトの場合

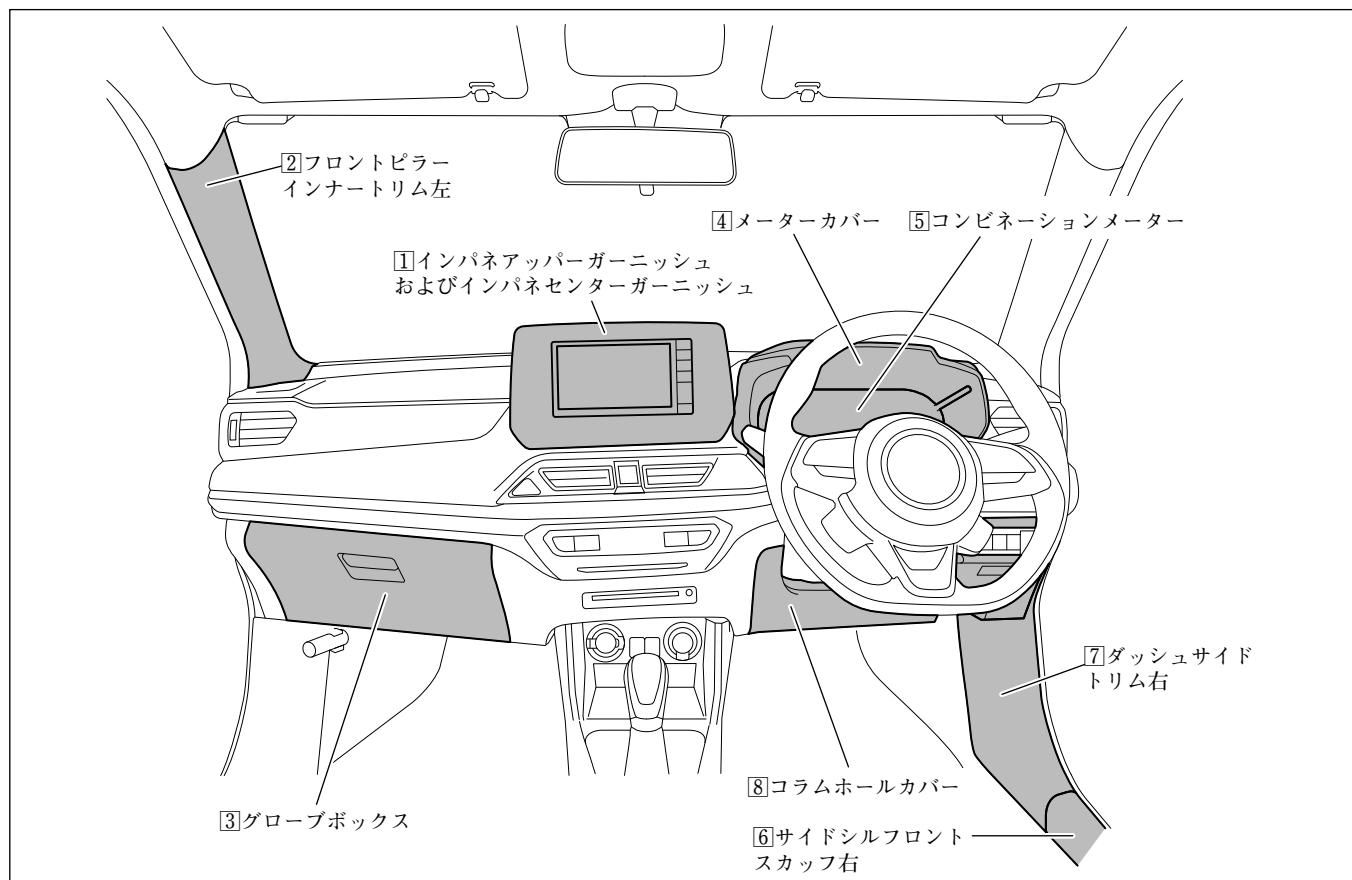
●車両部品の取り外し方法

注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

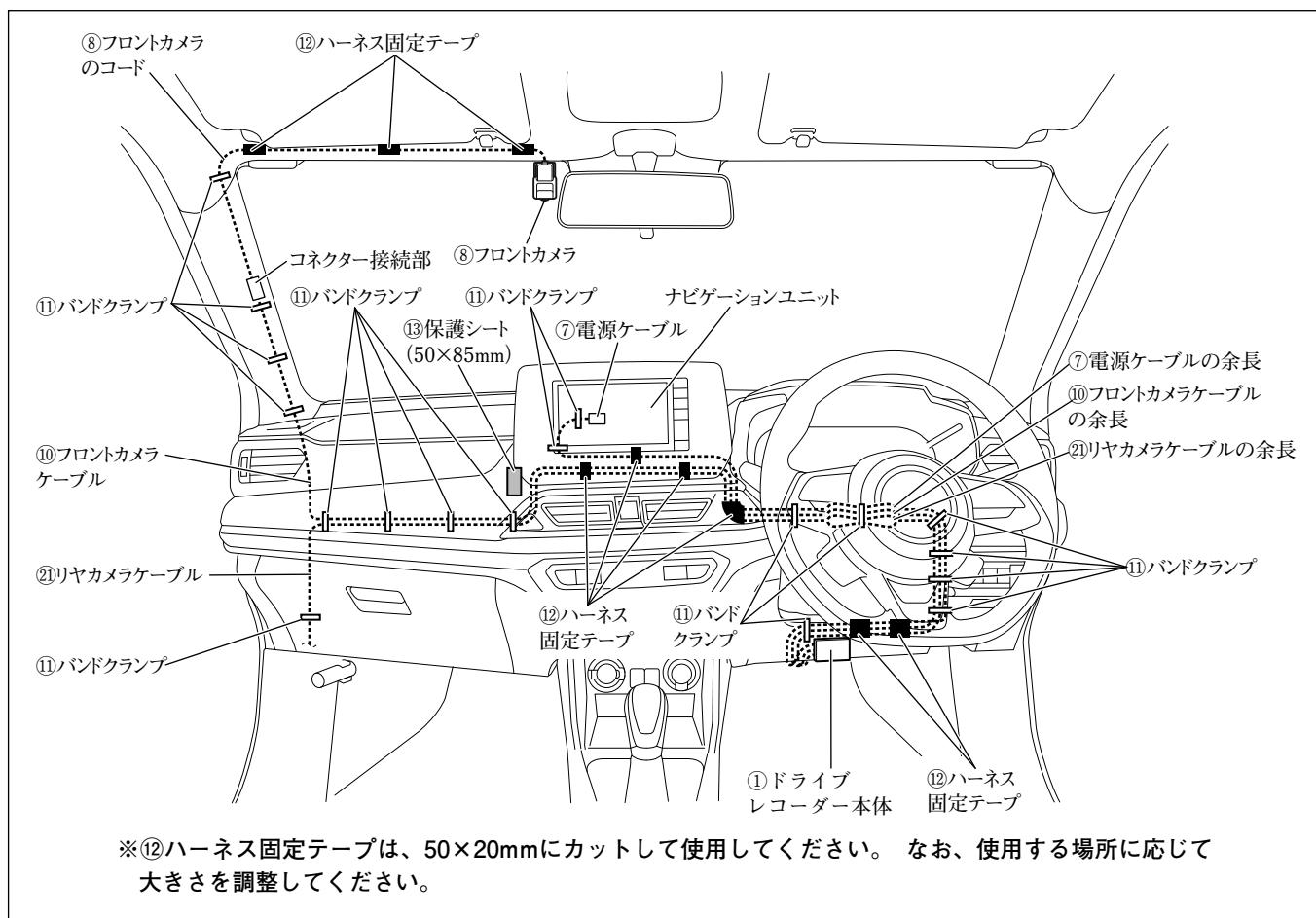
図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ

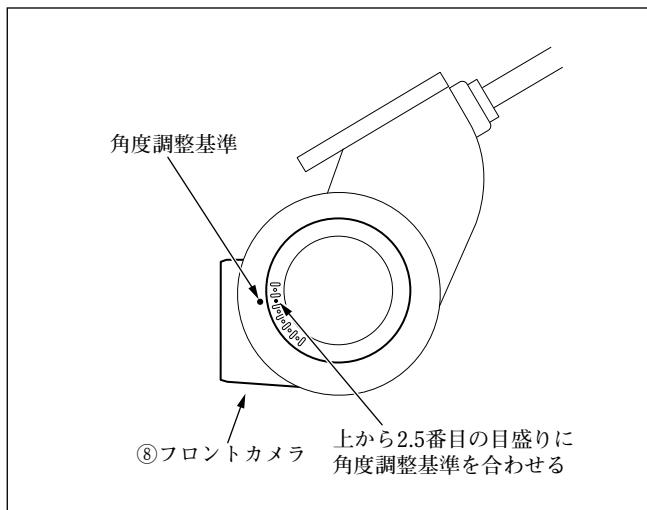


● 取付概要

フロントカメラ



● フロントカメラ取付前の準備

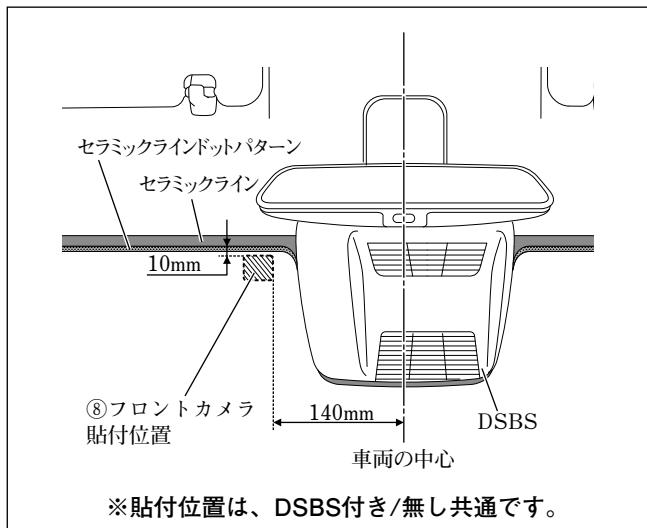


⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプで固定してください。

注記

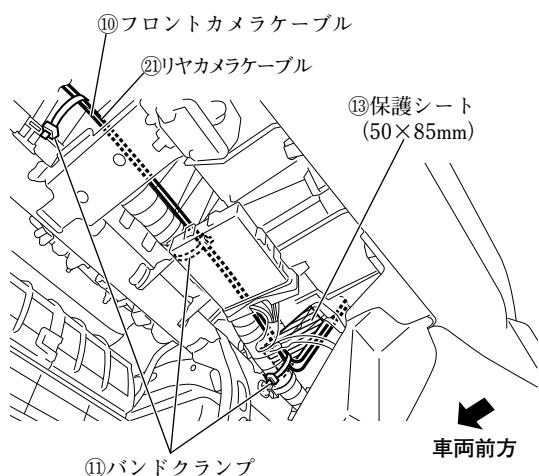
フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。

以下の項目は、ドライブレコーダー（連動2カメラ）のリヤカメラ専用の記載です。
別冊の追補版を参照して作業を行ってください。

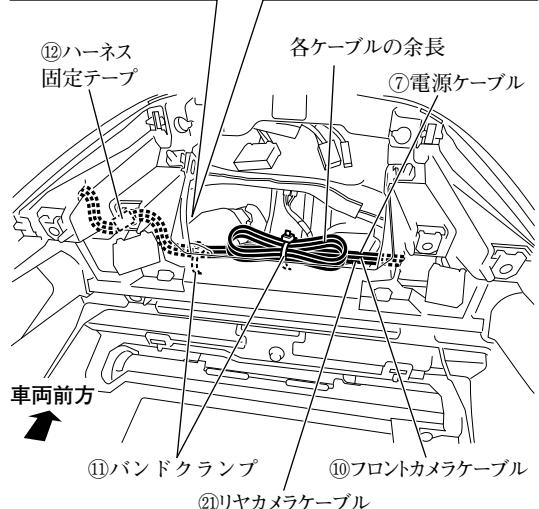
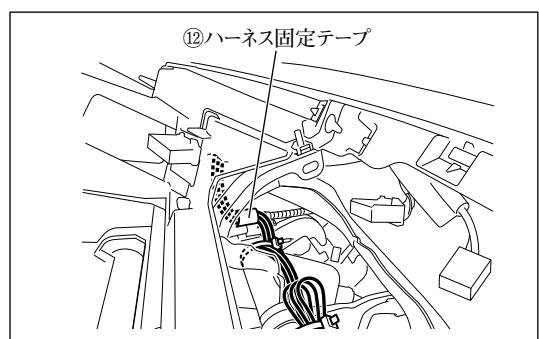
- **リヤカメラ取付前の準備**
- **リヤカメラの取付方法**
- **リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）**
- **リヤカメラケーブルの配線（車室内）**

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

グローブボックス取付部上側



コンビネーションメーター取付部

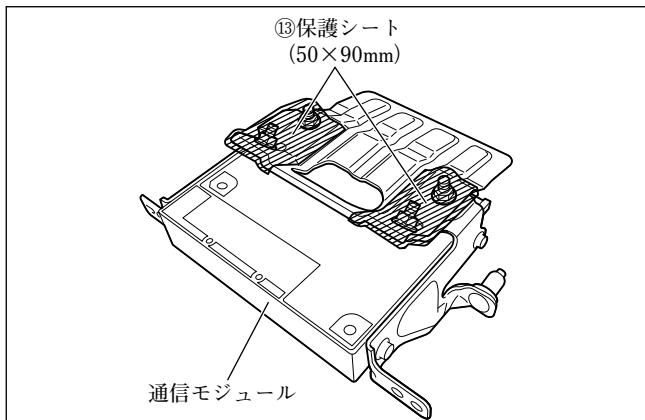


- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

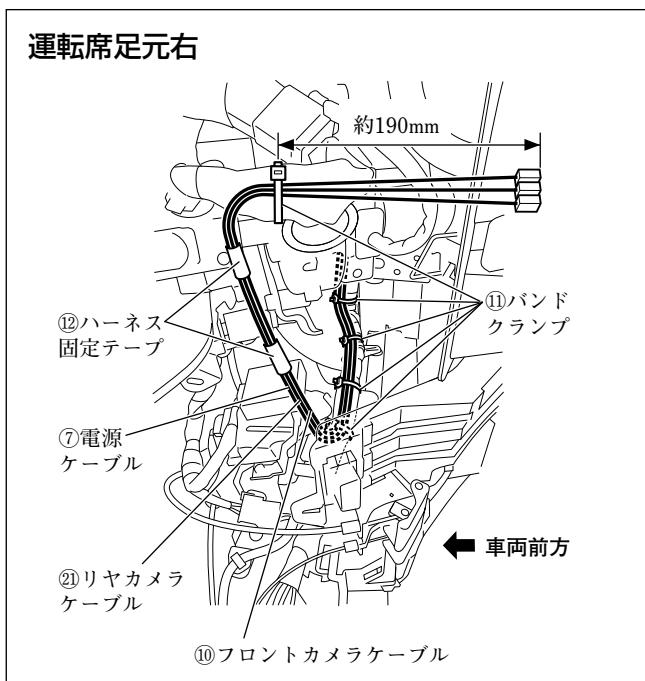
- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。



(3) 通信モジュールがある車両は、配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

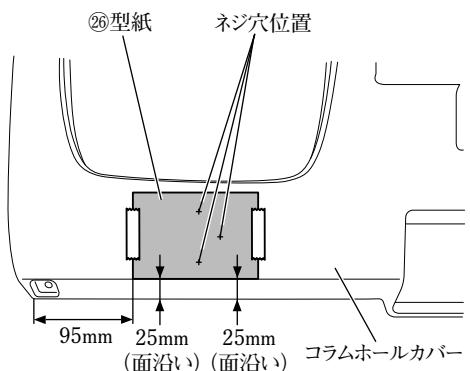


(4) ① ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体および配線を通す穴を加工しません。



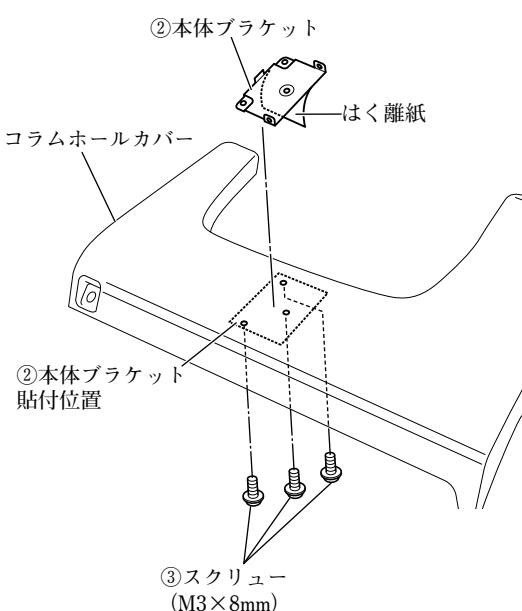
- (1) コラムホールカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマークイングをしてください。
- (2) ⑥型紙を外し、マークイングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（Φ4mm）を開けてください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

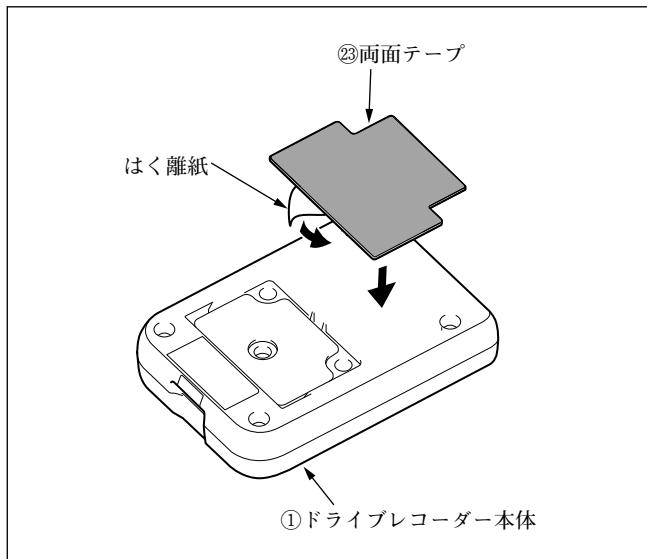
- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。



- (3) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。
- (4) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー（M3×8mm）で固定してください。

注記

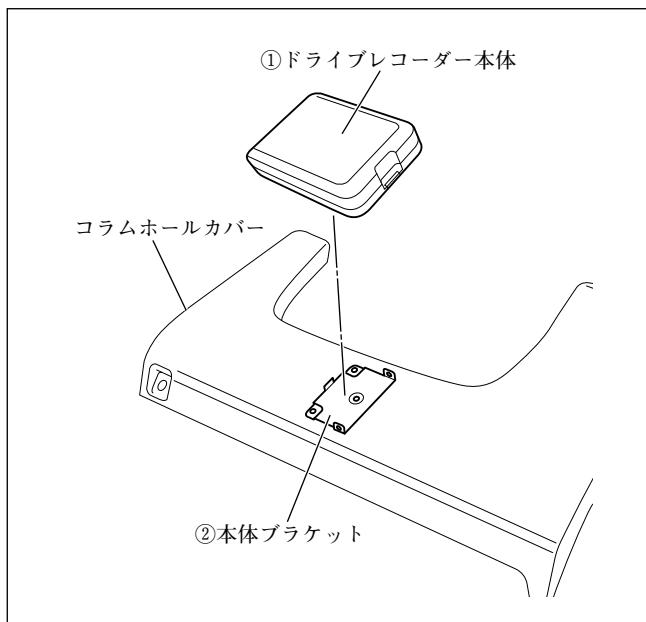
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(5) ②③両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(6) ① ドライブレコーダー本体および②両面テープのはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)

(7) ① ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ① ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

(8) ① ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。(全車共通の「接続のしかた」参照)

- 全車共通の「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- 全車共通の「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 全車共通の「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 全車共通の「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

スイフトスポーツの場合

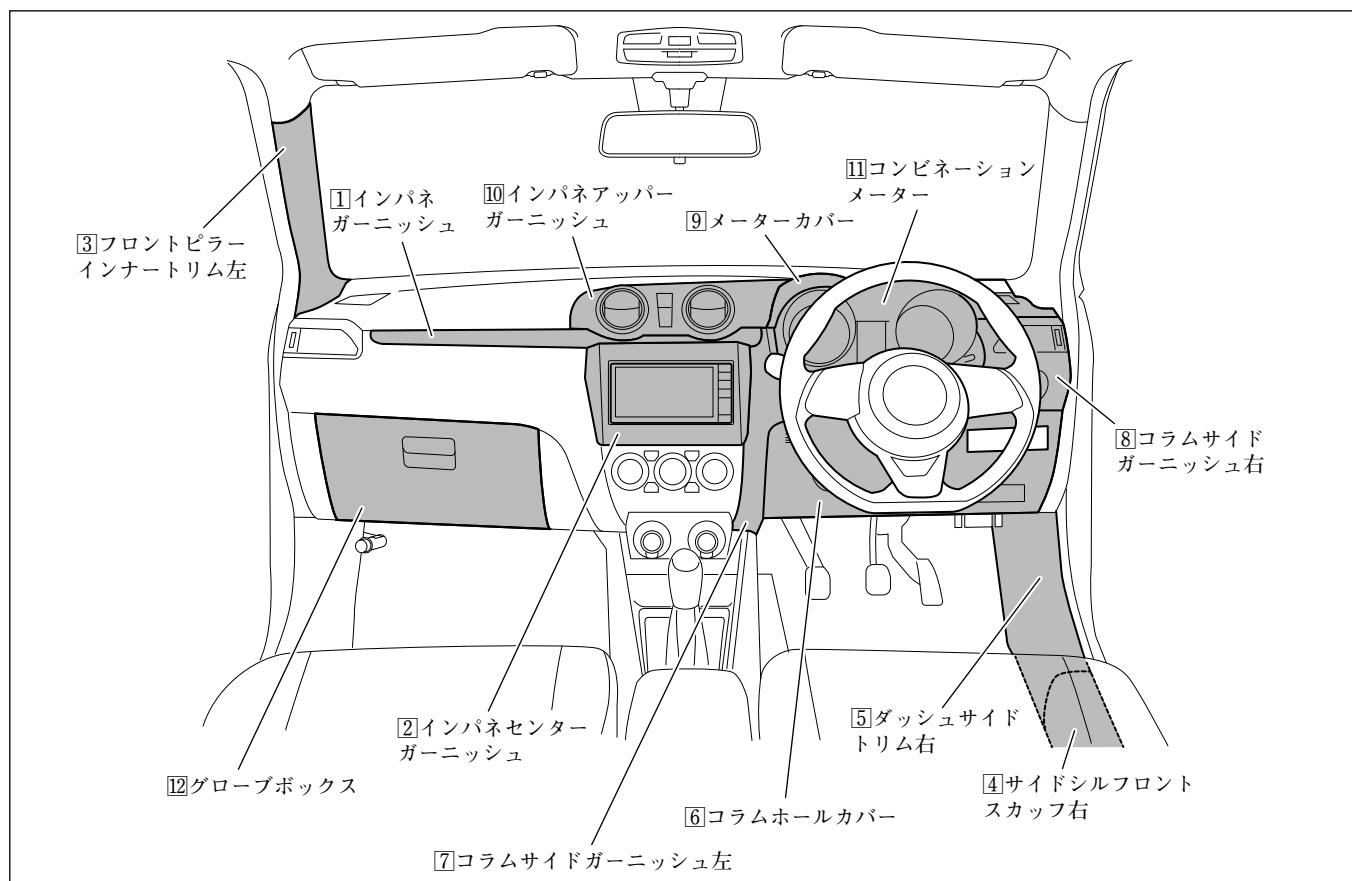
●車両部品の取り外し方法

注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

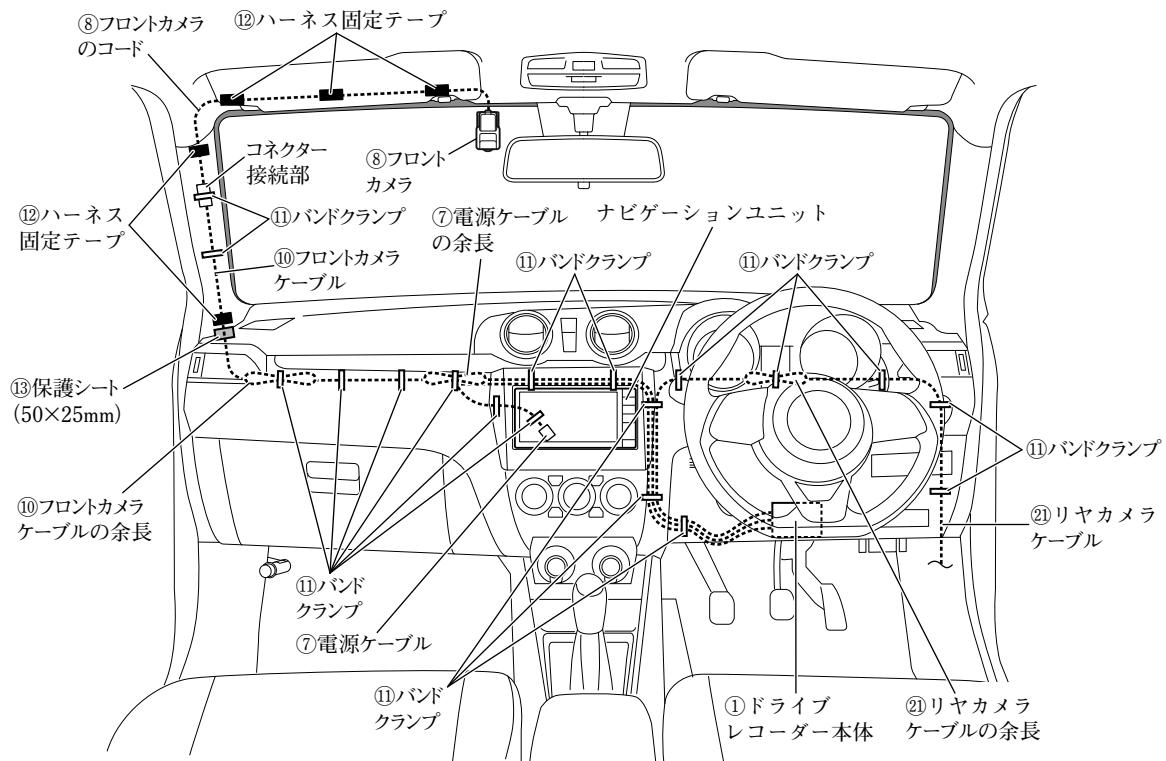
図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ



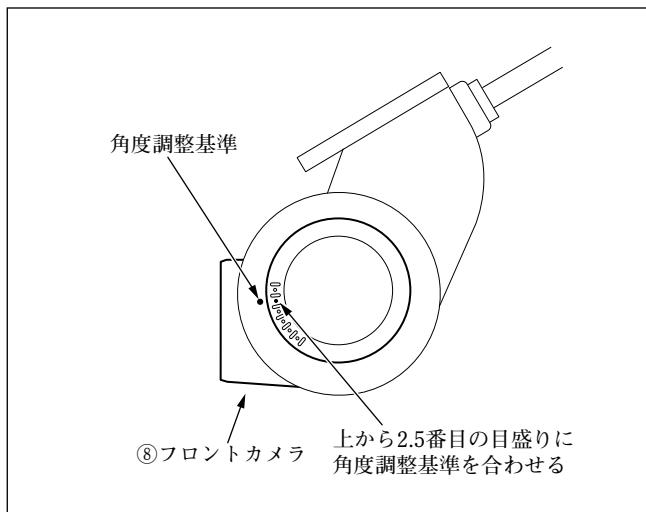
● 取付概要

フロントカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。

● フロントカメラ取付前の準備

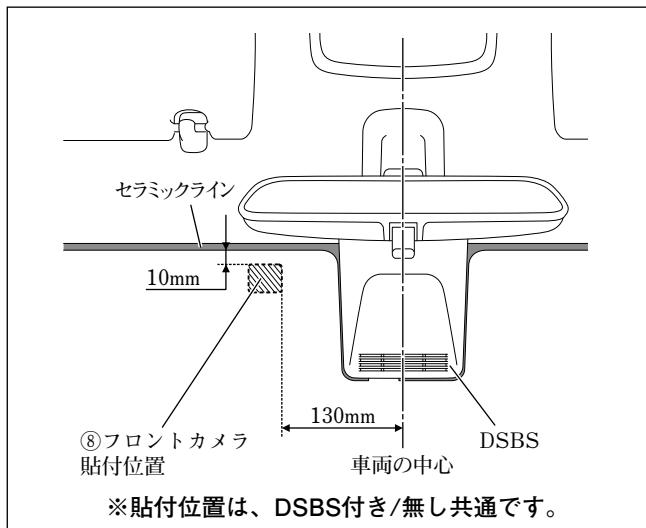


⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

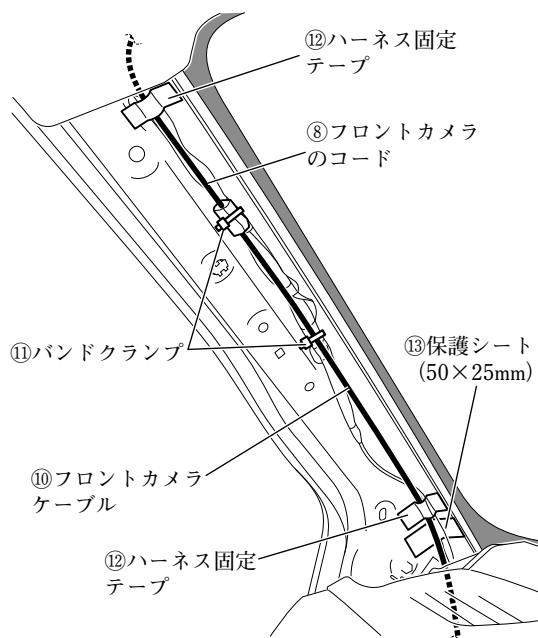
● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラーパーク）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- 配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

左フロントピラーパーク



配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

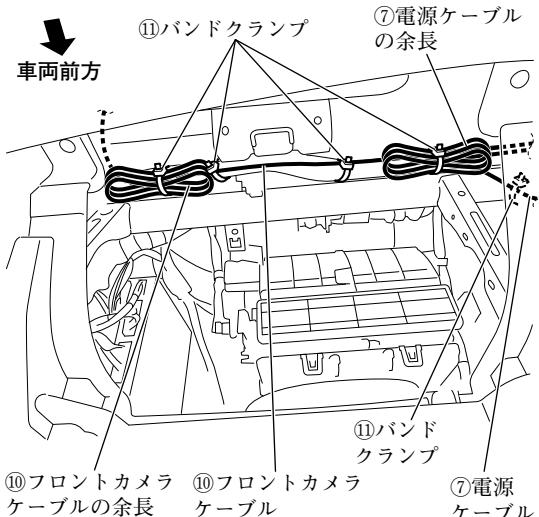
- ⑯保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

以下の項目は、ドライブレコーダー（連動2カメラ）のリヤカメラ専用の記載です。
別冊の追補版を参照して作業を行ってください。

- **リヤカメラ取付前の準備**
- **リヤカメラの取付方法**
- **リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）**
- **リヤカメラケーブルの配線（車室内）**

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

グローブボックス取付部上側



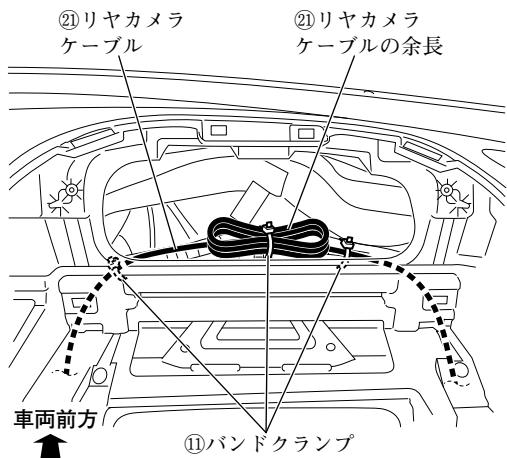
- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

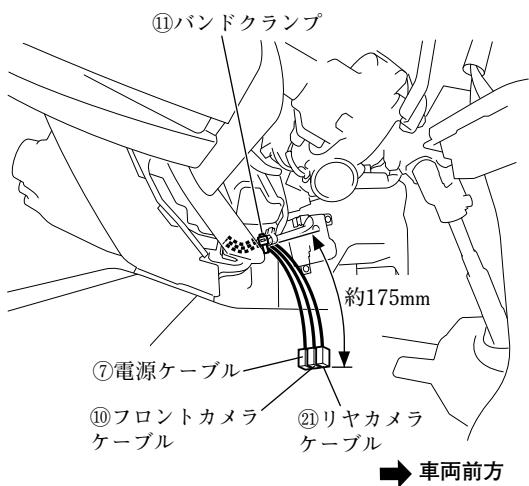
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

コンビネーションメーター取付部



運転席足元左

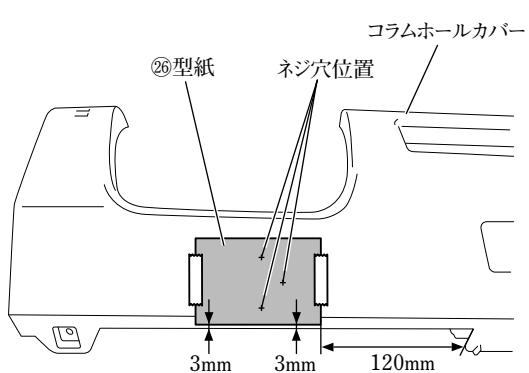


- (3) ①ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪バンドクランプでまとめて固定してください。

● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

本車両は④車両側ブラケットを使用しません。①ドライブレコーダー本体および配線を通す穴を加工しません。



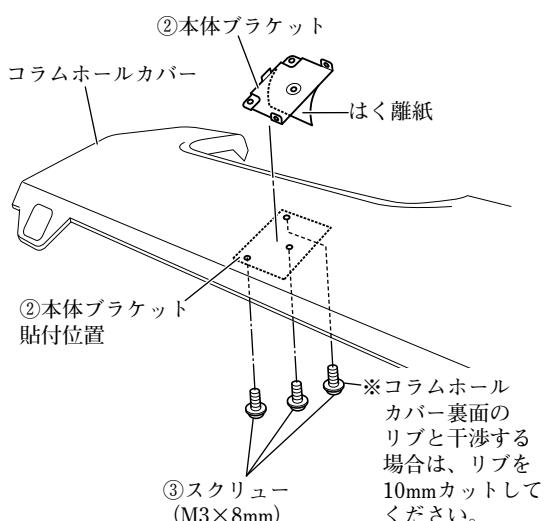
- (1) コラムホールカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。
- (2) ⑥型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（Φ4mm）を開けてください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

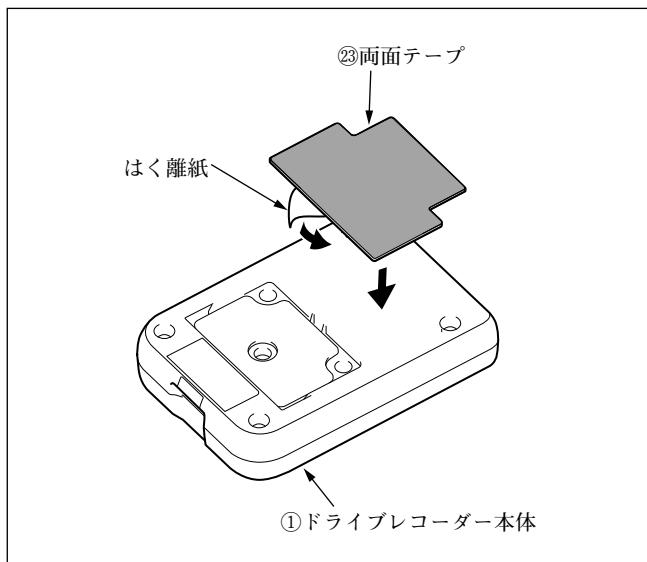
- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。



- (3) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。
- (4) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー（M3×8mm）で固定してください。

注記

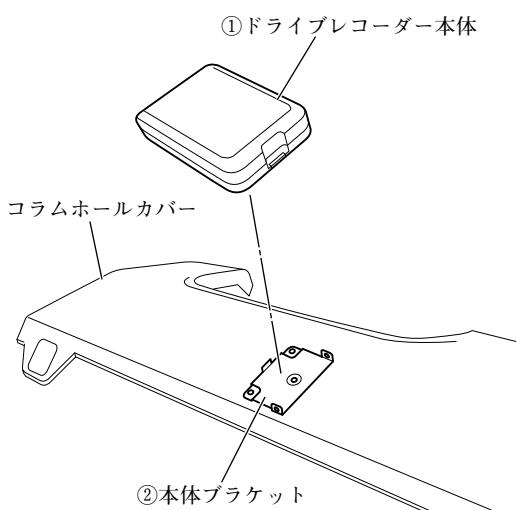
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(5) ②両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



- (6) ①ドライブレコーダー本体および③両面テープのはく離紙をはがしてください。(全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照)

- (7) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。

- (8) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。(全車共通の「接続のしかた」参照)

- 全車共通の「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ(緩み)がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。(コネクター類の接続・締付トルク等)
- センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。

- 全車共通の「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 全車共通の「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 全車共通の「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

クロスビーの場合

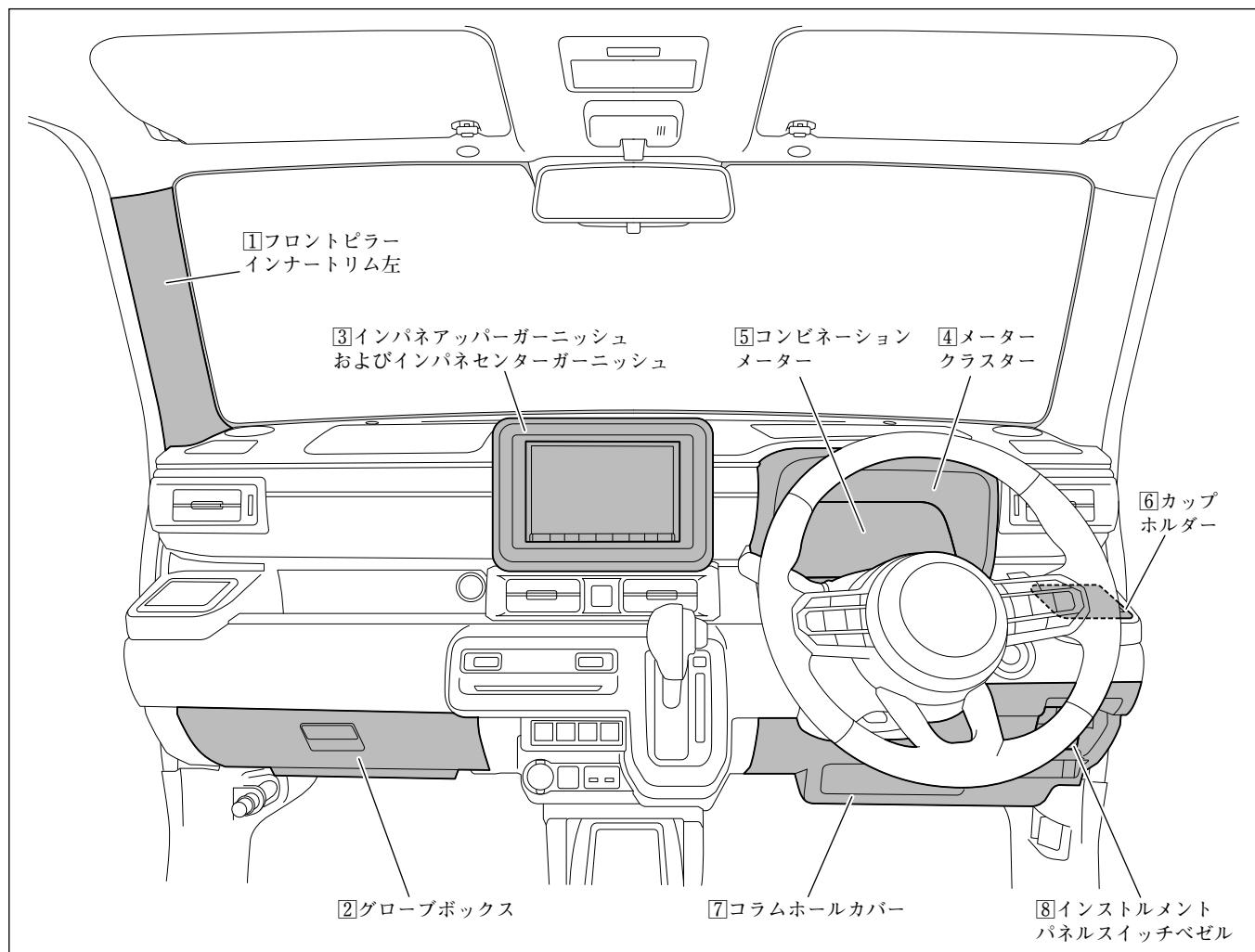
●車両部品の取り外し方法

注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

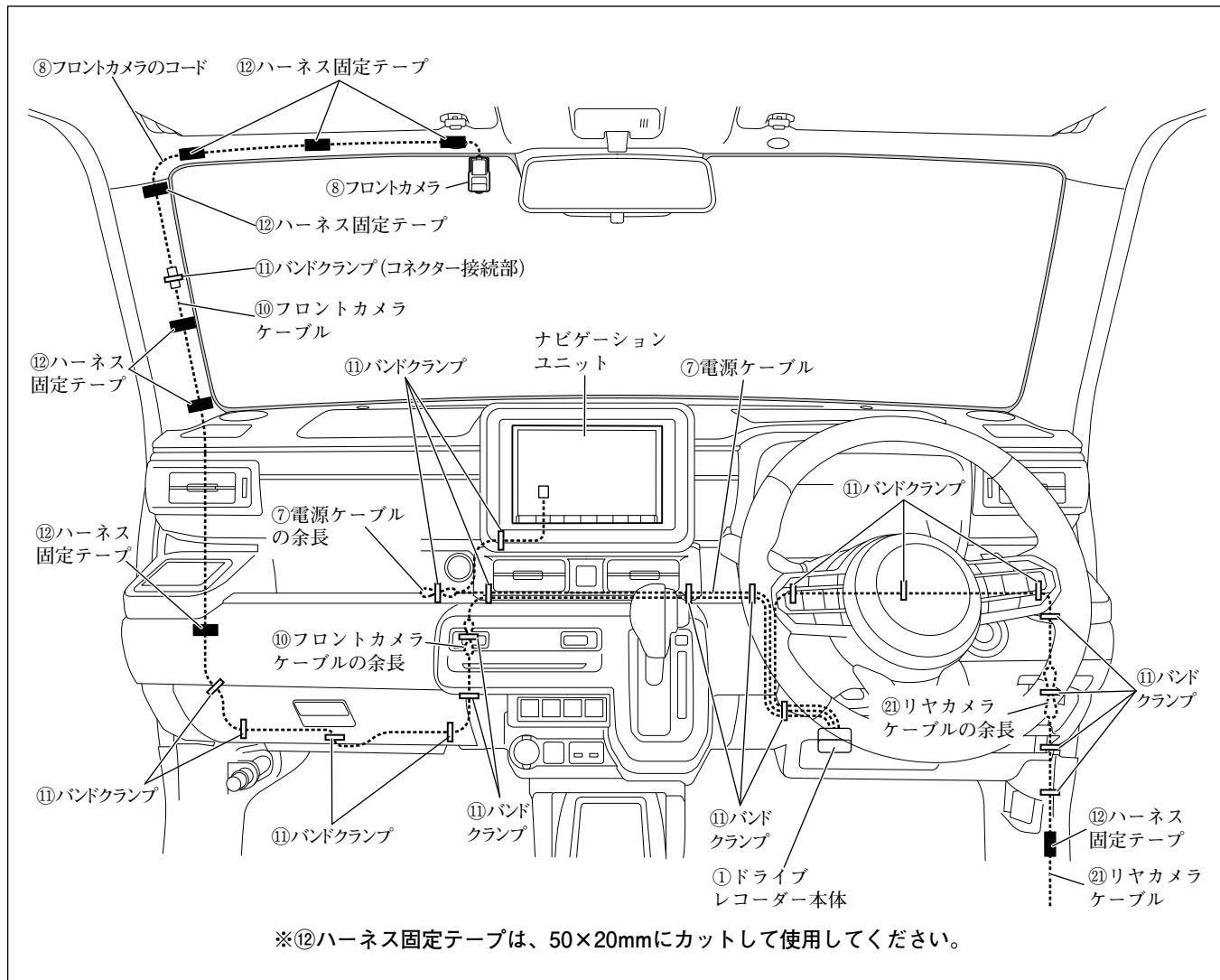
図に示す車両部品を取り外してください。

フロントカメラ、インナーカメラ

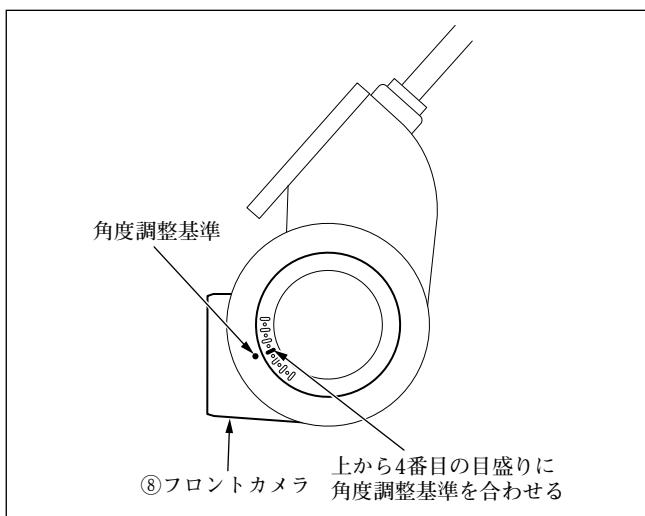


● 取付概要

フロントカメラ



● フロントカメラ取付前の準備

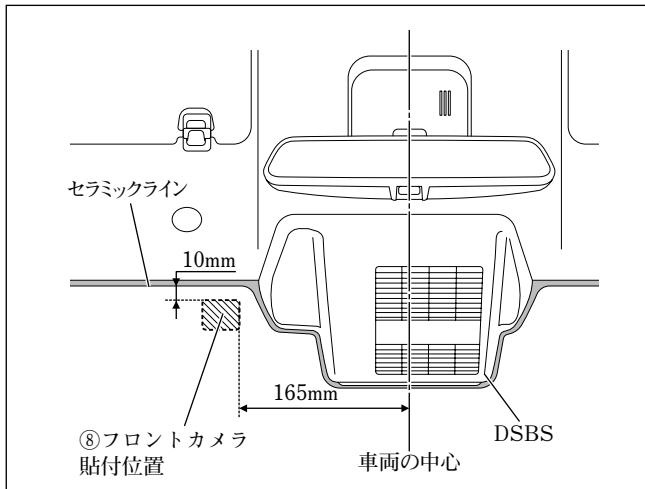


⑧フロントカメラの角度を調整してください。(全車共通の「フロントカメラの取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。

● フロントカメラの取付方法



⑧フロントカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ⑧フロントカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑧フロントカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑧フロントカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15℃以下の場合は、ドライヤーなどでフロントガラス面と⑧フロントカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。

● フロントカメラケーブルの配線（フロントピラー部）

「取付概要」を参照して⑩フロントカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

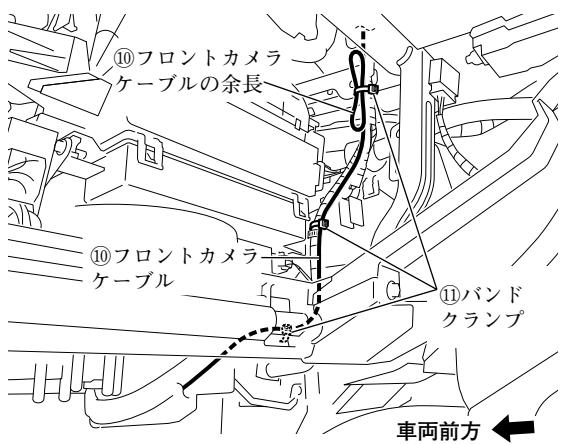
- フロントピラートリム復元時に接続部やケーブルが干渉しないように固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

以下の項目は、ドライブレコーダー（連動2カメラ）のリヤカメラ専用の記載です。
別冊の追補版を参照して作業を行ってください。

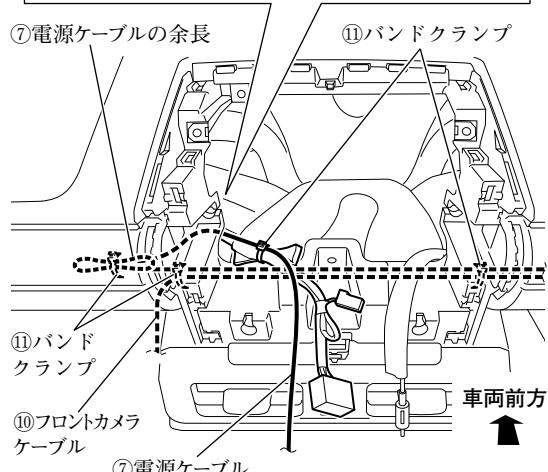
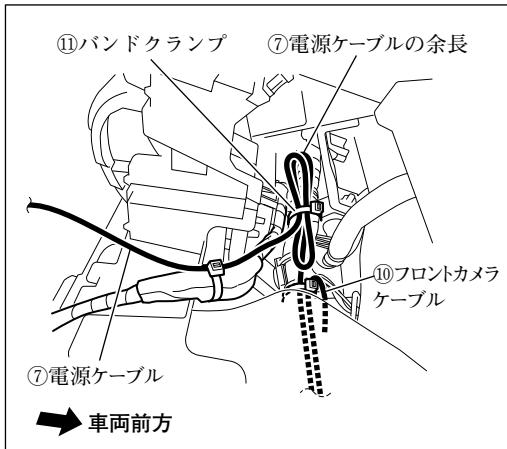
- **リヤカメラ取付前の準備**
- **リヤカメラの取付方法**
- **リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）**
- **リヤカメラケーブルの配線（車室内）**

● フロントカメラケーブル、リヤカメラケーブル、電源ケーブルの配線

グローブボックス取付部右



ナビゲーション取付部左



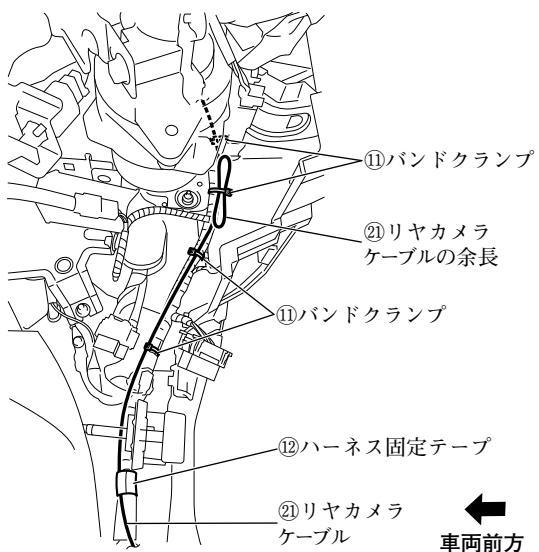
- (1) 「取付概要」を参照して⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルを配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

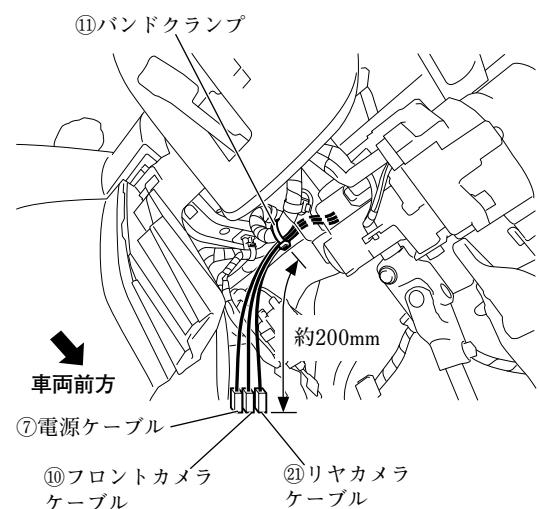
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

- (2) ⑦電源ケーブル、⑩フロントカメラケーブル、⑪リヤカメラケーブルの余長は、それぞれ図示位置で⑪バンドクランプで固定してください。

運転席足元右



ステアリングコラム左下

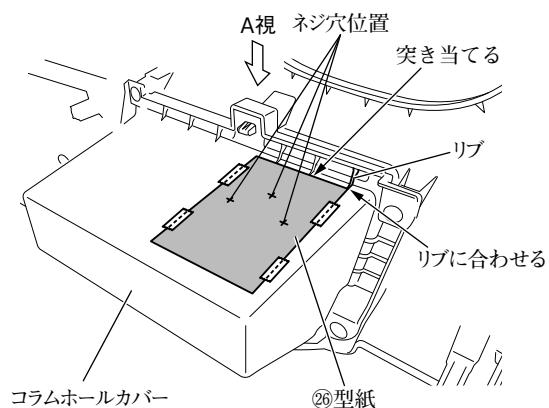


- (3) ① ドライブレコーダー本体に接続する各ケーブルは図示寸法を確保し、⑪ バンドクランプでまとめて固定してください。

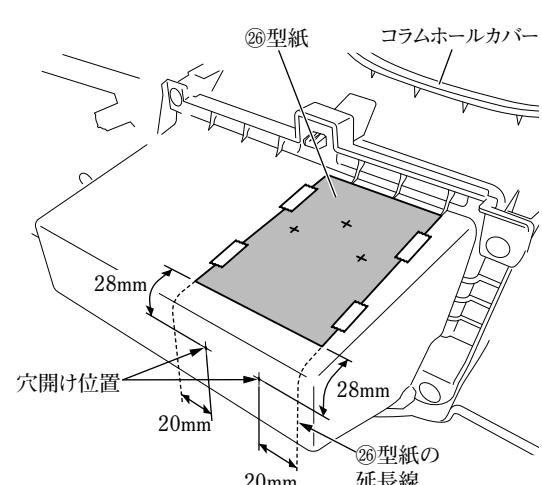
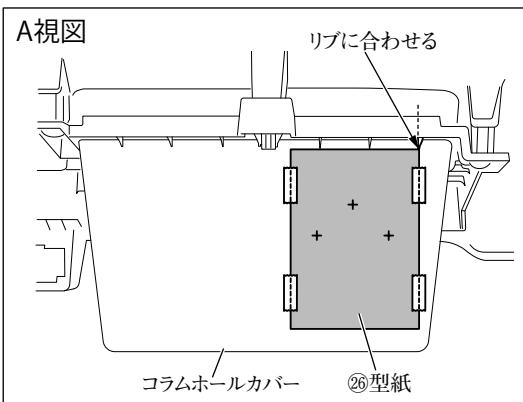
● ドライブレコーダー本体の取付方法

👉 アドバイス

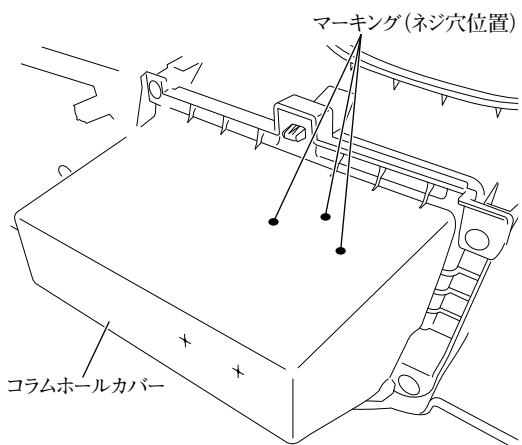
本車両は④車両側ブラケットを使用しません。配線を通す穴を加工します。



- (1) コラムホールカバーへ⑥型紙を当て、ネジ穴位置へマーキングをしてください。



- (2) コラムホールカバーの穴開け位置にマーキングをしてください。



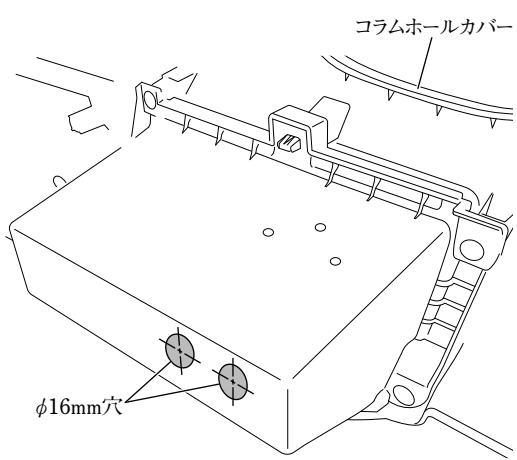
- (3) ②⑥型紙を外し、マーキングした位置（ネジ穴位置）にドリルで穴（ $\phi 4\text{mm}$ ）を開けてください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当ててください。



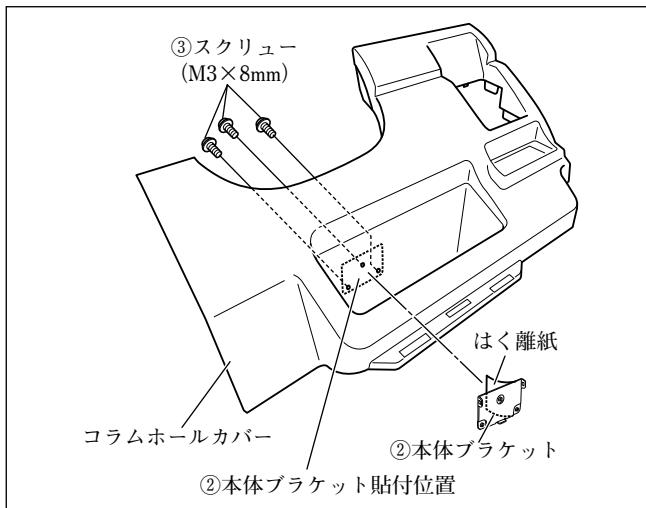
- (4) コラムホールカバーの穴開け位置にホールソーで穴（ $\phi 16\text{mm}$ ）を開けてください。

⚠ 注意

- ホールソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

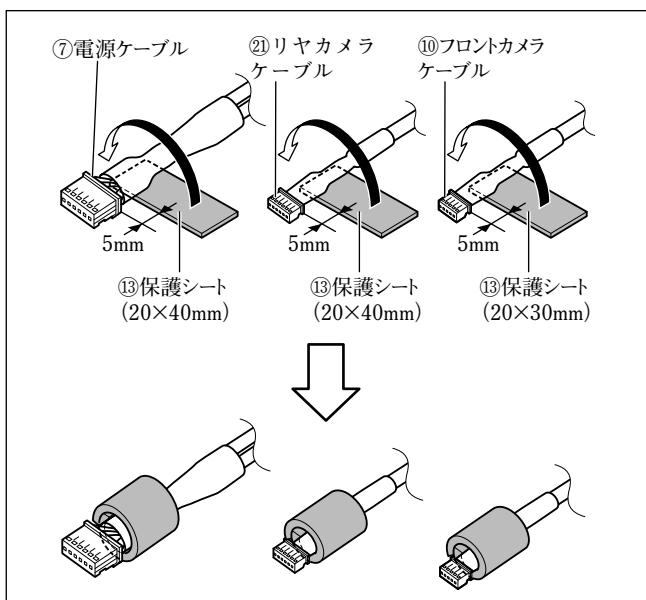


(5) ②本体ブラケットのはく離紙をはがしてください。

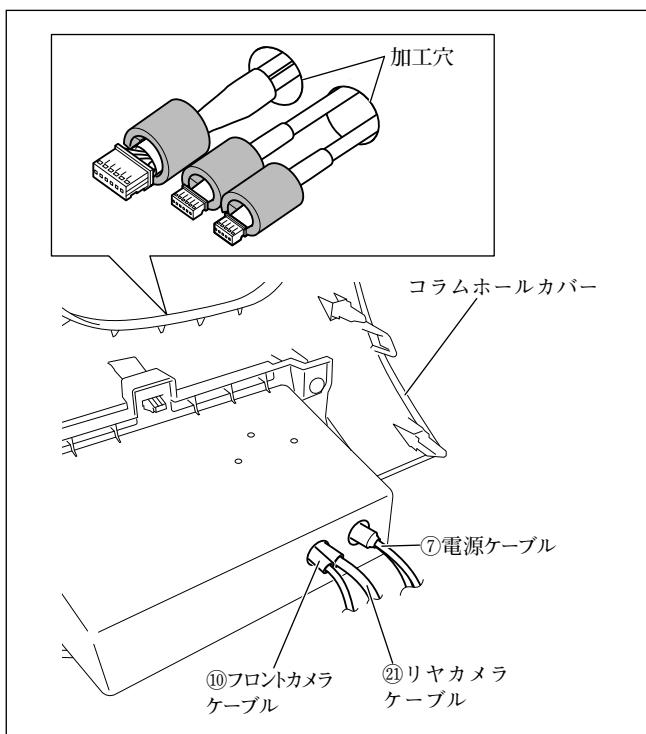
(6) コラムホールカバーの図示位置に②本体ブラケットを取り付け、③スクリュー (M3×8mm) で固定してください。

注記

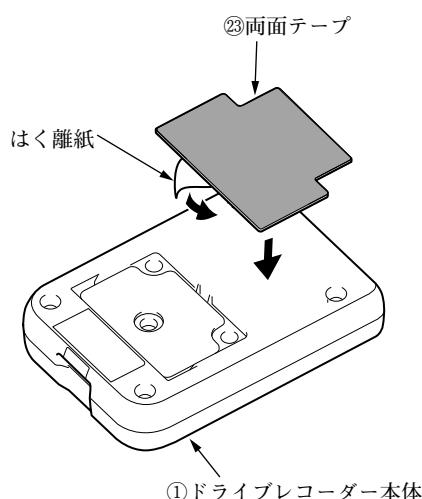
- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(7) 配線を保護するため、図示箇所に⑬保護シートを貼り付けてください。



(8) コラムホールカバーの加工穴に本図のようにケーブルを通してください。

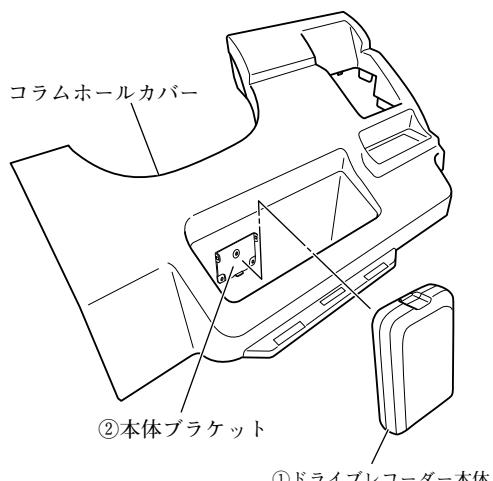


(9) ②③両面テープを①ドライブレコーダー本体に貼り付けてください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

(10) ①ドライブレコーダー本体に全てのケーブルのコネクターを接続してください。（全車共通の「接続のしかた」参照）

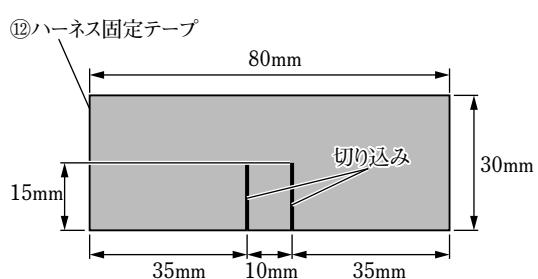


(11) ①ドライブレコーダー本体および②両面テープのはく離紙をはがしてください。（全車共通の「ドライブレコーダー本体の取付方法」参照）

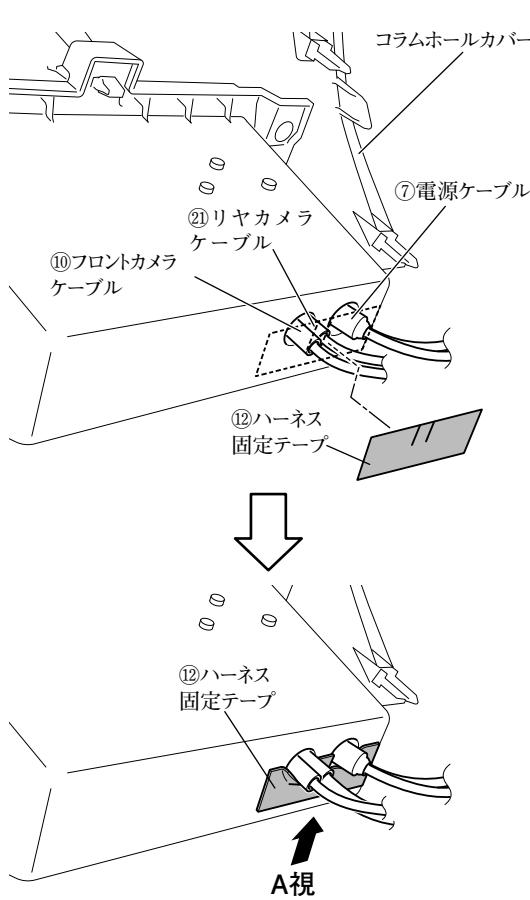
(12) ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに固定してください。

注記

- 貼付位置表面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ①ドライブレコーダー本体を②本体ブラケットに貼り付ける際、ツメが「カチッ」というまで押し付けてください。



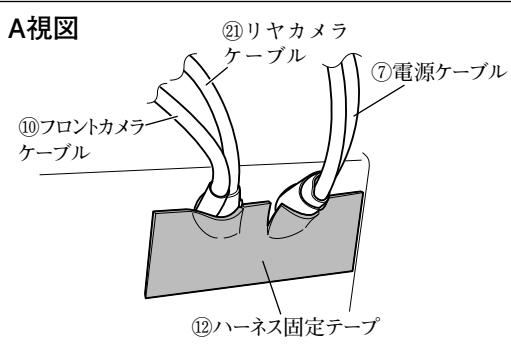
(13) ⑫ハーネス固定テープを図のようにカットしてください。



(14) カットした⑫ハーネス固定テープをコラムホールカバーに貼り付けてください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



- 全車共通の「車両部品の復元」を参照して取り外した部品をスクリュー等の締め忘れ（緩み）がないよう復元してください。

注記

- 当該用品取付時に一時的に取り外した車両部品は、必ずサービスマニュアルの手順に沿って、用品取付前の状態に戻してください。（コネクター類の接続・締付トルク等）
 - センターピラーロアトリムを復元する際、センターピラーロアトリム下端部がシートベルトおよびアンカープレートと干渉していないか点検してください。
- 全車共通の「既設部品の点検」を行ってください。

注記

取付作業完了後、車両および用品が正しく機能しているか動作確認してください。

- 全車共通の「取付・配線の確認」を参照して正しく取り付けられていることを確認してください。
- 全車共通の「作動確認・取付調整・カードの初期化」を行ってください。

改訂内容

改訂履歴	内 容	日 付
第1版	新規発行	2022年11月29日
第2版	適用車種追加（スペーシア 型式 MK54S、MK94S）	2023年11月22日
	エブリイのフロントカメラ角度を変更	
	ラパンのフロントカメラ取付位置を変更	
第3版	適用車種追加（スイフト 型式 ZCDDS、ZCEDS、ZDDDS、ZDEDS）	2023年12月13日
第4版	エブリイのマイナーチェンジに対応	2024年2月27日
第5版	適用車種追加（フロンクス 型式 WDB3S、WEB3S）	2024年10月16日
第6版	ワゴンRスマイルのマイナーチェンジに対応	2024年12月10日
第7版	ソリオのマイナーチェンジに対応	2025年1月16日
第8版	適用車種追加（ジムニーノマド 型式 JC74W）	2025年3月31日
第9版	アルトのマイナーチェンジに対応	2025年6月23日
第10版	ラパンのマイナーチェンジに対応	2025年7月24日
第11版	クロスビーのマイナーチェンジに対応	2025年10月2日
第12版	ジムニー／ジムニーシエラのマイナーチェンジに対応	2025年11月3日
第13版	ワゴンRのマイナーチェンジに対応	2025年12月15日
第14版	適用車種追加（eビターラ 型式 PA2AS、PB3AS）	2026年1月23日
	キャリイ／スーパークリイのマイナーチェンジに対応	

パナソニック お客様ご相談室

電話 ☎ 0120-50-8729

■ 上記番号がご利用いただけない場合

045-929-0511(有料)

※通話料は、お客様のご負担となります。

受付：9:00～17:00 年中無休(当社指定休日を除く)

- ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

パナソニック
オートモーティブシステムズ株式会社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地